

令和3年度
仕事と介護の両立等に関する実態把握
のための調査研究事業
報告書
労働者アンケート調査結果

令和4（2022）年3月



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

■目次■

第1章 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 本調査で用いる「手助・介護」の定義	1
4. 調査方法	1
5. 調査期間	1
6. 回収数	2
7. スクリーニング項目	2
8. 有識者ヒアリング	2
第2章 集計結果	3
1. 基本属性等	3
(1) 回答者の年齢	3
(2) 回答者の性別	4
(3) 就業形態	5
(4) 都道府県（回答者の住まいの地域）	6
(5) 未既婚の状況	7
(6) 同居している家族	8
(7) 年収	9
2. 仕事、職場等に関する基本情報	10
(1) 従業員数	10
(2) 勤務形態	10
(3) 仕事内容	12
(4) 週当たりの平均労働時間	12
(5) 直近1年間の年次有給休暇の取得日数	13
(6) 役職	14
3. 手助・介護をしている家族の状況	15
(1) 手助・介護をしている家族の続柄	15
(2) 離職者の現在の「手助・介護」の状況	16
(3) 手助・介護をしている家族の続柄：最も時間をかけている人	17
(4) 最も時間をかけて手助・介護している家族の年齢	19
(5) 最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所	20
(6) 最も時間をかけて手助・介護している家族のところへの移動時間	21
(7) 最も時間をかけて手助・介護をしている家族	22
(8) 手助・介護している家族は、何人目の手助・介護か	24
(9) 要介護度・障害程度区分・障害者手帳所持の状況	24

(10) 見守りの必要性	26
(11) 認知症の状況	27
(12) 手助・介護が必要となった主な原因	29
(13) 利用しているサービス	30
(14) 施設入所の手続き期間	32
4. 手助・介護の状況	33
(1) 通算の介護期間	33
(2) 手助・介護の主担当	35
(3) 回答者の手助・介護の頻度	44
(4) 手助・介護に関わる費用で負担しているもの	52
(5) 平均的な1日の時間数	53
5. 仕事と介護の両立に関する制度、相談先	56
(1) 仕事と介護の両立に関する制度等の認知状況等	56
(2) 「手助・介護」に関する相談の状況	59
(3) ケアマネジャーへの自身の仕事と介護の両立についての相談状況	65
(4) 勤務先での支援制度の説明状況	66
(5) 介護について職場の相談しやすさ	72
(6) 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	72
(7) 介護休業に関する考え方	74
(8) 勤務先の両立支援制度の利用状況	75
(9) 制度の利用回数・日数	108
(10) 制度の利用方法	113
(11) 介護休暇制度の時間単位取得	118
(12) 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由	121
(13) 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由	132
(14) 介護休業制度を取得し復職した後、不利益取り扱い（ハラスメントを含む。）を 受けた経験	136
6. 職場での仕事と介護の両立の状況等	137
(1) 仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか	137
(2) 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか	138
(3) 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由	140
(4) 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な 理由	142
(5) 新型コロナウイルスの感染拡大による仕事と介護の両立への影響	144
7. 介護離職・再就職の状況	145
(1) 「手助・介護」を始めてから、「手助・介護」のために仕事を辞めた時までの期間	145

(2) 「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由	145
(3) 仕事を辞める理由となった勤務先の問題	147
(4) 仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか	148
(5) 介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続ける ことができたと思うか	150
(6) どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思うか	151
(7) 仕事を辞める理由となったサービスの問題	152
(8) 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化	153
(9) 「手助・介護」を機に仕事を辞めた後の平均的な1日の過ごし方	154
(10) 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、現在まで、再就職していない理由	155
(11) 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間	156
(12) 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由	157
(13) 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際の働き方等の変化	159
8. 仕事と介護の両立のために臨む制度、現状の問題点	160
(1) 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援	160
(2) 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える職場の取組	163
9. テーマ別	165
(1) 認知症の家族の介護	165
(2) ダブルケア	167
(3) 複数人の介護	170
(4) 要介護の自分の親と回答者の二人暮らし	172

第1章 調査概要

1. 調査目的

労働者の仕事と介護の両立の状況、仕事と介護の両立に関する制度等の認知・利用状況、介護離職の現状・課題、仕事と介護の両立支援制度へのニーズや課題等を把握し、更なる方策等の検討に役立てることを目的として調査を実施する。

2. 調査対象

①正規労働者	・期間を定めずに雇われている労働者。いわゆる正社員。	・現在、「手助・介護」を行っている人 ・現在 20～60 代 ※2018 年 4 月以降に離職した人は含まない	・被介護者には高齢者のほか、障がい児・者なども含まれる。 年齢に限らず、常時介護を必要とする状態にあてはまる場合を対象とする ※以下は対象から除く（①～③は現在、④は離職時） ・業種：公務員 ・就業形態：「自営、フリーランス、日々雇われている者」「その他」
②無期契約労働者	・期間を定めずに雇われている労働者のうち、いわゆる正社員を除く労働者。契約社員、パート、アルバイト等の呼称を問わない。		
③有期契約労働者	・期間を定めて雇用契約を結ぶ直接雇用の労働者。契約社員、パート、アルバイト等の呼称を問わない。		
④離職者	・「手助・介護」を理由に離職した時点で、「手助・介護」を行っていた人 ・現在の「手助・介護」の有無、就業の有無は問わない ・特に断りが無い限り、「④離職者」は、家族の「手助・介護」を理由に辞めた時点のことを把握する ・2018 年 4 月以降に離職した人を対象とする ・「手助・介護」で離職した時点で 20～60 代		

3. 本調査で用いる「手助・介護」の定義

日常生活における入浴・着替え・トイレ・移動・食事などの際に何らかの手助けをすること。なお、具体的には、排せつや入浴等の「身体介助」、施設や遠距離での「介護」に加え、定期的な声掛け（見守り）、食事の支度や掃除、洗濯などの家事、ちょっとした買い物やゴミ出し、通院の送迎や外出の手助け、入退院の手続きや金銭の管理等の手助けも含むこととする。

4. 調査方法

WEB 上でのモニター調査。

5. 調査期間

2021 年 12 月 17 日～12 月 20 日

6. 回収数

	回収目標	回収数
①正規労働者	1,700	1,755
②無期契約労働者	400	437
③有期契約労働者	400	421
④離職者	1,500	945

7. スクリーニング項目

	①正規労働者	②無期契約労働者	③有期契約労働者	④離職者
SQ1. 2018年4月以降（約3年以内）に、家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことはあるか	2. 2018年3月以前（約3年以上前）に、家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことがある 3. 家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことはない			1. 2018年4月以降（約3年以内）に、家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことがある
SQ2. 現在、家族の「手助・介護」を行っているか	1. 行っている			
SQ3. あなたは公務員か	2. 公務員ではない			
SQ4. あなたの就業形態 ※「④離職者」のみ、直近の離職当時の就業形態	※現在 1. 正社員	※現在 2. 非正社員（無期契約：フルタイム） 3. 非正社員（無期契約：パート）	※現在 4. 非正社員（有期契約：フルタイム） 5. 非正社員（有期契約：パート）	※直近の離職時 1. 正社員 2. 非正社員（無期契約：フルタイム） 3. 非正社員（無期契約：パート） 4. 非正社員（有期契約：フルタイム） 5. 非正社員（有期契約：パート）
【④離職者のみ】 SQ5. あなたの現在の就業形態				1. 正社員 2. 非正社員（無期契約：フルタイム） 3. 非正社員（無期契約：パート） 4. 非正社員（有期契約：フルタイム） 5. 非正社員（有期契約：パート） 8. 就業していない
SQ7①. あなたの年齢	20歳以上69歳以下			

8. 有識者ヒアリング

調査票の作成、集計分析の方法等について、有識者2名程度に意見をうかがい、調査項目、比較・分析結果に反映した。

有識者（敬称略）	1回目	2回目
佐藤 博樹 中央大学大学院 経営戦略研究科 教授	9/17	2/4
池田 心豪 独立行政法人労働政策研究・研修機構 働き方と雇用環境部門 主任研究員	9/30	2/7

第2章 集計結果

1. 基本属性等

※「1. 基本属性等」は、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」「離職者」を対象とした設問。

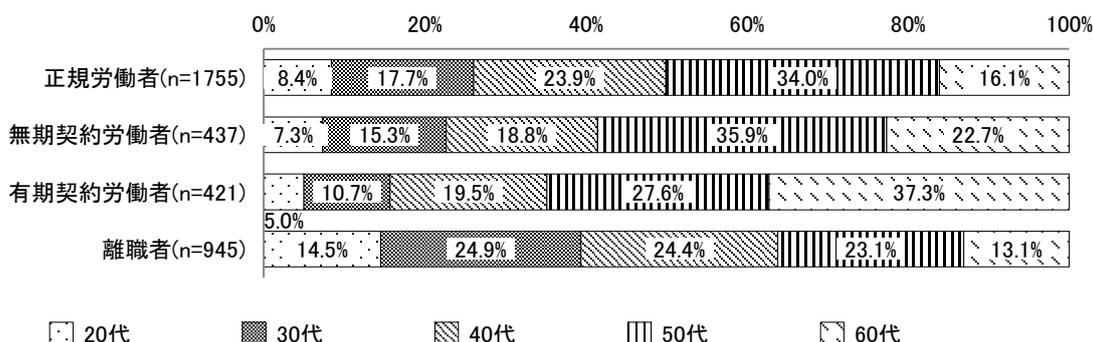
※離職者は断りが無い限り、「手助・介護」を理由に離職した当時の状況。

(1) 回答者の年齢

回答者の年齢をみると、「正規労働者」では、「50代」が34.0%で最も割合が高く、次いで「40代」が23.9%となっている。「無期契約労働者」では、「50代」が35.9%で最も割合が高く、次いで「60代」が22.7%となっている。「有期契約労働者」では、「60代」が37.3%で最も割合が高く、次いで「50代」が27.6%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、「正規労働者」は「20代」が18.1%、「30代」が29.9%、「無期契約労働者」は「50代」が37.6%、「有期契約労働者」は「60代」が30.6%となっている。

図表 1 回答者の年齢:単数回答 (SQ7_1)



図表 2 【離職者】離職時の就業形態別 回答者の年齢:単数回答 (SQ7_1)

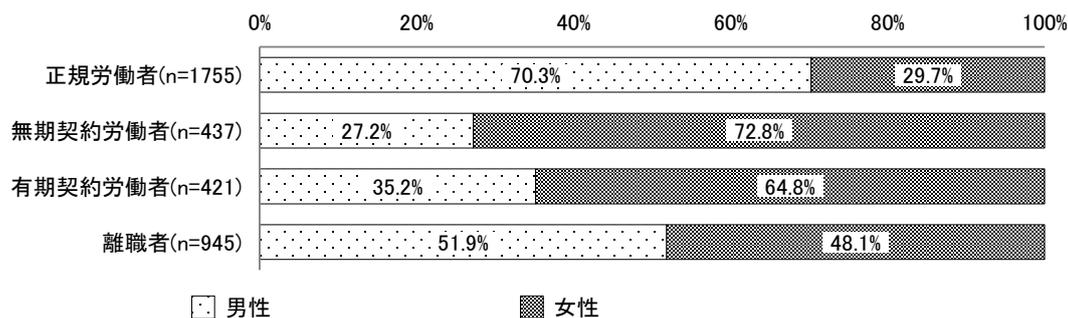
	合計	SQ7_1 年齢				
		20代	30代	40代	50代	60代
全体	945	137	235	231	218	124
	100.0	14.5	24.9	24.4	23.1	13.1
正規労働者	596	108	178	157	106	47
	100.0	18.1	29.9	26.3	17.8	7.9
無期契約労働者	205	19	36	40	77	33
	100.0	9.3	17.6	19.5	37.6	16.1
有期契約労働者	144	10	21	34	35	44
	100.0	6.9	14.6	23.6	24.3	30.6

(2) 回答者の性別

回答者の性別をみると、「正規労働者」では、「男性」が70.3%、「女性」が29.7%となっている。「無期契約労働者」では、「女性」が72.8%、「男性」が27.2%となっている。「有期契約労働者」では、「女性」が64.8%、「男性」が35.2%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、「正規労働者」は「男性」が65.1%、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「女性」がそれぞれ74.1%、66.0%となっている。

図表 3 回答者の性別:単数回答 (SQ10)



図表 4 【離職者】離職時の就業形態別 回答者の性別:単数回答 (SQ10)

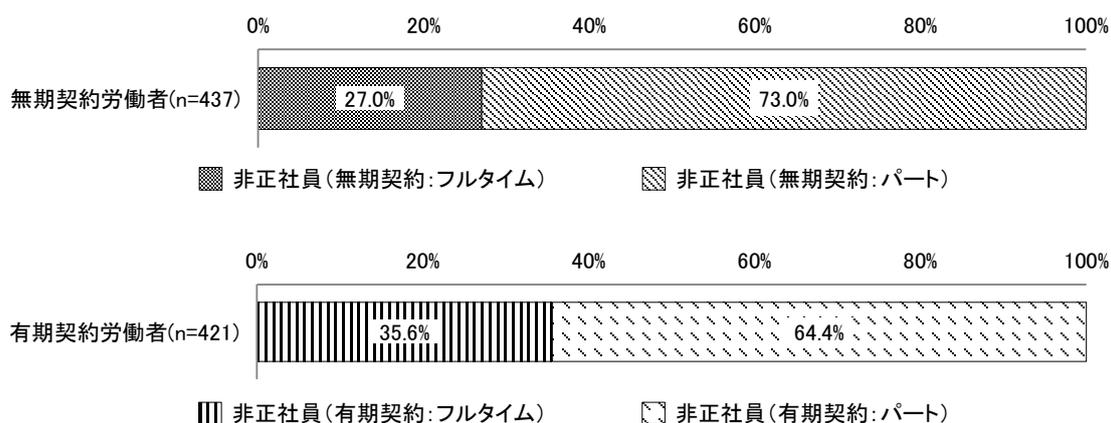
	合計	SQ10. 性別	
		男性	女性
全体	945	490	455
	100.0	51.9	48.1
正規労働者	596	388	208
	100.0	65.1	34.9
無期契約労働者	205	53	152
	100.0	25.9	74.1
有期契約労働者	144	49	95
	100.0	34.0	66.0

(3) 就業形態

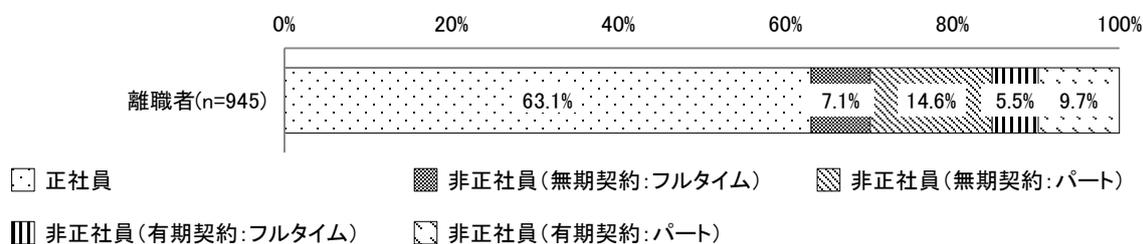
無期契約労働者、有期契約労働者、離職者の就業形態をみると、「無期契約労働者」は、「非正社員（無期契約：パート）」が 73.0%、「非正社員（無期契約：フルタイム）」が 27.0%となっている。「有期契約労働者」は、「非正社員（有期契約：パート）」が 64.4%、「非正社員（有期契約：フルタイム）」が 35.6%となっている。

「離職者」の離職時の就業形態は、「正社員」が 63.1%で最も割合が高く、次いで「非正社員（無期契約：パート）」が 14.6%となっている。

図表 5 就業形態：単数回答（SQ4）



図表 6 離職時の就業形態：単数回答（SQ4）



(4) 都道府県（回答者の住まいの地域）

都道府県（回答者の住まいの地域）をみると、「正規労働者」では、「東京都」が15.6%で最も割合が高く、次いで「大阪府」が8.0%となっている。「無期契約労働者」では、「東京都」が11.9%で最も割合が高く、次いで「大阪府」が8.5%となっている。「有期契約労働者」では、「東京都」が14.0%で最も割合が高く、次いで「愛知県」が9.3%となっている。「離職者」では、「東京都」が20.2%で最も割合が高く、次いで「神奈川県」が9.3%となっている。

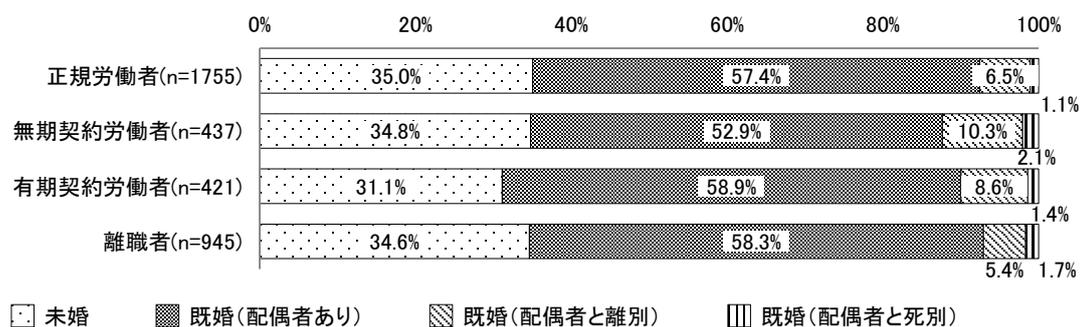
図表 7 都道府県（回答者の住まいの地域）：単数回答（SQ9）

	合計	SQ9. 都道府県（住まいの地域）															
		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
全体	3558 100.0	153 4.3	47 1.3	24 0.7	59 1.7	21 0.6	38 1.1	37 1.0	61 1.7	49 1.4	41 1.2	207 5.8	193 5.4	576 16.2	290 8.2	61 1.7	28 0.8
正規労働者	1755 100.0	69 3.9	28 1.6	14 0.8	29 1.7	4 0.2	22 1.3	22 1.3	34 1.9	27 1.5	24 1.4	102 5.8	90 5.1	274 15.6	135 7.7	28 1.6	9 0.5
無期契約労働者	437 100.0	25 5.7	6 1.4	5 1.1	6 1.4	5 1.1	4 0.9	5 1.1	4 0.9	4 0.9	5 1.1	22 5.0	21 4.8	52 11.9	36 8.2	4 0.9	2 0.5
有期契約労働者	421 100.0	19 4.5	3 0.7	0 0.0	9 2.1	3 0.7	4 1.0	2 0.5	7 1.7	7 1.7	3 0.7	27 6.4	25 5.9	59 14.0	31 7.4	12 2.9	4 1.0
離職者	945 100.0	40 4.2	10 1.1	5 0.5	15 1.6	9 1.0	8 0.8	8 0.8	16 1.7	11 1.2	9 1.0	56 6.0	57 6.0	191 20.2	88 9.3	17 1.8	13 1.4
	合計	SQ9. 都道府県（住まいの地域）															
		石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
全体	3558 100.0	27 0.8	15 0.4	19 0.5	56 1.6	50 1.4	96 2.7	235 6.6	29 0.8	39 1.1	105 3.0	280 7.9	159 4.5	49 1.4	18 0.5	17 0.5	16 0.4
正規労働者	1755 100.0	16 0.9	9 0.5	7 0.4	29 1.7	28 1.6	45 2.6	110 6.3	18 1.0	16 0.9	56 3.2	141 8.0	92 5.2	20 1.1	8 0.5	7 0.4	5 0.3
無期契約労働者	437 100.0	5 1.1	2 0.5	3 0.7	12 2.7	4 0.9	12 2.7	28 6.4	5 1.1	7 1.6	11 2.5	37 8.5	18 4.1	7 1.6	3 0.7	3 0.7	2 0.5
有期契約労働者	421 100.0	2 0.5	3 0.7	5 1.2	7 1.7	4 1.0	15 3.6	39 9.3	2 0.5	7 1.7	11 2.6	26 6.2	19 4.5	7 1.7	3 0.7	4 1.0	2 0.5
離職者	945 100.0	4 0.4	1 0.1	4 0.4	8 0.8	14 1.5	24 2.5	58 6.1	4 0.4	9 1.0	27 2.9	76 8.0	30 3.2	15 1.6	4 0.4	3 0.3	7 0.7
	合計	SQ9. 都道府県（住まいの地域）															
		岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
全体	3558 100.0	37 1.0	70 2.0	26 0.7	18 0.5	19 0.5	24 0.7	12 0.3	116 3.3	13 0.4	24 0.7	27 0.8	18 0.5	14 0.4	22 0.6	23 0.6	
正規労働者	1755 100.0	20 1.1	32 1.8	15 0.9	11 0.6	6 0.3	10 0.6	4 0.2	61 3.5	8 0.5	13 0.7	14 0.8	10 0.6	6 0.3	12 0.7	15 0.9	
無期契約労働者	437 100.0	4 0.9	15 3.4	3 0.7	5 1.1	2 0.5	7 1.6	3 0.7	15 3.4	1 0.2	3 0.7	5 1.1	1 0.2	4 0.9	1 0.2	3 0.7	
有期契約労働者	421 100.0	6 1.4	5 1.2	4 1.0	0 0.0	2 0.5	3 0.7	1 0.2	12 2.9	1 0.2	4 1.0	3 0.7	1 0.2	1 0.2	5 1.2	2 0.5	
離職者	945 100.0	7 0.7	18 1.9	4 0.4	2 0.2	9 1.0	4 0.4	4 0.4	28 3.0	3 0.3	4 0.4	5 0.5	6 0.6	3 0.3	4 0.4	3 0.3	

(5) 未既婚の状況

未既婚の状況をみると（事実婚を含む）、「正規労働者」では、「既婚（配偶者あり）」が57.4%で最も割合が高く、次いで「未婚」が35.0%となっている。「無期契約労働者」では、「既婚（配偶者あり）」が52.9%で最も割合が高く、次いで「未婚」が34.8%となっている。「有期契約労働者」では、「既婚（配偶者あり）」が58.9%で最も割合が高く、次いで「未婚」が31.1%となっている。「離職者」では、「既婚（配偶者あり）」が58.3%で最も割合が高く、次いで「未婚」が34.6%となっている。

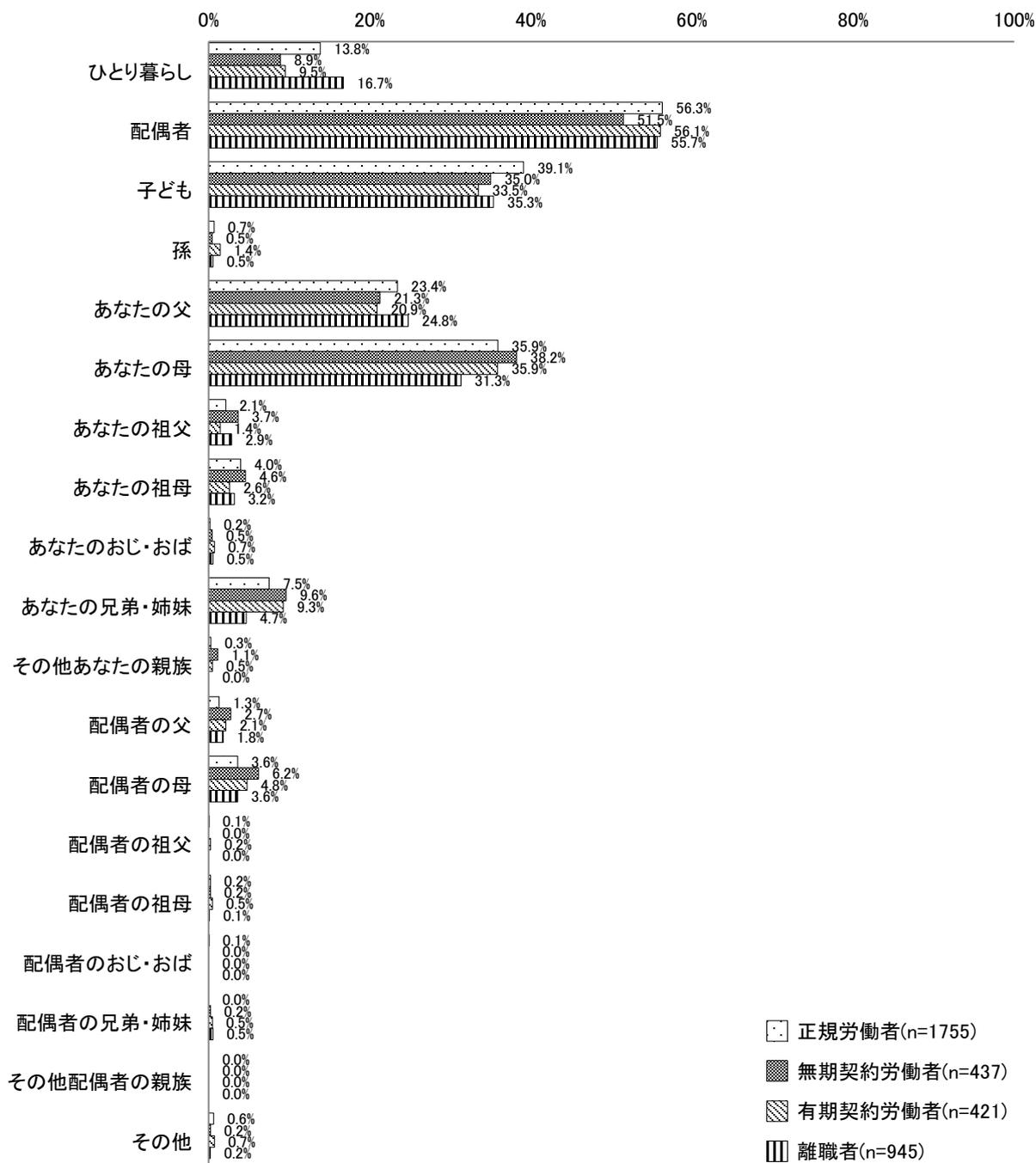
図表 8 未既婚の状況：単数回答（Q7）



(6) 同居している家族

同居している家族をみると、「正規労働者」では、「配偶者」が56.3%で最も割合が高く、次いで「子ども」が39.1%となっている。「無期契約労働者」では、「配偶者」が51.5%で最も割合が高く、次いで「あなたの母」が38.2%となっている。「有期契約労働者」では、「配偶者」が56.1%で最も割合が高く、次いで「あなたの母」が35.9%となっている。「離職者」では、「配偶者」が55.7%で最も割合が高く、次いで「子ども」が35.3%となっている。

図表 9 同居している家族:複数回答 (Q8)

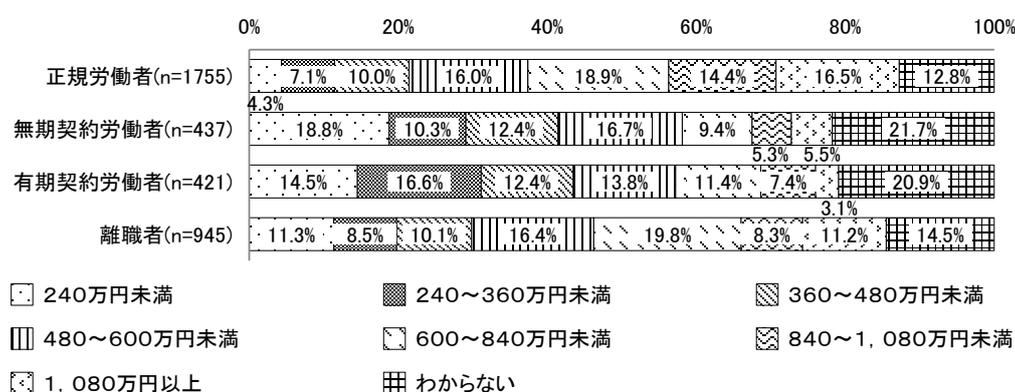


(7) 年収

①世帯年収

世帯年収をみると、「正規労働者」では、「600～840万円未満」が18.9%で最も割合が高く、次いで「1,080万円以上」が16.5%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が21.7%で最も割合が高く、次いで「240万円未満」が18.8%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が20.9%で最も割合が高く、次いで「240～360万円未満」が16.6%となっている。「離職者」では、「600～840万円未満」が19.8%で最も割合が高く、次いで「480～600万円未満」が16.4%となっている。

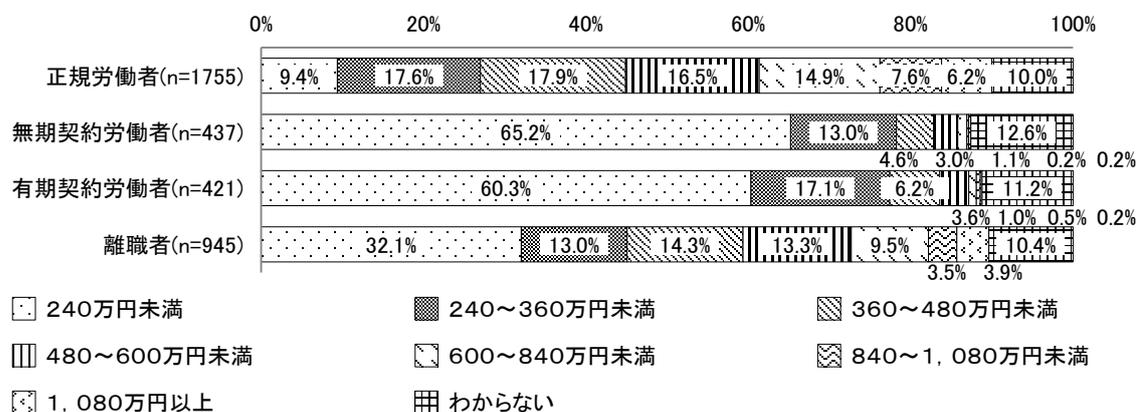
図表 10 世帯年収:単数回答 (Q9_1)



②回答者の年収

回答者の年収をみると、「正規労働者」では、「360～480万円未満」が17.9%で最も割合が高く、次いで「240～360万円未満」が17.6%となっている。「無期契約労働者」では、「240万円未満」が65.2%で最も割合が高く、次いで「240～360万円未満」が13.0%となっている。「有期契約労働者」では、「240万円未満」が60.3%で最も割合が高く、次いで「240～360万円未満」が17.1%となっている。「離職者」では、「240万円未満」が32.1%で最も割合が高く、次いで「360～480万円未満」が14.3%となっている。

図表 11 回答者の年収:単数回答 (Q9_2)



2. 仕事、職場等に関する基本情報

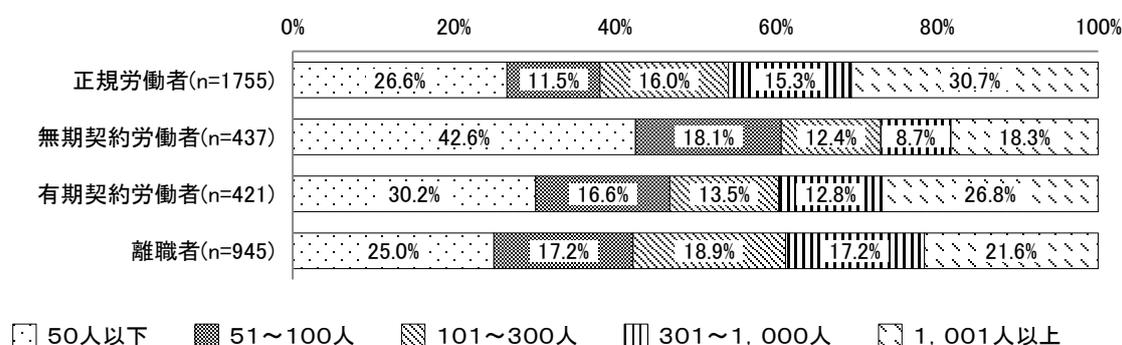
※「2. 仕事、職場等に関する基本情報」は、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」「離職者」を対象とした設問。

※離職者は断りが無い限り、「手助・介護」を理由に離職した当時の状況。

(1) 従業員数

従業員数をみると、「正規労働者」では、「1,001人以上」が30.7%で最も割合が高く、次いで「50人以下」が26.6%となっている。「無期契約労働者」では、「50人以下」が42.6%で最も割合が高く、次いで「1,001人以上」が18.3%となっている。「有期契約労働者」では、「50人以下」が30.2%で最も割合が高く、次いで「1,001人以上」が26.8%となっている。「離職者」では、「50人以下」が25.0%で最も割合が高く、次いで「1,001人以上」が21.6%となっている。

図表 12 従業員数:単数回答 (Q1)

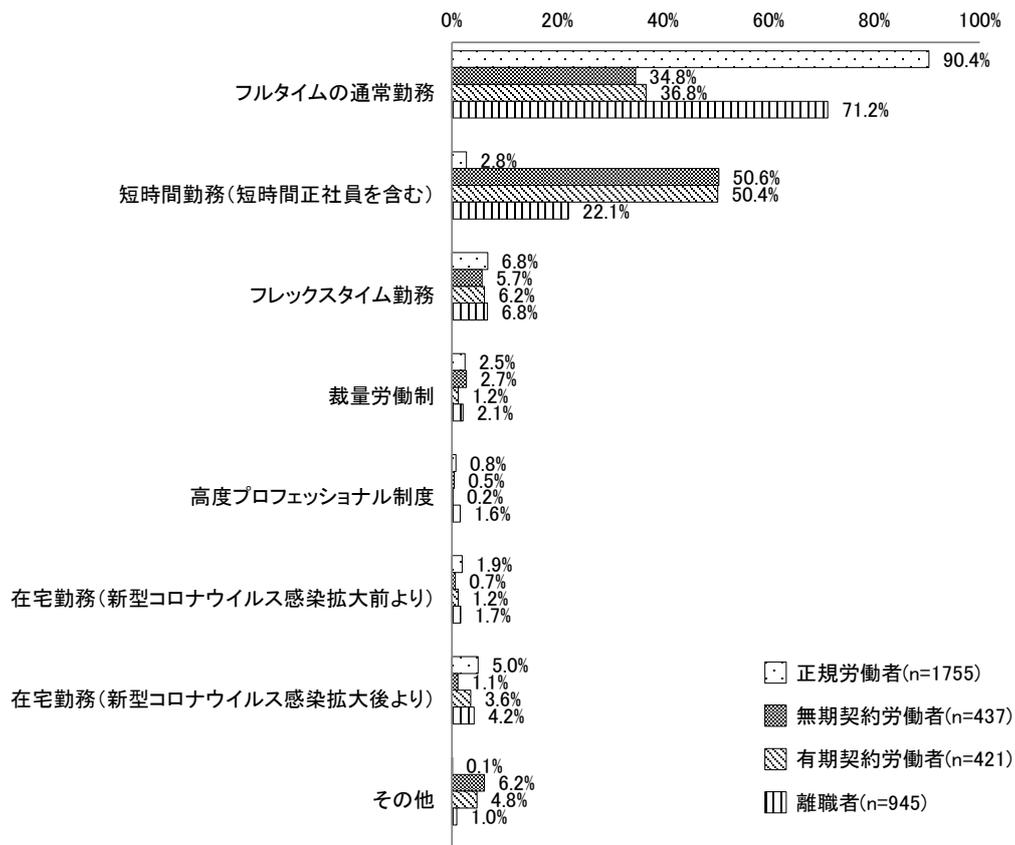


(2) 勤務形態

勤務形態をみると、「正規労働者」では、「フルタイムの通常勤務」が90.4%で最も割合が高く、次いで「フレックスタイム勤務」が6.8%となっている。「無期契約労働者」では、「短時間勤務（短時間正社員を含む）」が50.6%で最も割合が高く、次いで「フルタイムの通常勤務」が34.8%となっている。「有期契約労働者」では、「短時間勤務（短時間正社員を含む）」が50.4%で最も割合が高く、次いで「フルタイムの通常勤務」が36.8%となっている。「離職者」では、「フルタイムの通常勤務」が71.2%で最も割合が高く、次いで「短時間勤務（短時間正社員を含む）」が22.1%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、「正規労働者」は「フルタイムの通常勤務」が88.4%、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「短時間勤務（短時間正社員を含む）」がそれぞれ47.8%、44.4%となっている。

図表 13 勤務形態:複数回答 (Q3)



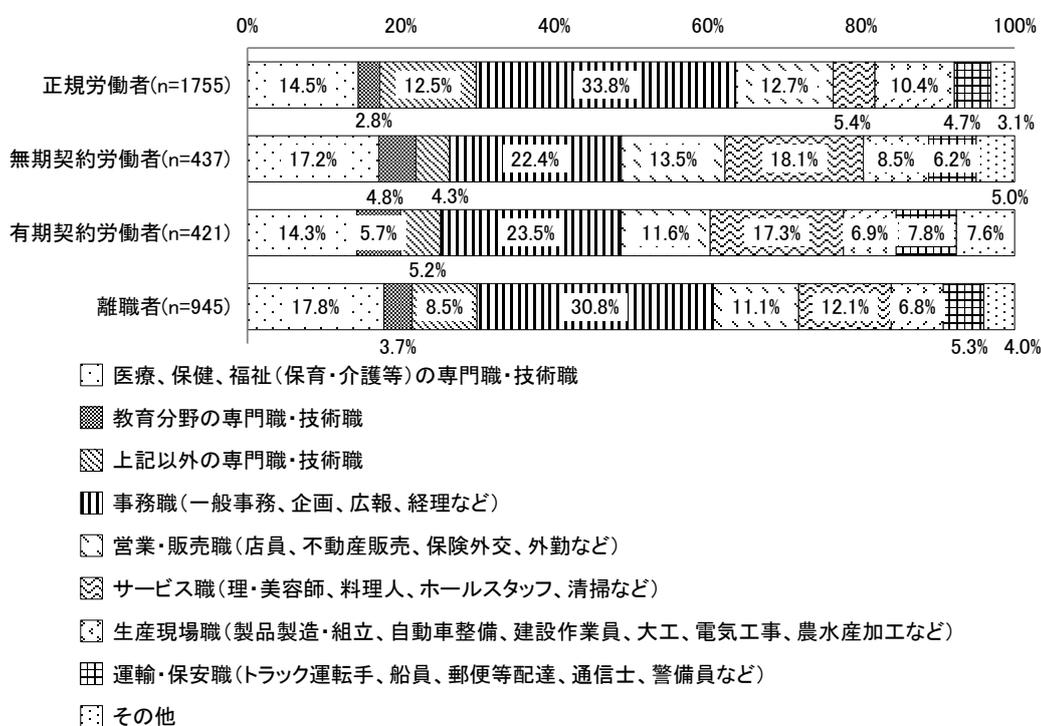
図表 14 【離職者】離職時の就業形態別 勤務形態:複数回答 (Q3)

	合計	Q3. 勤務形態							
		フルタイムの通常勤務	短時間勤務(短時間正社員を含む)	フレックスタイム勤務	裁量労働制	高度プロフェッショナル制度	在宅勤務(新型コロナウイルス感染拡大前より)	在宅勤務(新型コロナウイルス感染拡大後より)	その他
全体	945	673	209	64	20	15	16	40	9
	100.0	71.2	22.1	6.8	2.1	1.6	1.7	4.2	1.0
正規労働者	596	527	47	40	16	10	9	30	1
	100.0	88.4	7.9	6.7	2.7	1.7	1.5	5.0	0.2
無期契約労働者	205	86	98	12	2	3	4	8	3
	100.0	42.0	47.8	5.9	1.0	1.5	2.0	3.9	1.5
有期契約労働者	144	60	64	12	2	2	3	2	5
	100.0	41.7	44.4	8.3	1.4	1.4	2.1	1.4	3.5

(3) 仕事内容

仕事内容をみると、「正規労働者」では、「事務職（一般事務、企画、広報、経理など）」が 33.8% で最も割合が高く、次いで「医療、保健、福祉（保育・介護等）の専門職・技術職」が 14.5% となっている。「無期契約労働者」では、「事務職（一般事務、企画、広報、経理など）」が 22.4% で最も割合が高く、次いで「サービス職（理・美容師、料理人、ホールスタッフ、清掃など）」が 18.1% となっている。「有期契約労働者」では、「事務職（一般事務、企画、広報、経理など）」が 23.5% で最も割合が高く、次いで「サービス職（理・美容師、料理人、ホールスタッフ、清掃など）」が 17.3% となっている。「離職者」では、「事務職（一般事務、企画、広報、経理など）」が 30.8% で最も割合が高く、次いで「医療、保健、福祉（保育・介護等）の専門職・技術職」が 17.8% となっている。

図表 15 仕事内容：単数回答（Q4）

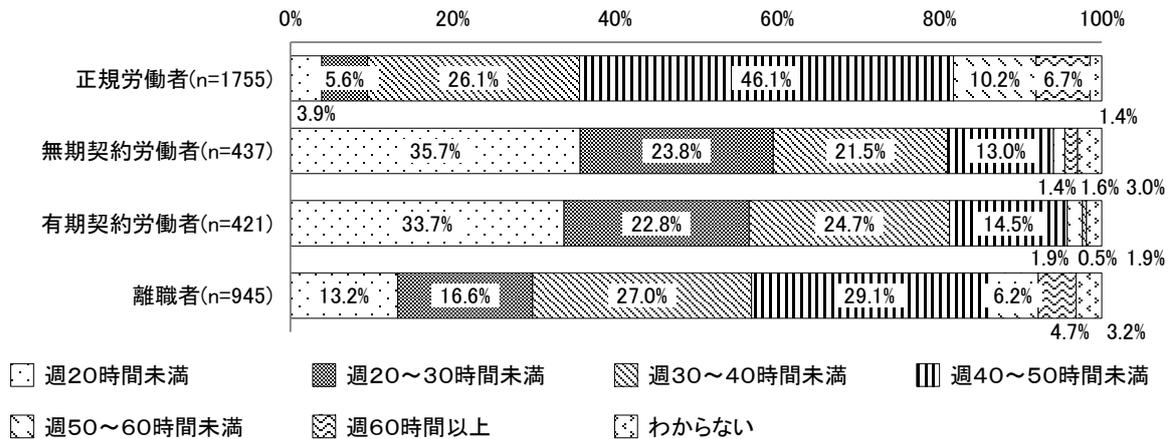


(4) 週当たりの平均労働時間

週当たりの平均労働時間をみると（残業を含む）、「正規労働者」では、「週 40～50 時間未満」が 46.1% で最も割合が高く、次いで「週 30～40 時間未満」が 26.1% となっている。「無期契約労働者」では、「週 20 時間未満」が 35.7% で最も割合が高く、次いで「週 20～30 時間未満」が 23.8% となっている。「有期契約労働者」では、「週 20 時間未満」が 33.7% で最も割合が高く、次いで「週 30～40 時間未満」が 24.7% となっている。「離職者」では、「週 40～50 時間未満」が 29.1% で最も割合が高く、次いで「週 30～40 時間未満」が 27.0% となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、「正規労働者」は「週 40～50 時間未満」が 37.9%、「無期契約労働者」は「週 20 時間未満」が 22.9%、「週 20～30 時間未満」が 30.7%、「有期契約労働者」は「週 20 時間未満」が 26.4%、「週 20～30 時間未満」が 24.3% となっている。

図表 16 週当たりの平均労働時間:単数回答 (Q5)



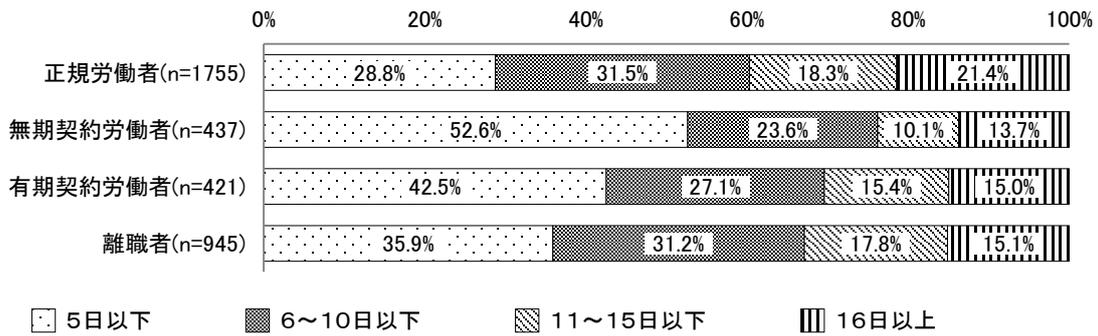
図表 17 【離職者】離職時の就業形態別 週当たりの平均労働時間:単数回答 (Q5)

	合計	Q5. 週当たりの平均労働時間						
		週 20 時間未満	週 20～30 時間未満	週 30～40 時間未満	週 40～50 時間未満	週 50～60 時間未満	週 60 時間以上	わからない
全体	945	125	157	255	275	59	44	30
	100.0	13.2	16.6	27.0	29.1	6.2	4.7	3.2
正規労働者	596	40	59	165	226	55	35	16
	100.0	6.7	9.9	27.7	37.9	9.2	5.9	2.7
無期契約労働者	205	47	63	44	35	4	5	7
	100.0	22.9	30.7	21.5	17.1	2.0	2.4	3.4
有期契約労働者	144	38	35	46	14	0	4	7
	100.0	26.4	24.3	31.9	9.7	0.0	2.8	4.9

(5) 直近1年間の年次有給休暇の取得日数

直近1年間の年次有給休暇の取得日数をみると、「正規労働者」では、「6～10日以下」が31.5%で最も割合が高く、次いで「5日以下」が28.8%となっている。「無期契約労働者」では、「5日以下」が52.6%で最も割合が高く、次いで「6～10日以下」が23.6%となっている。「有期契約労働者」では、「5日以下」が42.5%で最も割合が高く、次いで「6～10日以下」が27.1%となっている。「離職者」では、「5日以下」が35.9%で最も割合が高く、次いで「6～10日以下」が31.2%となっている。

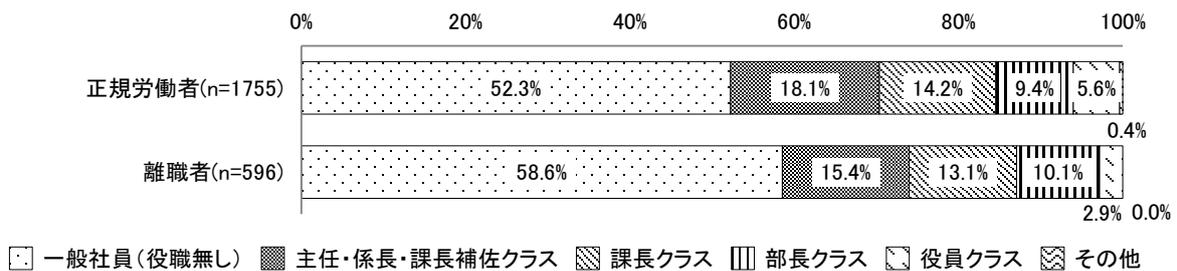
図表 18 直近1年間の年次有給休暇の取得日数:単数回答 (Q6)



(6) 役職

正規労働者について役職をみると、「正規労働者」では、「一般社員（役職無し）」が52.3%で最も割合が高く、次いで「主任・係長・課長補佐クラス」が18.1%となっている。「離職者（離職時・正規労働者）」では、「一般社員（役職無し）」が58.6%で最も割合が高く、次いで「主任・係長・課長補佐クラス」が15.4%となっている。

図表 19 【正規労働者、離職者：離職時・正規労働者】役職:単数回答 (Q2)



3. 手助・介護をしている家族の状況

※「3. 手助・介護をしている家族の状況」は、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」「離職者」を対象とした設問。

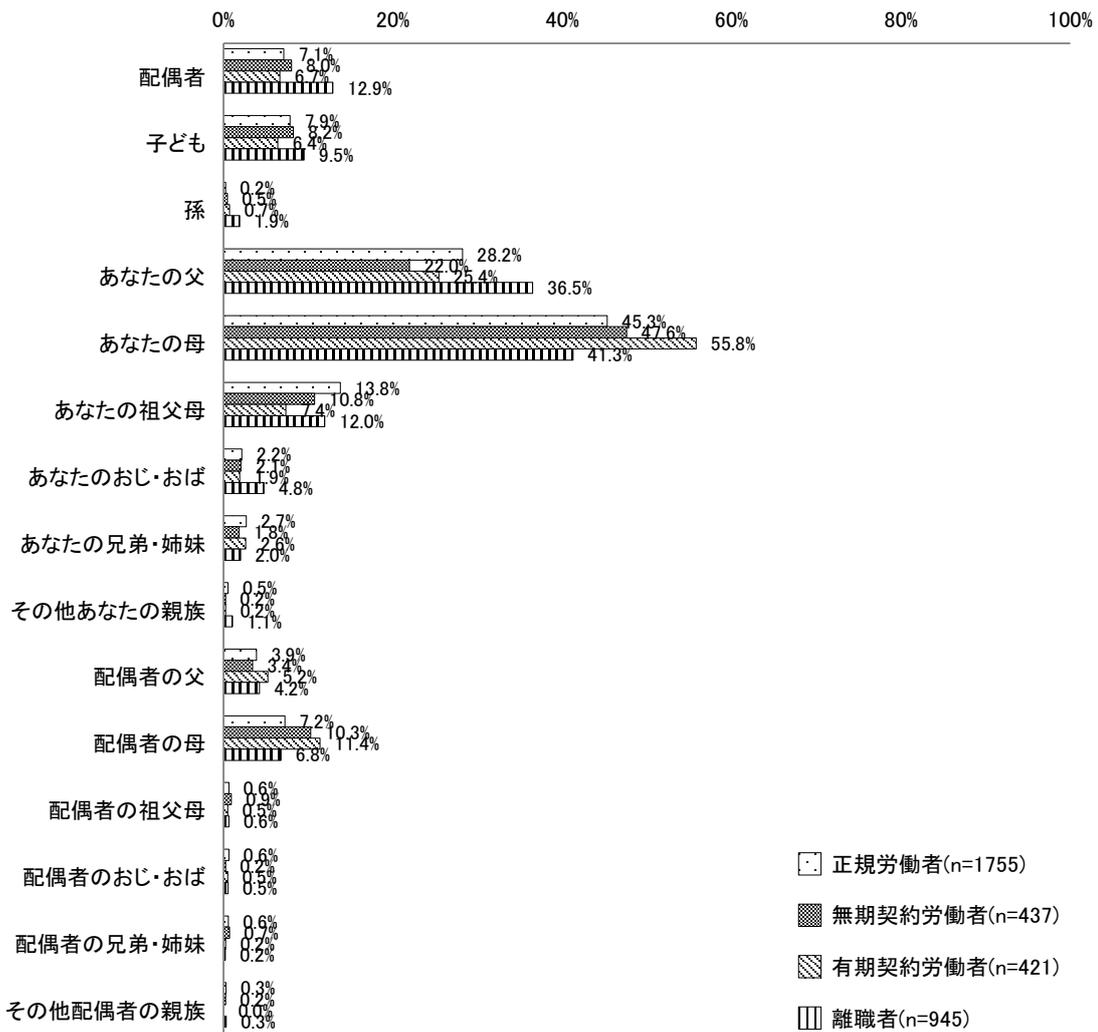
※離職者は断りが無い限り、「手助・介護」を理由に離職した当時の状況。

(1) 手助・介護をしている家族の続柄

回答者が手助・介護をしている家族の続柄をみると、「正規労働者」では、「あなたの母」が45.3%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が28.2%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたの母」が47.6%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が22.0%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたの母」が55.8%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が25.4%となっている。「離職者」では、「あなたの母」が41.3%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が36.5%となっている。

正規労働者について、年齢別にみると、全体と比較して、「20代」「30代」は「あなたの祖父母」、「50代」「60代」は「あなたの母」の割合が高くなっている。

図表 20 手助・介護をしている家族の続柄:複数回答 (SQ6_1)



図表 21 【正規労働者】年齢別 手助・介護をしている家族の続柄:複数回答 (SQ6_1)

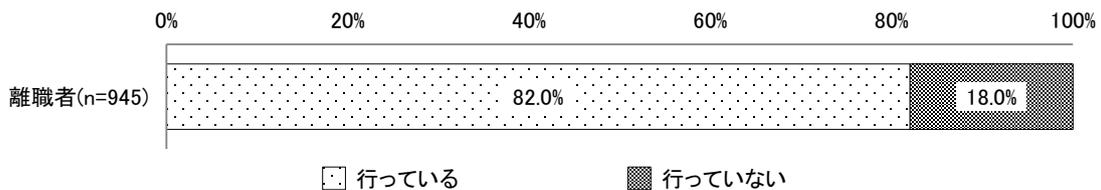
	合計	SQ6_1. 手助・介護をしている家族の続柄							
		配偶者	子ども	孫	あなたの父	あなたの母	あなたの祖父母	あなたのおじ・おば	あなたの兄弟・姉妹
全体	1755 100.0	125 7.1	138 7.9	4 0.2	495 28.2	795 45.3	242 13.8	38 2.2	47 2.7
20代	147 100.0	10 6.8	11 7.5	0 0.0	20 13.6	22 15.0	82 55.8	12 8.2	7 4.8
30代	310 100.0	32 10.3	45 14.5	3 1.0	80 25.8	76 24.5	115 37.1	10 3.2	15 4.8
40代	419 100.0	23 5.5	37 8.8	1 0.2	146 34.8	178 42.5	39 9.3	9 2.1	7 1.7
50代	596 100.0	41 6.9	34 5.7	0 0.0	200 33.6	340 57.0	5 0.8	5 0.8	10 1.7
60代	283 100.0	19 6.7	11 3.9	0 0.0	49 17.3	179 63.3	1 0.4	2 0.7	8 2.8

	合計	SQ6_1. 手助・介護をしている家族の続柄						
		その他あなたの親族	配偶者の父	配偶者の母	配偶者の祖父母	配偶者のおじ・おば	配偶者の兄弟・姉妹	その他配偶者の親族
全体	1755 100.0	9 0.5	68 3.9	127 7.2	11 0.6	11 0.6	10 0.6	5 0.3
20代	437 100.0	1 0.2	15 3.4	45 10.3	4 0.9	1 0.2	3 0.7	1 0.2
30代	421 100.0	1 0.2	22 5.2	48 11.4	2 0.5	2 0.5	1 0.2	0 0.0
40代	945 100.0	10 1.1	40 4.2	64 6.8	6 0.6	5 0.5	2 0.2	3 0.3
50代	1755 100.0	9 0.5	68 3.9	127 7.2	11 0.6	11 0.6	10 0.6	5 0.3
60代	437 100.0	1 0.2	15 3.4	45 10.3	4 0.9	1 0.2	3 0.7	1 0.2

(2) 離職者の現在の「手助・介護」の状況

離職者の現在の「手助・介護」の状況を見ると、「行っている」が82.0%、「行っていない」が18.0%となっている。

図表 22 【離職者】現在の「手助・介護」の状況:単数回答 (SQ2)

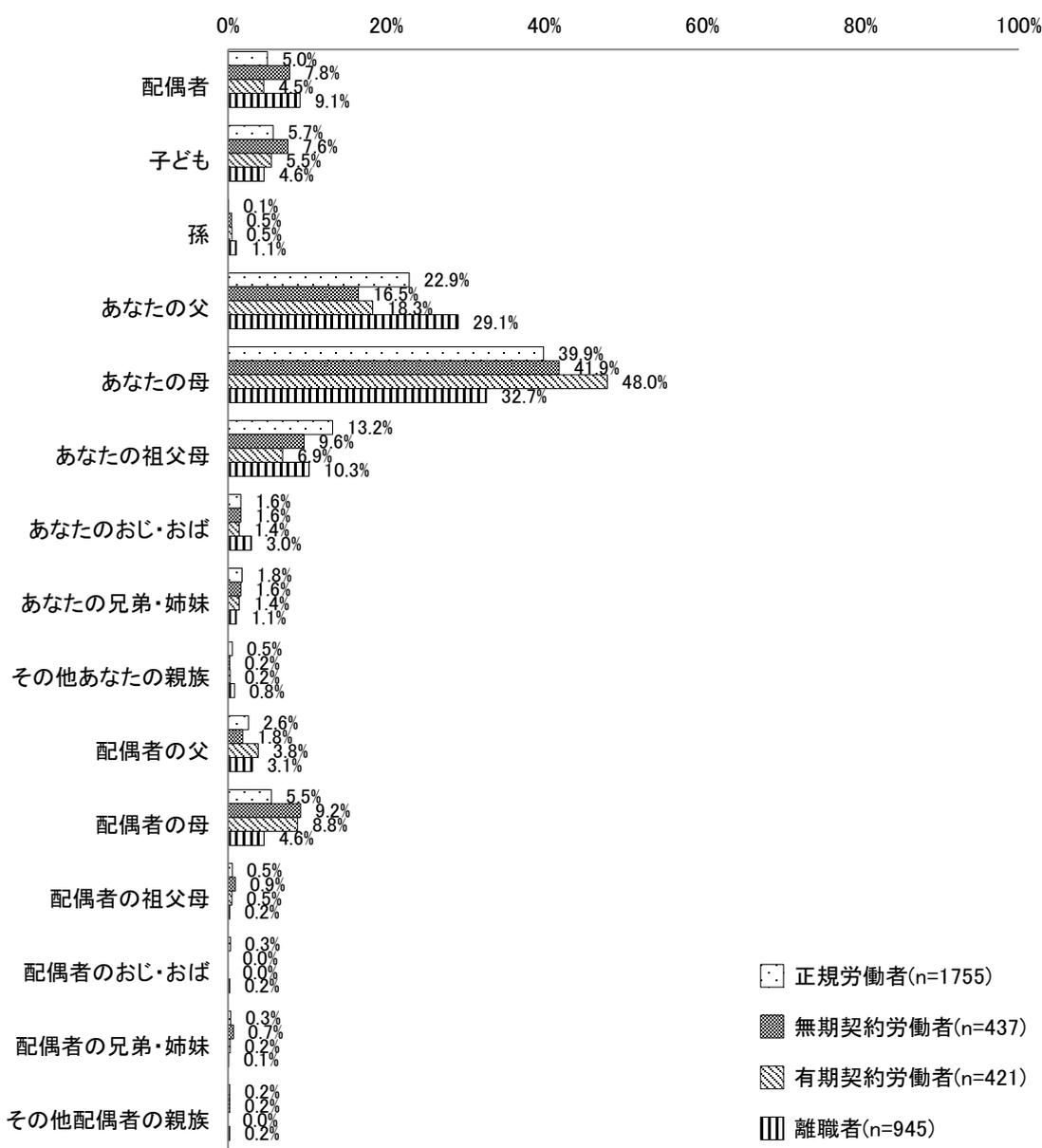


(3) 手助・介護をしている家族の続柄：最も時間をかけている人

回答者が手助・介護をしている家族のうち、最も時間をかけて手助・介護をしている人の続柄をみると、「正規労働者」では、「あなたの母」が39.9%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が22.9%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたの母」が41.9%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が16.5%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたの母」が48.0%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が18.3%となっている。「離職者」では、「あなたの母」が32.7%で最も割合が高く、次いで「あなたの父」が29.1%となっている。

正規労働者について、年齢別にみると、全体と比較して、「20代」「30代」は「あなたの祖父母」、「50代」「60代」は「あなたの母」の割合が高くなっている。

図表 23 手助・介護をしている家族の続柄：最も時間をかけている人：単数回答 (SQ6_2)



図表 24 【正規労働者】年齢別

手助・介護をしている家族の続柄：最も時間をかけている人：単数回答（SQ6_2）

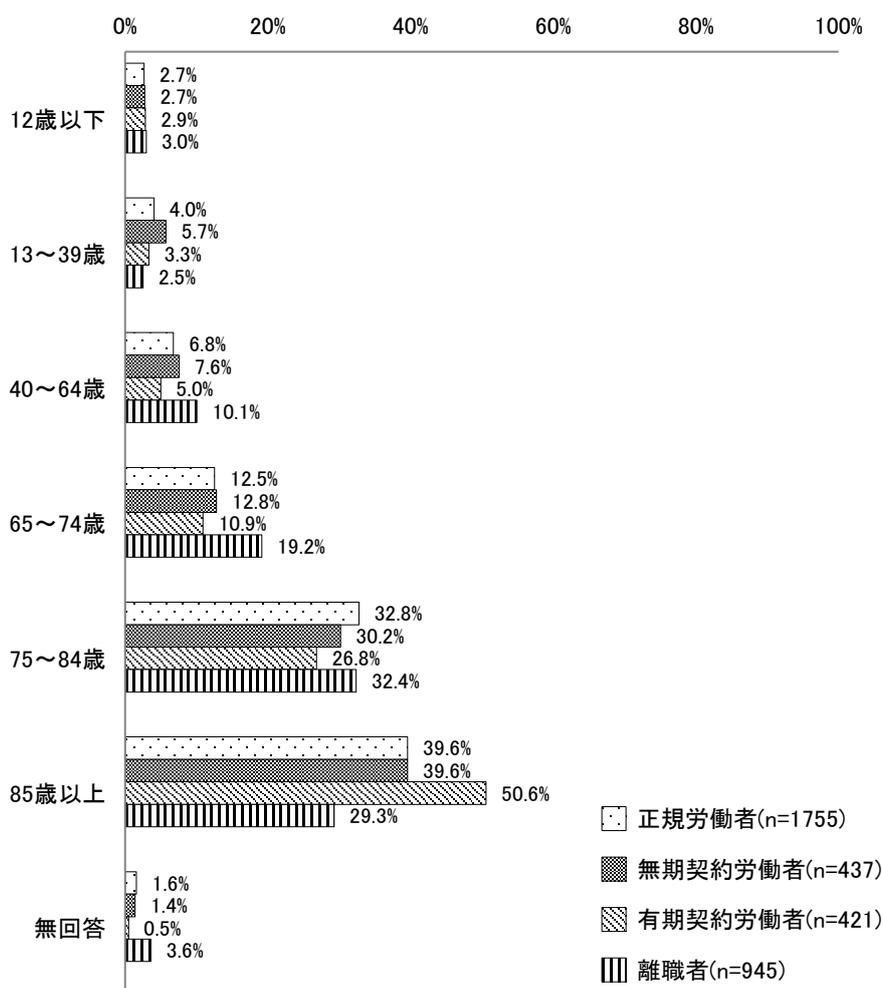
	合計	SQ6_2. 手助・介護をしている家族の続柄：最も時間をかけている人							
		配偶者	子ども	孫	あなたの父	あなたの母	あなたの祖父母	あなたのおじ・おば	あなたの兄弟・姉妹
全体	1755 100.0	87 5.0	100 5.7	1 0.1	402 22.9	700 39.9	232 13.2	28 1.6	31 1.8
20代	147 100.0	7 4.8	6 4.1	0 0.0	15 10.2	21 14.3	80 54.4	10 6.8	4 2.7
30代	310 100.0	15 4.8	29 9.4	0 0.0	65 21.0	57 18.4	109 35.2	7 2.3	9 2.9
40代	419 100.0	17 4.1	33 7.9	1 0.2	120 28.6	156 37.2	37 8.8	8 1.9	5 1.2
50代	596 100.0	31 5.2	25 4.2	0 0.0	162 27.2	305 51.2	5 0.8	2 0.3	7 1.2
60代	283 100.0	17 6.0	7 2.5	0 0.0	40 14.1	161 56.9	1 0.4	1 0.4	6 2.1

	合計	SQ6_2. 手助・介護をしている家族の続柄：最も時間をかけている人						
		その他あなたの親族	配偶者の父	配偶者の母	配偶者の祖父母	配偶者のおじ・おば	配偶者の兄弟・姉妹	その他配偶者の親族
全体	1755 100.0	9 0.5	45 2.6	96 5.5	9 0.5	5 0.3	6 0.3	4 0.2
20代	147 100.0	1 0.7	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	0 0.0
30代	310 100.0	2 0.6	4 1.3	7 2.3	4 1.3	0 0.0	0 0.0	2 0.6
40代	419 100.0	1 0.2	16 3.8	19 4.5	4 1.0	0 0.0	2 0.5	0 0.0
50代	596 100.0	3 0.5	15 2.5	36 6.0	0 0.0	3 0.5	0 0.0	2 0.3
60代	283 100.0	2 0.7	9 3.2	34 12.0	1 0.4	2 0.7	2 0.7	0 0.0

(4) 最も時間をかけて手助・介護している家族の年齢

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の年齢をみると、「正規労働者」では、「85歳以上」が39.6%で最も割合が高く、次いで「75～84歳」が32.8%となっている。「無期契約労働者」では、「85歳以上」が39.6%で最も割合が高く、次いで「75～84歳」が30.2%となっている。「有期契約労働者」では、「85歳以上」が50.6%で最も割合が高く、次いで「75～84歳」が26.8%となっている。「離職者」では、「75～84歳」が32.4%で最も割合が高く、次いで「85歳以上」が29.3%となっている。

図表 25 手助・介護が必要な家族の年齢:数値回答 (SQ7_2)

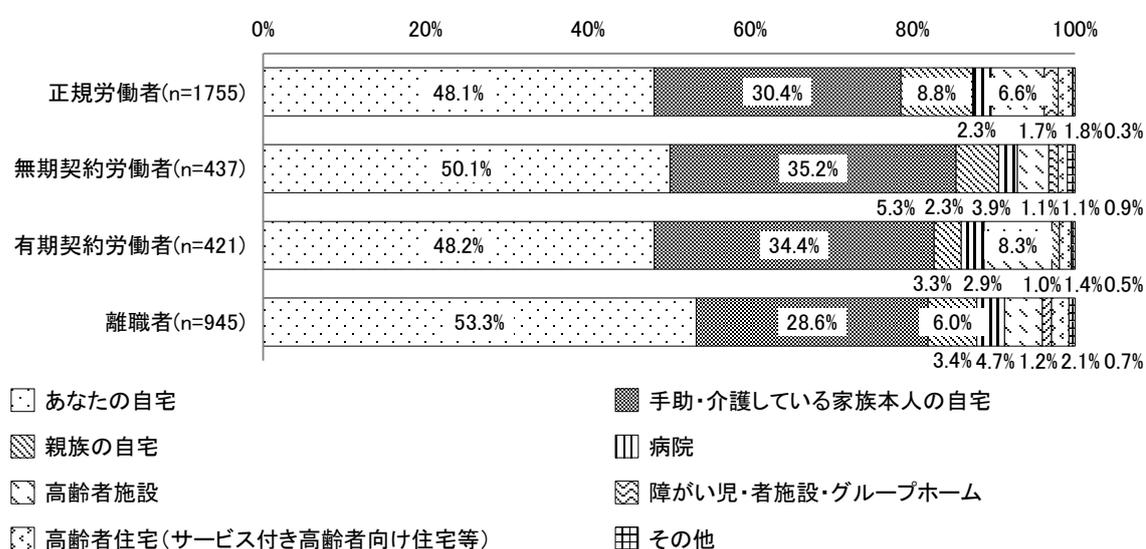


(5) 最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所をみると、「正規労働者」では、「あなたの自宅」が48.1%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族本人の自宅」が30.4%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたの自宅」が50.1%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族本人の自宅」が35.2%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたの自宅」が48.2%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族本人の自宅」が34.4%となっている。「離職者」では、「あなたの自宅」が53.3%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族本人の自宅」が28.6%となっている。

正規労働者について、最も時間をかけて手助・介護している家族の要介護度別にみると、「要介護3～5」で「あなたの自宅」は41.7%となっている。

図表 26 最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所:単数回答 (Q10)



図表 27 【正規労働者】最も時間をかけて手助・介護している家族の要介護度別

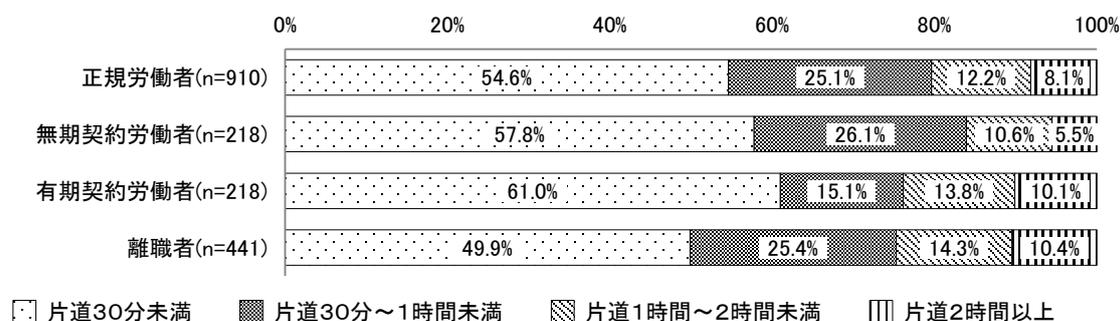
最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所:単数回答 (Q10)

	合計	Q10. 最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所								
		あなたの自宅	手助・介護している家族本人の自宅	親族の自宅	病院	高齢者施設	障がい児・者施設・グループホーム	高齢者住宅(サービス付き高齢者向け住宅等)	その他	
全体	1755 100.0	845 48.1	534 30.4	155 8.8	40 2.3	115 6.6	30 1.7	31 1.8	5 0.3	
Q14_1. ①要介護度	要支援1・2	365 100.0	170 46.6	131 35.9	38 10.4	4 1.1	14 3.8	4 1.1	4 1.1	0 0.0
	要介護1・2	441 100.0	214 48.5	148 33.6	42 9.5	5 1.1	24 5.4	3 0.7	5 1.1	0 0.0
	要介護3～5	460 100.0	192 41.7	111 24.1	31 6.7	16 3.5	72 15.7	18 3.9	19 4.1	1 0.2
	申請中、非該当	145 100.0	87 60.0	41 28.3	14 9.7	1 0.7	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0
	申請していない	223 100.0	125 56.1	73 32.7	17 7.6	6 2.7	2 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	わからない	121 100.0	57 47.1	30 24.8	13 10.7	8 6.6	3 2.5	3 2.5	3 2.5	4 3.3

(6) 最も時間をかけて手助・介護している家族のところへの移動時間

回答者の自宅から最も時間をかけて手助・介護している家族のところへ、日常的な手段(電車、自動車、飛行機など)で移動するとした場合の移動時間をみると、「正規労働者」では、「片道30分未満」が54.6%で最も割合が高く、次いで「片道30分～1時間未満」が25.1%となっている。「無期契約労働者」では、「片道30分未満」が57.8%で最も割合が高く、次いで「片道30分～1時間未満」が26.1%となっている。「有期契約労働者」では、「片道30分未満」が61.0%で最も割合が高く、次いで「片道30分～1時間未満」が15.1%となっている。「離職者」では、「片道30分未満」が49.9%で最も割合が高く、次いで「片道30分～1時間未満」が25.4%となっている。

図表 28 最も時間をかけて手助・介護している家族のところへの移動時間:単数回答 (Q11)

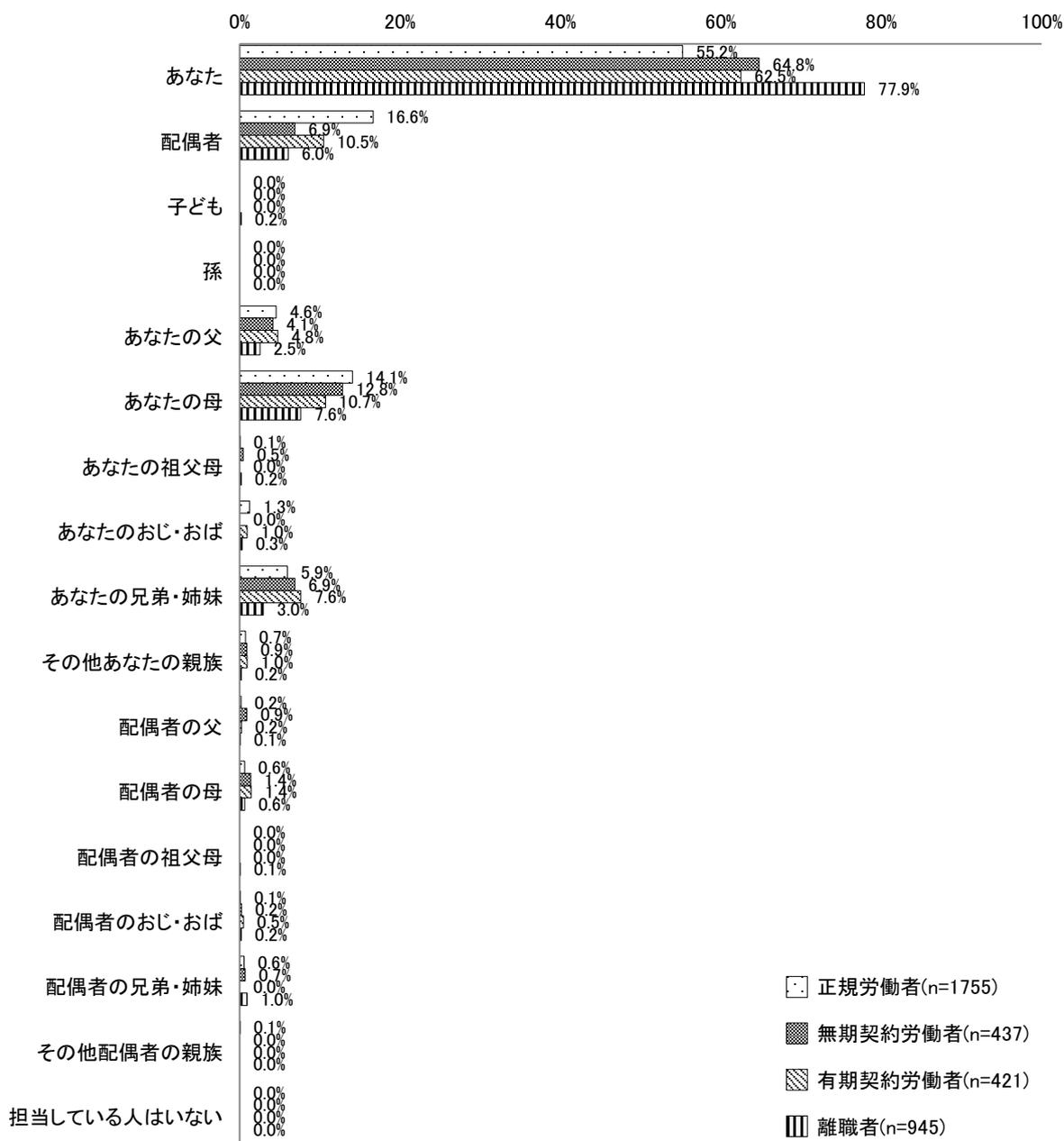


(7) 最も時間をかけて手助・介護をしている家族

①主に担当している人

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族について、手助・介護を主に担当している人を見ると、「正規労働者」では、「あなた」が55.2%で最も割合が高く、次いで「配偶者」が16.6%となっている。「無期契約労働者」では、「あなた」が64.8%で最も割合が高く、次いで「あなたの母」が12.8%となっている。「有期契約労働者」では、「あなた」が62.5%で最も割合が高く、次いで「あなたの母」が10.7%となっている。「離職者」では、「あなた」が77.9%で最も割合が高く、次いで「あなたの母」が7.6%となっている。

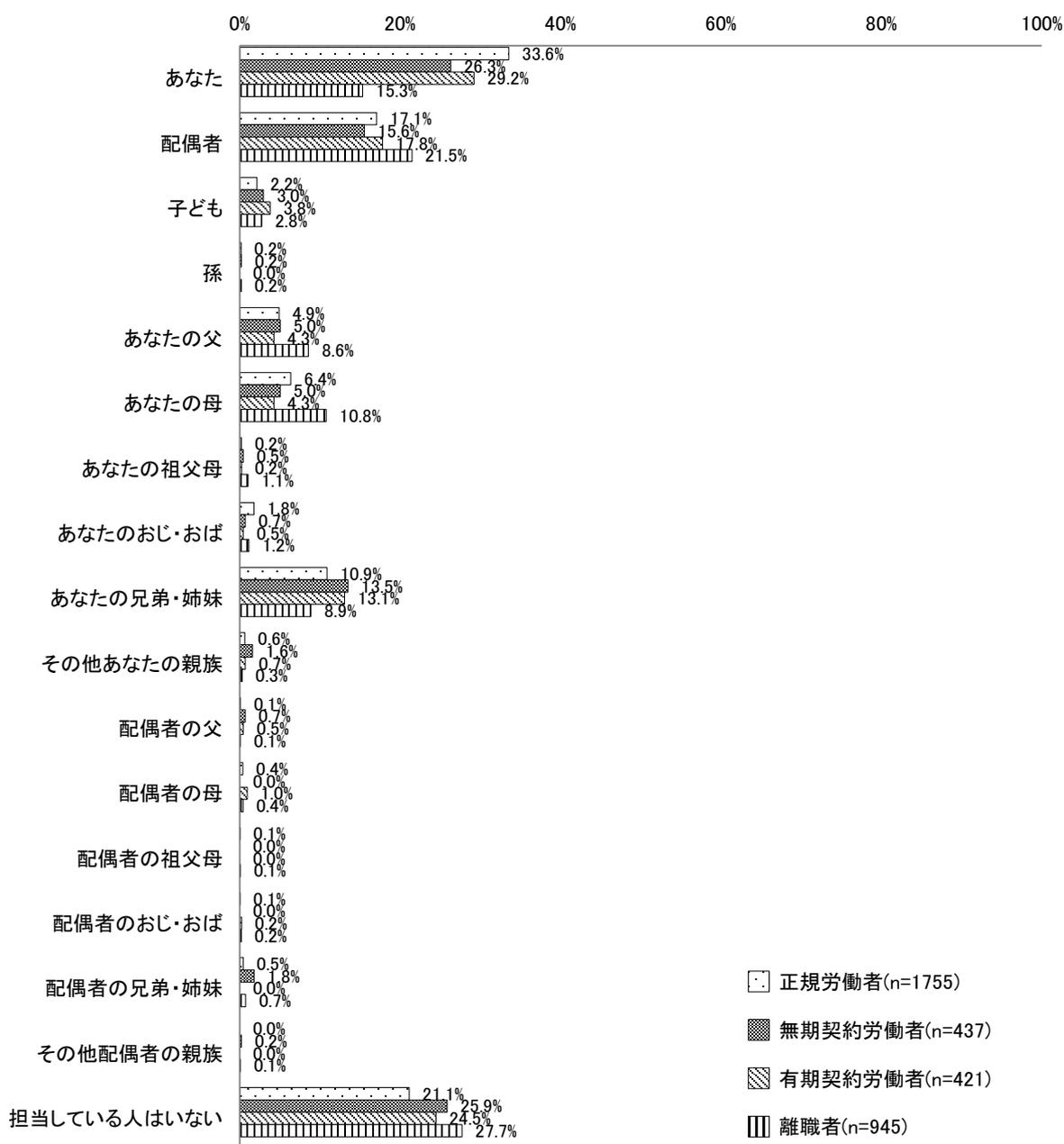
図表 29 最も時間をかけて手助・介護をしている家族:①主に担当している人:単数回答 (Q12_1)



②次に担当している人

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族について、手助・介護を次に担当している人を見ると、「正規労働者」では、「あなた」が33.6%で最も割合が高く、次いで「担当している人はいない」が21.1%となっている。「無期契約労働者」では、「あなた」が26.3%で最も割合が高く、次いで「担当している人はいない」が25.9%となっている。「有期契約労働者」では、「あなた」が29.2%で最も割合が高く、次いで「担当している人はいない」が24.5%となっている。「離職者」では、「担当している人はいない」が27.7%で最も割合が高く、次いで「配偶者」が21.5%となっている。

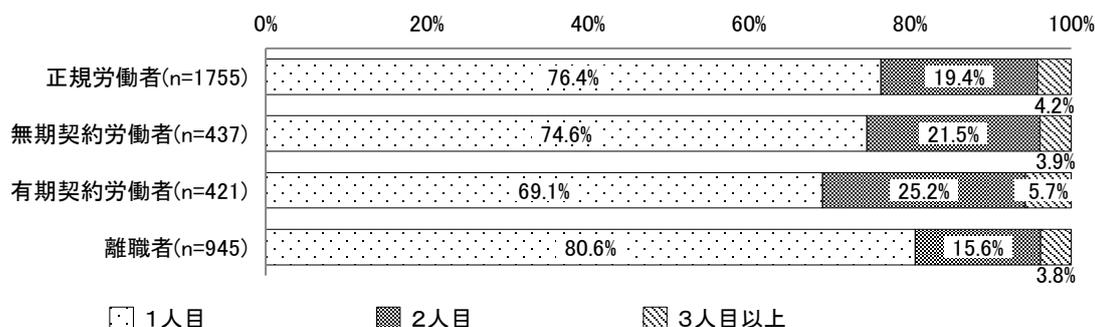
図表 30 最も時間をかけて手助・介護をしている家族:②次に担当している人:単数回答
(Q12_2)



(8) 手助・介護している家族は、何人目の手助・介護か

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族は、回答者にとって何人目の手助・介護となるかをみると、いずれも「1人目」の割合が高く、「正規労働者」では76.4%、「無期契約労働者」では74.6%、「有期契約労働者」では69.1%、「離職者」では80.6%となっている。

図表 31 手助・介護している家族は、何人目の手助・介護か:単数回答 (Q13)

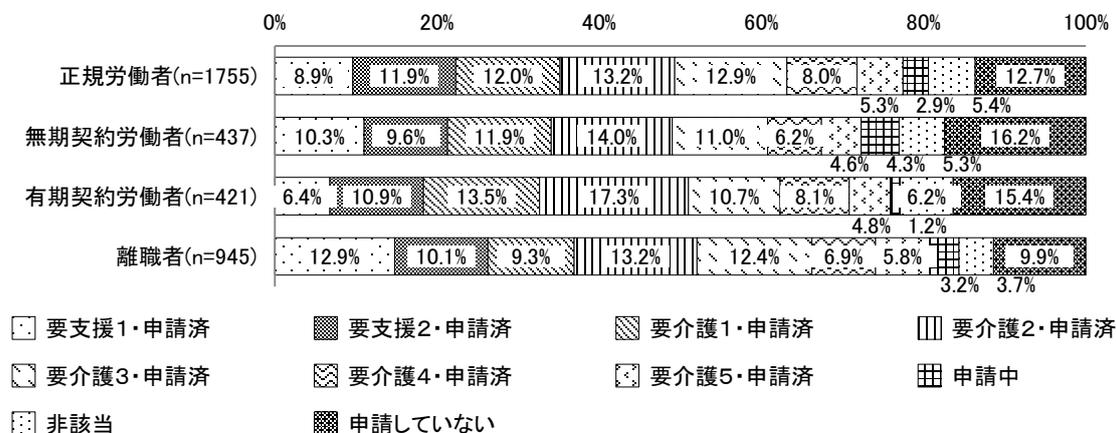


(9) 要介護度・障害程度区分・障害者手帳所持の状況

①要介護度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の要介護度をみると、「正規労働者」では、「要介護2・申請済」が13.2%で最も割合が高く、次いで「要介護3・申請済」が12.9%となっている。「無期契約労働者」では、「申請していない」が16.2%で最も割合が高く、次いで「要介護2・申請済」が14.0%となっている。「有期契約労働者」では、「要介護2・申請済」が17.3%で最も割合が高く、次いで「申請していない」が15.4%となっている。「離職者」では、「要介護2・申請済」が13.2%で最も割合が高く、次いで「要支援1・申請済」が12.9%となっている。

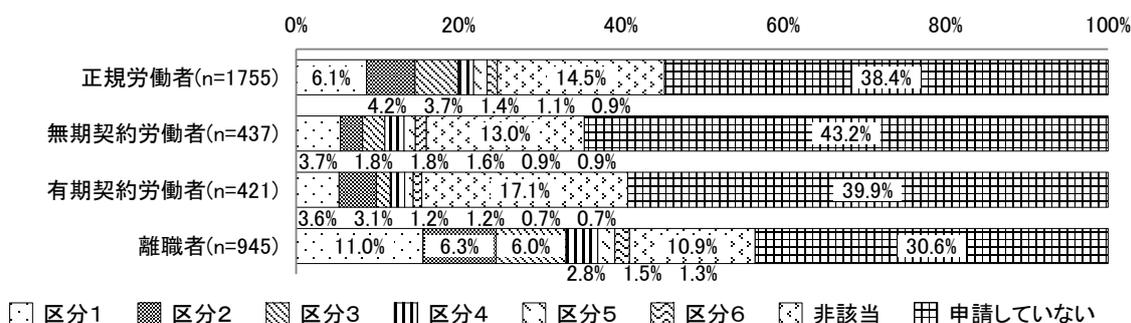
図表 32 ①要介護度:単数回答 (Q14_1)



②障害支援区分

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の障害支援区分で区分1～区分6に該当している割合をみると、「正規労働者」では17.4%、「無期契約労働者」では10.7%、「有期契約労働者」では10.5%、「離職者」では28.9%となっている。

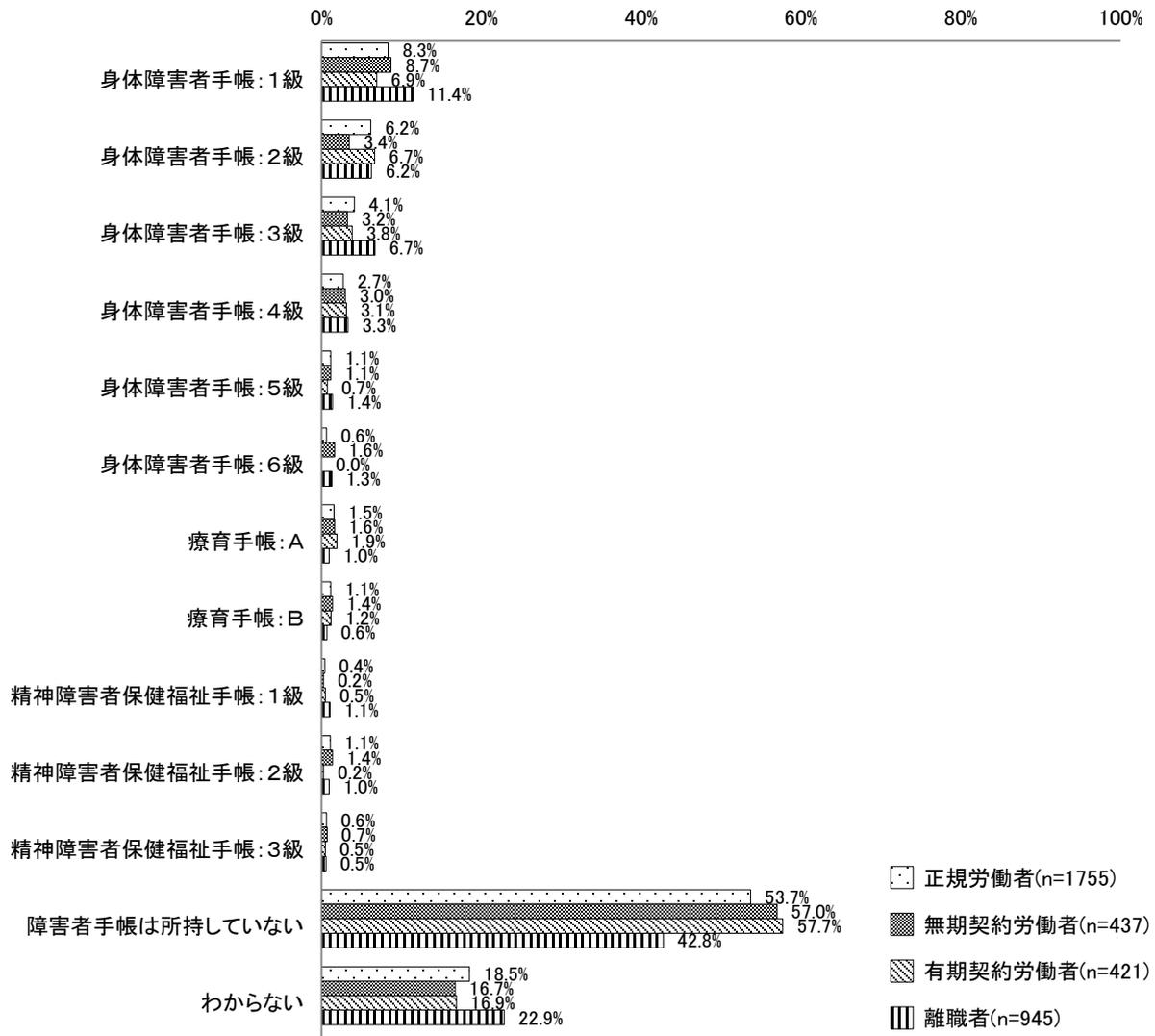
図表 33 ②障害支援区分:単数回答 (Q14_2)



③障害者手帳

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の障害者手帳の所持状況をみると、「正規労働者」では、「障害者手帳は所持していない」が53.7%で最も割合が高く、次いで「わからない」が18.5%となっている。「無期契約労働者」では、「障害者手帳は所持していない」が57.0%で最も割合が高く、次いで「わからない」が16.7%となっている。「有期契約労働者」では、「障害者手帳は所持していない」が57.7%で最も割合が高く、次いで「わからない」が16.9%となっている。「離職者」では、「障害者手帳は所持していない」が42.8%で最も割合が高く、次いで「わからない」が22.9%となっている。

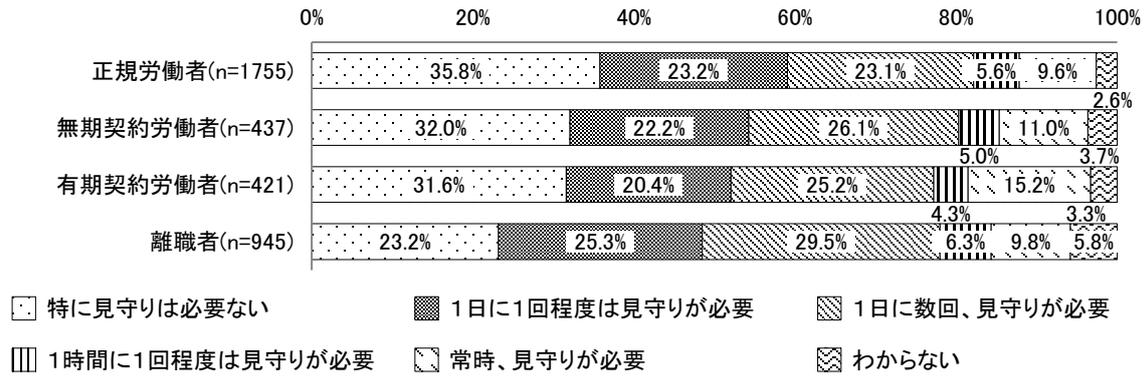
図表 34 ③障害者手帳:単数回答 (Q14_3)



(10) 見守りの必要性

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の見守りの必要性をみると、「正規労働者」では、「特に見守りは必要ない」が35.8%で最も割合が高く、次いで「1日に1回程度は見守りが必要」が23.2%となっている。「無期契約労働者」では、「特に見守りは必要ない」が32.0%で最も割合が高く、次いで「1日に数回、見守りが必要」が26.1%となっている。「有期契約労働者」では、「特に見守りは必要ない」が31.6%で最も割合が高く、次いで「1日に数回、見守りが必要」が25.2%となっている。「離職者」では、「1日に数回、見守りが必要」が29.5%で最も割合が高く、次いで「1日に1回程度は見守りが必要」が25.3%となっている。

図表 35 見守りの必要性:単数回答 (Q16)

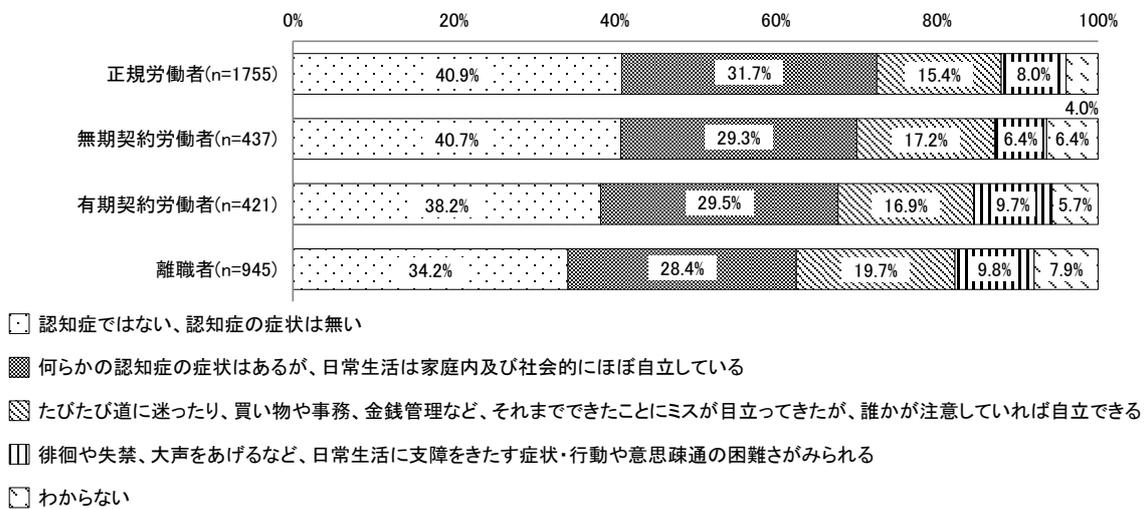


(11) 認知症の状況

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の認知症の状況をみると、「正規労働者」では、「認知症ではない、認知症の症状は無い」が40.9%で最も割合が高く、次いで「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が31.7%となっている。「無期契約労働者」では、「認知症ではない、認知症の症状は無い」が40.7%で最も割合が高く、次いで「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が29.3%となっている。「有期契約労働者」では、「認知症ではない、認知症の症状は無い」が38.2%で最も割合が高く、次いで「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が29.5%となっている。「離職者」では、「認知症ではない、認知症の症状は無い」が34.2%で最も割合が高く、次いで「何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している」が28.4%となっている。

正規労働者について要介護度別にみると、全体と比較して、「要介護3～5」は「徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる」の割合が高くなっている。

図表 36 認知症の状況:単数回答 (Q17)



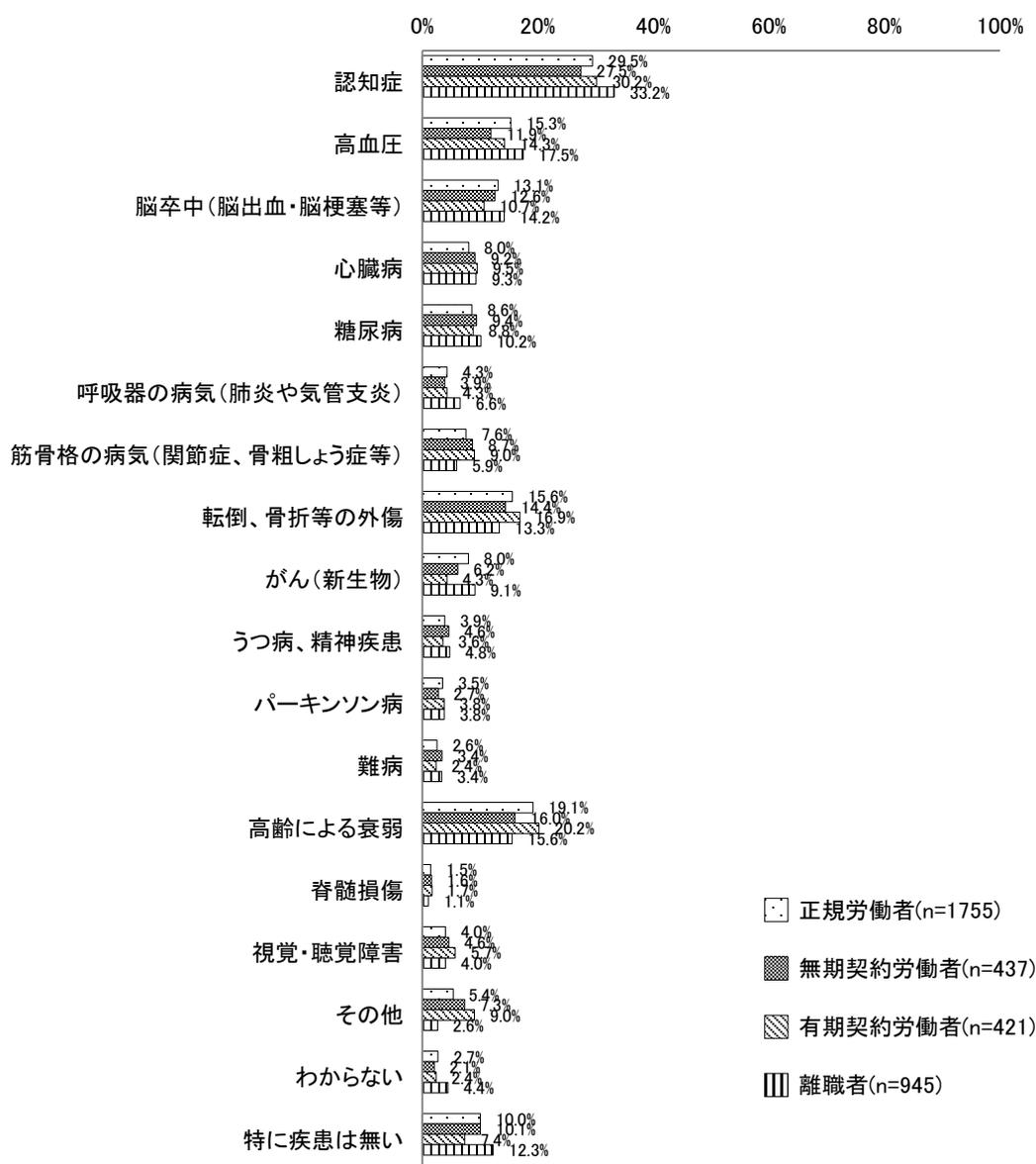
図表 37 【正規労働者】要介護度別 認知症の状況:単数回答 (Q17)

		合計	Q17. 認知症の状況				
			認知症ではない、認知症の症状は無い	何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる	徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる	わからない
全体		1755 100.0	717 40.9	556 31.7	271 15.4	141 8.0	70 4.0
Q14_1. ① 要介護度	要支援 1・2	365 100.0	198 54.2	126 34.5	31 8.5	4 1.1	6 1.6
	要介護 1・2	441 100.0	130 29.5	171 38.8	110 24.9	24 5.4	6 1.4
	要介護 3～5	460 100.0	116 25.2	149 32.4	92 20.0	87 18.9	16 3.5
	申請中、非該当	145 100.0	86 59.3	35 24.1	12 8.3	5 3.4	7 4.8
	申請していない	223 100.0	136 61.0	56 25.1	12 5.4	10 4.5	9 4.0
	わからない	121 100.0	51 42.1	19 15.7	14 11.6	11 9.1	26 21.5

(12) 手助・介護が必要となった主な原因

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族について、手助・介護が必要となった主な原因をみると、「正規労働者」では、「認知症」が29.5%で最も割合が高く、次いで「高齢による衰弱」が19.1%となっている。「無期契約労働者」では、「認知症」が27.5%で最も割合が高く、次いで「高齢による衰弱」が16.0%となっている。「有期契約労働者」では、「認知症」が30.2%で最も割合が高く、次いで「高齢による衰弱」が20.2%となっている。「離職者」では、「認知症」が33.2%で最も割合が高く、次いで「高血圧」が17.5%となっている。

図表 38 手助・介護が必要となった主な原因:複数回答 (Q18)

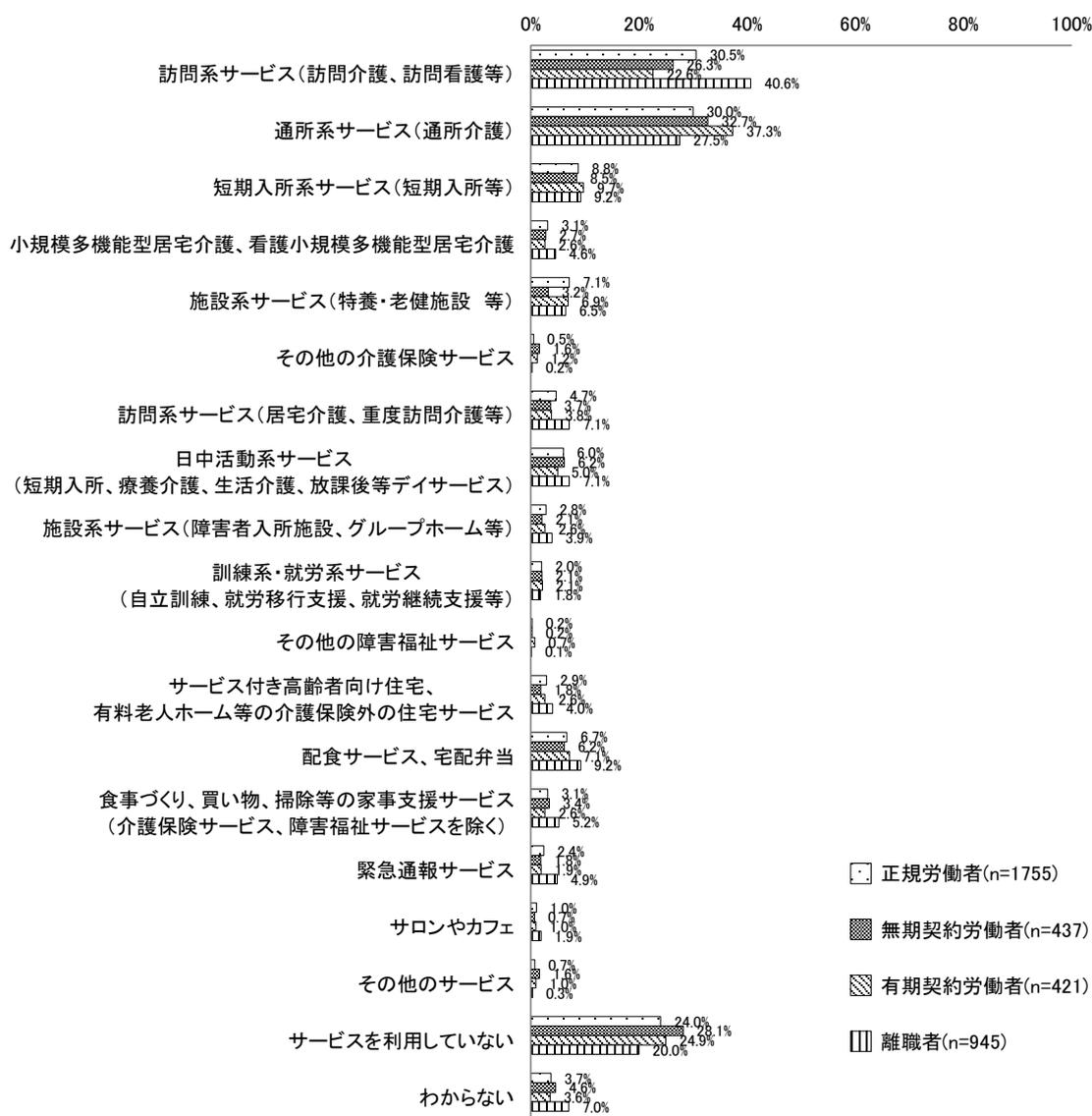


(13) 利用しているサービス

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族が利用しているサービスをみると、「正規労働者」では、「訪問系サービス（訪問介護、訪問看護等）」が 30.5%で最も割合が高く、次いで「通所系サービス（通所介護）」が 30.0%となっている。「無期契約労働者」では、「通所系サービス（通所介護）」が 32.7%で最も割合が高く、次いで「サービスを利用していない」が 28.1%となっている。「有期契約労働者」では、「通所系サービス（通所介護）」が 37.3%で最も割合が高く、次いで「サービスを利用していない」が 24.9%となっている。「離職者」では、「訪問系サービス（訪問介護、訪問看護等）」が 40.6%で最も割合が高く、次いで「通所系サービス（通所介護）」が 27.5%となっている。

正規労働者について要介護度別にみると、全体と比較して、「要介護1・2」は「通所系サービス（通所介護）」、「要介護3～5」は「訪問系サービス（訪問介護、訪問看護等）」「短期入所系サービス（短期入所等）」「施設系サービス（特養・老健施設 等）」の割合が高くなっている。

図表 39 利用しているサービス：複数回答（Q19）



図表 40 【正規労働者】要介護度別 利用しているサービス:複数回答 (Q19)

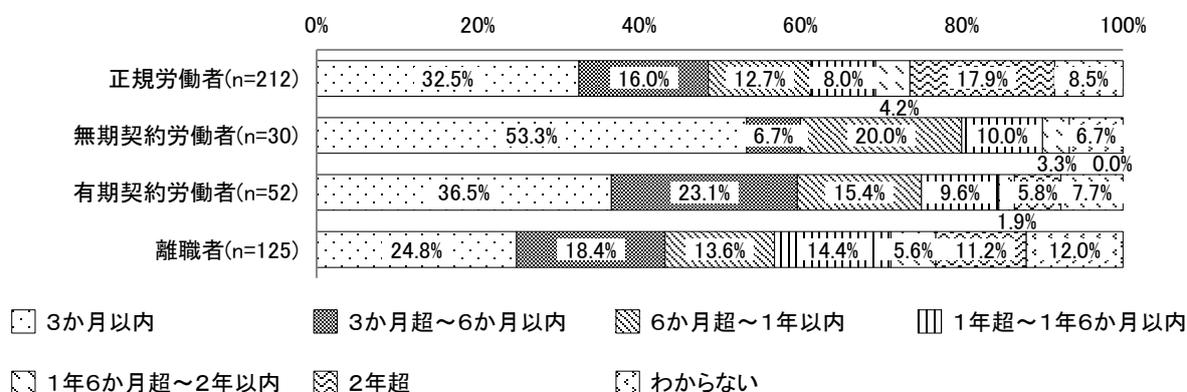
	合計	Q19. 利用しているサービス										
		訪問系サービス (訪問介護、訪問看護等)	通所系サービス(通所介護)	短期入所系サービス (短期入所等)	小規模多機能型居宅介護、 看護小規模多機能型居宅介 護	施設系サービス (特養・老健施設 等)	その他の介護保険サービス	訪問系サービス(居宅介護、 重度訪問介護等)	入所、療養介護、生活介護、 放課後等デイサービス)	日中活動系サービス(短期 入所、療養介護、生活介護、 放課後等デイサービス)	施設系サービス(障害者入 所施設、グループホーム等)	訓練系・就労系サービス(自 立訓練、就労移行支援、就 労継続支援等)
全体	1755 100.0	536 30.5	526 30.0	154 8.8	55 3.1	125 7.1	9 0.5	82 4.7	106 6.0	49 2.8	35 2.0	
Q14_1. ①要介 護度	要支援1・2	365 100.0	121 33.2	118 32.3	14 3.8	6 1.6	11 3.0	3 0.8	12 3.3	22 6.0	7 1.9	5 1.4
	要介護1・2	441 100.0	163 37.0	194 44.0	37 8.4	25 5.7	23 5.2	2 0.5	21 4.8	25 5.7	13 2.9	6 1.4
	要介護3～5	460 100.0	185 40.2	174 37.8	87 18.9	19 4.1	79 17.2	4 0.9	34 7.4	31 6.7	19 4.1	8 1.7
	申請中、非該当	145 100.0	24 16.6	14 9.7	5 3.4	3 2.1	4 2.8	0 0.0	5 3.4	10 6.9	3 2.1	5 3.4
	申請していない	223 100.0	18 8.1	11 4.9	3 1.3	2 0.9	1 0.4	0 0.0	5 2.2	11 4.9	3 1.3	8 3.6
	わからない	121 100.0	25 20.7	15 12.4	8 6.6	0 0.0	7 5.8	0 0.0	5 4.1	7 5.8	4 3.3	3 2.5

	合計	Q19. 利用しているサービス									
		その他の障害福祉サービス	サービス付き高齢者向け住 宅、有料老人ホーム等の介護 保険外の住宅サービス	配食サービス、宅配弁当	食事づくり、買い物、掃除等の家 事支援サービス(介護保険サービ ス、障害福祉サービスを除く)	緊急通報サービス	サロンやカフェ	その他のサービス	サービスを利用していない	わからない	
全体	1755 100.0	4 0.2	51 2.9	117 6.7	55 3.1	42 2.4	18 1.0	13 0.7	421 24.0	65 3.7	
Q14_1. ①要介 護度	要支援1・2	365 100.0	0 0.0	11 3.0	22 6.0	11 3.0	9 2.5	2 0.5	4 1.1	79 21.6	11 3.0
	要介護1・2	441 100.0	1 0.2	14 3.2	44 10.0	16 3.6	13 2.9	4 0.9	1 0.2	54 12.2	4 0.9
	要介護3～5	460 100.0	0 0.0	23 5.0	31 6.7	19 4.1	15 3.3	6 1.3	5 1.1	27 5.9	13 2.8
	申請中、非該当	145 100.0	0 0.0	1 0.7	6 4.1	6 4.1	1 0.7	3 2.1	2 1.4	73 50.3	7 4.8
	申請していない	223 100.0	0 0.0	1 0.4	12 5.4	2 0.9	3 1.3	1 0.4	1 0.4	149 66.8	7 3.1
	わからない	121 100.0	3 2.5	1 0.8	2 1.7	1 0.8	1 0.8	2 1.7	0 0.0	39 32.2	23 19.0

(14) 施設入所の手続き期間

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族が「施設系サービス（特養・老健施設等）」「サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等の介護保険外の住宅サービス」を利用している場合、入所を申し込んでから入所できるまでの期間をみると、「正規労働者」では、「3か月以内」が32.5%で最も割合が高く、次いで「2年超」が17.9%となっている。「無期契約労働者」では、「3か月以内」が53.3%で最も割合が高く、次いで「6か月超～1年以内」が20.0%となっている。「有期契約労働者」では、「3か月以内」が36.5%で最も割合が高く、次いで「3か月超～6か月以内」が23.1%となっている。「離職者」では、「3か月以内」が24.8%で最も割合が高く、次いで「3か月超～6か月以内」が18.4%となっている。

図表 41 施設入所の手続き期間：単数回答（Q20）



4. 手助・介護の状況

※「4. 手助・介護の状況」は、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」「離職者」を対象とした設問。

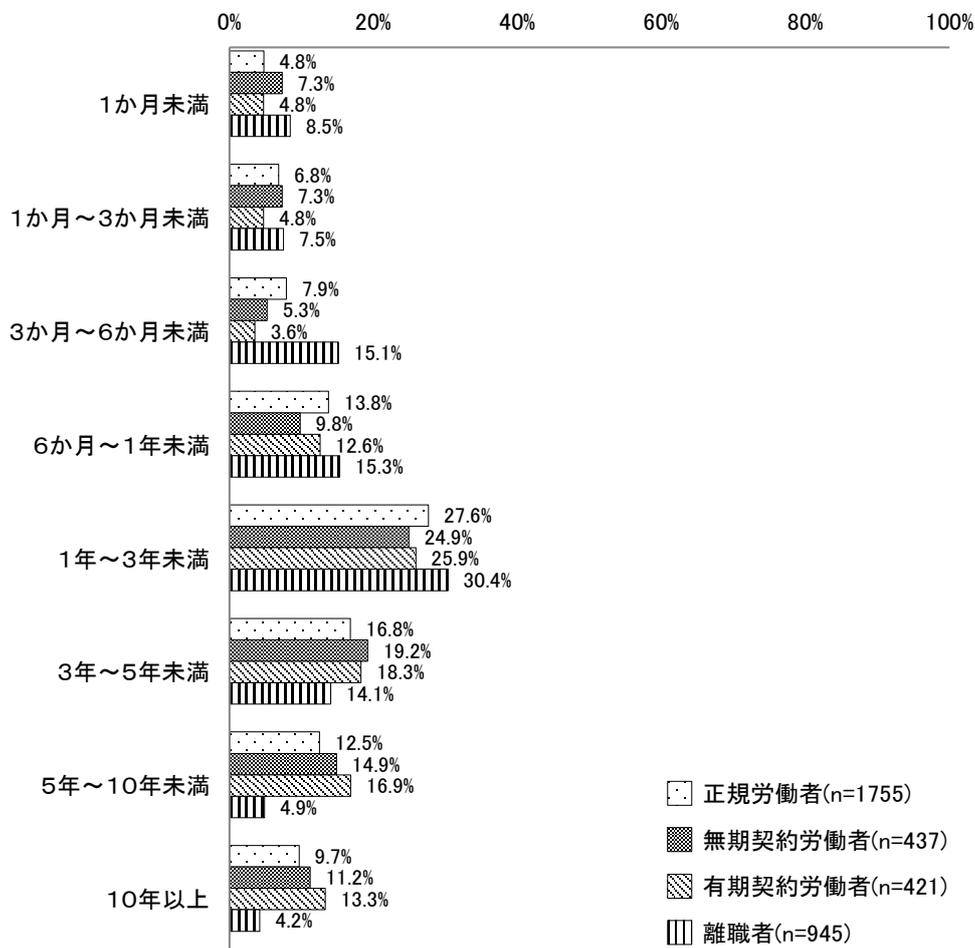
※離職者は断りが無い限り、「手助・介護」を理由に離職した当時の状況。

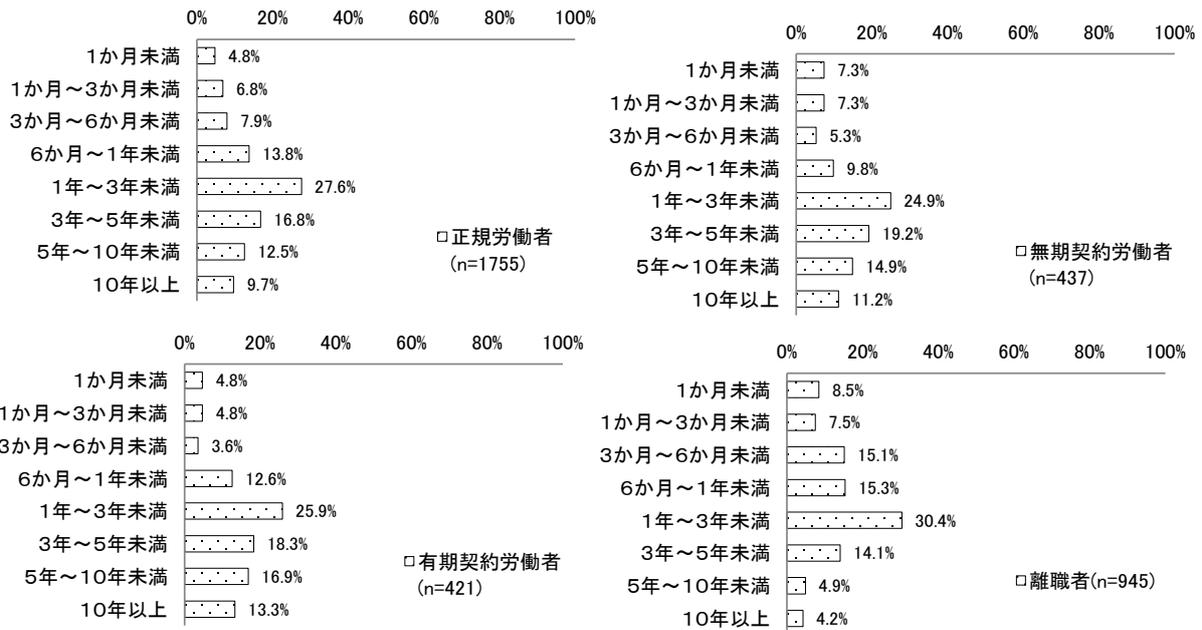
(1) 通算の介護期間

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族について、回答者が通算で介護している期間をみると、「正規労働者」では、「1年～3年未満」が27.6%で最も割合が高く、次いで「3年～5年未満」が16.8%となっている。「無期契約労働者」では、「1年～3年未満」が24.9%で最も割合が高く、次いで「3年～5年未満」が19.2%となっている。「有期契約労働者」では、「1年～3年未満」が25.9%で最も割合が高く、次いで「3年～5年未満」が18.3%となっている。「離職者」では、「1年～3年未満」が30.4%で最も割合が高く、次いで「6か月～1年未満」が15.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、いずれも「1年～3年未満」の割合が最も高く、「正規労働者」は29.5%、「無期契約労働者」は32.2%、「有期契約労働者」は31.3%となっている。

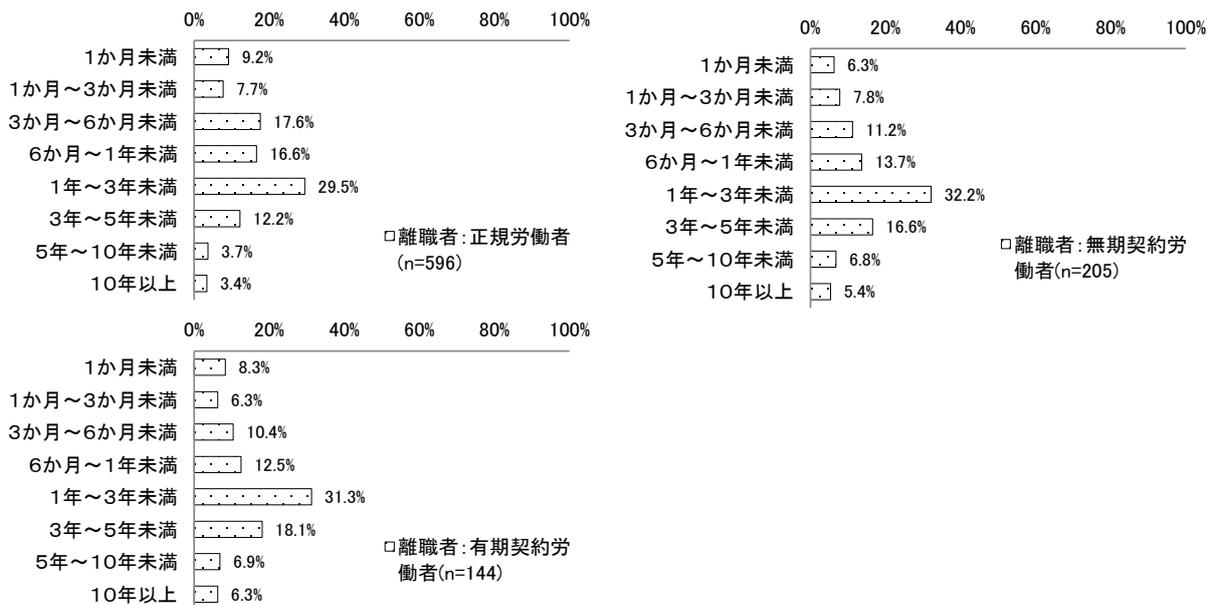
図表 42 通算の介護期間：単数回答 (Q15)





図表 43 【離職者】退職時の就業形態別 通算の介護期間:単数回答 (Q15)

	合計	Q15. 通算の介護期間							
		1か月未満	1か月～3か月未満	3か月～6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
全体	945 100.0	80 8.5	71 7.5	143 15.1	145 15.3	287 30.4	133 14.1	46 4.9	40 4.2
正規労働者	596 100.0	55 9.2	46 7.7	105 17.6	99 16.6	176 29.5	73 12.2	22 3.7	20 3.4
無期契約労働者	205 100.0	13 6.3	16 7.8	23 11.2	28 13.7	66 32.2	34 16.6	14 6.8	11 5.4
有期契約労働者	144 100.0	12 8.3	9 6.3	15 10.4	18 12.5	45 31.3	26 18.1	10 6.9	9 6.3

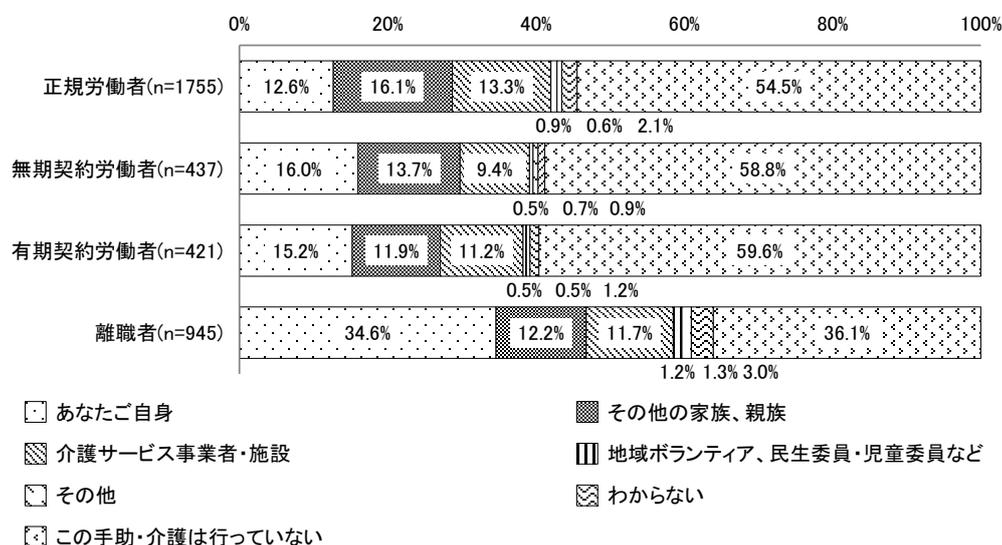


(2) 手助・介護の主担当

①排せつの介助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「排せつの介助」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が54.5%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が16.1%となっている。「無期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が58.8%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が16.0%となっている。「有期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が59.6%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が15.2%となっている。「離職者」では、「この手助・介護は行っていない」が36.1%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が34.6%となっている。

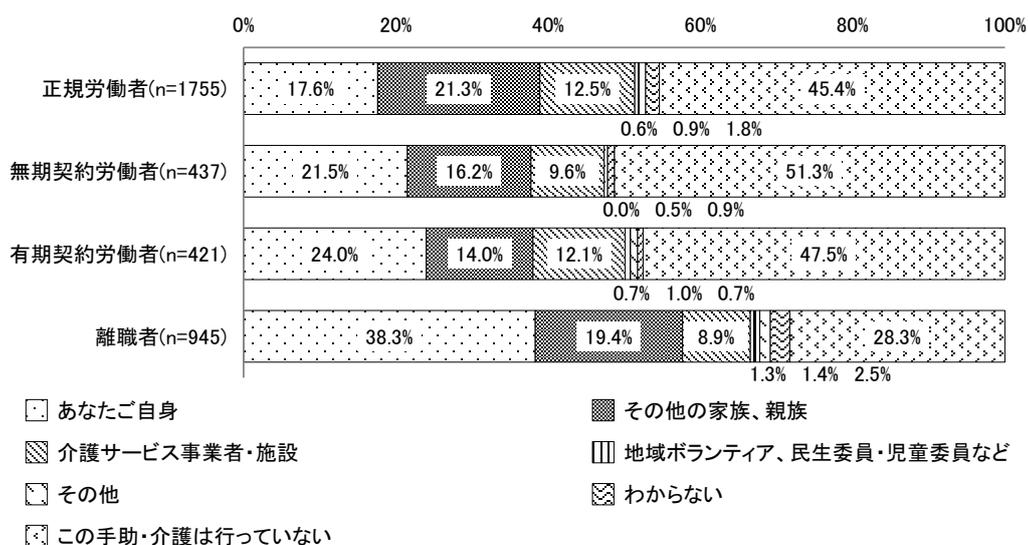
図表 44 手助・介護の主担当：①排せつの介助：単数回答 (Q21_1)



②食事の介助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「食事の介助」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が45.4%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が21.3%となっている。「無期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が51.3%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が21.5%となっている。「有期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が47.5%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が24.0%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が38.3%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が28.3%となっている。

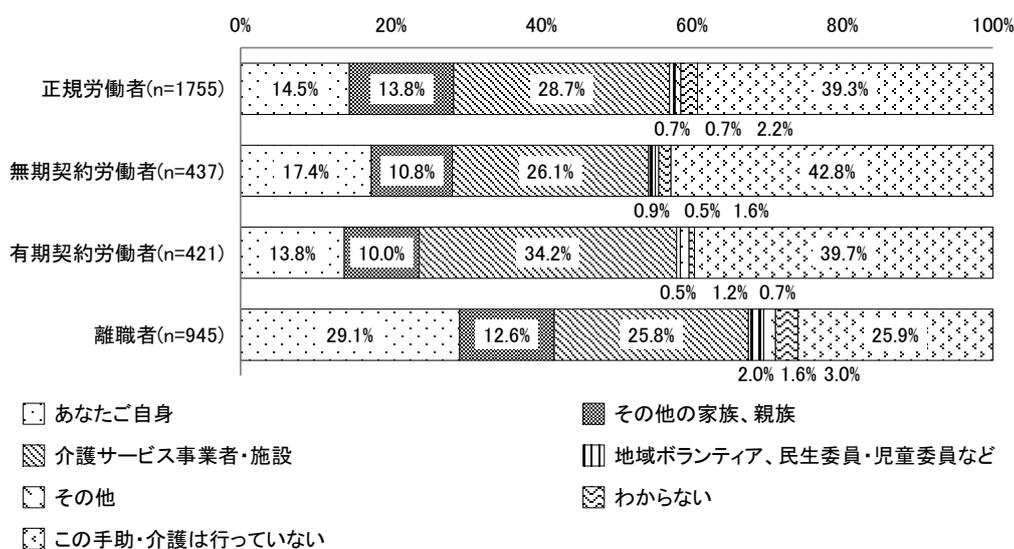
図表 45 手助・介護の主担当：②食事の介助:単数回答 (Q21_2)



③入浴の介助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「入浴の介助」について、主に手助・介護を担っている人をみると、「正規労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が39.3%で最も割合が高く、次いで「介護サービス事業者・施設」が28.7%となっている。「無期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が42.8%で最も割合が高く、次いで「介護サービス事業者・施設」が26.1%となっている。「有期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が39.7%で最も割合が高く、次いで「介護サービス事業者・施設」が34.2%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が29.1%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が25.9%となっている。

図表 46 手助・介護の主担当：③入浴の介助:単数回答 (Q21_3)

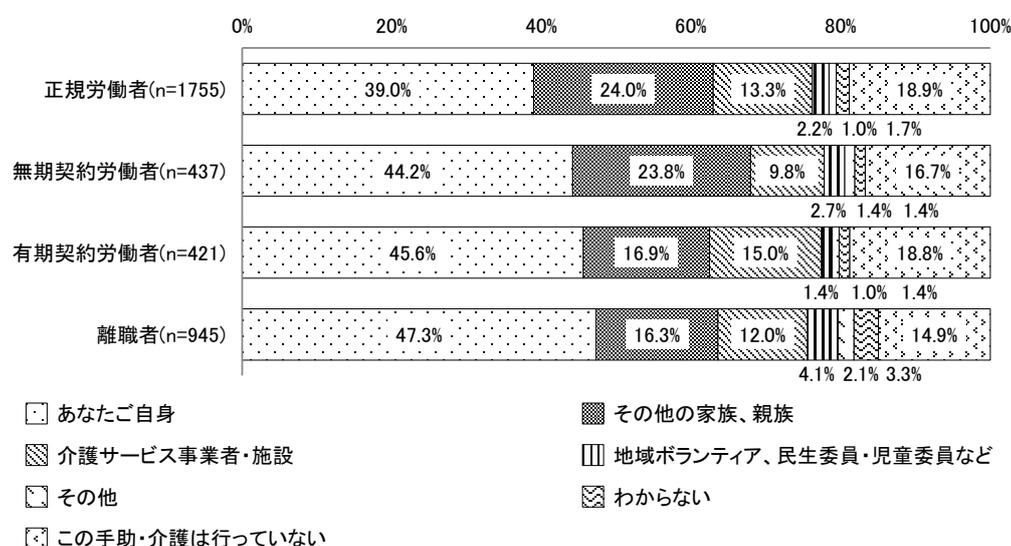


④定期的な見守り、声かけ

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「定期的な見守り、声かけ」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が39.0%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が24.0%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が44.2%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が23.8%となっている。

「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が45.6%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が18.8%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が47.3%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が16.3%となっている。

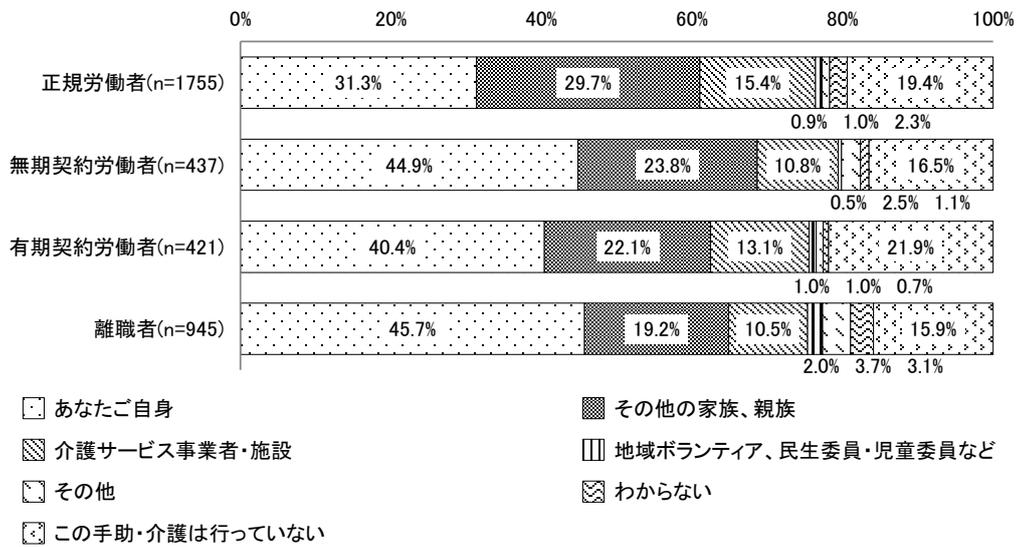
図表 47 手助・介護の担当：④定期的な見守り、声かけ：単数回答（Q21_4）



⑤食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が31.3%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が29.7%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が44.9%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が23.8%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が40.4%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が22.1%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が45.7%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が19.2%となっている。

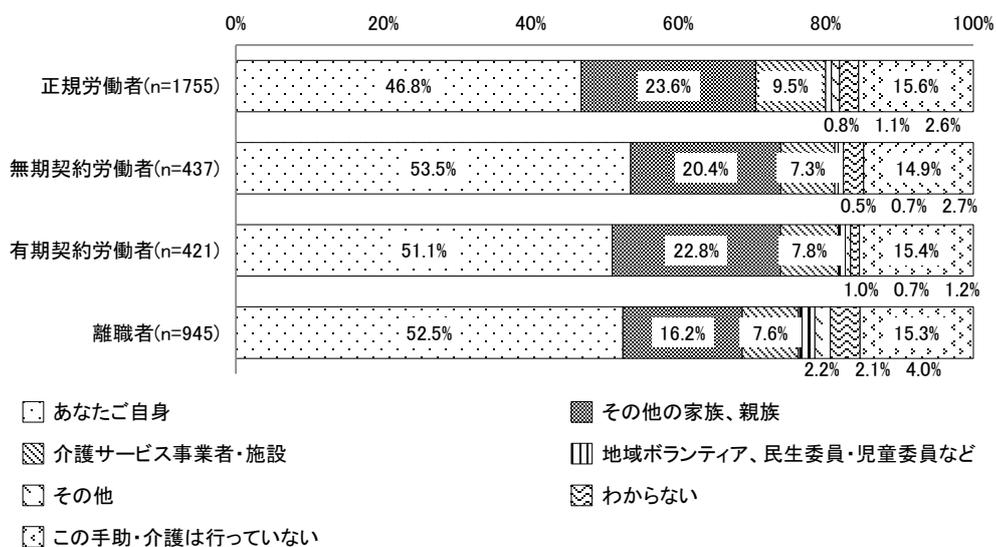
図表 48 手助・介護の主担当：⑤食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援：単数回答 (Q21_5)



⑥ちょっとした買い物やゴミ出し

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「ちょっとした買い物やゴミ出し」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が46.8%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が23.6%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が53.5%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が20.4%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が51.1%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が22.8%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が52.5%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が16.2%となっている。

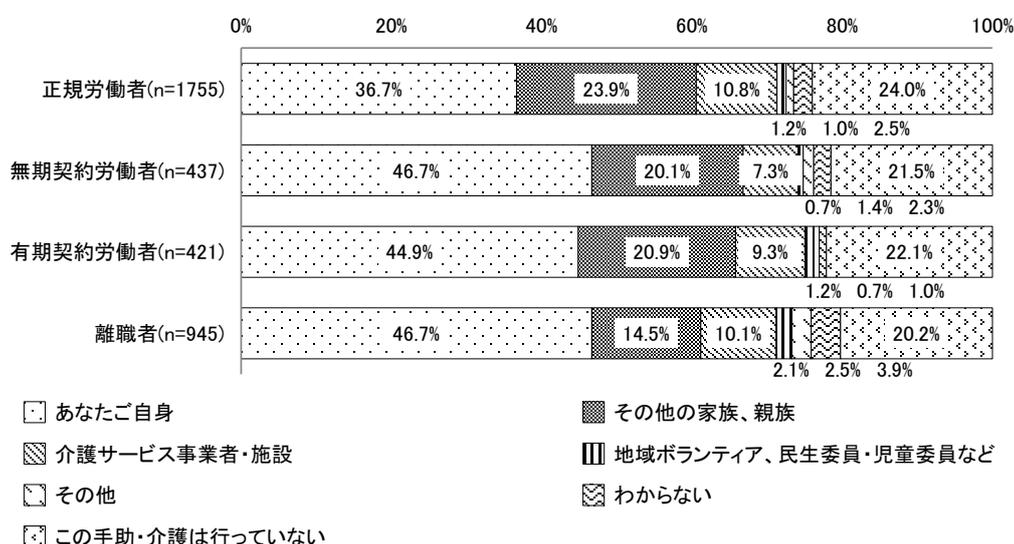
図表 49 手助・介護の主担当：⑥ちょっとした買い物やゴミ出し：単数回答 (Q21_6)



⑦要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）」について、主に手助・介護を担っている人をみると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が36.7%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が24.0%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が46.7%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が21.5%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が44.9%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が22.1%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が46.7%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が20.2%となっている。

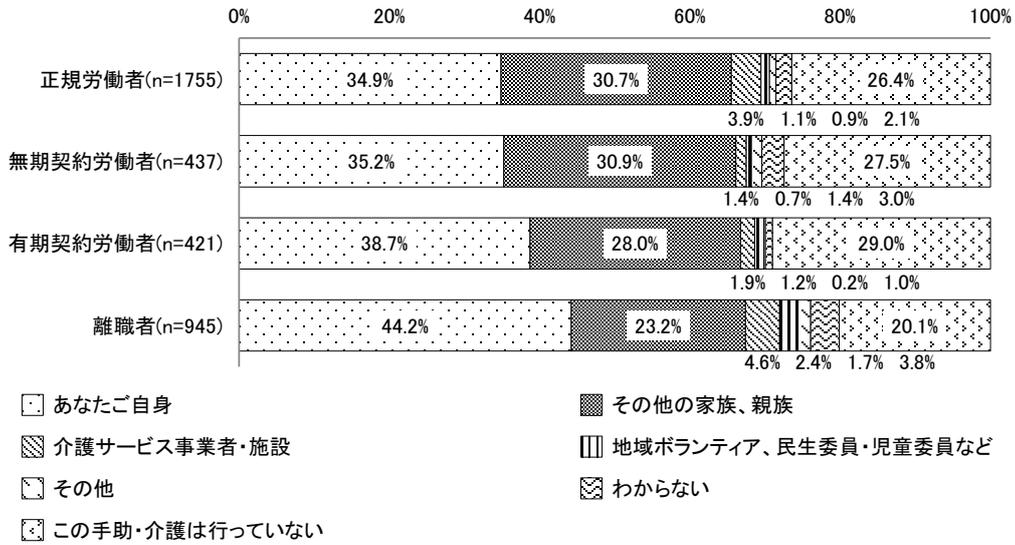
図表 50 手助・介護の主担当：⑦要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）
：単数回答（Q21_7）



⑧金銭の管理

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「金銭の管理」について、主に手助・介護を担っている人をみると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が34.9%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が30.7%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が35.2%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が30.9%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が38.7%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が29.0%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が44.2%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が23.2%となっている。

図表 51 手助・介護の主担当：⑧金銭の管理:単数回答 (Q21_8)

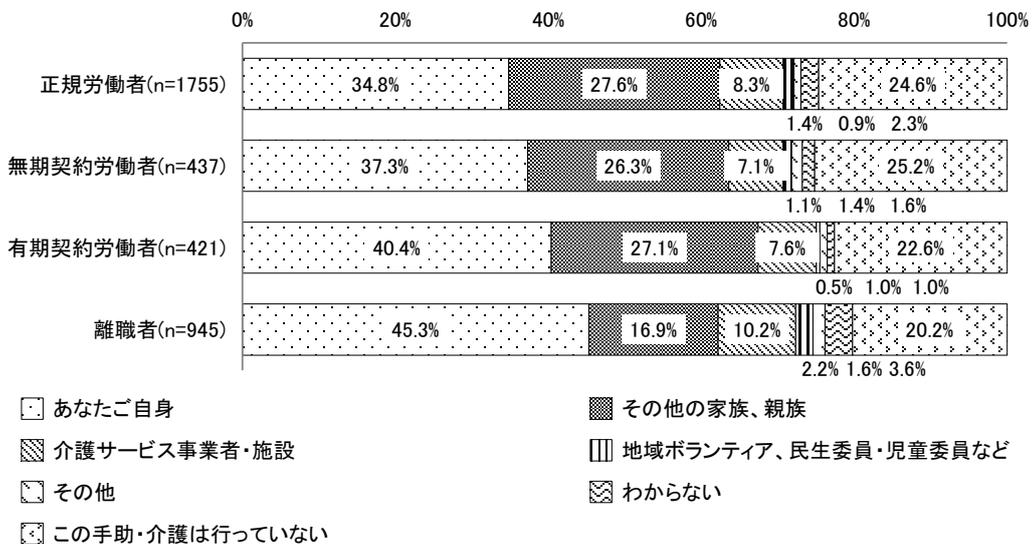


⑨手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き」について、主に手助・介護を担っている人をみると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が34.8%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が27.6%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が37.3%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が26.3%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が40.4%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が27.1%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が45.3%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が20.2%となっている。

図表 52 手助・介護の主担当

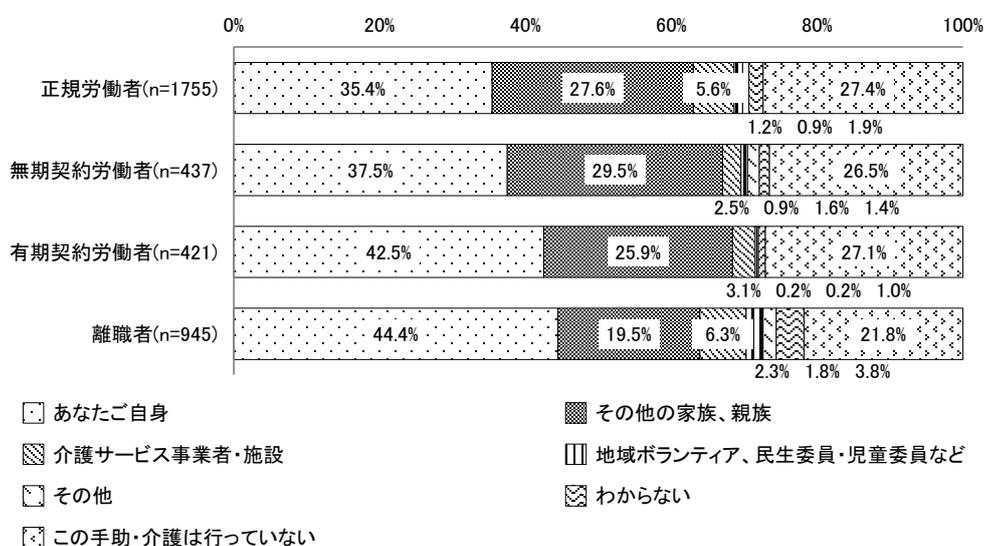
: ⑨手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き:単数回答 (Q21_9)



⑩入退院（入退所）の手続き

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「入退院（入退所）の手続き」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が35.4%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が27.6%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が37.5%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が29.5%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が42.5%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が27.1%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が44.4%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が21.8%となっている。

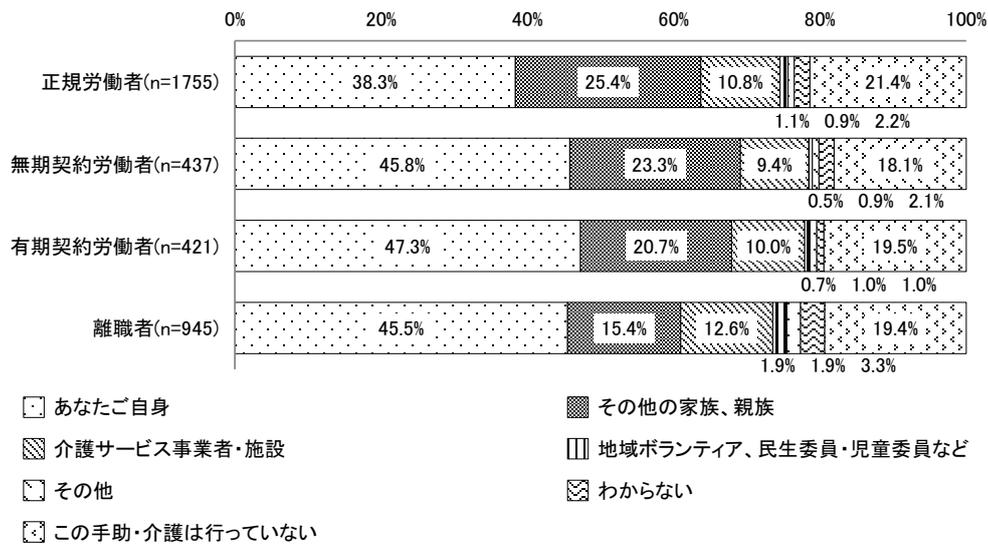
図表 53 手助・介護の担当：⑩入退院（入退所）の手続き：単数回答（Q21_10）



⑪通院（通所）の送迎や外出の手助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「通院（通所）の送迎や外出の手助け」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が38.3%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が25.4%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が45.8%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が23.3%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が47.3%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が20.7%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が45.5%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が19.4%となっている。

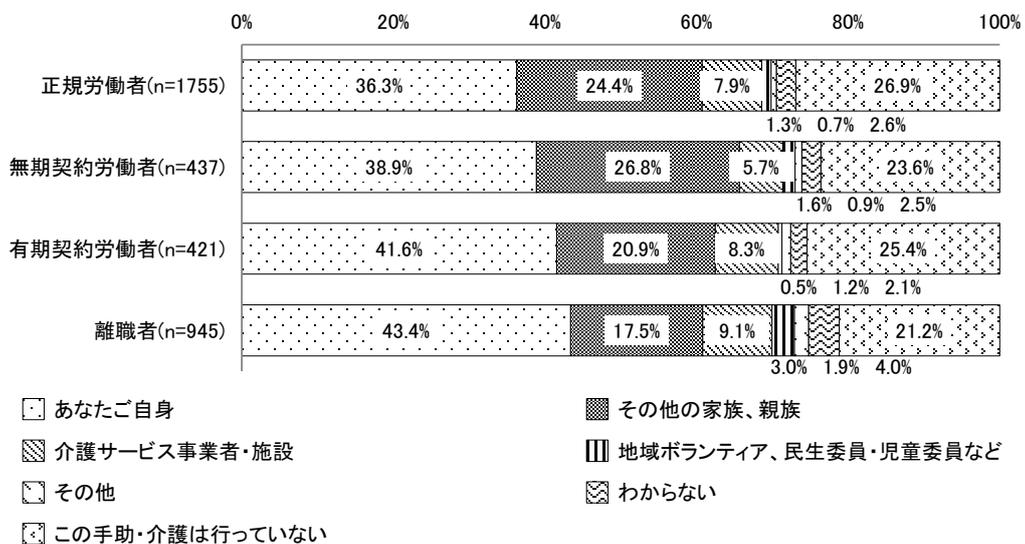
図表 54 手助・介護の主担当：⑪通院（通所）の送迎や外出の手助：単数回答（Q21_11）



⑫緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「あなたご自身」が36.3%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が26.9%となっている。「無期契約労働者」では、「あなたご自身」が38.9%で最も割合が高く、次いで「その他の家族、親族」が26.8%となっている。「有期契約労働者」では、「あなたご自身」が41.6%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が25.4%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が43.4%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が21.2%となっている。

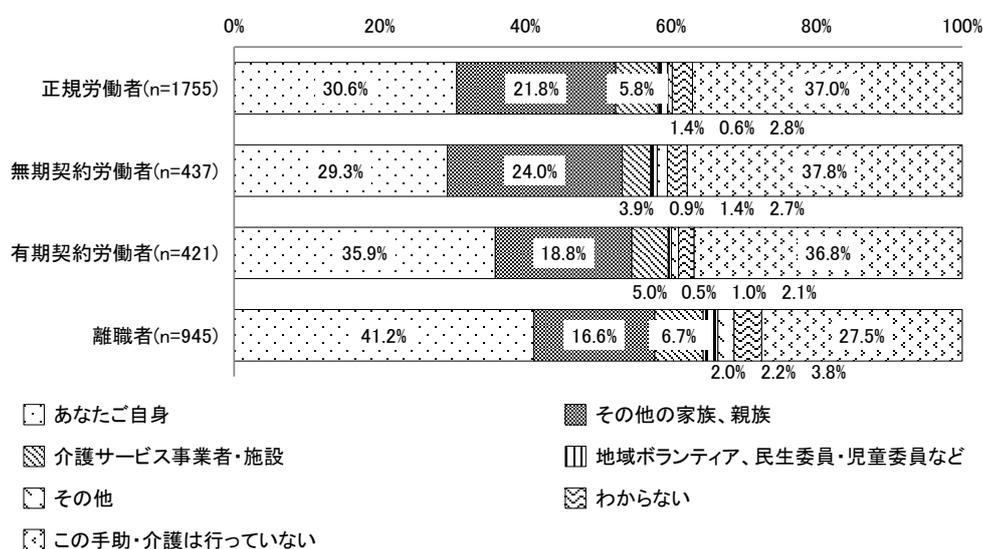
図表 55 手助・介護の主担当：⑫緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応：単数回答（Q21_12）



⑬関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が37.0%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が30.6%となっている。「無期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が37.8%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が29.3%となっている。「有期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が36.8%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が35.9%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が41.2%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が27.5%となっている。

図表 56 手助・介護の主担当：⑬関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応：単数回答
(Q21_13)

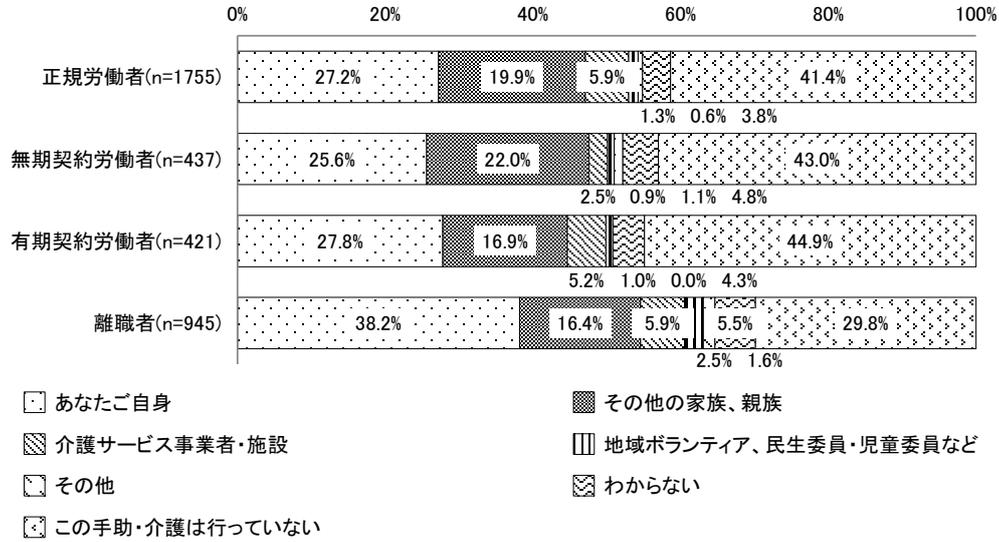


⑭終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）」について、主に手助・介護を担っている人を見ると、「正規労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が41.4%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が27.2%となっている。「無期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が43.0%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が25.6%となっている。「有期契約労働者」では、「この手助・介護は行っていない」が44.9%で最も割合が高く、次いで「あなたご自身」が27.8%となっている。「離職者」では、「あなたご自身」が38.2%で最も割合が高く、次いで「この手助・介護は行っていない」が29.8%となっている。

図表 57 手助・介護の主担当

: ⑭終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）：単数回答（Q21_14）

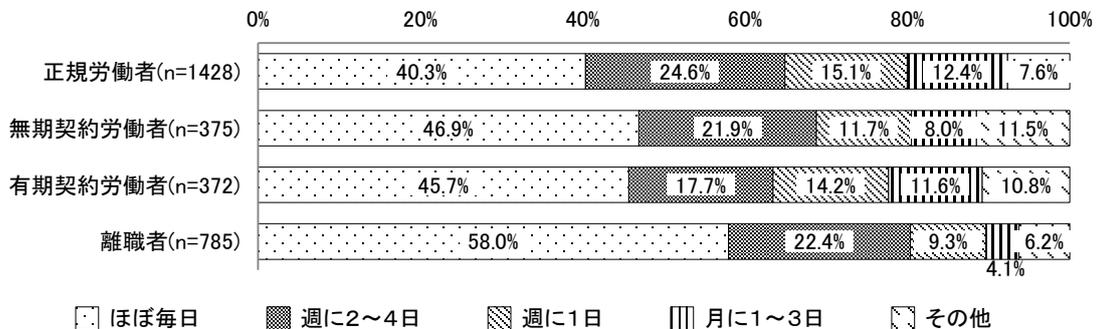


(3) 回答者の手助・介護の頻度

①手助・介護全体

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護全体」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が40.3%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が24.6%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が46.9%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が21.9%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が45.7%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が17.7%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が58.0%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が22.4%となっている。

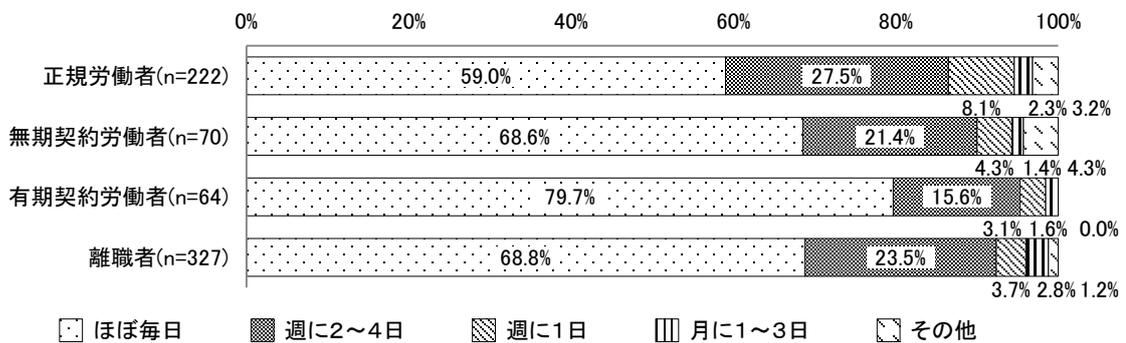
図表 58 あなたの手助・介護の頻度：①手助・介護全体：単数回答（Q22_1）



②排せつの介助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「排せつの介助」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が59.0%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が27.5%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が68.6%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が21.4%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が79.7%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が15.6%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が68.8%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が23.5%となっている。

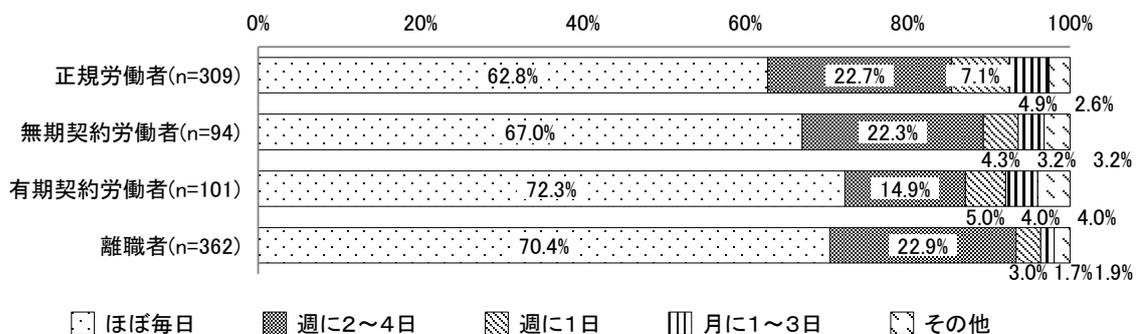
図表 59 あなたの手助・介護の頻度：②排せつの介助：単数回答（Q22_2）



③食事の介助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「食事の介助」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が62.8%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が22.7%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が67.0%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が22.3%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が72.3%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が14.9%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が70.4%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が22.9%となっている。

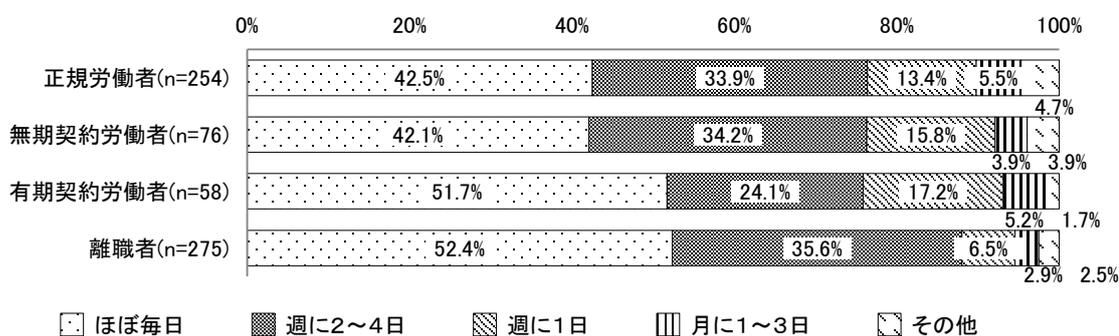
図表 60 あなたの手助・介護の頻度：③食事の介助：単数回答（Q22_3）



④入浴の介助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「入浴の介助」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が42.5%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が33.9%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が42.1%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が34.2%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が51.7%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が24.1%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が52.4%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が35.6%となっている。

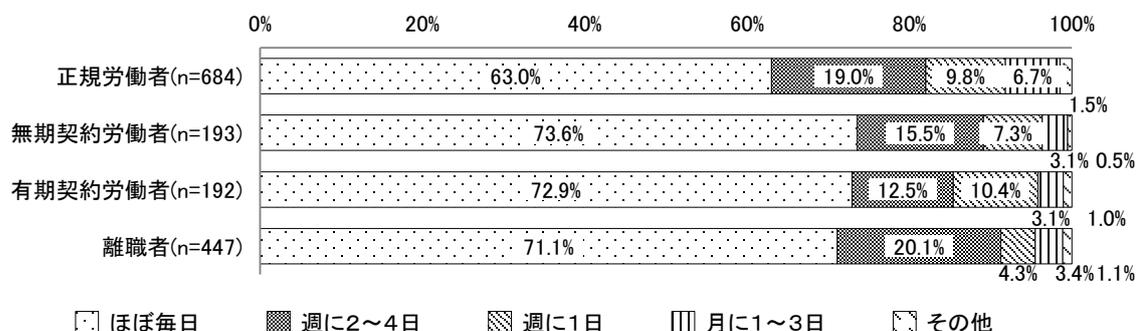
図表 61 あなたの手助・介護の頻度：④入浴の介助：単数回答（Q22_4）



⑤定期的な見守り、声かけ

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「定期的な見守り、声かけ」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が63.0%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が19.0%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が73.6%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が15.5%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が72.9%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が12.5%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が71.1%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が20.1%となっている。

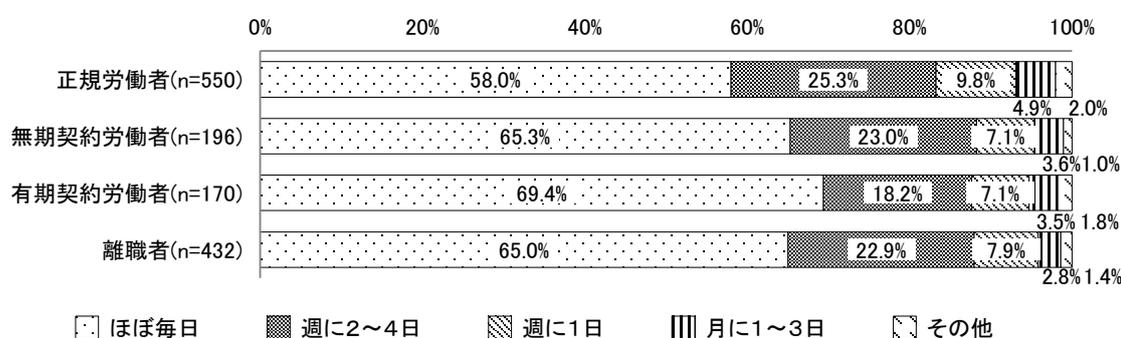
図表 62 あなたの手助・介護の頻度：⑤定期的な見守り、声かけ：単数回答（Q22_5）



⑥食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が58.0%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が25.3%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が65.3%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が23.0%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が69.4%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が18.2%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が65.0%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が22.9%となっている。

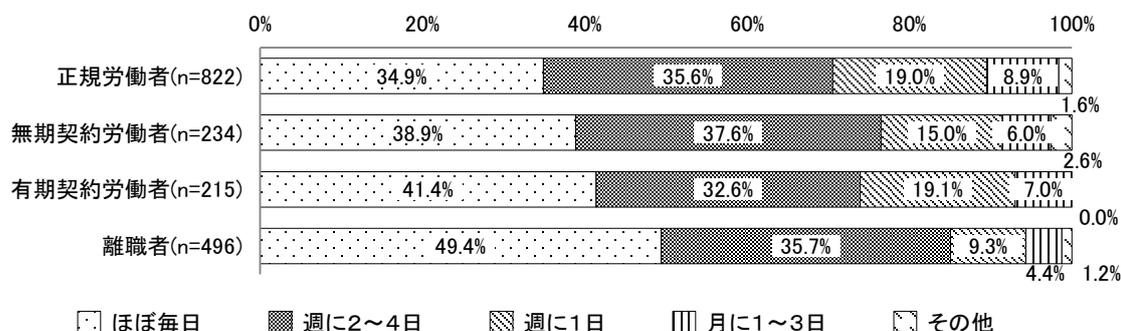
図表 63 あなたの手助・介護の頻度：⑥食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援：単数回答 (Q22_6)



⑦ちょっとした買い物やゴミ出し

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「ちょっとした買い物やゴミ出し」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「週に2～4日」が35.6%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が34.9%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が38.9%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が37.6%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が41.4%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が32.6%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が49.4%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が35.7%となっている。

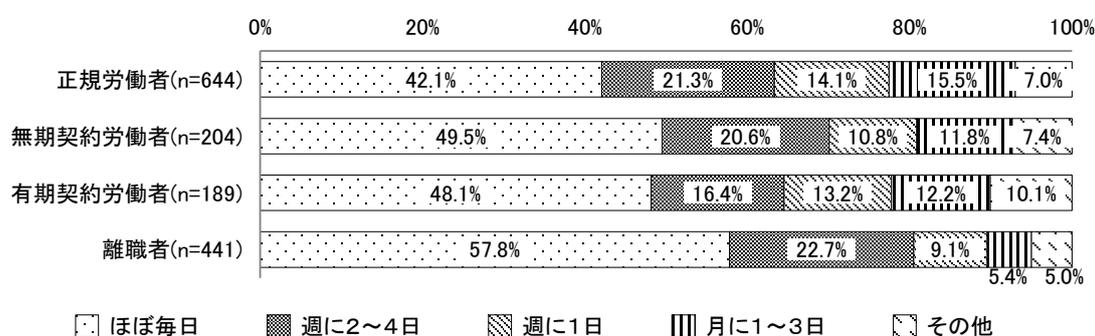
図表 64 あなたの手助・介護の頻度：⑦ちょっとした買い物やゴミ出し：単数回答 (Q22_7)



⑧要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が42.1%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が21.3%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が49.5%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が20.6%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が48.1%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が16.4%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が57.8%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が22.7%となっている。

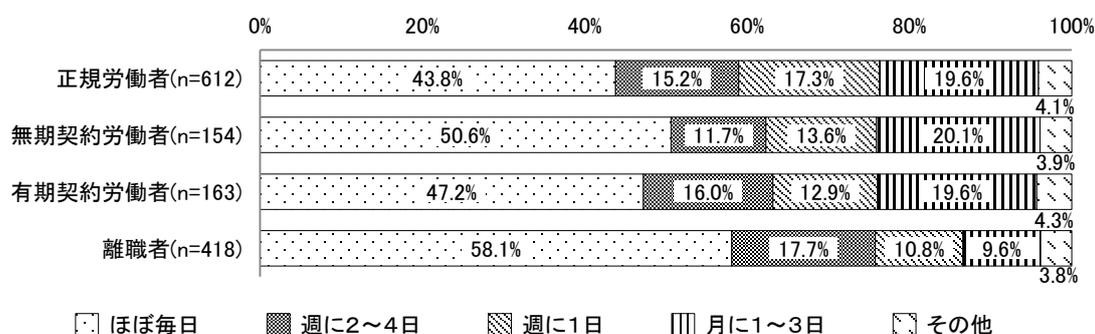
図表 65 あなたの手助・介護の頻度：⑧要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）：単数回答（Q22_8）



⑨金銭の管理

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「金銭の管理」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「ほぼ毎日」が43.8%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が19.6%となっている。「無期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が50.6%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が20.1%となっている。「有期契約労働者」では、「ほぼ毎日」が47.2%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が19.6%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が58.1%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が17.7%となっている。

図表 66 あなたの手助・介護の頻度：⑨金銭の管理:単数回答（Q22_9）

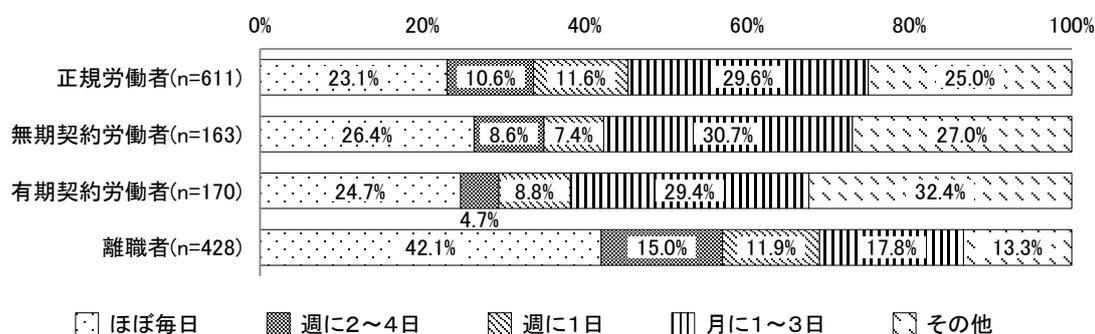


⑩手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「月に1～3日」が29.6%で最も割合が高く、次いで「その他」が25.0%となっている。「無期契約労働者」では、「月に1～3日」が30.7%で最も割合が高く、次いで「その他」が27.0%となっている。「有期契約労働者」では、「その他」が32.4%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が29.4%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が42.1%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が17.8%となっている。

図表 67 あなたの手助・介護の頻度

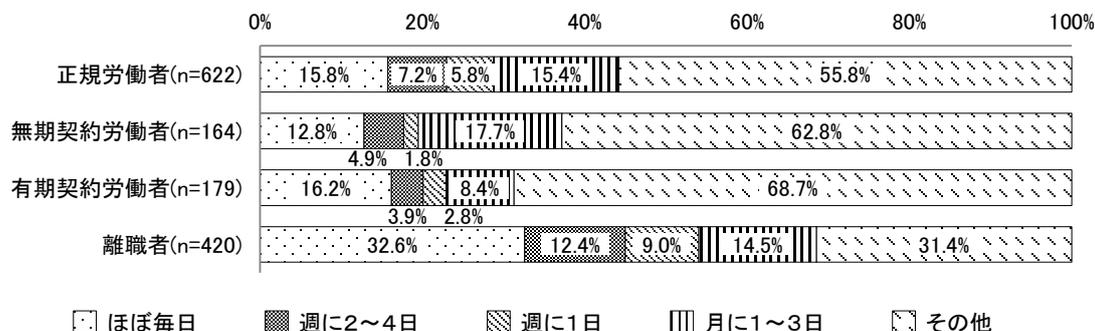
: ⑩手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き:単数回答 (Q22_10)



⑪入退院（入退所）の手続き

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「入退院（入退所）の手続き」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「その他」が55.8%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が15.8%となっている。「無期契約労働者」では、「その他」が62.8%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が17.7%となっている。「有期契約労働者」では、「その他」が68.7%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が16.2%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が32.6%で最も割合が高く、次いで「その他」が31.4%となっている。

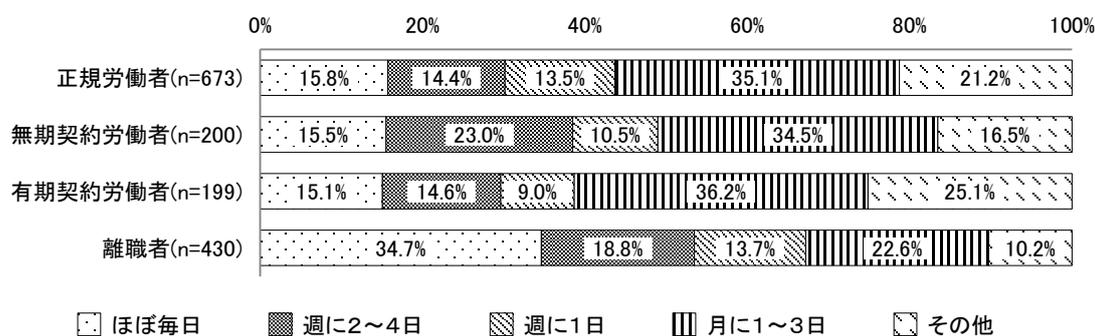
図表 68 あなたの手助・介護の頻度：⑪入退院（入退所）の手続き:単数回答 (Q22_11)



⑫通院（通所）の送迎や外出の手助

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「通院（通所）の送迎や外出の手助」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「月に1～3日」が35.1%で最も割合が高く、次いで「その他」が21.2%となっている。「無期契約労働者」では、「月に1～3日」が34.5%で最も割合が高く、次いで「週に2～4日」が23.0%となっている。「有期契約労働者」では、「月に1～3日」が36.2%で最も割合が高く、次いで「その他」が25.1%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が34.7%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が22.6%となっている。

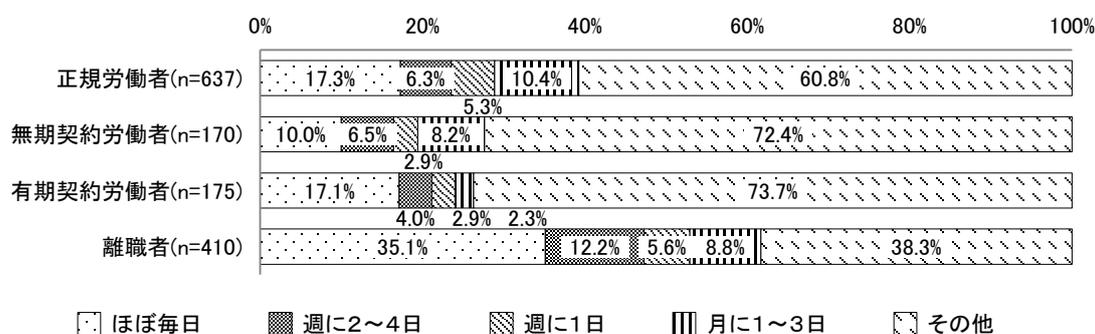
図表 69 あなたの手助・介護の頻度：⑫通院（通所）の送迎や外出の手助：単数回答（Q22_12）



⑬緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「その他」が60.8%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が17.3%となっている。「無期契約労働者」では、「その他」が72.4%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が10.0%となっている。「有期契約労働者」では、「その他」が73.7%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が17.1%となっている。「離職者」では、「その他」が38.3%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が35.1%となっている。

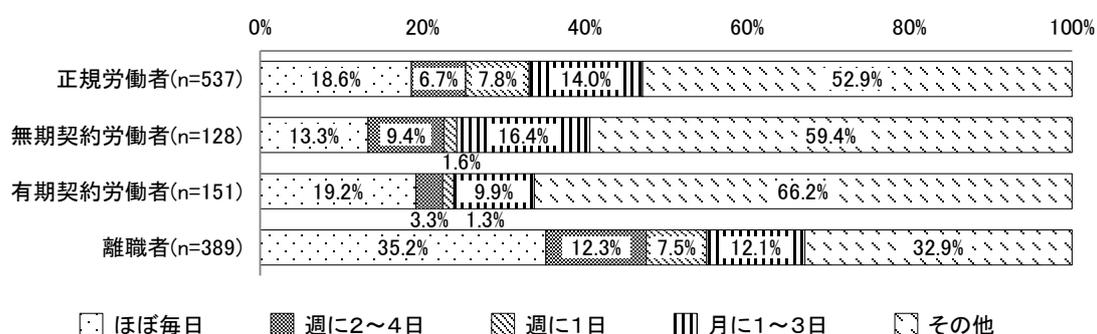
図表 70 あなたの手助・介護の頻度：⑬緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応：単数回答（Q22_13）



⑭関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「その他」が52.9%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が18.6%となっている。「無期契約労働者」では、「その他」が59.4%で最も割合が高く、次いで「月に1～3日」が16.4%となっている。「有期契約労働者」では、「その他」が66.2%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が19.2%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が35.2%で最も割合が高く、次いで「その他」が32.9%となっている。

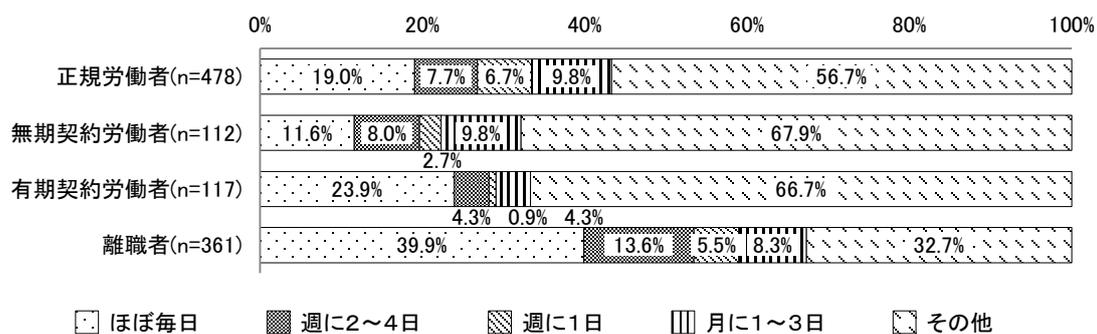
図表 71 あなたの手助・介護の頻度：⑭関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応：単数回答（Q22_14）



⑮終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）」について、回答者がどの程度の頻度で手助・介護を行っているかをみると、「正規労働者」では、「その他」が56.7%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が19.0%となっている。「無期契約労働者」では、「その他」が67.9%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が11.6%となっている。「有期契約労働者」では、「その他」が66.7%で最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が23.9%となっている。「離職者」では、「ほぼ毎日」が39.9%で最も割合が高く、次いで「その他」が32.7%となっている。

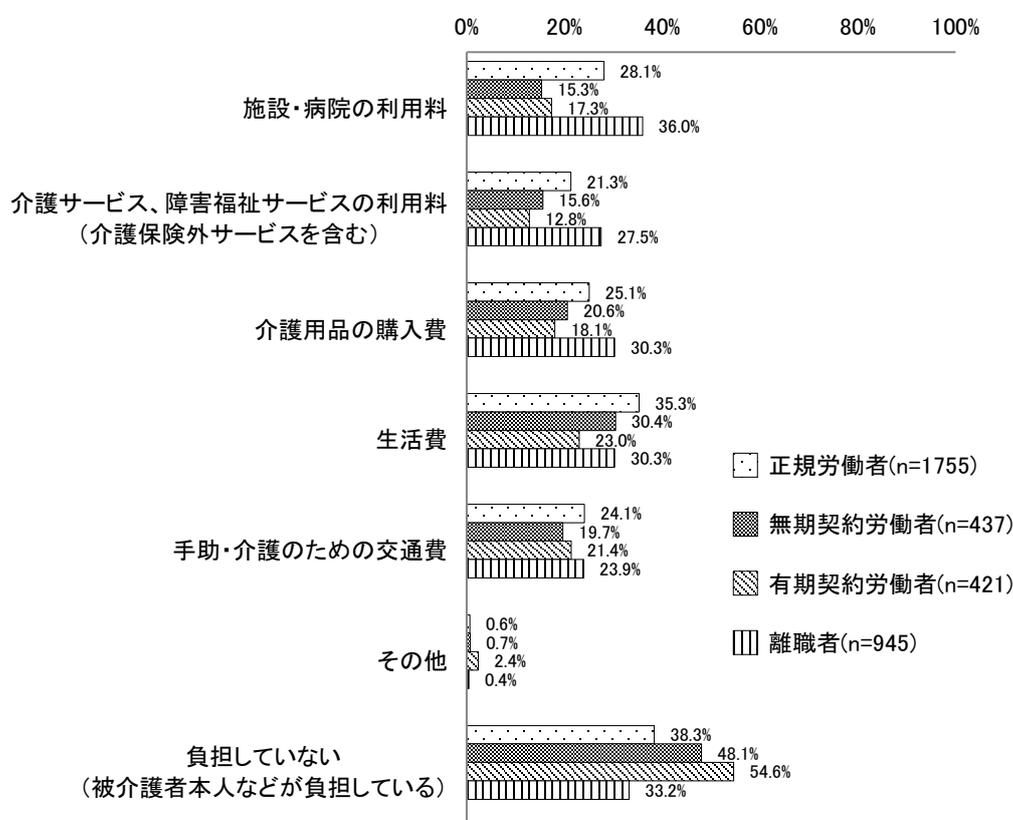
図表 72 あなたの手助・介護の頻度：⑮終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）：単数回答（Q22_15）



(4) 手助・介護に関わる費用で負担しているもの

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の手助・介護に関わる費用のうち回答者が負担しているものをみると、「正規労働者」では、「負担していない（被介護者本人などが負担している）」が38.3%で最も割合が高く、次いで「生活費」が35.3%となっている。「無期契約労働者」では、「負担していない（被介護者本人などが負担している）」が48.1%で最も割合が高く、次いで「生活費」が30.4%となっている。「有期契約労働者」では、「負担していない（被介護者本人などが負担している）」が54.6%で最も割合が高く、次いで「生活費」が23.0%となっている。「離職者」では、「施設・病院の利用料」が36.0%で最も割合が高く、次いで「負担していない（被介護者本人などが負担している）」が33.2%となっている。

図表 73 手助・介護に関わる費用で負担しているもの：複数回答（Q23）



(5) 平均的な1日の時間数

平均的な1日の時間数の平日について、「①手助・介護に要した時間」の平均をみると、正規労働者は1.8時間、無期契約労働者は2.2時間、有期契約労働者は2.3時間、離職者は3.2時間となっている。「②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間」の平均をみると、正規労働者は0.7時間、無期契約労働者は0.7時間、有期契約労働者は0.7時間、離職者は1.0時間となっている。「③休息时间・回答者自身の時間」の平均をみると、正規労働者は2.7時間、無期契約労働者は3.5時間、有期契約労働者は3.5時間、離職者は2.7時間となっている。「④就労時間」の平均をみると、正規労働者は7.1時間、無期契約労働者は5.5時間、有期契約労働者は5.5時間、離職者は4.7時間となっている。「⑤睡眠時間」の平均をみると、正規労働者は5.6時間、無期契約労働者は5.8時間、有期契約労働者は5.8時間、離職者は5.5時間となっている。

平均的な1日の時間数の休日について、「①手助・介護に要した時間」の平均をみると、正規労働者は2.9時間、無期契約労働者は3.1時間、有期契約労働者は3.1時間、離職者は3.9時間となっている。「②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間」の平均をみると、正規労働者は0.9時間、無期契約労働者は0.7時間、有期契約労働者は0.8時間、離職者は1.1時間となっている。「③休息时间・回答者自身の時間」の平均をみると、正規労働者は5.0時間、無期契約労働者は5.2時間、有期契約労働者は5.5時間、離職者は3.7時間となっている。「④睡眠時間」の平均をみると、正規労働者は6.1時間、無期契約労働者は6.2時間、有期契約労働者は6.0時間、離職者は5.8時間となっている。

図表 74 平均的な1日の時間数：平均値：数値回答（Q24）

【平日】

①手助・介護に要した時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	1.8	24.0	0.0	1.0
無期契約労働者	437	2.2	17.0	0.0	1.5
有期契約労働者	421	2.3	24.0	0.0	1.0
離職者	945	3.2	24.0	0.0	2.0

②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	0.7	11.0	0.0	0.3
無期契約労働者	437	0.7	11.0	0.0	0.5
有期契約労働者	421	0.7	10.0	0.0	0.1
離職者	945	1.0	8.0	0.0	1.0

③休息时间・回答者自身の時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	2.7	20.0	0.0	2.0
無期契約労働者	437	3.5	14.0	0.0	3.0
有期契約労働者	421	3.5	14.0	0.0	3.0
離職者	945	2.7	19.0	0.0	2.0

④就労時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	7.1	18.0	0.0	8.0
無期契約労働者	437	5.5	14.0	0.0	6.0
有期契約労働者	421	5.5	17.0	0.0	6.0
離職者	945	4.7	18.0	0.0	5.0

⑤睡眠時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	5.6	12.0	0.0	6.0
無期契約労働者	437	5.8	24.0	0.0	6.0
有期契約労働者	421	5.8	23.5	0.0	6.0
離職者	945	5.5	24.0	0.0	6.0

【休日】

①手助・介護に要した時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	2.9	24.0	0.0	2.0
無期契約労働者	437	3.1	20.0	0.0	2.0
有期契約労働者	421	3.1	24.0	0.0	2.0
離職者	945	3.9	24.0	0.0	3.0

②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	0.9	24.0	0.0	1.0
無期契約労働者	437	0.7	8.0	0.0	0.5
有期契約労働者	421	0.8	12.0	0.0	0.1
離職者	945	1.1	8.0	0.0	1.0

③休息時間・回答者自身の時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	5.0	22.0	0.0	4.0
無期契約労働者	437	5.2	18.0	0.0	4.0
有期契約労働者	421	5.5	20.0	0.0	4.0
離職者	945	3.7	20.0	0.0	3.0

④睡眠時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	1755	6.1	21.0	0.0	6.0
無期契約労働者	437	6.2	24.0	0.0	6.0
有期契約労働者	421	6.0	16.5	0.0	6.0
離職者	945	5.8	24.0	0.0	6.0

図表 75 【離職者】離職時の就業形態別 平均的な1日の時間数:数値回答 (Q24)

【平日】

①手助・介護に要した時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	3.0	24.0	0.0	2.0
無期契約労働者	205	3.4	20.0	0.0	3.0
有期契約労働者	144	3.8	24.0	0.0	3.0

②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	1.0	8.0	0.0	1.0
無期契約労働者	205	0.8	4.0	0.0	1.0
有期契約労働者	144	1.0	8.0	0.0	1.0

③休息时间・回答者自身の時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	2.4	19.0	0.0	2.0
無期契約労働者	205	3.2	17.0	0.0	2.0
有期契約労働者	144	3.0	13.0	0.0	2.0

④就労時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	5.2	18.0	0.0	6.0
無期契約労働者	205	4.0	12.9	0.0	4.0
有期契約労働者	144	4.0	14.0	0.0	4.8

⑤睡眠時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	5.3	24.0	0.0	6.0
無期契約労働者	205	5.6	8.0	0.0	6.0
有期契約労働者	144	6.0	11.0	0.0	6.0

【休日】

①手助・介護に要した時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	3.8	24.0	0.0	3.0
無期契約労働者	205	4.1	20.0	0.0	3.0
有期契約労働者	144	4.3	24.0	0.0	3.0

②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	1.2	8.0	0.0	1.0
無期契約労働者	205	0.9	8.0	0.0	1.0
有期契約労働者	144	1.1	8.0	0.0	1.0

③休息时间・回答者自身の時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	3.5	20.0	0.0	2.0
無期契約労働者	205	4.3	18.0	0.0	3.0
有期契約労働者	144	3.9	18.0	0.0	3.0

④睡眠時間

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	596	5.8	24.0	0.0	6.0
無期契約労働者	205	5.8	9.0	0.0	6.0
有期契約労働者	144	6.1	11.0	0.0	6.0

5. 仕事と介護の両立に関する制度、相談先

※「5. 仕事と介護の両立に関する制度、相談先」は、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」「離職者」を対象とした設問。

※離職者は断りが無い限り、「手助・介護」を理由に離職した当時の状況。

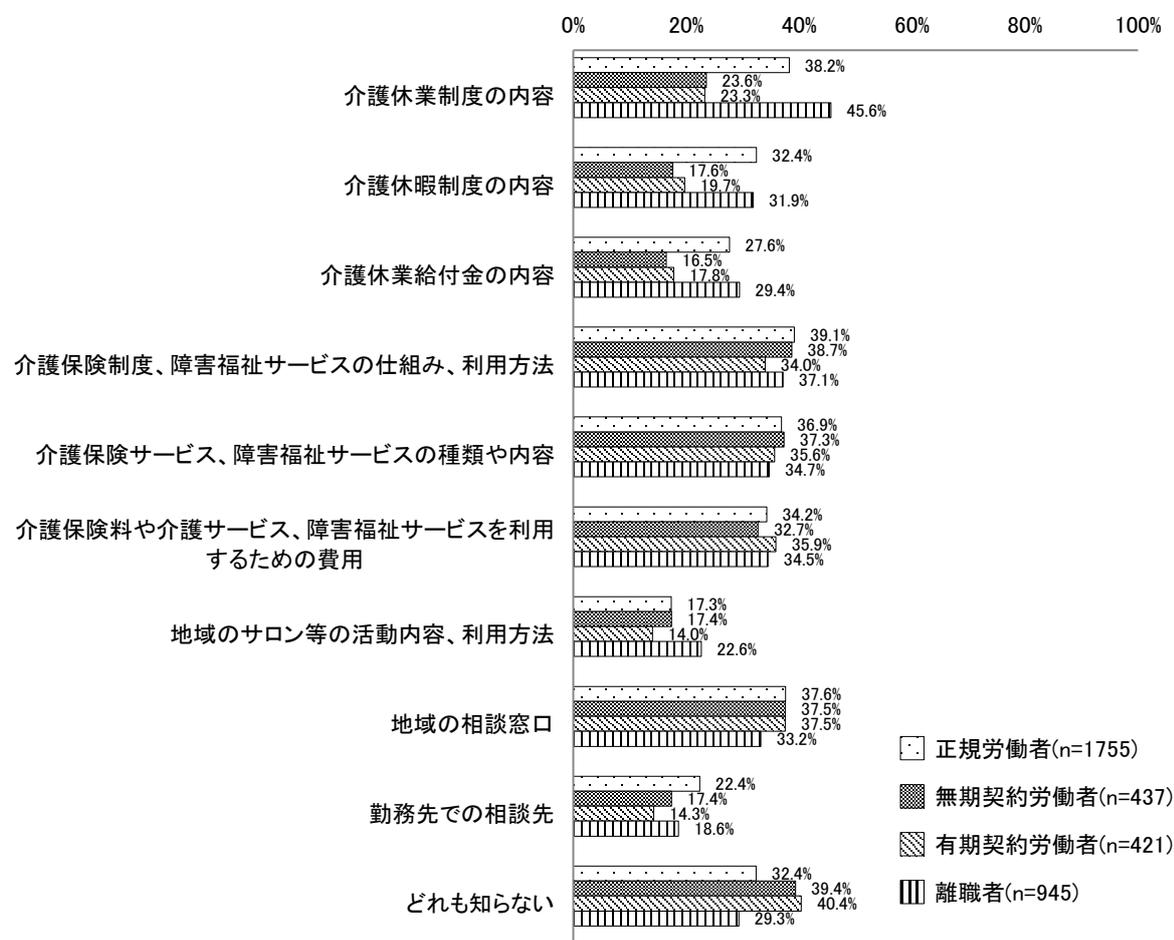
(1) 仕事と介護の両立に関する制度等の認知状況等

①知っていること

仕事と介護の両立に関する制度等の認知状況等について「知っていること」をみると、「正規労働者」では、「介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法」が39.1%で最も割合が高く、次いで「介護休業制度の内容」が38.2%となっている。「無期契約労働者」では、「どれも知らない」が39.4%で最も割合が高く、次いで「介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法」が38.7%となっている。「有期契約労働者」では、「どれも知らない」が40.4%で最も割合が高く、次いで「地域の相談窓口」が37.5%となっている。「離職者」では、「介護休業制度の内容」が45.6%で最も割合が高く、次いで「介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法」が37.1%となっている。

図表 76 仕事と介護の両立に関する制度等の認知状況等

①知っていること：複数回答 (Q25_1)



正規従業員について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた相談しやすいと思っている方が、各種制度等について、知っているという回答した割合が高くなっている。

正規従業員について、何人目の手助・介護か別にみると、「1人目」の方が「どれも知らない」の割合が高くなっている。

図表 77 【正規従業員】介護についての職場の相談しやすさ別

仕事と介護の両立に関する制度等の認知状況等①知っていること：複数回答（Q25_1）

		Q25_1. 介護に直面する前に知っておいた方が良かったこと：①知っていること										
		合計	介護休業制度の内容	介護休暇制度の内容	介護休業給付金の内容	介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法	介護保険サービス、障害福祉サービスの種類や内容	介護保険料や介護サービスを利用するための費用	地域のサロン等の活動内容、利用方法	地域の相談窓口	勤務先での相談先	どれも知らない
全体		1755 100.0	671 38.2	569 32.4	485 27.6	687 39.1	647 36.9	601 34.2	304 17.3	660 37.6	393 22.4	568 32.4
Q29. 介護について職場の相談しやすさ	そう思う+まあそう思う	875 100.0	398 45.5	342 39.1	286 32.7	396 45.3	368 42.1	328 37.5	184 21.0	357 40.8	257 29.4	213 24.3
	あまりそう思わない+そう思わない	785 100.0	260 33.1	218 27.8	193 24.6	276 35.2	264 33.6	258 32.9	113 14.4	287 36.6	131 16.7	288 36.7
	わからない	95 100.0	13 13.7	9 9.5	6 6.3	15 15.8	15 15.8	15 15.8	7 7.4	16 16.8	5 5.3	67 70.5

図表 78 【正規従業員】何人目の手助・介護か別

仕事と介護の両立に関する制度の認知状況等①知っていること：複数回答（Q25_1）

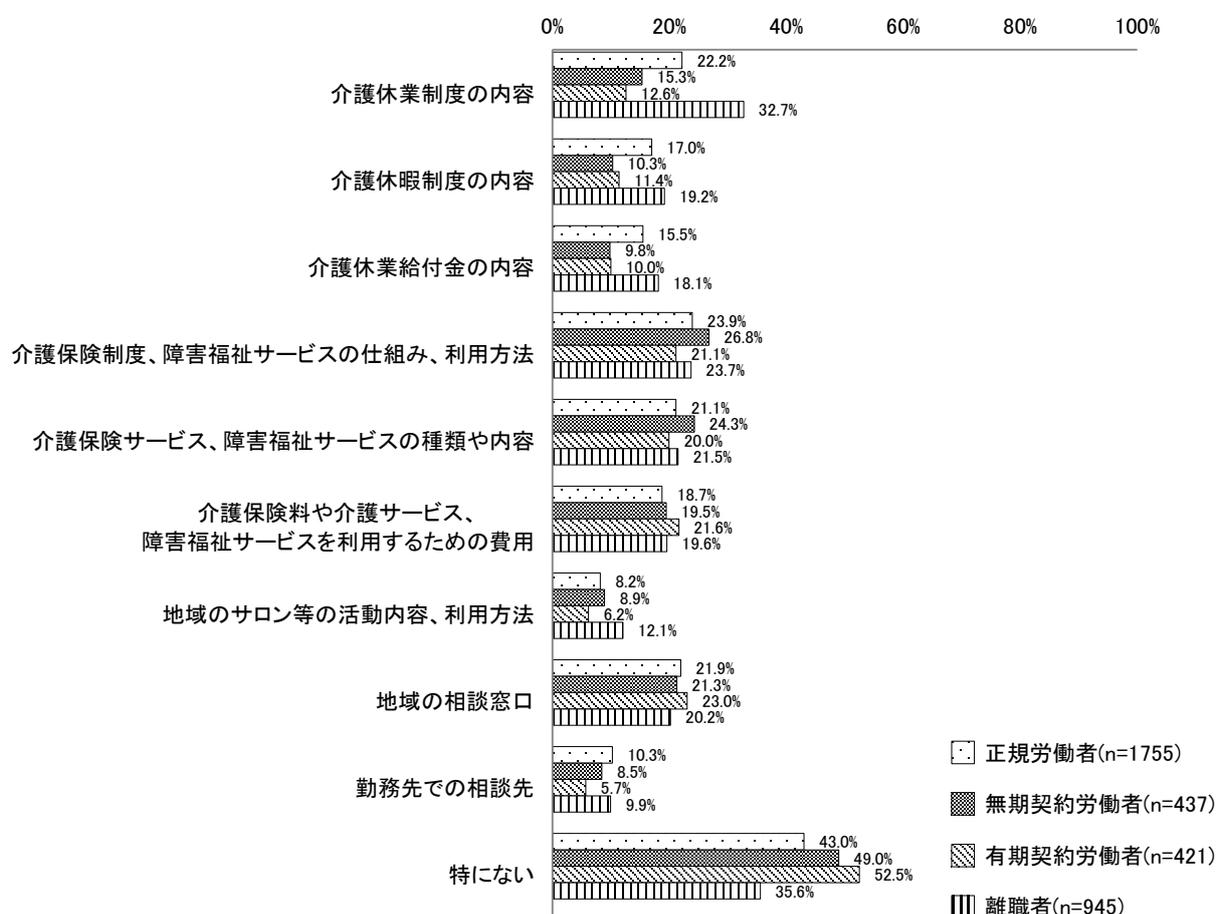
		Q25_1. 介護に直面する前に知っておいた方が良かったこと：①知っていること										
		合計	介護休業制度の内容	介護休暇制度の内容	介護休業給付金の内容	介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法	介護保険サービス、障害福祉サービスの種類や内容	介護保険料や介護サービスを利用するための費用	地域のサロン等の活動内容、利用方法	地域の相談窓口	勤務先での相談先	どれも知らない
全体		1755 100.0	671 38.2	569 32.4	485 27.6	687 39.1	647 36.9	601 34.2	304 17.3	660 37.6	393 22.4	568 32.4
Q13. 手助・介護している家族は、何人目の手助・介護か	1人目	1340 100.0	489 36.5	413 30.8	339 25.3	479 35.7	443 33.1	407 30.4	200 14.9	458 34.2	284 21.2	468 34.9
	2人目以上	415 100.0	182 43.9	156 37.6	146 35.2	208 50.1	204 49.2	194 46.7	104 25.1	202 48.7	109 26.3	100 24.1

②介護に直面する前に知っておいた方が良かったこと

仕事と介護の両立に関する制度等の認知状況等について「介護に直面する前に知っておいた方が良かったこと」をみると、「正規労働者」では、「特にない」が43.0%で最も割合が高く、次いで「介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法」が23.9%となっている。「無期契約労働者」では、「特にない」が49.0%で最も割合が高く、次いで「介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法」が26.8%となっている。「有期契約労働者」では、「特にない」が52.5%で最も割合が高く、次いで「地域の相談窓口」が23.0%となっている。「離職者」では、「特にない」が35.6%で最も割合が高く、次いで「介護休業制度の内容」が32.7%となっている。

図表 79 仕事と介護の両立に関する制度の認知状況等

②介護に直面する前に知っておいた方が良かったこと：複数回答（Q25_2）

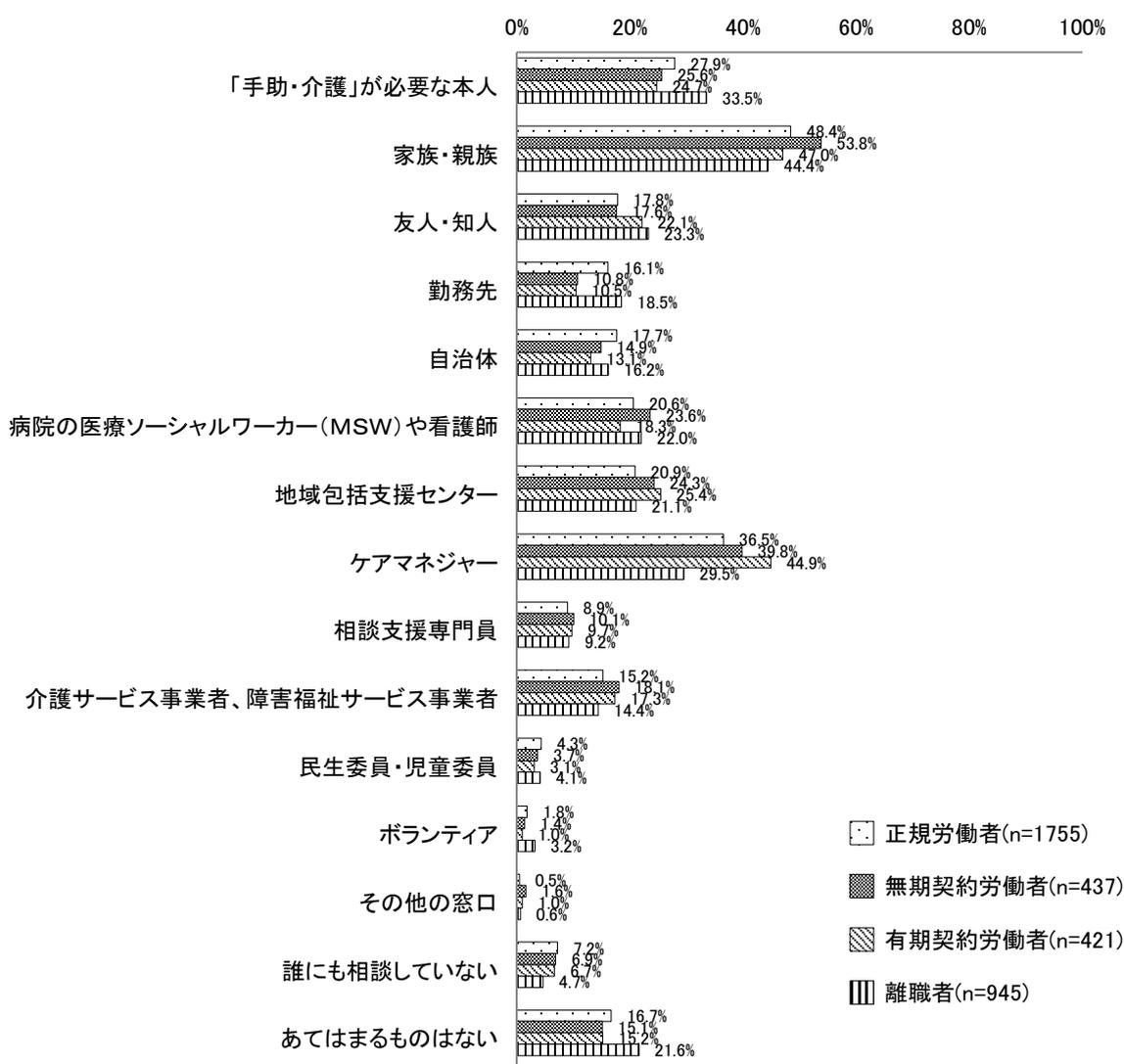


(2)「手助・介護」に関する相談の状況

①相談した人・機関

「手助・介護」に関する相談の状況について「相談した人・機関」をみると、「正規労働者」では、「家族・親族」が48.4%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が36.5%となっている。「無期契約労働者」では、「家族・親族」が53.8%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が39.8%となっている。「有期契約労働者」では、「家族・親族」が47.0%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が44.9%となっている。「離職者」では、「家族・親族」が44.4%で最も割合が高く、次いで「手助・介護」が必要な本人が33.5%となっている。

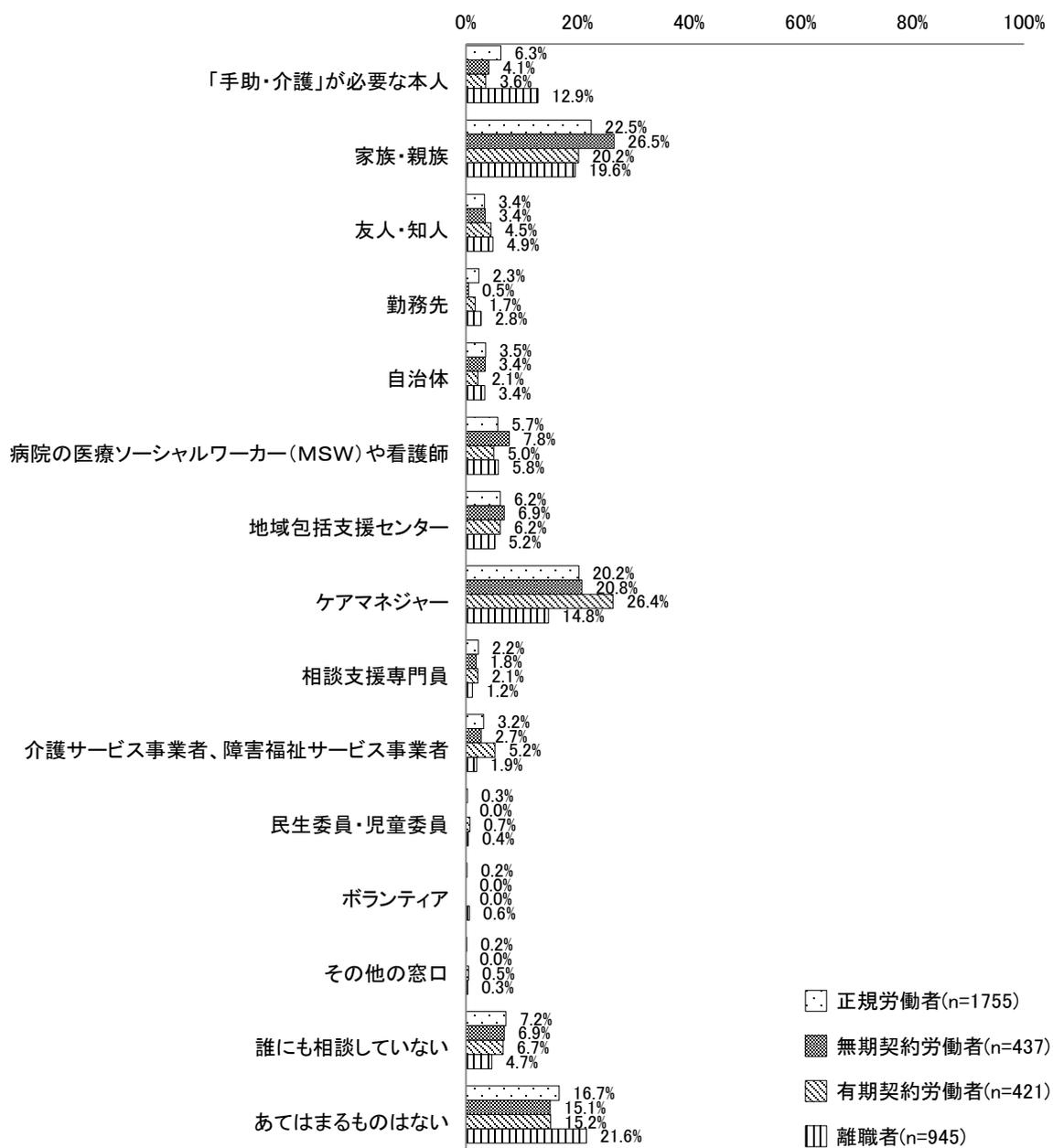
図表 80 「手助・介護」に関する相談の状況：①相談した人・機関：複数回答（Q26_1）



②相談した中で最も助けられた人・機関

「手助・介護」に関する相談の状況について「相談した中で最も助けられた人・機関」をみると、「正規労働者」では、「家族・親族」が 22.5%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が 20.2%となっている。「無期契約労働者」では、「家族・親族」が 26.5%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が 20.8%となっている。「有期契約労働者」では、「ケアマネジャー」が 26.4%で最も割合が高く、次いで「家族・親族」が 20.2%となっている。「離職者」では、「あてはまるものはない」が 21.6%で最も割合が高く、次いで「家族・親族」が 19.6%となっている。

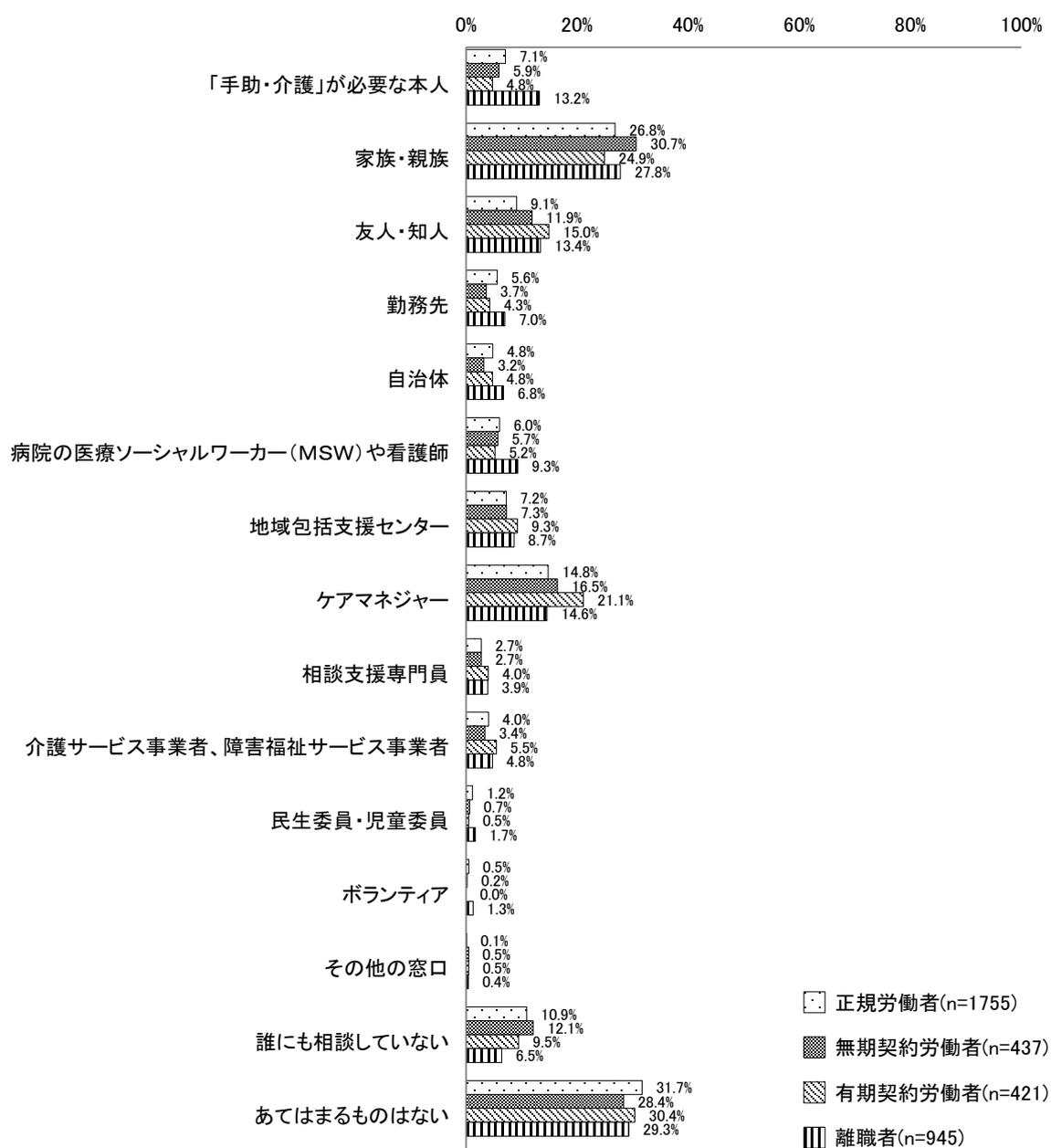
図表 81 「手助・介護」に関する相談の状況
: ②相談した中で最も助けられた人・機関:単数回答 (Q26_2)



③回答者自身の悩み等を相談した人・機関

「手助・介護」に関する相談の状況について「回答者自身の悩み等を相談した人・機関」をみると、「正規労働者」では、「あてはまるものはない」が31.7%で最も割合が高く、次いで「家族・親族」が26.8%となっている。「無期契約労働者」では、「家族・親族」が30.7%で最も割合が高く、次いで「あてはまるものはない」が28.4%となっている。「有期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が30.4%で最も割合が高く、次いで「家族・親族」が24.9%となっている。「離職者」では、「あてはまるものはない」が29.3%で最も割合が高く、次いで「家族・親族」が27.8%となっている。

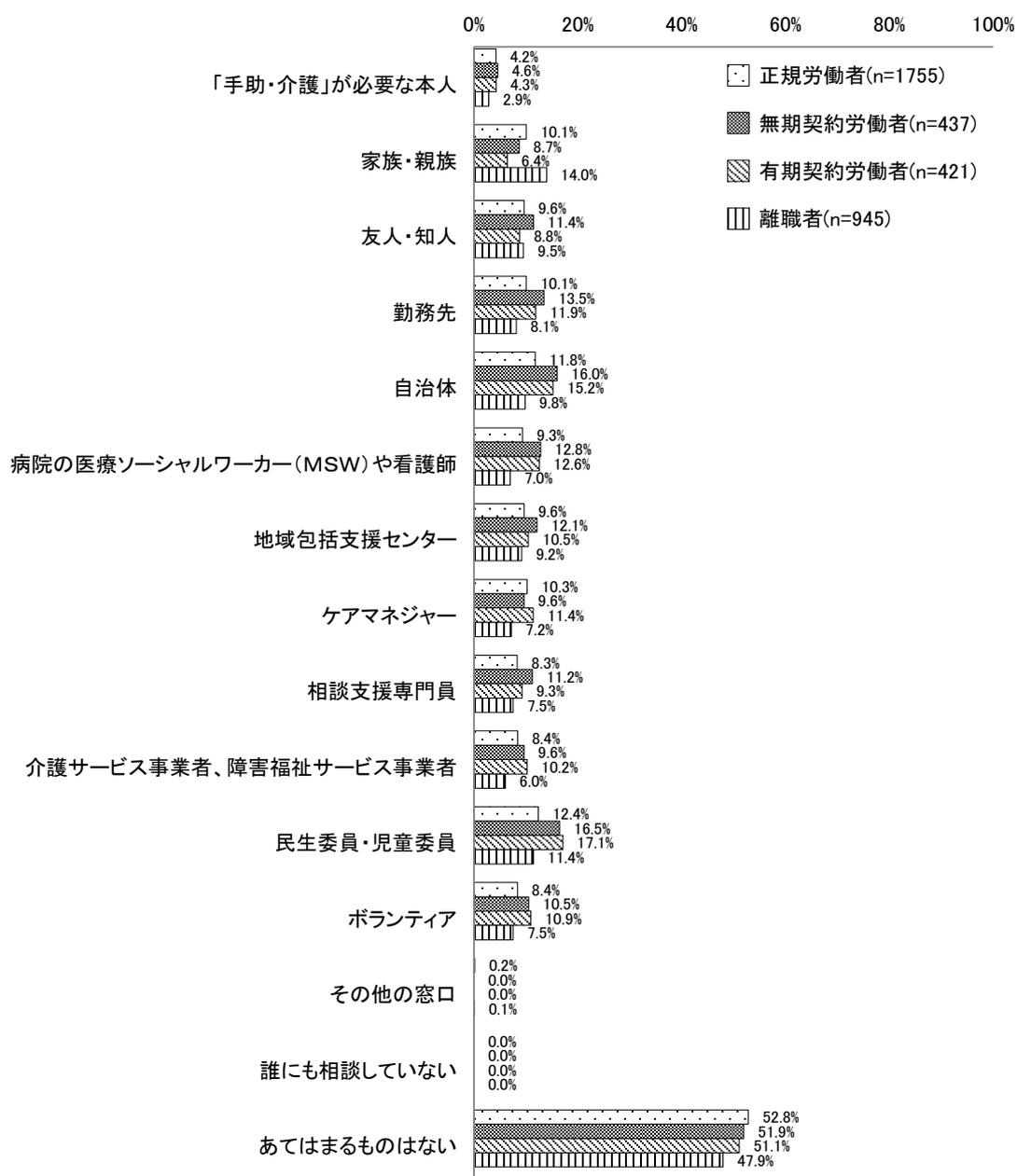
図表 82 相談した中で最も助けられた人・機関
: ③回答者自身の悩み等を相談した人・機関:複数回答 (Q26_3)



④知っているが、相談したことがない人・機関

「手助・介護」に関する相談の状況について「知っているが、相談したことがない人・機関」をみると、「正規労働者」では、「あてはまるものはない」が52.8%で最も割合が高く、次いで「民生委員・児童委員」が12.4%となっている。「無期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が51.9%で最も割合が高く、次いで「民生委員・児童委員」が16.5%となっている。「有期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が51.1%で最も割合が高く、次いで「民生委員・児童委員」が17.1%となっている。「離職者」では、「あてはまるものはない」が47.9%で最も割合が高く、次いで「家族・親族」が14.0%となっている。

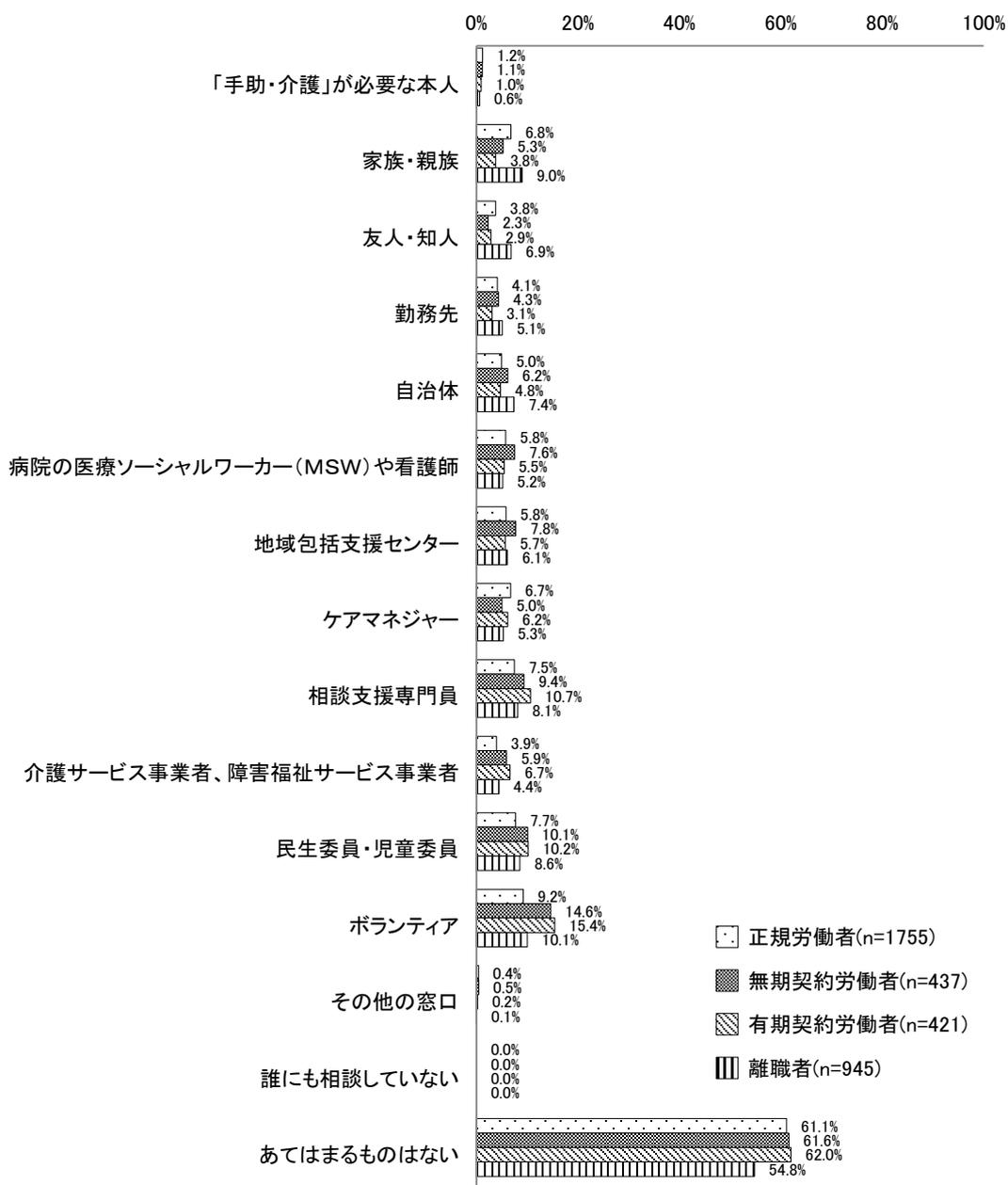
図表 83 相談した中で最も助けられた人・機関
: ④知っているが、相談したことがない人・機関:複数回答 (Q26_4)



⑤知らない人・機関

「手助・介護」に関する相談の状況について「知らない人・機関」をみると、「正規労働者」では、「あてはまるものはない」が61.1%で最も割合が高く、次いで「ボランティア」が9.2%となっている。「無期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が61.6%で最も割合が高く、次いで「ボランティア」が14.6%となっている。「有期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が62.0%で最も割合が高く、次いで「ボランティア」が15.4%となっている。「離職者」では、「あてはまるものはない」が54.8%で最も割合が高く、次いで「ボランティア」が10.1%となっている。

図表 84 相談した中で最も助けられた人・機関：⑤知らない人・機関：複数回答（Q26_5）



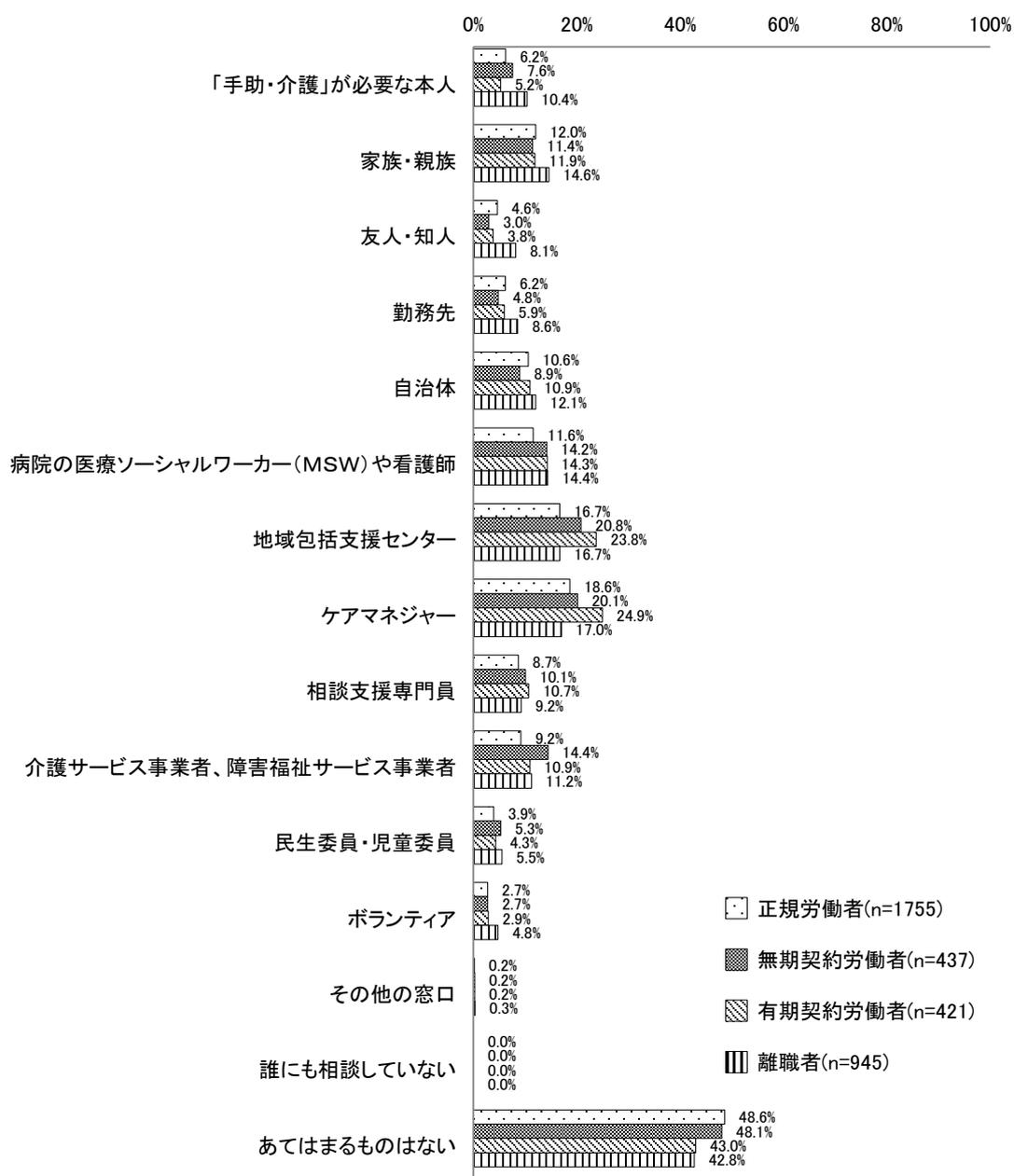
⑥介護に直面する前に知っておいた方がよいと思う人・機関

「手助・介護」に関する相談の状況について「介護に直面する前に知っておいた方がよいと思う人・機関」をみると、「正規労働者」では、「あてはまるものはない」が48.6%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が18.6%となっている。「無期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が48.1%で最も割合が高く、次いで「地域包括支援センター」が20.8%となっている。

「有期契約労働者」では、「あてはまるものはない」が43.0%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が24.9%となっている。「離職者」では、「あてはまるものはない」が42.8%で最も割合が高く、次いで「ケアマネジャー」が17.0%となっている。

図表 85 相談した中で最も助けられた人・機関

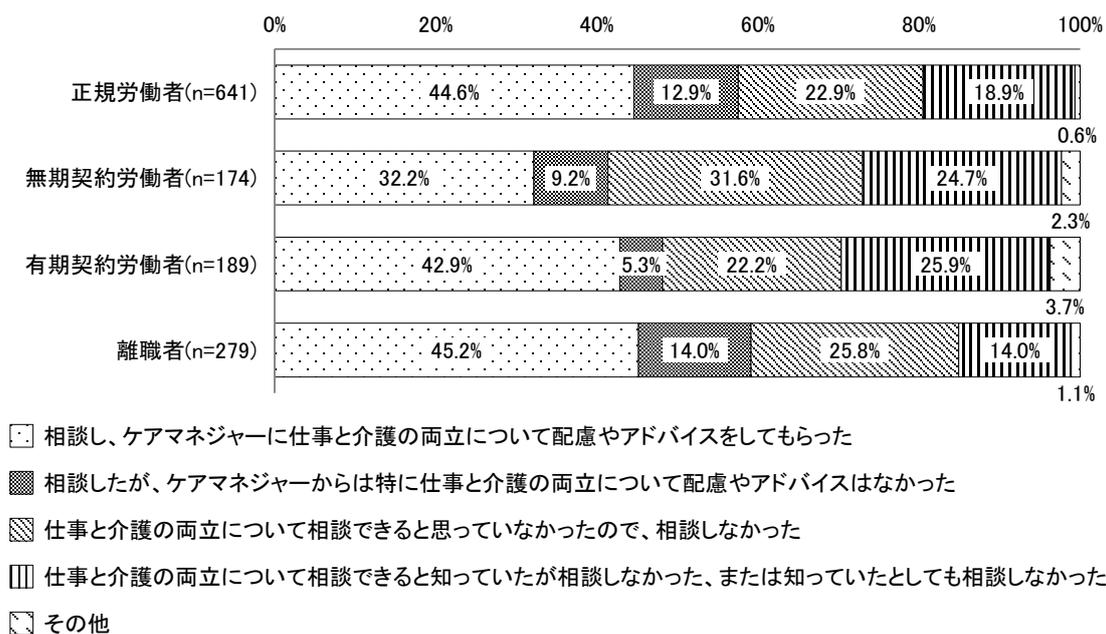
: ⑥介護に直面する前に知っておいた方がよいと思う人・機関: 複数回答 (Q26_6)



(3) ケアマネジャーへの自身の仕事と介護の両立についての相談状況

ケアマネジャーに自分自身の仕事と介護の両立について相談したか、また、相談した際、ケアマネジャーから仕事と介護の両立について配慮やアドバイスはあったかをみると、「正規労働者」では、「相談し、ケアマネジャーに仕事と介護の両立について配慮やアドバイスをしてもらった」が44.6%で最も割合が高く、次いで「仕事と介護の両立について相談できると思っていなかった」ので、相談しなかった」が22.9%となっている。「無期契約労働者」では、「相談し、ケアマネジャーに仕事と介護の両立について配慮やアドバイスをしてもらった」が32.2%で最も割合が高く、次いで「仕事と介護の両立について相談できると思っていなかった」ので、相談しなかった」が31.6%となっている。「有期契約労働者」では、「相談し、ケアマネジャーに仕事と介護の両立について配慮やアドバイスをしてもらった」が42.9%で最も割合が高く、次いで「仕事と介護の両立について相談できると知っていたが相談しなかった、または知っていたとしても相談しなかった」が25.9%となっている。「離職者」では、「相談し、ケアマネジャーに仕事と介護の両立について配慮やアドバイスをしてもらった」が45.2%で最も割合が高く、次いで「仕事と介護の両立について相談できると思っていなかった」ので、相談しなかった」が25.8%となっている。

図表 86 ケアマネジャーへの自身の仕事と介護の両立についての相談状況:単数回答 (Q27)



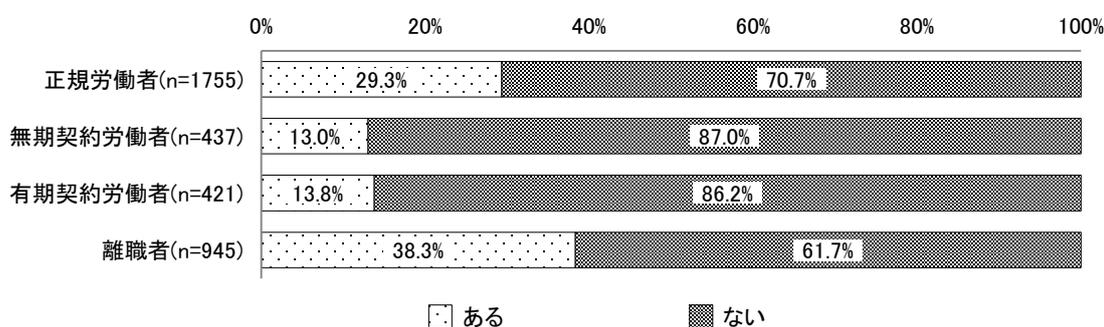
(4) 勤務先での支援制度の説明状況

①介護休業等の両立支援制度の内容や申出方法

勤務先での支援制度の説明状況について、「介護休業等の両立支援制度の内容や申出方法」をみると、説明を受けたことが「ある」と回答した割合は、「正規労働者」では29.3%、「無期契約労働者」13.0%、「有期契約労働者」では13.8%、「離職者」では38.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「ある」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「ない」の割合が高くなっている。

図表 87 勤務先での支援制度の説明状況：①介護休業等の両立支援制度の内容や申出方法
：単数回答 (Q28_1)



図表 88 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先での支援制度の説明状況：①介護休業等の両立支援制度の内容や申出方法
：単数回答 (Q28_1)

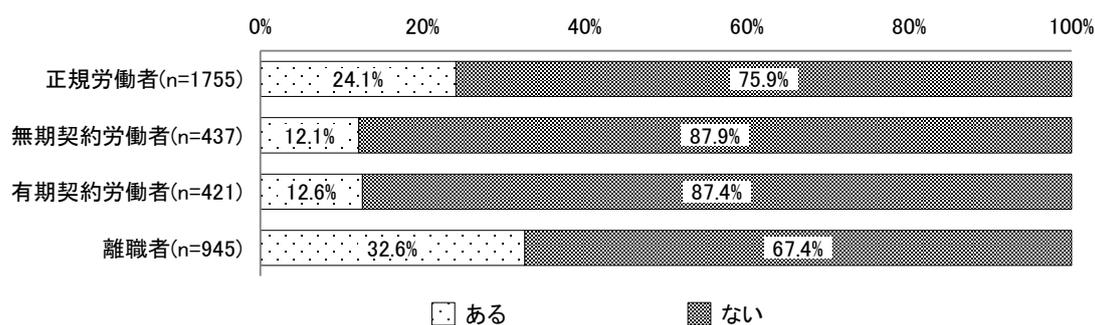
	合計	Q28_1. 勤務先での支援制度の説明状況：①介護休業等の両立支援制度の内容や申出方法	
		ある	ない
全体	945	362	583
	100.0	38.3	61.7
正規労働者	596	284	312
	100.0	47.7	52.3
無期契約労働者	205	51	154
	100.0	24.9	75.1
有期契約労働者	144	27	117
	100.0	18.8	81.3

②介護休業等の両立支援制度の利用方法

勤務先での支援制度の説明状況について、「介護休業等の両立支援制度の利用方法」をみると、説明を受けたことが「ある」と回答した割合は、「正規労働者」では 24.1%、「無期契約労働者」では 12.1%、「有期契約労働者」では 12.6%、「離職者」では 32.6%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「ある」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「ない」の割合が高くなっている。

図表 89 勤務先での支援制度の説明状況：②介護休業等の両立支援制度の利用方法：単数回答 (Q28_2)



図表 90 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先での支援制度の説明状況：②介護休業等の両立支援制度の利用方法：単数回答 (Q28_2)

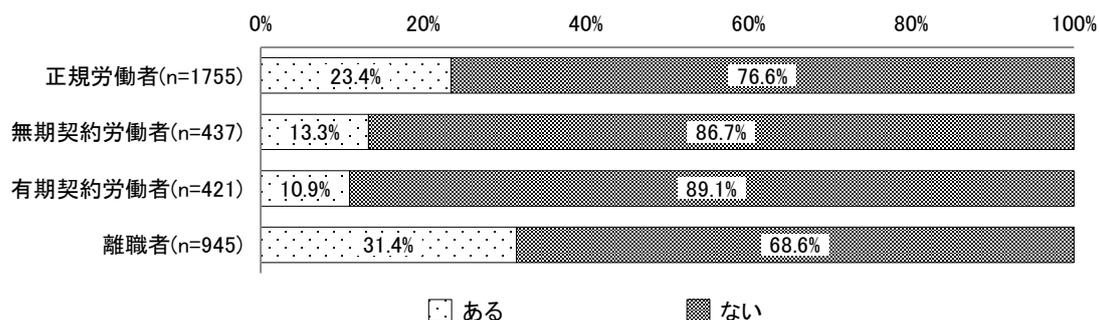
	合計	Q28_2. 勤務先での支援制度の説明状況： ②介護休業等の両立支援制度の利用方法	
		ある	ない
全体	945	308	637
	100.0	32.6	67.4
正規労働者	596	228	368
	100.0	38.3	61.7
無期契約労働者	205	51	154
	100.0	24.9	75.1
有期契約労働者	144	29	115
	100.0	20.1	79.9

③介護休業給付金の内容

勤務先での支援制度の説明状況について、「介護休業給付金の内容」をみると、説明を受けたことが「ある」と回答した割合は、「正規労働者」では23.4%、「無期契約労働者」では13.3%、「有期契約労働者」では10.9%、「離職者」では31.4%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「ある」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「ない」の割合が高くなっている。

図表 91 勤務先での支援制度の説明状況：③介護休業給付金の内容：単数回答（Q28_3）



図表 92 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先での支援制度の説明状況：③介護休業給付金の内容：単数回答（Q28_3）

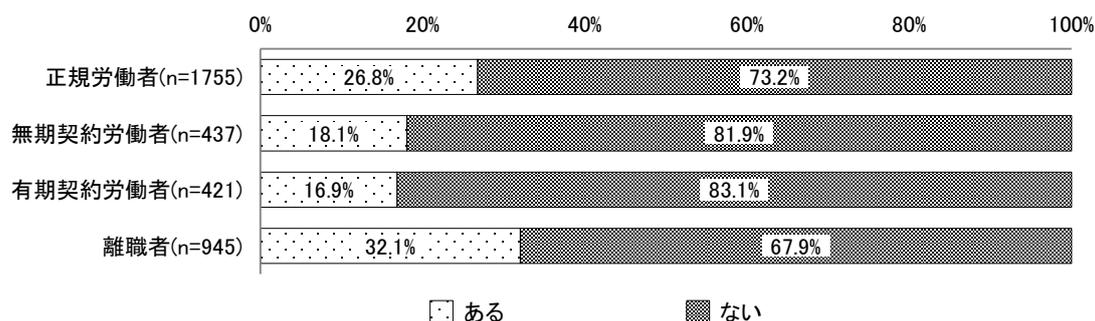
	合計	Q28_3. 勤務先での支援制度の説明状況：③介護休業給付金の内容	
		ある	ない
全体	945	297	648
	100.0	31.4	68.6
正規労働者	596	229	367
	100.0	38.4	61.6
無期契約労働者	205	42	163
	100.0	20.5	79.5
有期契約労働者	144	26	118
	100.0	18.1	81.9

④介護保険制度の仕組み、認定手続き・利用方法

勤務先での支援制度の説明状況について、「介護保険制度の仕組み、認定手続き・利用方法」をみると、説明を受けたことが「ある」と回答した割合は、「正規労働者」では26.8%、「無期契約労働者」では18.1%、「有期契約労働者」では16.9%、「離職者」では32.1%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「ある」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「ない」の割合が高くなっている。

図表 93 勤務先での支援制度の説明状況：④介護保険制度の仕組み、認定手続き・利用方法：単数回答（Q28_4）



図表 94 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先での支援制度の説明状況：④介護保険制度の仕組み、認定手続き・利用方法：単数回答（Q28_4）

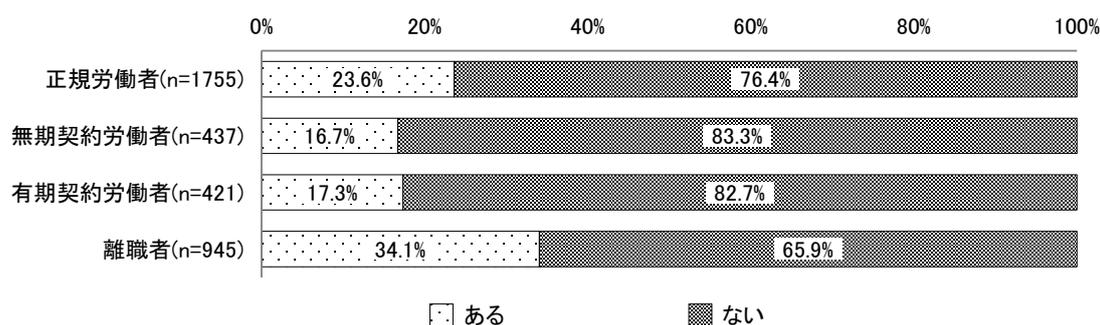
	合計	Q28_4. 勤務先での支援制度の説明状況：④介護保険制度の仕組み、認定手続き・利用方法	
		ある	ない
全体	945	303	642
	100.0	32.1	67.9
正規労働者	596	221	375
	100.0	37.1	62.9
無期契約労働者	205	50	155
	100.0	24.4	75.6
有期契約労働者	144	32	112
	100.0	22.2	77.8

⑤障害福祉サービスの仕組み、手続き・利用方法

勤務先での支援制度の説明状況について、「障害福祉サービスの仕組み、手続き・利用方法」をみると、説明を受けたことが「ある」と回答した割合は、「正規労働者」では23.6%、「無期契約労働者」では16.7%、「有期契約労働者」では17.3%、「離職者」では34.1%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「ある」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「ない」の割合が高くなっている。

図表 95 勤務先での支援制度の説明状況：⑤障害福祉サービスの仕組み、手続き・利用方法
：単数回答（Q28_5）



図表 96 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先での支援制度の説明状況：⑤障害福祉サービスの仕組み、手続き・利用方法
：単数回答（Q28_5）

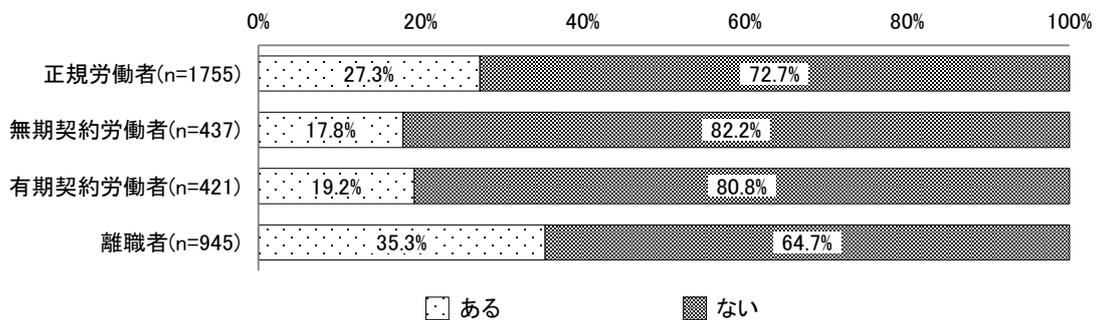
	合計	Q28_5. 勤務先での支援制度の説明状況：⑤障害福祉サービスの仕組み、手続き・利用方法	
		ある	ない
全体	945	322	623
	100.0	34.1	65.9
正規労働者	596	237	359
	100.0	39.8	60.2
無期契約労働者	205	53	152
	100.0	25.9	74.1
有期契約労働者	144	32	112
	100.0	22.2	77.8

⑥介護が必要となった場合に相談すべき地域の相談窓口

勤務先での支援制度の説明状況について、「介護が必要となった場合に相談すべき地域の相談窓口」をみると、説明を受けたことが「ある」と回答した割合は、「正規労働者」では27.3%、「無期契約労働者」では17.8%、「有期契約労働者」では19.2%、「離職者」では35.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「ある」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「ない」の割合が高くなっている。

図表 97 勤務先での支援制度の説明状況：⑥介護が必要となった場合に相談すべき地域の相談窓口：単数回答（Q28_6）



図表 98 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先での支援制度の説明状況：⑥介護が必要となった場合に相談すべき地域の相談窓口：単数回答（Q28_6）

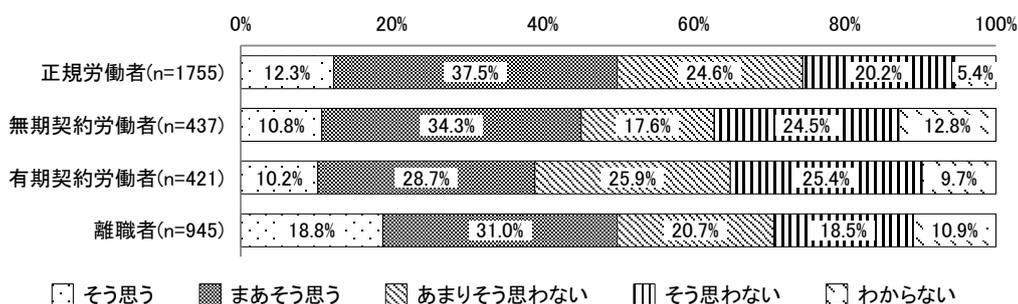
	合計	Q28_6. 勤務先での支援制度の説明状況：⑥介護が必要となった場合に相談すべき地域の相談窓口	
		ある	ない
全体	945	334	611
	100.0	35.3	64.7
正規労働者	596	233	363
	100.0	39.1	60.9
無期契約労働者	205	60	145
	100.0	29.3	70.7
有期契約労働者	144	41	103
	100.0	28.5	71.5

(5) 介護について職場の相談しやすさ

介護のことについて、上司や同僚に話したり、相談したりすることができる雰囲気が職場にあると思うかをみると、「正規労働者」では「そう思う」が12.3%、「まあそう思う」が37.5%、「無期契約労働者」では「そう思う」が10.8%、「まあそう思う」が34.3%、「有期契約労働者」では「そう思う」が10.2%、「まあそう思う」が28.7%、「離職者」では「そう思う」が18.8%、「まあそう思う」が31.0%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「そう思う」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「そう思わない」の割合が高くなっている。

図表 99 介護について職場の相談しやすさ：単数回答（Q29）



図表 100 【離職者】離職時の就業形態別 介護について職場の相談しやすさ：単数回答（Q29）

	合計	Q29. 介護について職場の相談しやすさ				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
全体	945	178	293	196	175	103
	100.0	18.8	31.0	20.7	18.5	10.9
正規労働者	596	142	195	106	86	67
	100.0	23.8	32.7	17.8	14.4	11.2
無期契約労働者	205	21	59	52	56	17
	100.0	10.2	28.8	25.4	27.3	8.3
有期契約労働者	144	15	39	38	33	19
	100.0	10.4	27.1	26.4	22.9	13.2

(6) 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ

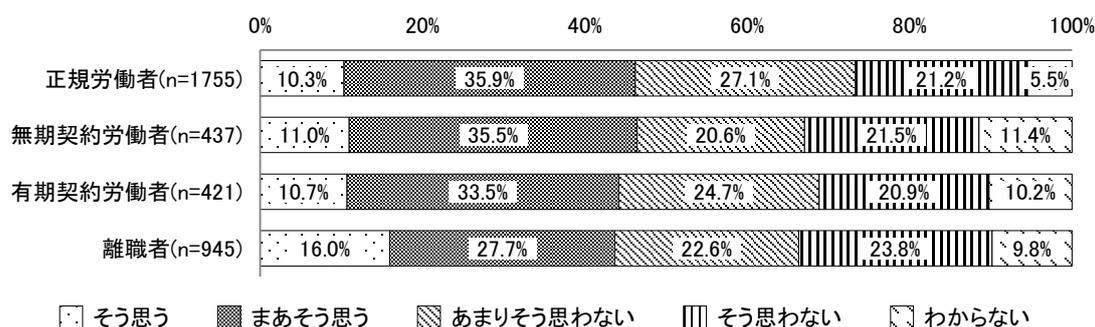
職場は、仕事と介護を両立できる働き方に変更しやすい環境にあると思うかについて、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合みると、「正規労働者」では46.2%、「無期契約労働者」では46.5%、「有期契約労働者」では44.2%、「離職者」では43.7%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「そう思う」、「無期契約労働者」「有期契約労働者」は「そう思わない」の割合が高くなっている。

正規労働者について、週労働時間別にみると、労働時間が長くなるほど、「そう思わない」の割合が高くなる傾向にある。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、仕事と介護を両立できる働き方に変更しやすい環境にあると思う（そう思う+まあそう思う）と回答した方が、「そう思う」「まあそう思う」と回答した割合が高くなっている。

図表 101 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ:単数回答 (Q30)



図表 102 【離職者】離職時の就業形態別 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ:単数回答 (Q30)

	合計	Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
全体	945 100.0	151 16.0	262 27.7	214 22.6	225 23.8	93 9.8
正規労働者	596 100.0	119 20.0	184 30.9	119 20.0	111 18.6	63 10.6
無期契約労働者	205 100.0	18 8.8	48 23.4	56 27.3	67 32.7	16 7.8
有期契約労働者	144 100.0	14 9.7	30 20.8	39 27.1	47 32.6	14 9.7

図表 103 【正規労働者】週労働時間別 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ:単数回答 (Q30)

	合計	Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1755 100.0	181 10.3	630 35.9	476 27.1	372 21.2	96 5.5
週 30 時間未満	167 100.0	32 19.2	71 42.5	30 18.0	26 15.6	8 4.8
週 30～40 時間未満	458 100.0	45 9.8	184 40.2	132 28.8	77 16.8	20 4.4
週 40～50 時間未満	809 100.0	80 9.9	285 35.2	232 28.7	171 21.1	41 5.1
週 50～60 時間未満	179 100.0	12 6.7	58 32.4	51 28.5	48 26.8	10 5.6
週 60 時間以上	117 100.0	10 8.5	29 24.8	25 21.4	47 40.2	6 5.1

図表 104 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別
仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ:単数回答 (Q30)

		合計	Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ				
			そう思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体		1755	181	630	476	372	96
		100.0	10.3	35.9	27.1	21.2	5.5
Q29. 介護に ついて職場 の相談しや すさ	そう思う+まあそ う思う	875	170	510	147	41	7
		100.0	19.4	58.3	16.8	4.7	0.8
	あまりそう思わな い+そう思わない	785	7	112	320	322	24
		100.0	0.9	14.3	40.8	41.0	3.1
	わからない	95	4	8	9	9	65
		100.0	4.2	8.4	9.5	9.5	68.4

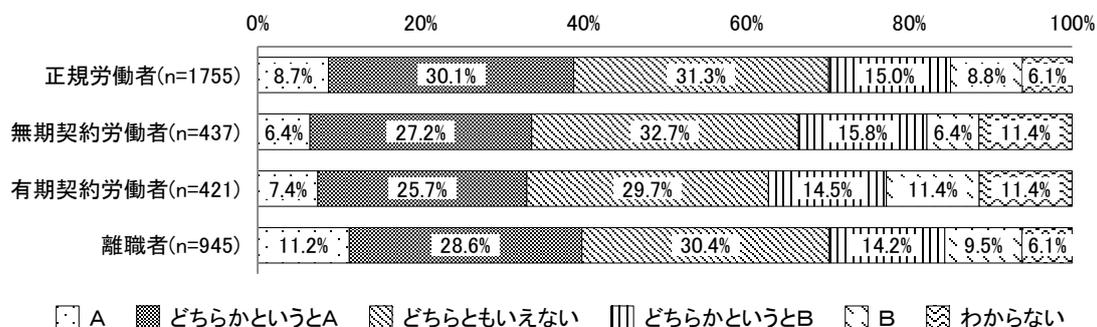
(7) 介護休業に関する考え方

介護休業に関する考え方について、「A：介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である」と「B：介護休業期間は介護に専念するための期間である」のどちらに近いかをみると、「A」と「どちらかというA」を合わせた割合は、「正規労働者」は38.8%、「無期契約労働者」は33.6%、「有期契約労働者」は33.1%、「離職者」は39.8%となっている。

図表 105 介護休業に関する考え方:単数回答 (Q31)

A：介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である

B：介護休業期間は介護に専念するための期間である



(8) 勤務先の両立支援制度の利用状況

①介護休業制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「介護休業制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が44.0%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用する必要性を感じていない」が25.0%となっている。「無期契約労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が33.6%で最も割合が高く、次いで「わからない」が32.5%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が35.9%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が31.4%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.7%で最も割合が高く、次いで「利用している、利用したことがある」が25.4%となっている。

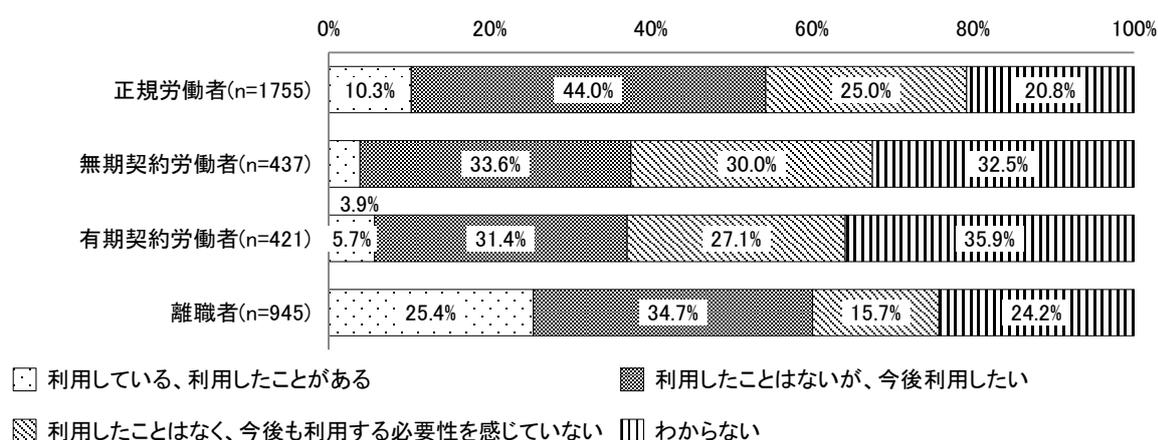
離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は12.0%となっている。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、他と比較して、「そう思う+まあそう思う」を合わせた相談しやすいと思うと回答した人は、「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別にみると、他と比較して、「そう思う+まあそう思う」を合わせた変更しやすいと思うと回答した人は、「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

図表 106 勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度：単数回答 (Q32_1)



図表 107 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度：単数回答（Q32_1）

	合計	Q32_1. 勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度			
		利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体	945 100.0	240 25.4	328 34.7	148 15.7	229 24.2
正規労働者	596 100.0	194 32.6	207 34.7	68 11.4	127 21.3
無期契約労働者	205 100.0	26 12.7	78 38.0	43 21.0	58 28.3
有期契約労働者	144 100.0	20 13.9	43 29.9	37 25.7	44 30.6

図表 108 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度：単数回答（Q32_1）

	合計	Q32_1. 勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度				
		利用している、 利用したことがある	利用したこ とはない が、今後利 用したい	利用したこ とはなく、 今後も利 用する必要 性を感じて いない	わからない	
全体	1755 100.0	180 10.3	772 44.0	438 25.0	365 20.8	
Q12. 回答者 が主たる介 護者か	主たる介護者である	969 100.0	116 12.0	423 43.7	234 24.1	196 20.2
	主たる介護者ではない	786 100.0	64 8.1	349 44.4	204 26.0	169 21.5

図表 109 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別

勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度：単数回答（Q32_1）

	合計	Q32_1. 勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度				
		利用してい る、利用し たことがある	利用したこ とはないが、今 後利用したい	利用したこ とはなく、今後 も利用する必 要性を感じて いない	わからない	
全体	1755 100.0	180 10.3	772 44.0	438 25.0	365 20.8	
Q29. 介護に ついて職場 の相談しや すさ	そう思う+まあそ う思う	875 100.0	137 15.7	391 44.7	226 25.8	121 13.8
	あまりそう思わな い+そう思わな い	785 100.0	42 5.4	368 46.9	191 24.3	184 23.4
	わからない	95 100.0	1 1.1	13 13.7	21 22.1	60 63.2

図表 110 【正規労働者】仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別

勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度：単数回答（Q32_1）

		合計	Q32_1. 勤務先の両立支援制度の利用状況：①介護休業制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	180 10.3	772 44.0	438 25.0	365 20.8
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う＋まあそう思う	811 100.0	137 16.9	353 43.5	215 26.5	106 13.1
	あまりそう思わない＋そう思わない	848 100.0	42 5.0	407 48.0	199 23.5	200 23.6
	わからない	96 100.0	1 1.0	12 12.5	24 25.0	59 61.5

②介護休暇制度：1日単位での利用

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「介護休暇制度：1日単位での利用」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が43.0%で最も割合が高く、次いで「わからない」が24.7%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が36.4%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が34.3%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が39.7%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が31.6%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が37.9%で最も割合が高く、次いで「わからない」が26.2%となっている。

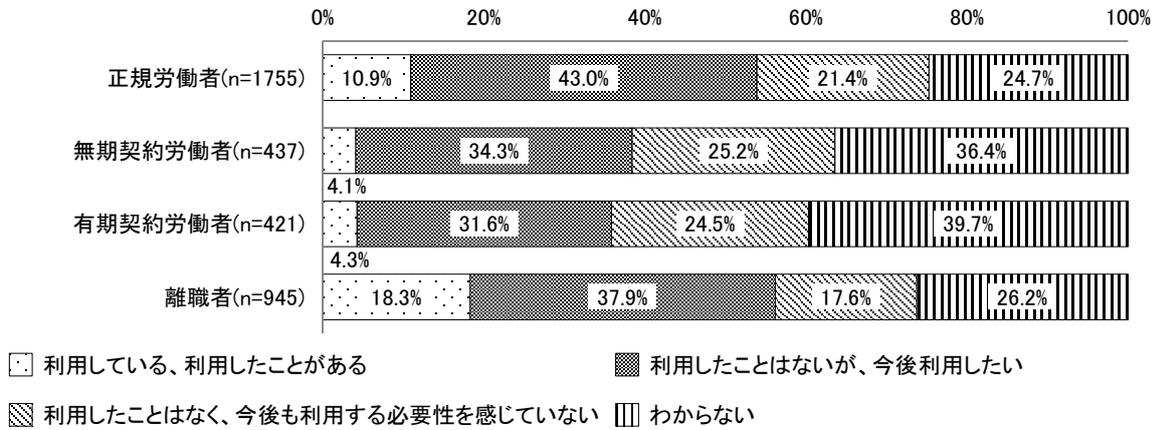
離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は11.6%となっている。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、他と比較して、「そう思う＋まあそう思う」を合わせた相談しやすいと思うと回答した人は、「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別にみると、他と比較して、「そう思う＋まあそう思う」を合わせた変更しやすいと思うと回答した人は、「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

図表 111 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用：単数回答 (Q32_2)



図表 112 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用：単数回答 (Q32_2)

	合計	Q32_2. 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945	173	358	166	248
	100.0	18.3	37.9	17.6	26.2
正規労働者	596	132	239	96	129
	100.0	22.1	40.1	16.1	21.6
無期契約労働者	205	23	84	32	66
	100.0	11.2	41.0	15.6	32.2
有期契約労働者	144	18	35	38	53
	100.0	12.5	24.3	26.4	36.8

図表 113 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用：単数回答 (Q32_2)

	合計	Q32_2. 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用				
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない	
全体	1755	192	754	375	434	
	100.0	10.9	43.0	21.4	24.7	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969	112	415	206	236
		100.0	11.6	42.8	21.3	24.4
	主たる介護者ではない	786	80	339	169	198
	100.0	10.2	43.1	21.5	25.2	

図表 114 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別

勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用：単数回答（Q32_2）

		合計	Q32_2. 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用			
			利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利用 したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体		1755 100.0	192 10.9	754 43.0	375 21.4	434 24.7
Q29. 介護 について 職場の相 談しやす さ	そう思う+まあそ う思う	875 100.0	145 16.6	379 43.3	201 23.0	150 17.1
	あまりそう思わな い+そう思わない	785 100.0	47 6.0	360 45.9	155 19.7	223 28.4
	わからない	95 100.0	0 0.0	15 15.8	19 20.0	61 64.2

図表 115 【正規労働者】仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別

勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用：単数回答（Q32_2）

		合計	Q32_2. 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護休暇制度：1日単位での利用			
			利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利用 したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体		1755 100.0	192 10.9	754 43.0	375 21.4	434 24.7
Q30. 仕事と 介護を両立 できる働き 方への変更 しやすさ	そう思う+まあそ う思う	811 100.0	140 17.3	342 42.2	188 23.2	141 17.4
	あまりそう思わな い+そう思わない	848 100.0	50 5.9	400 47.2	169 19.9	229 27.0
	わからない	96 100.0	2 2.1	12 12.5	18 18.8	64 66.7

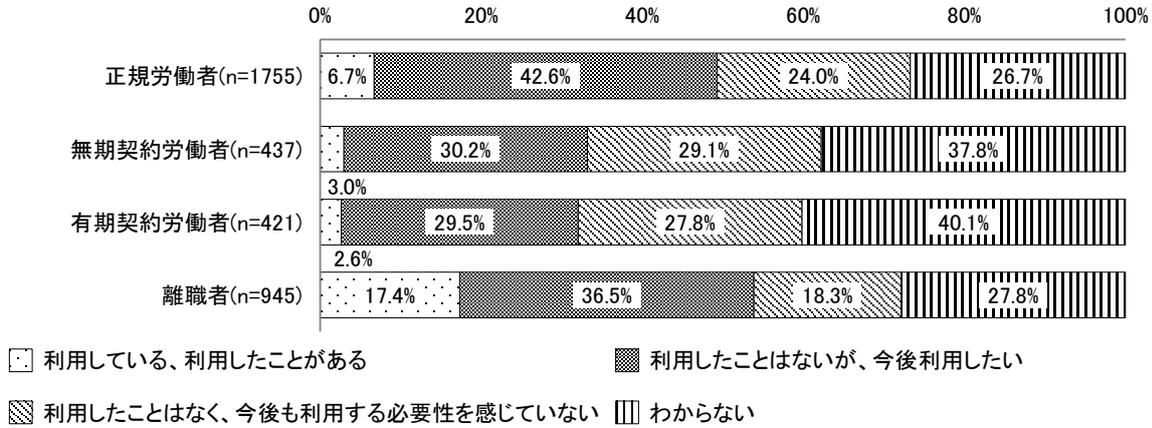
③介護休暇制度：半日単位での利用

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「介護休暇制度：半日単位での利用」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が42.6%で最も割合が高く、次いで「わからない」が26.7%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が37.8%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が30.2%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が40.1%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が29.5%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が36.5%で最も割合が高く、次いで「わからない」が27.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.5%となっている。

図表 116 勤務先の両立支援制度の利用状況：③介護休暇制度：半日単位での利用：単数回答
(Q32_3)



図表 117 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：③介護休暇制度：半日単位での利用：単数回答 (Q32_3)

	合計	Q32_3. 勤務先の両立支援制度の利用状況：③介護休暇制度：半日単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	164	345	173	263
	100.0	17.4	36.5	18.3	27.8
正規労働者	596	126	241	93	136
	100.0	21.1	40.4	15.6	22.8
無期契約労働者	205	20	75	39	71
	100.0	9.8	36.6	19.0	34.6
有期契約労働者	144	18	29	41	56
	100.0	12.5	20.1	28.5	38.9

図表 118 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：③介護休暇制度：半日単位での利用：単数回答 (Q32_3)

	合計	Q32_3. 勤務先の両立支援制度の利用状況：③介護休暇制度：半日単位での利用				
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない	わからない	
全体	1755	118	747	421	469	
	100.0	6.7	42.6	24.0	26.7	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969	63	418	241	247
		100.0	6.5	43.1	24.9	25.5
	主たる介護者ではない	786	55	329	180	222
	100.0	7.0	41.9	22.9	28.2	

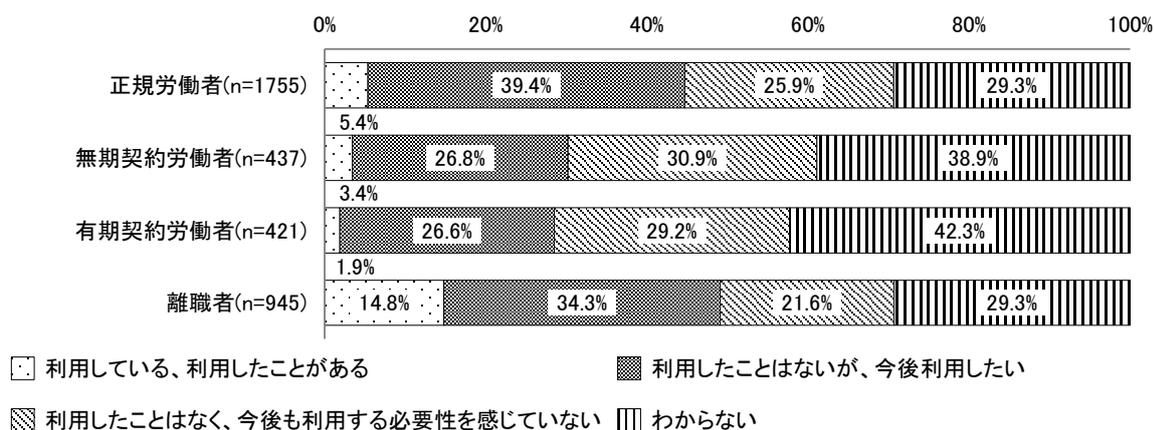
④介護休暇制度：時間単位での利用

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「介護休暇制度：時間単位での利用」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が39.4%で最も割合が高く、次いで「わからない」が29.3%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が38.9%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が30.9%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が42.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が29.2%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.3%で最も割合が高く、次いで「わからない」が29.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合がやや高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.0%となっている。

図表 119 勤務先の両立支援制度の利用状況：④介護休暇制度：時間単位での利用：単数回答 (Q32_4)



図表 120 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：④介護休暇制度：時間単位での利用：単数回答 (Q32_4)

	合計	Q32_4. 勤務先の両立支援制度の利用状況：④介護休暇制度：時間単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	140 14.8	324 34.3	204 21.6	277 29.3
正規労働者	596 100.0	109 18.3	215 36.1	123 20.6	149 25.0
無期契約労働者	205 100.0	21 10.2	72 35.1	39 19.0	73 35.6
有期契約労働者	144 100.0	10 6.9	37 25.7	42 29.2	55 38.2

図表 121 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：④介護休暇制度：時間単位での利用：単数回答（Q32_4）

		合計	Q32_4. 勤務先の両立支援制度の利用状況：④介護休暇制度：時間単位での利用			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	94 5.4	691 39.4	455 25.9	515 29.3
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	58 6.0	386 39.8	251 25.9	274 28.3
	主たる介護者ではない	786 100.0	36 4.6	305 38.8	204 26.0	241 30.7

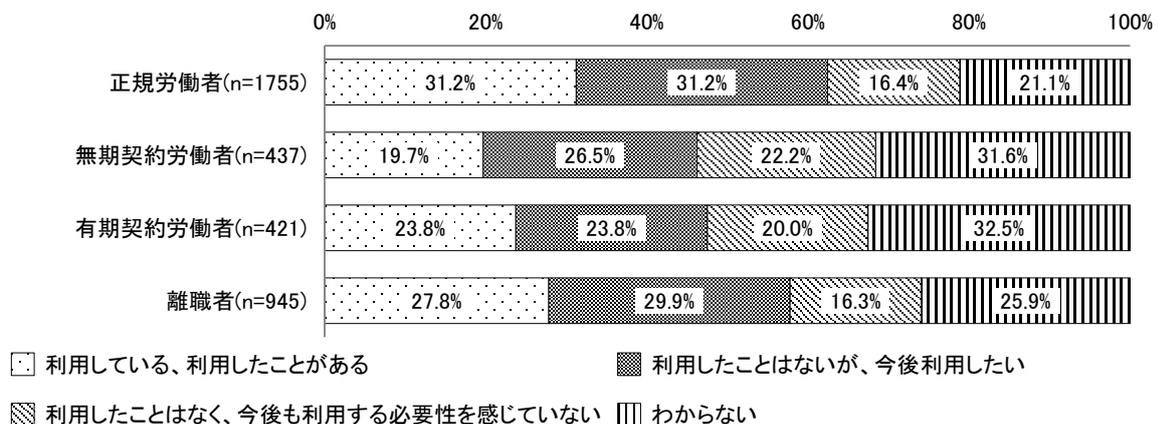
⑤年次有給休暇制度：1日単位での利用

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「年次有給休暇制度：1日単位での利用」をみると、「正規労働者」では、「利用している、利用したことがある」「利用したことはないが、今後利用したい」が31.2%で最も割合が高く、次いで「わからない」が21.1%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が31.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が26.5%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が32.5%で最も割合が高く、次いで「利用している、利用したことがある」「利用したことはないが、今後利用したい」が23.8%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が29.9%で最も割合が高く、次いで「利用している、利用したことがある」が27.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は29.3%となっている。

図表 122 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑤年次有給休暇制度：1日単位での利用：単数回答（Q32_5）



図表 123 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑤年次有給休暇制度：1日単位での利用：単数回答（Q32_5）

	合計	Q32_5. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑤年次有給休暇制度：1日単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	263 27.8	283 29.9	154 16.3	245 25.9
正規労働者	596 100.0	186 31.2	180 30.2	98 16.4	132 22.1
無期契約労働者	205 100.0	44 21.5	68 33.2	30 14.6	63 30.7
有期契約労働者	144 100.0	33 22.9	35 24.3	26 18.1	50 34.7

図表 124 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑤年次有給休暇制度：1日単位での利用：単数回答（Q32_5）

		合計	Q32_5. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑤年次有給休暇制度：1日単位での利用			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	548 31.2	548 31.2	288 16.4	371 21.1
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	284 29.3	305 31.5	174 18.0	206 21.3
	主たる介護者ではない	786 100.0	264 33.6	243 30.9	114 14.5	165 21.0

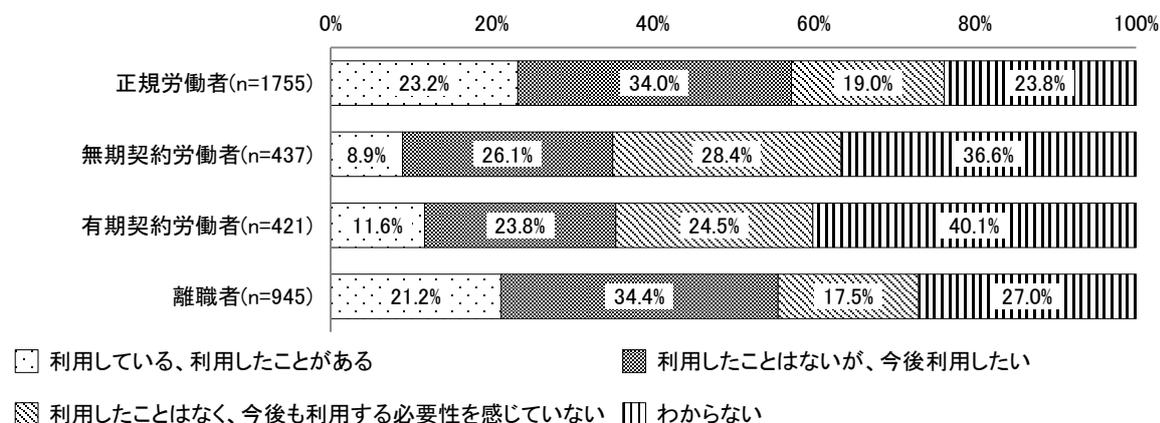
⑥年次有給休暇制度：半日単位での利用

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「年次有給休暇制度：半日単位での利用」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.0%で最も割合が高く、次いで「わからない」が23.8%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が36.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が28.4%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が40.1%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が24.5%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.4%で最も割合が高く、次いで「わからない」が27.0%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は20.9%となっている。

図表 125 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑥年次有給休暇制度：半日単位での利用：単数回答 (Q32_6)



図表 126 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑥年次有給休暇制度：半日単位での利用：単数回答 (Q32_6)

	合計	Q32_6. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑥年次有給休暇制度：半日単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	200	325	165	255
	100.0	21.2	34.4	17.5	27.0
正規労働者	596	149	209	103	135
	100.0	25.0	35.1	17.3	22.7
無期契約労働者	205	25	80	30	70
	100.0	12.2	39.0	14.6	34.1
有期契約労働者	144	26	36	32	50
	100.0	18.1	25.0	22.2	34.7

図表 127 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑥年次有給休暇制度：半日単位での利用：単数回答 (Q32_6)

	合計	Q32_6. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑥年次有給休暇制度：半日単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	1755	408	596	333	418
	100.0	23.2	34.0	19.0	23.8
Q12. 回答者が主たる介護者である	969	203	348	190	228
	100.0	20.9	35.9	19.6	23.5
主たる介護者ではない	786	205	248	143	190
	100.0	26.1	31.6	18.2	24.2

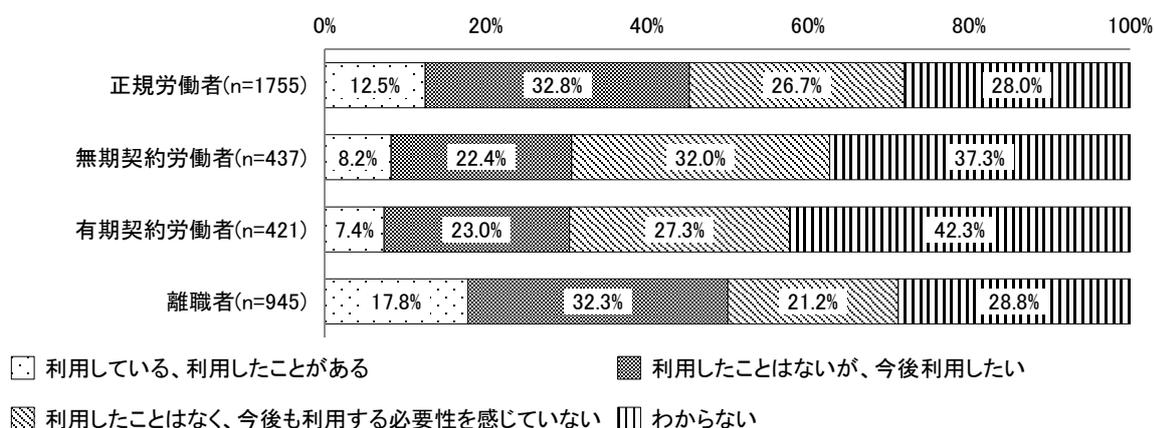
⑦年次有給休暇制度：時間単位での利用

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「年次有給休暇制度：時間単位での利用」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が32.8%で最も割合が高く、次いで「わからない」が28.0%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が37.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が32.0%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が42.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が27.3%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が32.3%で最も割合が高く、次いで「わからない」が28.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は13.0%となっている。

図表 128 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑦年次有給休暇制度：時間単位での利用：単数回答 (Q32_7)



図表 129 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑦年次有給休暇制度：時間単位での利用：単数回答 (Q32_7)

	合計	Q32_7. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑦年次有給休暇制度：時間単位での利用			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	168 17.8	305 32.3	200 21.2	272 28.8
正規労働者	596 100.0	128 21.5	200 33.6	122 20.5	146 24.5
無期契約労働者	205 100.0	23 11.2	69 33.7	40 19.5	73 35.6
有期契約労働者	144 100.0	17 11.8	36 25.0	38 26.4	53 36.8

図表 130 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑦年次有給休暇制度：時間単位での利用：単数回答（Q32_7）

		合計	Q32_7. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑦年次有給休暇制度：時間単位での利用			
			利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体		1755 100.0	219 12.5	576 32.8	468 26.7	492 28.0
Q12. 回答 者が主た る介護者 か	主たる介護者 である	969 100.0	126 13.0	321 33.1	257 26.5	265 27.3
	主たる介護者 ではない	786 100.0	93 11.8	255 32.4	211 26.8	227 28.9

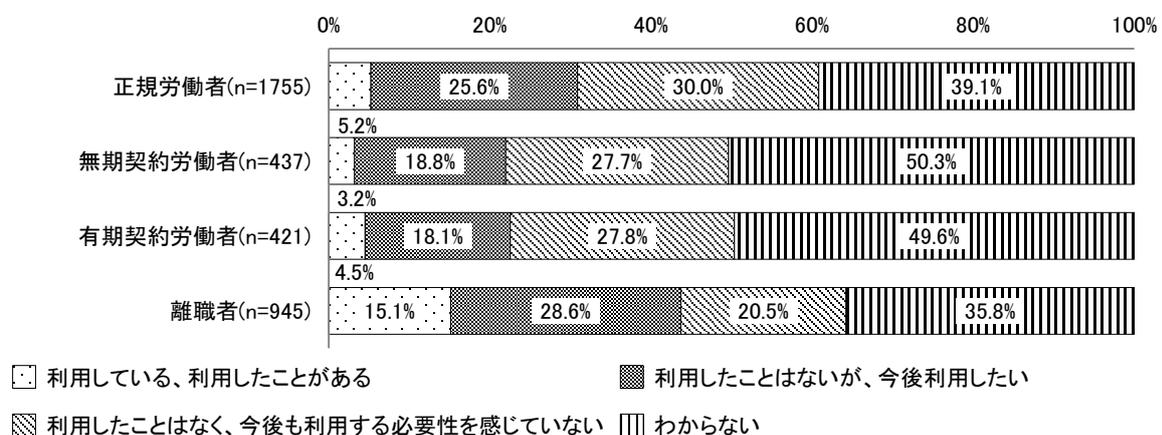
⑧その他の休暇制度：無給の制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の休暇制度：無給の制度」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が39.1%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が30.0%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が50.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が27.7%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が49.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が27.8%となっている。「離職者」では、「わからない」が35.8%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が28.6%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.1%となっている。

図表 131 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑧その他の休暇制度：無給の制度：単数回答（Q32_8）



図表 132 【離職者】 離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑧その他の休暇制度：無給の制度：単数回答（Q32_8）

	合計	Q32_8. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑧その他の休暇制度：無給の制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	143 15.1	270 28.6	194 20.5	338 35.8
正規労働者	596 100.0	113 19.0	189 31.7	115 19.3	179 30.0
無期契約労働者	205 100.0	21 10.2	50 24.4	44 21.5	90 43.9
有期契約労働者	144 100.0	9 6.3	31 21.5	35 24.3	69 47.9

図表 133 【正規労働者】 回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑧その他の休暇制度：無給の制度：単数回答（Q32_8）

		合計	Q32_8. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑧その他の休暇制度：無給の制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	92 5.2	450 25.6	526 30.0	687 39.1
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	59 6.1	263 27.1	274 28.3	373 38.5
	主たる介護者ではない	786 100.0	33 4.2	187 23.8	252 32.1	314 39.9

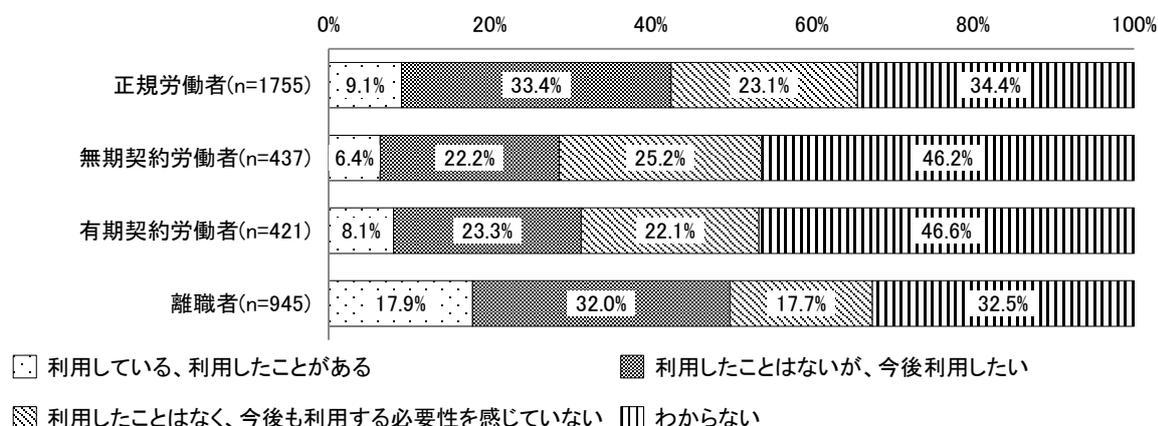
⑨その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が 34.4%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が 33.4%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が 46.2%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が 25.2%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が 46.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が 23.3%となっている。「離職者」では、「わからない」が 32.5%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が 32.0%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、特に特徴はみられない。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は 9.6%となっている。

図表 134 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑨その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）：単数回答（Q32_9）



図表 135 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑨その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）：単数回答（Q32_9）

	合計	Q32_9. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑨その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945 100.0	169 17.9	302 32.0	167 17.7	307 32.5
正規労働者	596 100.0	124 20.8	204 34.2	106 17.8	162 27.2
無期契約労働者	205 100.0	30 14.6	65 31.7	30 14.6	80 39.0
有期契約労働者	144 100.0	15 10.4	33 22.9	31 21.5	65 45.1

図表 136 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑨その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）：単数回答（Q32_9）

	合計	Q32_9. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑨その他の休暇制度：有給の制度（失効年次有給休暇の積立制度等）				
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない	
全体	1755 100.0	159 9.1	587 33.4	406 23.1	603 34.4	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	93 9.6	330 34.1	219 22.6	327 33.7
	主たる介護者ではない	786 100.0	66 8.4	257 32.7	187 23.8	276 35.1

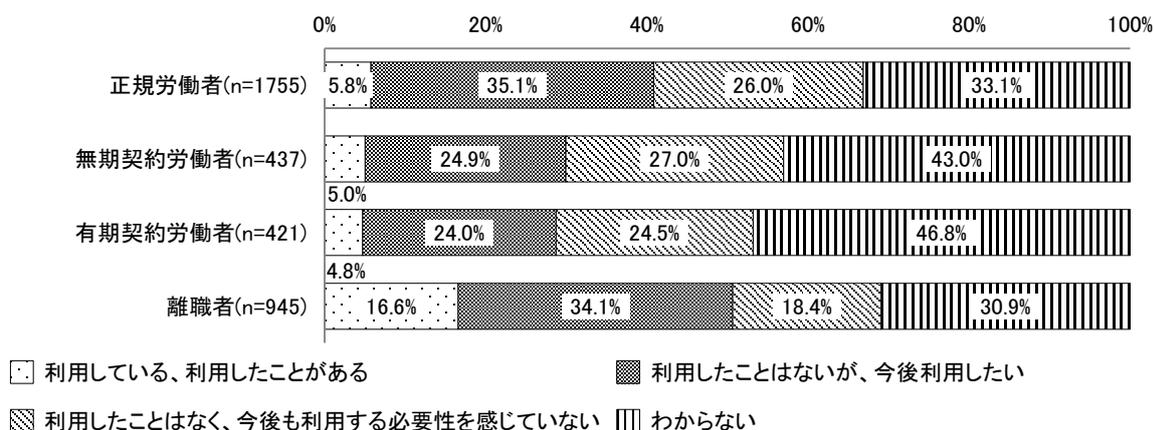
⑩短時間勤務制度：1日の所定労働時間を短縮する制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「短時間勤務制度：1日の所定労働時間を短縮する制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が35.1%で最も割合が高く、次いで「わからない」が33.1%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が43.0%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が27.0%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が46.8%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が24.5%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.1%で最も割合が高く、次いで「わからない」が30.9%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、特に特徴はみられない。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.5%となっている。

図表 137 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩短時間勤務制度
：1日の所定労働時間を短縮する制度：単数回答（Q32_10）



図表 138 【離職者】離職時の就業形態別

勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩短時間勤務制度
：1日の所定労働時間を短縮する制度：単数回答（Q32_10）

	合計	Q32_10. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩短時間勤務制度：1日の所定労働時間を短縮する制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	157 16.6	322 34.1	174 18.4	292 30.9
正規労働者	596 100.0	117 19.6	211 35.4	104 17.4	164 27.5
無期契約労働者	205 100.0	26 12.7	74 36.1	36 17.6	69 33.7
有期契約労働者	144 100.0	14 9.7	37 25.7	34 23.6	59 41.0

図表 139 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別
 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩短時間勤務制度
 ：1日の所定労働時間を短縮する制度：単数回答（Q32_10）

		合計	Q32_10. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩短時間勤務制度：1日の所定労働時間を短縮する制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	101 5.8	616 35.1	457 26.0	581 33.1
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	63 6.5	348 35.9	245 25.3	313 32.3
	主たる介護者ではない	786 100.0	38 4.8	268 34.1	212 27.0	268 34.1

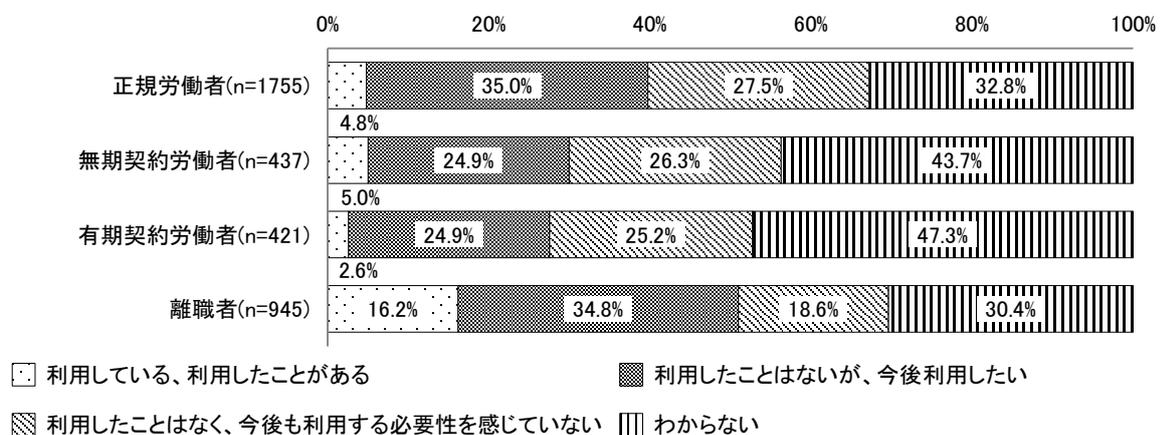
⑪短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が35.0%で最も割合が高く、次いで「わからない」が32.8%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が43.7%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が26.3%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が47.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が25.2%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.8%で最も割合が高く、次いで「わからない」が30.4%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、特に特徴はみられない。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.0%となっている。

図表 140 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑪短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度：単数回答（Q32_11）



図表 141 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑪短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度：単数回答（Q32_11）

	合計	Q32_11. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑪短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度			
		利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体	945 100.0	153 16.2	329 34.8	176 18.6	287 30.4
正規労働者	596 100.0	117 19.6	215 36.1	105 17.6	159 26.7
無期契約労働者	205 100.0	23 11.2	78 38.0	33 16.1	71 34.6
有期契約労働者	144 100.0	13 9.0	36 25.0	38 26.4	57 39.6

図表 142 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑪短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度：単数回答（Q32_11）

	合計	Q32_11. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑪短時間勤務制度：週または月の所定労働日数を短縮する制度				
		利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない	
全体	1755 100.0	84 4.8	614 35.0	482 27.5	575 32.8	
Q12. 回答 者が主た る介護者 か	主たる介護者 である	969 100.0	58 6.0	338 34.9	270 27.9	303 31.3
	主たる介護者 ではない	786 100.0	26 3.3	276 35.1	212 27.0	272 34.6

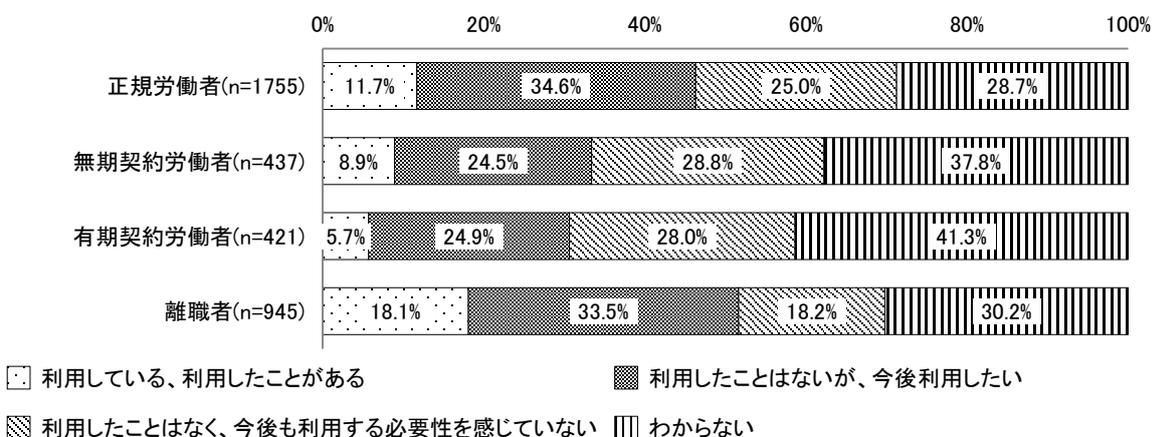
⑫その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.6%で最も割合が高く、次いで「わからない」が28.7%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が37.8%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が28.8%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が41.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が28.0%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が33.5%で最も割合が高く、次いで「わからない」が30.2%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は12.9%となっている。

図表 143 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑫その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）：単数回答（Q32_12）



図表 144 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑫その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）
：単数回答（Q32_12）

	合計	Q32_12. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑫その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	171	317	172	285
	100.0	18.1	33.5	18.2	30.2
正規労働者	596	133	197	103	163
	100.0	22.3	33.1	17.3	27.3
無期契約労働者	205	24	83	34	64
	100.0	11.7	40.5	16.6	31.2
有期契約労働者	144	14	37	35	58
	100.0	9.7	25.7	24.3	40.3

図表 145 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑫その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）
：単数回答（Q32_12）

	合計	Q32_12. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑫その他の勤務制度：始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度（時差出勤制度）				
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない	
全体	1755	205	608	438	504	
	100.0	11.7	34.6	25.0	28.7	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969	125	331	237	276
		100.0	12.9	34.2	24.5	28.5
	主たる介護者ではない	786	80	277	201	228
	100.0	10.2	35.2	25.6	29.0	

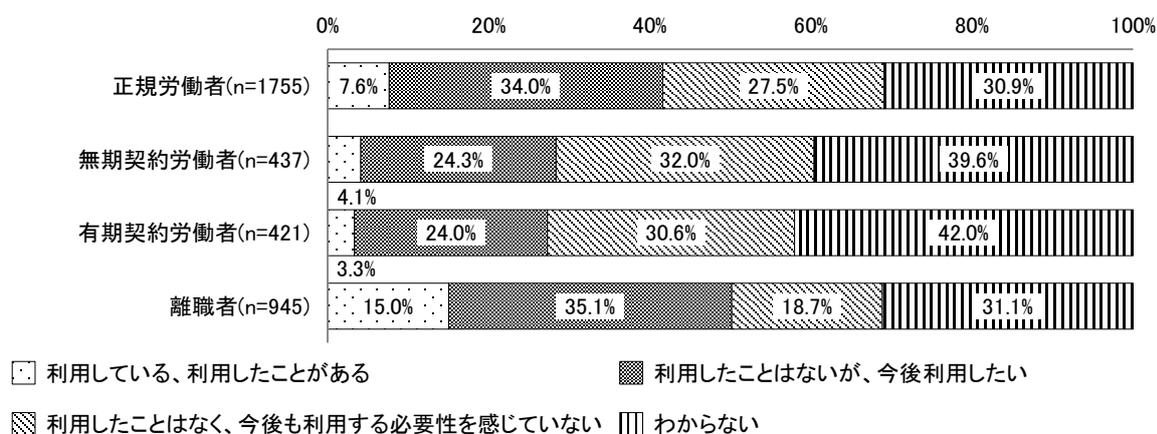
⑬その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.0%で最も割合が高く、次いで「わからない」が30.9%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が39.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない」が32.0%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が42.0%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない」が30.6%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が35.1%で最も割合が高く、次いで「わからない」が31.1%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は9.0%となっている。

図表 146 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑬その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度：単数回答（Q32_13）



図表 147 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑬その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度：単数回答（Q32_13）

	合計	Q32_13. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑬その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	142	332	177	294
	100.0	15.0	35.1	18.7	31.1
正規労働者	596	109	220	101	166
	100.0	18.3	36.9	16.9	27.9
無期契約労働者	205	18	80	39	68
	100.0	8.8	39.0	19.0	33.2
有期契約労働者	144	15	32	37	60
	100.0	10.4	22.2	25.7	41.7

図表 148 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況
：⑬その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度：単数回答（Q32_13）

		合計	Q32_13. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑬その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	134 7.6	596 34.0	483 27.5	542 30.9
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	87 9.0	320 33.0	265 27.3	297 30.7
	主たる介護者ではない	786 100.0	47 6.0	276 35.1	218 27.7	245 31.2

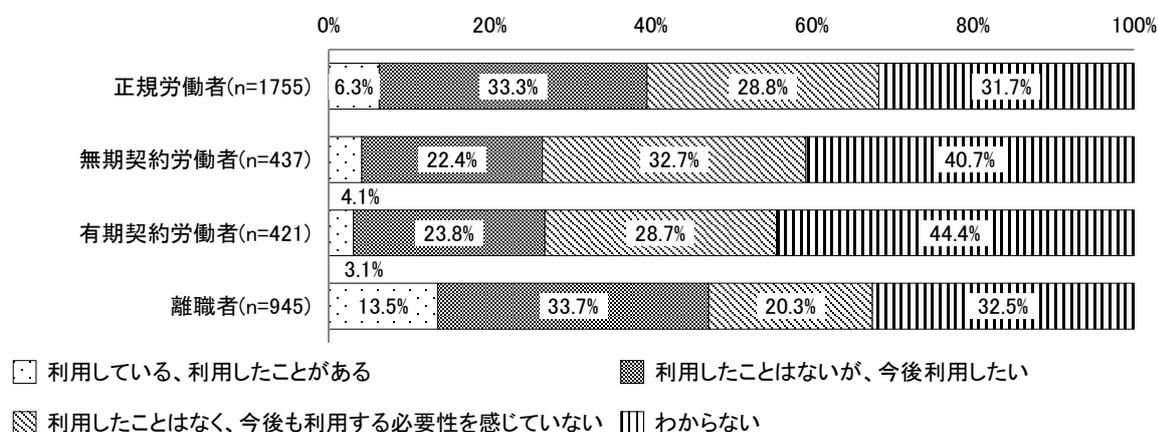
⑭その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が33.3%で最も割合が高く、次いで「わからない」が31.7%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が40.7%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後利用する必要性を感じていない」が32.7%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が44.4%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後利用する必要性を感じていない」が28.7%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が33.7%で最も割合が高く、次いで「わからない」が32.5%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、特に特徴はみられない。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.2%となっている。

図表 149 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑭その他の勤務制度
：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度：単数回答（Q32_14）



図表 150 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑭その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度：単数回答（Q32_14）

	合計	Q32_14. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑭その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度			
		利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体	945 100.0	128 13.5	318 33.7	192 20.3	307 32.5
正規労働者	596 100.0	98 16.4	211 35.4	113 19.0	174 29.2
無期契約労働者	205 100.0	18 8.8	76 37.1	43 21.0	68 33.2
有期契約労働者	144 100.0	12 8.3	31 21.5	36 25.0	65 45.1

図表 151 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑭その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度：単数回答（Q32_14）

	合計	Q32_14. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑭その他の勤務制度：時間外労働（残業・休日勤務）を免除する制度				
		利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない	
全体	1755 100.0	110 6.3	584 33.3	505 28.8	556 31.7	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	60 6.2	324 33.4	277 28.6	308 31.8
	主たる介護者ではない	786 100.0	50 6.4	260 33.1	228 29.0	248 31.6

⑮その他の勤務制度：深夜業を免除する制度

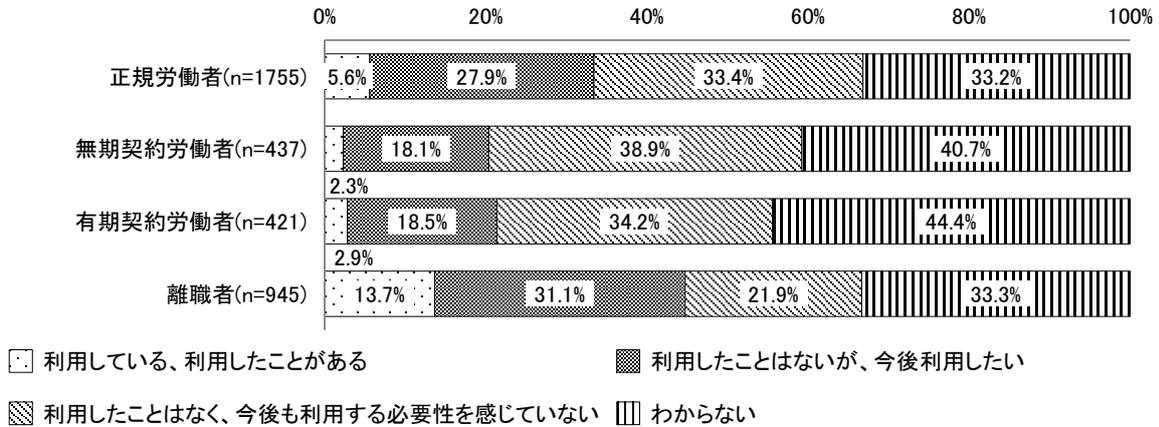
回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：深夜業を免除する制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が33.4%で最も割合が高く、次いで「わからない」が33.2%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が40.7%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が38.9%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が44.4%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が34.2%となっている。「離職者」では、「わからない」が33.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が31.1%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は6.9%となっている。

図表 152 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑮その他の勤務制度：深夜業を免除する制度：単数回答（Q32_15）



図表 153 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑮その他の勤務制度：深夜業を免除する制度：単数回答（Q32_15）

	合計	Q32_15. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑮その他の勤務制度：深夜業を免除する制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	129	294	207	315
	100.0	13.7	31.1	21.9	33.3
正規労働者	596	106	197	122	171
	100.0	17.8	33.1	20.5	28.7
無期契約労働者	205	13	68	41	83
	100.0	6.3	33.2	20.0	40.5
有期契約労働者	144	10	29	44	61
	100.0	6.9	20.1	30.6	42.4

図表 154 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑮その他の勤務制度：深夜業を免除する制度：単数回答（Q32_15）

	合計	Q32_15. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑮その他の勤務制度：深夜業を免除する制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	1755	98	489	586	582
	100.0	5.6	27.9	33.4	33.2
Q12. 回答者が主たる介護者か	969	67	274	314	314
主たる介護者である	100.0	6.9	28.3	32.4	32.4
主たる介護者ではない	786	31	215	272	268
	100.0	3.9	27.4	34.6	34.1

⑩その他の勤務制度：フレックスタイム制度

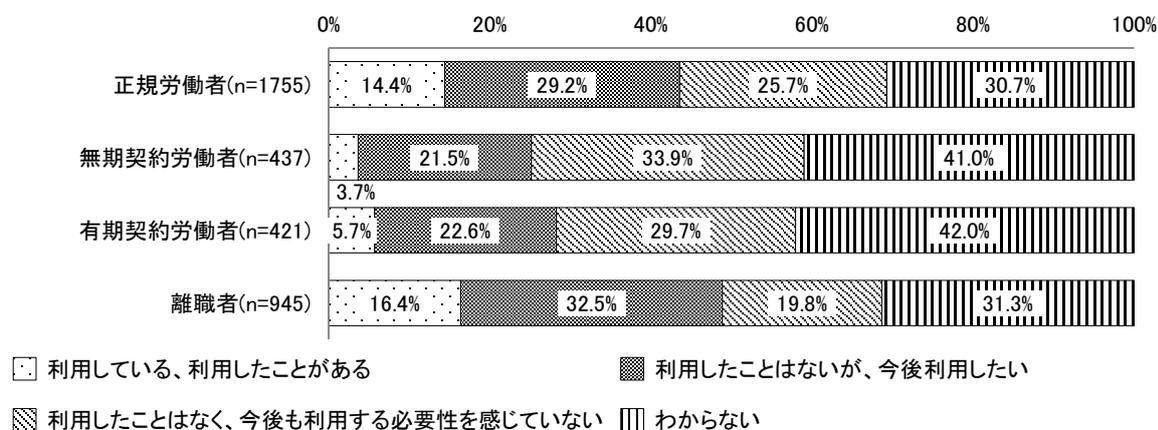
回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：フレックスタイム制度」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が30.7%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が29.2%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が41.0%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が33.9%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が42.0%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が29.7%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が32.5%で最も割合が高く、次いで「わからない」が31.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は14.1%となっている。

図表 155 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑩その他の勤務制度：フレックスタイム制度：単数回答（Q32_16）



図表 156 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑩その他の勤務制度：フレックスタイム制度：単数回答（Q32_16）

	合計	Q32_16. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度：フレックスタイム制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	155 16.4	307 32.5	187 19.8	296 31.3
正規労働者	596 100.0	122 20.5	201 33.7	110 18.5	163 27.3
無期契約労働者	205 100.0	22 10.7	72 35.1	36 17.6	75 36.6
有期契約労働者	144 100.0	11 7.6	34 23.6	41 28.5	58 40.3

図表 157 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況
：⑩その他の勤務制度：フレックスタイム制度：単数回答（Q32_16）

		合計	Q32_16. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度：フレックスタイム制度			
			利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、今後利 用したい	利用したことは なく、今後も利 用する必要性を 感じていない	わからない
全体		1755 100.0	253 14.4	512 29.2	451 25.7	539 30.7
Q12. 回答者 が主たる介 護者か	主たる介護者 である	969 100.0	137 14.1	278 28.7	250 25.8	304 31.4
	主たる介護者 ではない	786 100.0	116 14.8	234 29.8	201 25.6	235 29.9

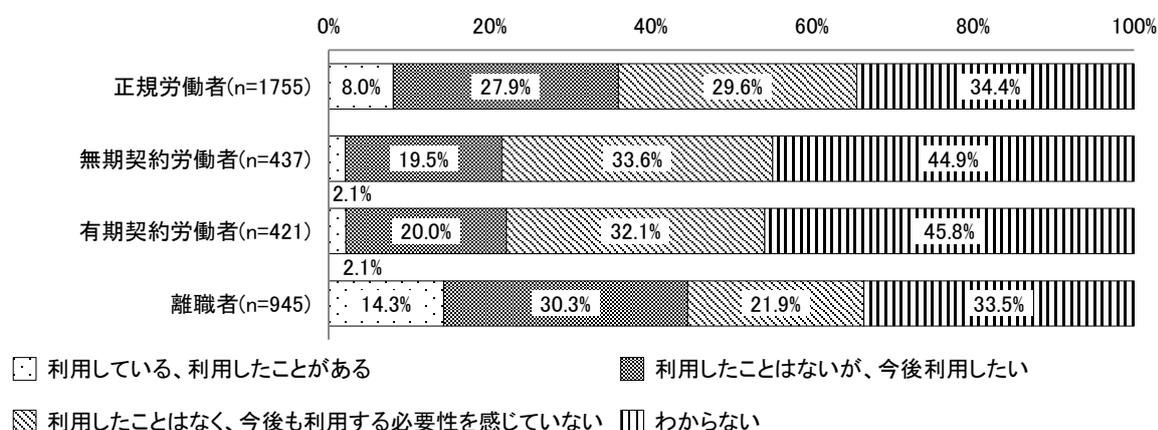
⑪その他の勤務制度：裁量労働制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：裁量労働制度」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が34.4%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が29.6%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が44.9%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が33.6%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が45.8%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が32.1%となっている。「離職者」では、「わからない」が33.5%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後利用したい」が30.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は7.8%となっている。

図表 158 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑪その他の勤務制度：裁量労働制度：単数回答（Q32_17）



図表 159 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑰その他の勤務制度：裁量労働制度：単数回答（Q32_17）

	合計	Q32_17. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑰その他の勤務制度：裁量労働制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	135 14.3	286 30.3	207 21.9	317 33.5
正規労働者	596 100.0	107 18.0	195 32.7	121 20.3	173 29.0
無期契約労働者	205 100.0	17 8.3	65 31.7	43 21.0	80 39.0
有期契約労働者	144 100.0	11 7.6	26 18.1	43 29.9	64 44.4

図表 160 正規労働者：回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ⑰その他の勤務制度：裁量労働制度：単数回答（Q32_17）

		合計	Q32_17. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑰その他の勤務制度：裁量労働制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	141 8.0	490 27.9	520 29.6	604 34.4
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	76 7.8	281 29.0	280 28.9	332 34.3
	主たる介護者ではない	786 100.0	65 8.3	209 26.6	240 30.5	272 34.6

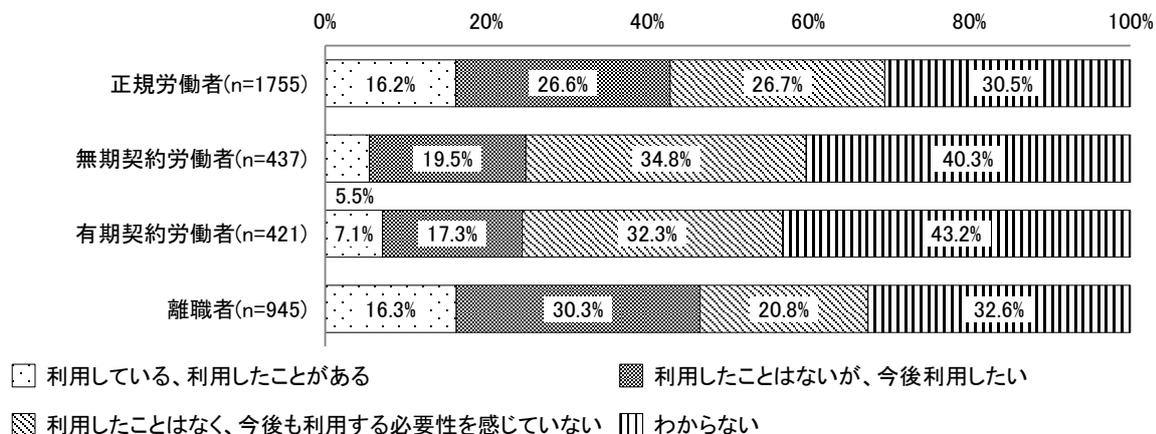
⑱その他の勤務制度：在宅勤務制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：在宅勤務制度」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が30.5%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が26.7%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が40.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が34.8%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が43.2%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が32.3%となっている。「離職者」では、「わからない」が32.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後利用したい」が30.3%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合がやや高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は15.3%となっている。

図表 161 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑱その他の勤務制度：在宅勤務制度：単数回答
(Q32_18)



図表 162 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況
：⑱その他の勤務制度：在宅勤務制度：単数回答 (Q32_18)

	合計	Q32_18. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑱その他の勤務制度：在宅勤務制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	154	286	197	308
	100.0	16.3	30.3	20.8	32.6
正規労働者	596	121	187	117	171
	100.0	20.3	31.4	19.6	28.7
無期契約労働者	205	23	65	40	77
	100.0	11.2	31.7	19.5	37.6
有期契約労働者	144	10	34	40	60
	100.0	6.9	23.6	27.8	41.7

図表 163 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況
：⑱その他の勤務制度：在宅勤務制度：単数回答 (Q32_18)

	合計	Q32_18. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑱その他の勤務制度：在宅勤務制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	1755	285	467	468	535
	100.0	16.2	26.6	26.7	30.5
Q12. 回答者が主たる介護者か	969	148	261	258	302
主たる介護者である	100.0	15.3	26.9	26.6	31.2
主たる介護者ではない	786	137	206	210	233
	100.0	17.4	26.2	26.7	29.6

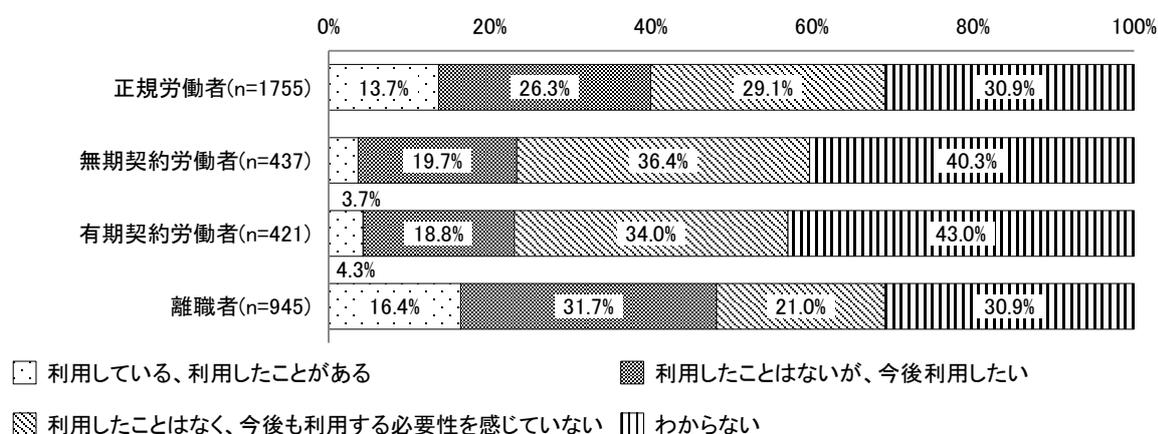
①⑨その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が30.9%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が29.1%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が40.3%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が36.4%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が43.0%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が34.0%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が31.7%で最も割合が高く、次いで「わからない」が30.9%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は13.4%となっている。

図表 164 勤務先の両立支援制度の利用状況：①⑨その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度：単数回答（Q32_19）



図表 165 【離職者】 離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑩その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度

：単数回答（Q32_19）

	合計	Q32_19. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	155 16.4	300 31.7	198 21.0	292 30.9
正規労働者	596 100.0	124 20.8	205 34.4	110 18.5	157 26.3
無期契約労働者	205 100.0	22 10.7	63 30.7	46 22.4	74 36.1
有期契約労働者	144 100.0	9 6.3	32 22.2	42 29.2	61 42.4

図表 166 【正規労働者】 回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑩その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度

：単数回答（Q32_19）

		合計	Q32_19. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度：テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	240 13.7	462 26.3	511 29.1	542 30.9
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	130 13.4	243 25.1	292 30.1	304 31.4
	主たる介護者ではない	786 100.0	110 14.0	219 27.9	219 27.9	238 30.3

⑪その他の勤務制度：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応

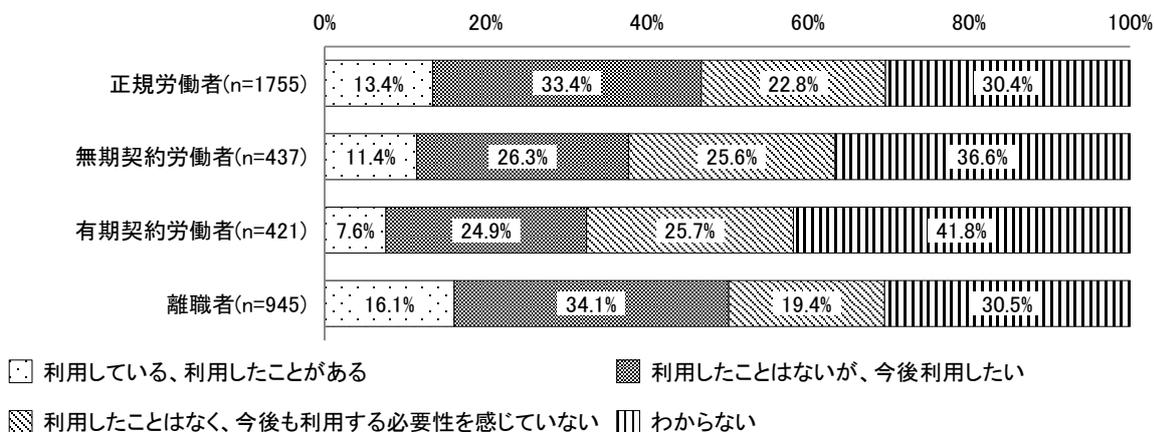
回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「その他の勤務制度：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が 33.4%で最も割合が高く、次いで「わからない」が 30.4%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が 36.6%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が 26.3%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が 41.8%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要性を感じていない」が 25.7%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が 34.1%で最も割合が高く、次いで「わからない」が 30.5%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、特に特徴はみられない。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は 13.4%となっている。

図表 167 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度

：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応：単数回答（Q32_20）



図表 168 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑩その他の勤務制度：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応：単数回答（Q32_20）

	合計	Q32_20. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない
全体	945	152	322	183	288
	100.0	16.1	34.1	19.4	30.5
正規労働者	596	114	205	116	161
	100.0	19.1	34.4	19.5	27.0
無期契約労働者	205	27	77	32	69
	100.0	13.2	37.6	15.6	33.7
有期契約労働者	144	11	40	35	58
	100.0	7.6	27.8	24.3	40.3

図表 169 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

：⑩その他の勤務制度：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応：単数回答（Q32_20）

	合計	Q32_20. 勤務先の両立支援制度の利用状況：⑩その他の勤務制度：遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応				
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要を感じていない	わからない	
全体	1755	235	586	401	533	
	100.0	13.4	33.4	22.8	30.4	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969	130	325	227	287
		100.0	13.4	33.5	23.4	29.6
	主たる介護者ではない	786	105	261	174	246
	100.0	13.4	33.2	22.1	31.3	

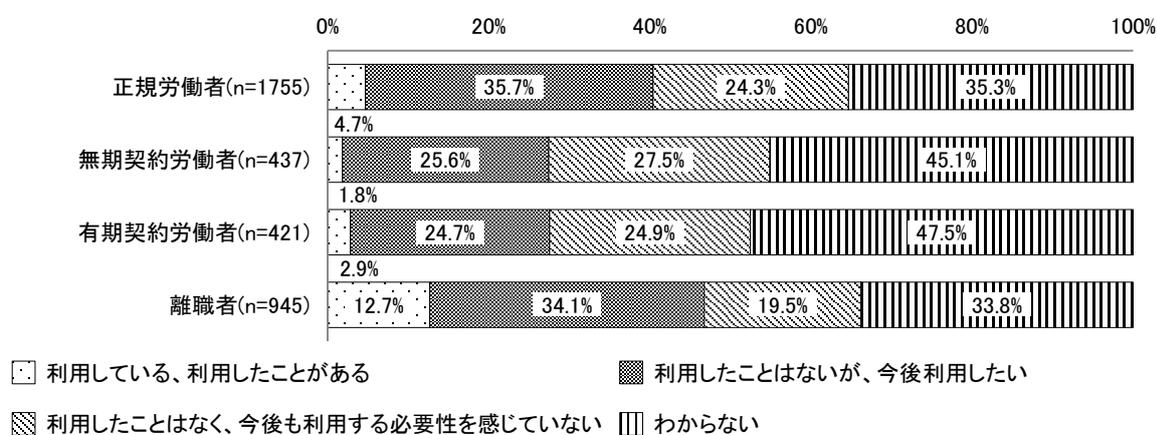
②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度：勤務先が、費用を助成する制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度：勤務先が、費用を助成する制度」をみると、「正規労働者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が35.7%で最も割合が高く、次いで「わからない」が35.3%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が45.1%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない」が27.5%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が47.5%で最も割合が高く、次いで「利用したことはなく、今後も利用する必要を感じていない」が24.9%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が34.1%で最も割合が高く、次いで「わからない」が33.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は4.6%となっている。

図表 170 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度：勤務先が、費用を助成する制度：単数回答（Q32_21）



図表 171 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度

: 勤務先が、費用を助成する制度:単数回答 (Q32_21)

	合計	Q32_21. 勤務先の両立支援制度の利用状況: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度: 勤務先が、費用を助成する制度			
		利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体	945 100.0	120 12.7	322 34.1	184 19.5	319 33.8
正規労働者	596 100.0	101 16.9	206 34.6	113 19.0	176 29.5
無期契約労働者	205 100.0	13 6.3	81 39.5	33 16.1	78 38.0
有期契約労働者	144 100.0	6 4.2	35 24.3	38 26.4	65 45.1

図表 172 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度

: 勤務先が、費用を助成する制度:単数回答 (Q32_21)

		合計	Q32_21. 勤務先の両立支援制度の利用状況: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度: 勤務先が、費用を助成する制度			
			利用している、利用したことがある	利用したことはないが、今後利用したい	利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない	わからない
全体		1755 100.0	82 4.7	627 35.7	426 24.3	620 35.3
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	45 4.6	352 36.3	238 24.6	334 34.5
	主たる介護者ではない	786 100.0	37 4.7	275 35.0	188 23.9	286 36.4

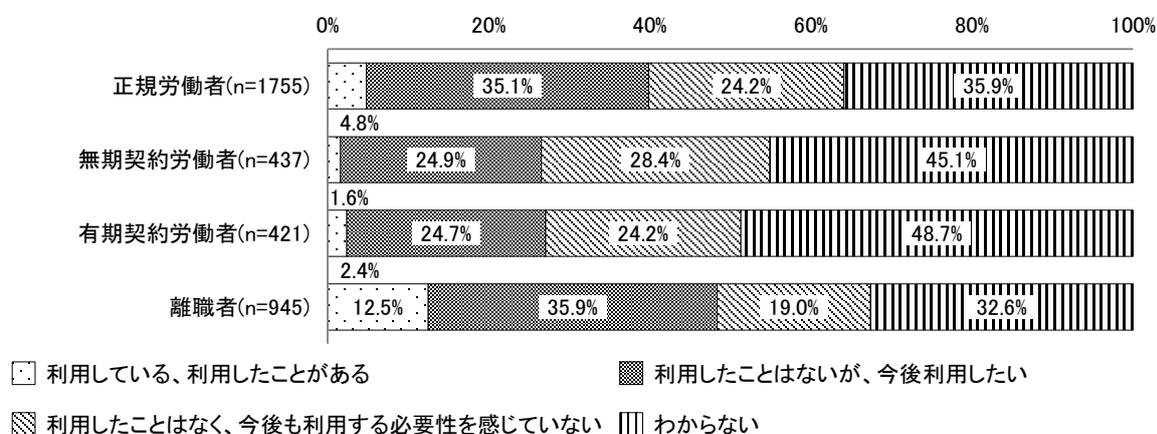
②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度：共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために利用した両立支援制度について、「介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度：共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度」をみると、「正規労働者」では、「わからない」が35.9%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が35.1%となっている。「無期契約労働者」では、「わからない」が45.1%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後も利用する必要性を感じていない」が28.4%となっている。「有期契約労働者」では、「わからない」が48.7%で最も割合が高く、次いで「利用したことはないが、今後利用したい」が24.7%となっている。「離職者」では、「利用したことはないが、今後利用したい」が35.9%で最も割合が高く、次いで「わからない」が32.6%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「利用している、利用したことがある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、回答者が主たる介護者かどうか別にみると、「主たる介護者である」で「利用している、利用したことがある」と回答した割合は5.3%となっている。

図表 173 勤務先の両立支援制度の利用状況：②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度：共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度
：単数回答（Q32_22）



図表 174 【離職者】離職時の就業形態別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度

: 共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度:単数回答 (Q32_22)

	合計	Q32_22. 勤務先の両立支援制度の利用状況: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度: 共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度			
		利用している、 利用したことがある	利用したことはないが、 今後利用したい	利用したことはなく、 今後も利用する必要を 感じていない	わからない
全体	945 100.0	118 12.5	339 35.9	180 19.0	308 32.6
正規労働者	596 100.0	97 16.3	219 36.7	107 18.0	173 29.0
無期契約労働者	205 100.0	14 6.8	84 41.0	37 18.0	70 34.1
有期契約労働者	144 100.0	7 4.9	36 25.0	36 25.0	65 45.1

図表 175 【正規労働者】回答者が主たる介護者かどうか別 勤務先の両立支援制度の利用状況

: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度

: 共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度:単数回答 (Q32_22)

	合計	Q32_22. 勤務先の両立支援制度の利用状況: ②介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度: 共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度				
		利用している、 利用したことがある	利用したことはないが、 今後利用したい	利用したことはなく、 今後も利用する必要を 感じていない	わからない	
全体	1755 100.0	84 4.8	616 35.1	425 24.2	630 35.9	
Q12. 回答者が主たる介護者か	主たる介護者である	969 100.0	51 5.3	344 35.5	233 24.0	341 35.2
	主たる介護者ではない	786 100.0	33 4.2	272 34.6	192 24.4	289 36.8

(9) 制度の利用回数・日数

①介護休業制度

介護休業制度について、利用した回数の平均をみると、「正規労働者」は 5.6 回、「離職者」は 4.9 回となっている。

利用した延べ日数の平均をみると、「正規労働者」は 13.5 日、「離職者」は 17.0 日となっている。

連続して利用した最長日数の平均をみると、「正規労働者」は 5.3 日、「離職者」は 10.4 日となっている。

図表 176 介護休業制度：利用した回数・延べ利用日数・連続して利用した最長日数
： 平均値：数値回答 (Q33)

1) 利用した回数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	149	5.6	50.0	1.0	3.0
無期契約労働者	13	7.3	30.0	1.0	3.0
有期契約労働者	17	4.8	30.0	1.0	2.0
離職者	197	4.9	55.0	1.0	2.0

2) 利用した延べ日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	149	13.5	150.0	1.0	5.0
無期契約労働者	13	7.4	30.0	1.0	5.0
有期契約労働者	17	27.8	93.0	1.0	6.0
離職者	197	17.0	365.0	1.0	5.0

3) 連続して利用した最長日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	149	5.3	93.0	1.0	2.0
無期契約労働者	13	2.6	14.0	1.0	1.0
有期契約労働者	17	14.5	93.0	1.0	3.0
離職者	197	10.4	365.0	1.0	2.0

※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

②介護休暇制度

介護休暇制度について、利用した回数の平均をみると、「正規労働者」は5.0回、「離職者」は4.7回となっている。

利用した延べ日数の平均をみると、「正規労働者」は10.6日、「無期契約労働者」は4.7日、「離職者」は10.7日となっている。

連続して利用した最長日数の平均をみると、「正規労働者」は4.7日、「離職者」は6.2日となっている。

図表 177 介護休暇制度：利用した回数・延べ利用日数・連続して利用した最長日数
：平均値：数値回答（Q34）

1) 利用した回数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	210	5.0	60.0	1.0	2.0
無期契約労働者	17	3.8	20.0	1.0	3.0
有期契約労働者	16	4.1	20.0	1.0	2.5
離職者	221	4.7	100.0	1.0	2.0

2) 利用した延べ日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	210	10.6	600.0	1.0	3.0
無期契約労働者	17	4.7	25.0	1.0	4.0
有期契約労働者	16	17.5	90.0	1.0	3.5
離職者	221	10.7	365.0	1.0	3.0

3) 連続して利用した最長日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	210	4.7	180.0	1.0	2.0
無期契約労働者	17	2.0	5.0	1.0	2.0
有期契約労働者	16	8.3	90.0	1.0	2.0
離職者	221	6.2	365.0	1.0	2.0

※無期契約労働者、有期契約労働者はn数が小さいため、参考値。

③年次有給休暇制度

年次有給休暇制度について、利用した回数の平均をみると、「正規労働者」は8.0回、「無期契約労働者」は6.0回、「有期契約労働者」は5.8回、「離職者」は7.7回となっている。

利用した延べ日数の平均をみると、「正規労働者」は8.3日、「無期契約労働者」は6.9日、「有期契約労働者」は7.2日、「離職者」は10.4日となっている。

連続して利用した最長日数の平均をみると、「正規労働者」は2.4日、「無期契約労働者」は1.9日、「有期契約労働者」は2.5日、「離職者」は3.5日となっている。

図表 178 年次有給休暇制度：利用した回数・延べ利用日数・連続して利用した最長日数
： 平均値：数値回答（Q34）

1) 利用した回数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	540	8.0	300.0	1.0	5.0
無期契約労働者	79	6.0	25.0	1.0	5.0
有期契約労働者	93	5.8	20.0	1.0	5.0
離職者	298	7.7	150.0	1.0	5.0

2) 利用した延べ日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	540	8.3	200.0	1.0	5.0
無期契約労働者	79	6.9	40.0	1.0	5.0
有期契約労働者	93	7.2	26.0	1.0	5.0
離職者	298	10.4	250.0	1.0	5.0

3) 連続して利用した最長日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	540	2.4	40.0	1.0	1.0
無期契約労働者	79	1.9	8.0	1.0	1.0
有期契約労働者	93	2.5	23.0	1.0	1.0
離職者	298	3.5	40.0	1.0	2.0

④その他の無給の休暇制度

その他の無給の休暇制度について、利用した回数の平均をみると、「正規労働者」は4.4回、「離職者」は3.2回となっている。

利用した延べ日数の平均をみると、「正規労働者」は5.5日、「離職者」は5.3日となっている。

連続して利用した最長日数の平均をみると、「正規労働者」は2.6日、「離職者」は3.2日となっている。

図表 179 その他の無給の休暇制度：利用した回数・延べ利用日数・連続して利用した最長日数
：平均値：数値回答（Q34）

1) 利用した回数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	57	4.4	61.0	1.0	2.0
無期契約労働者	7	4.1	12.0	1.0	1.0
有期契約労働者	12	3.3	10.0	1.0	2.0
離職者	87	3.2	15.0	1.0	2.0

2) 利用した延べ日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	57	5.5	61.0	1.0	2.0
無期契約労働者	7	2.7	12.0	1.0	1.0
有期契約労働者	12	3.4	7.0	1.0	3.0
離職者	87	5.3	50.0	1.0	2.0

3) 連続して利用した最長日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	57	2.6	30.0	1.0	1.0
無期契約労働者	7	1.1	2.0	1.0	1.0
有期契約労働者	12	2.3	7.0	1.0	1.0
離職者	87	3.2	50.0	1.0	2.0

※無期契約労働者、有期契約労働者はn数が小さいため、参考値。

⑤その他の有休の休暇制度

その他の有休の休暇制度について、利用した回数の平均をみると、「正規労働者」は4.9回、「離職者」は3.4回となっている。

利用した延べ日数の平均をみると、「正規労働者」は6.5日、「離職者」は4.8日となっている。

連続して利用した最長日数の平均をみると、「正規労働者」は3.2日、「離職者」は3.0日となっている。

図表 180 その他の有休の休暇制度：利用した回数・延べ利用日数・連続して利用した最長日数
：平均値：数値回答（Q34）

1) 利用した回数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	88	4.9	50.0	1.0	3.0
無期契約労働者	14	2.4	12.0	1.0	1.5
有期契約労働者	10	3.9	10.0	1.0	3.0
離職者	100	3.4	25.0	1.0	2.0

2) 利用した延べ日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	88	6.5	120.0	1.0	4.0
無期契約労働者	14	2.6	12.0	1.0	1.5
有期契約労働者	10	5.2	11.0	1.0	5.0
離職者	100	4.8	90.0	1.0	2.0

3) 連続して利用した最長日数

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
正規労働者	88	3.2	90.0	1.0	1.0
無期契約労働者	14	1.3	2.0	1.0	1.0
有期契約労働者	10	3.3	8.0	1.0	2.0
離職者	100	3.0	90.0	1.0	2.0

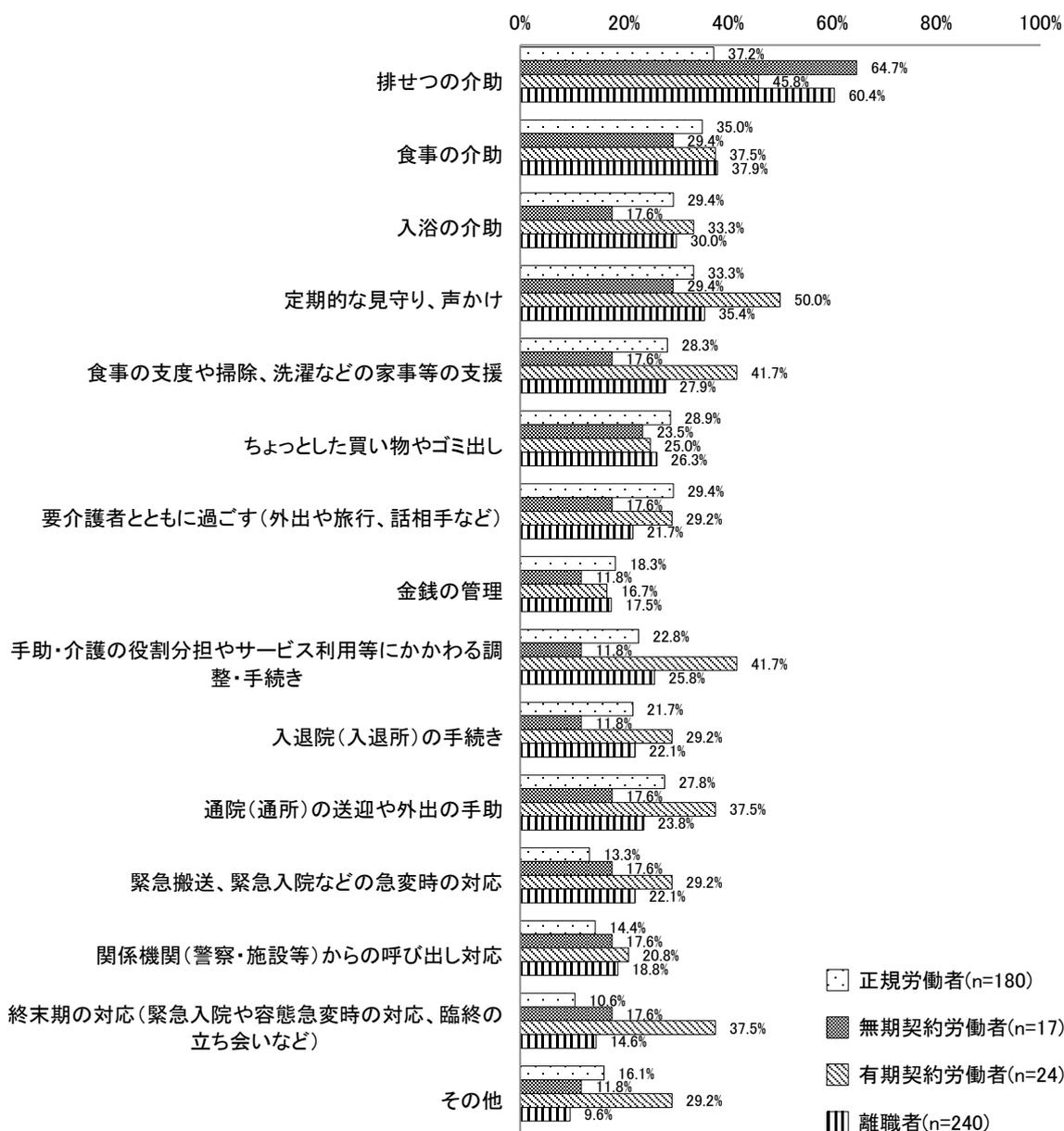
※無期契約労働者、有期契約労働者はn数が小さいため、参考値。

(10) 制度の利用方法

①介護休業制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために、「介護休業制度」をどのような手助・介護を行うために利用したかをみると、「正規労働者」では、「排せつの介助」が37.2%で最も割合が高く、次いで「食事の介助」が35.0%となっている。「離職者」では、「排せつの介助」が60.4%で最も割合が高く、次いで「食事の介助」が37.9%となっている。

図表 181 制度の利用方法①介護休業制度：複数回答（Q35_1）

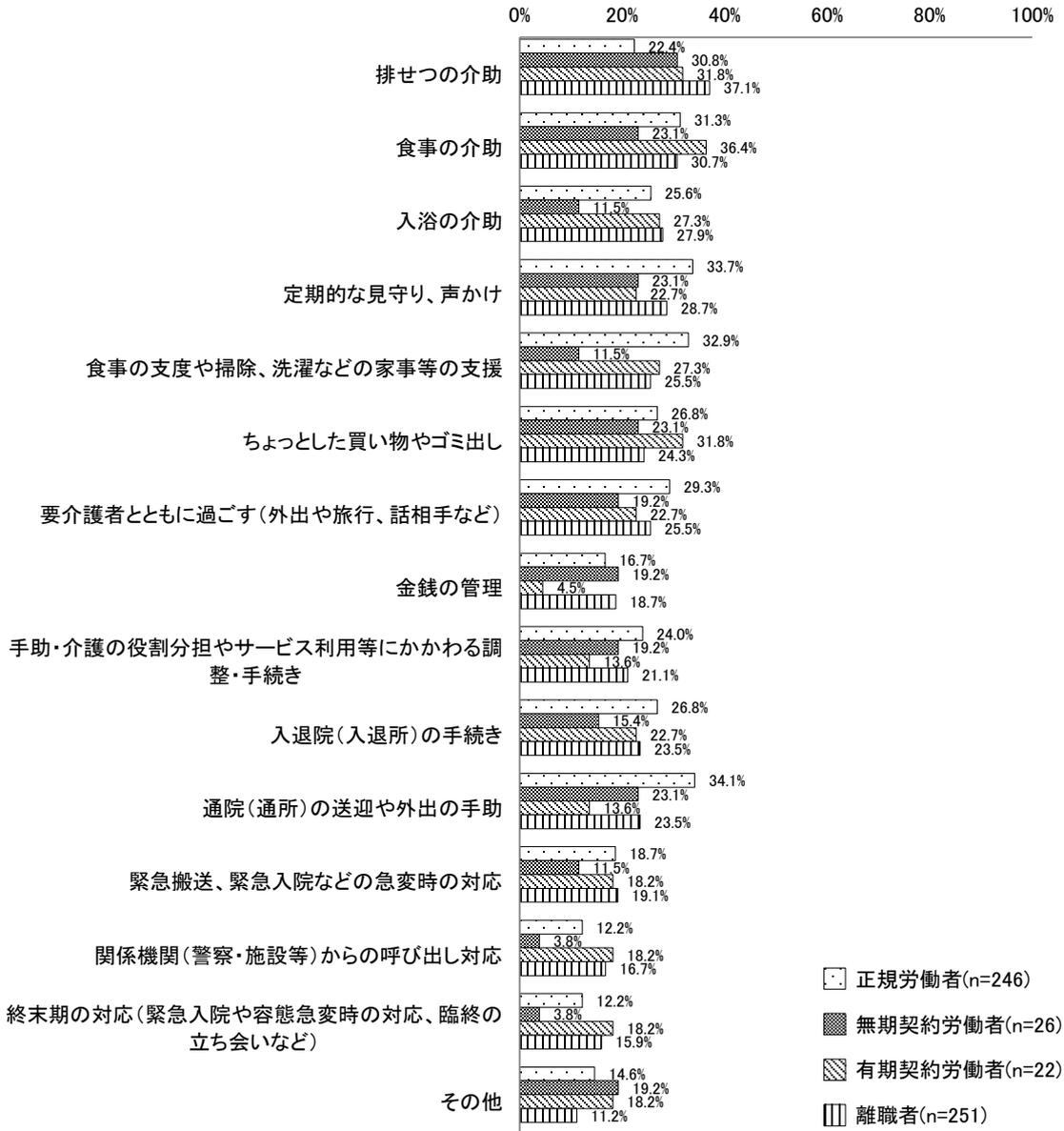


※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

②介護休暇制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために、「介護休暇制度」をどのような手助・介護を行うために利用したかをみると、「正規労働者」では、「通院（通所）の送迎や外出の手助」が34.1%で最も割合が高く、次いで「定期的な見守り、声かけ」が33.7%となっている。「離職者」では、「排せつの介助」が37.1%で最も割合が高く、次いで「食事の介助」が30.7%となっている。

図表 182 制度の利用方法②介護休暇制度：複数回答（Q35_2）

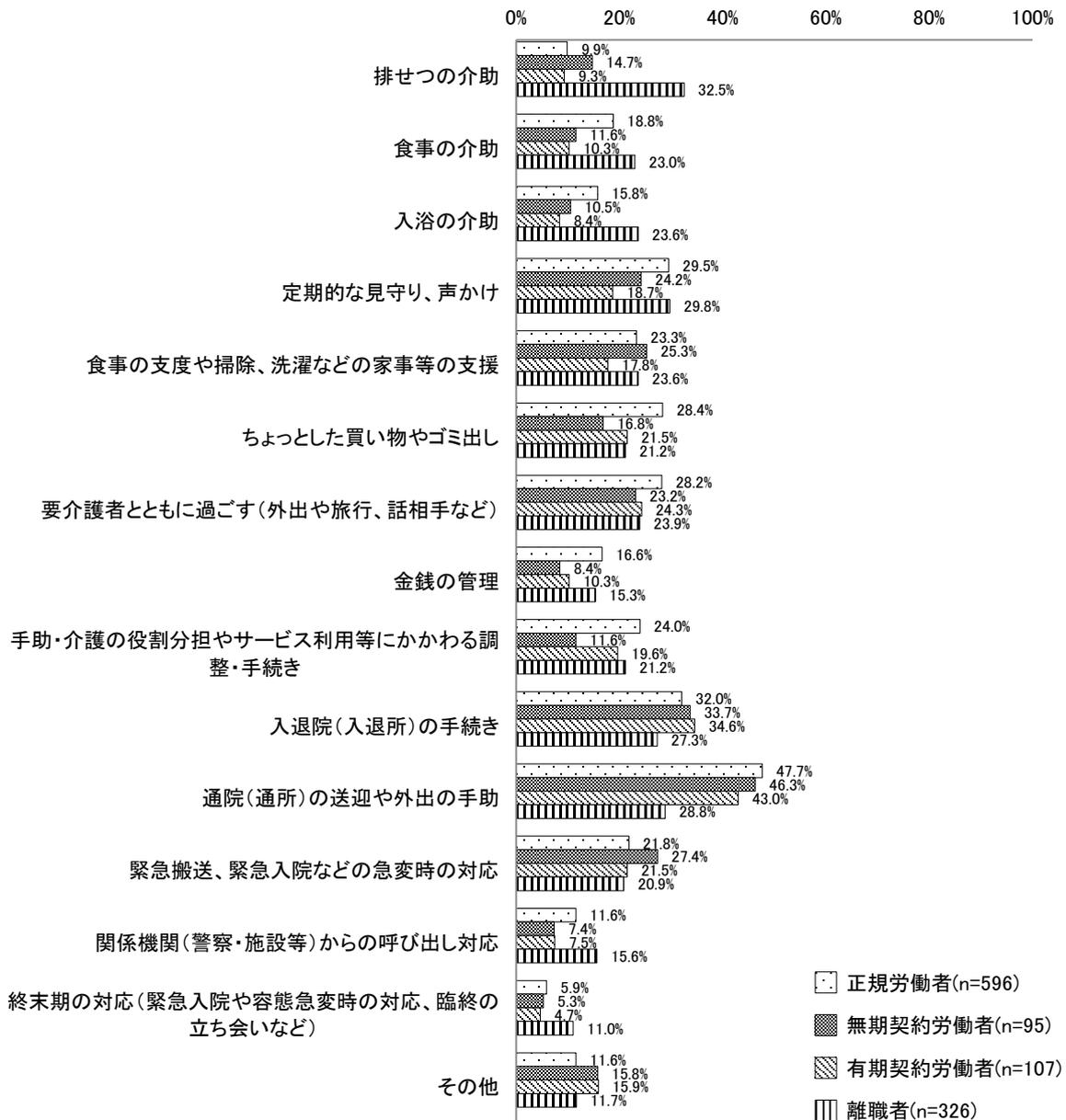


※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

③年次有給休暇制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために、「年次有給休暇制度」をどのような手助・介護を行うために利用したかをみると、「正規労働者」では、「通院（通所）の送迎や外出の手助」が47.7%で最も割合が高く、次いで「入退院（入退所）の手続き」が32.0%となっている。「無期契約労働者」では、「通院（通所）の送迎や外出の手助」が46.3%で最も割合が高く、次いで「入退院（入退所）の手続き」が33.7%となっている。「有期契約労働者」では、「通院（通所）の送迎や外出の手助」が43.0%で最も割合が高く、次いで「入退院（入退所）の手続き」が34.6%となっている。「離職者」では、「排せつの介助」が32.5%で最も割合が高く、次いで「定期的な見守り、声かけ」が29.8%となっている。

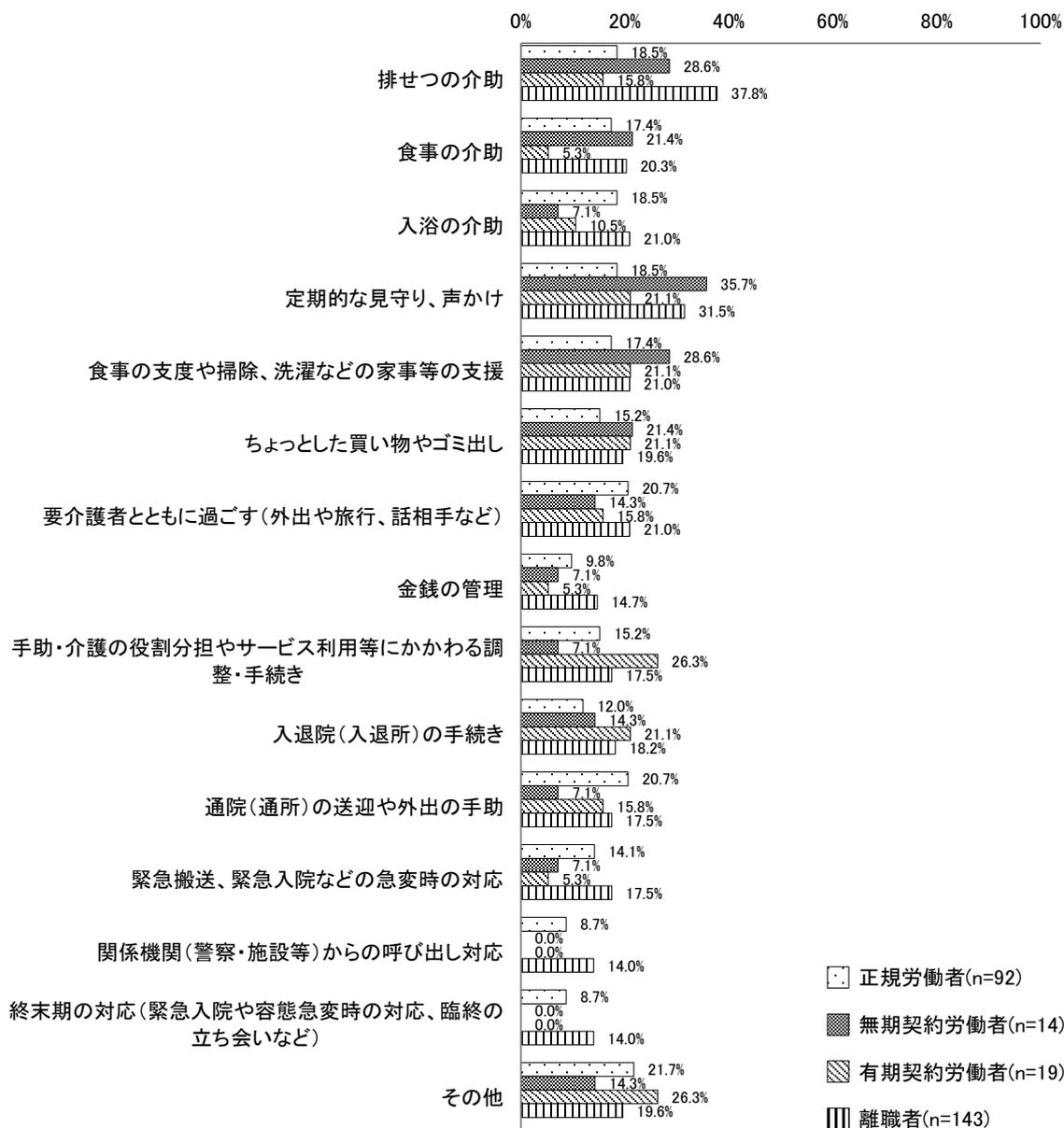
図表 183 制度の利用方法③年次有給休暇制度：複数回答（Q35_3）



④その他の無給の休暇制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために、「その他の無給の休暇制度」をどのような手助・介護を行うために利用したかをみると、「正規労働者」では、「その他」が21.7%で最も割合が高く、次いで「要介護者とともに過ごす(外出や旅行、話相手など)」が20.7%となっている。「離職者」では、「排せつの介助」が37.8%で最も割合が高く、次いで「定期的な見守り、声かけ」が31.5%となっている。

図表 184 制度の利用方法④その他の無給の休暇制度:複数回答(Q35_4)

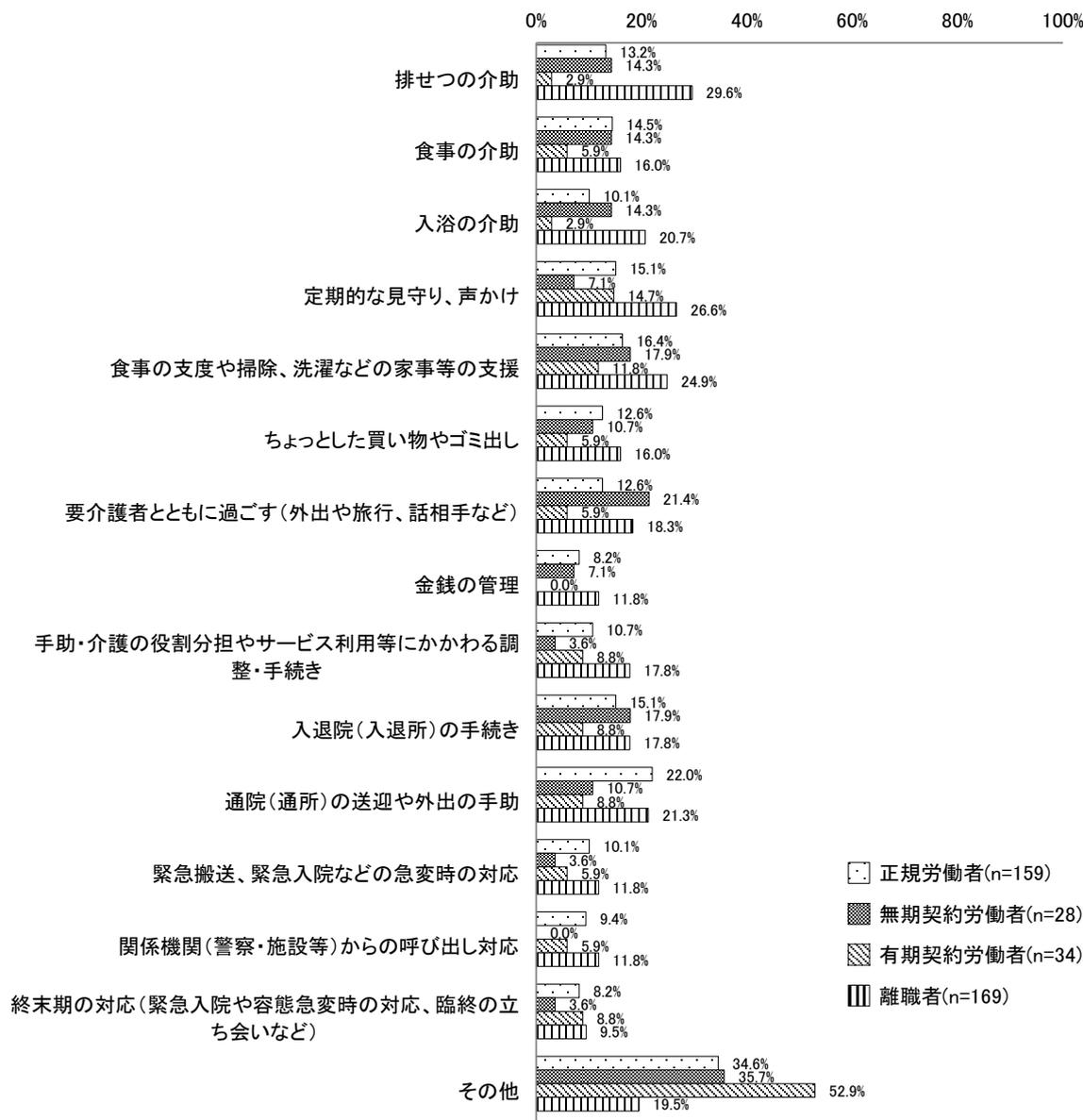


※無期契約労働者、有期契約労働者はn数が小さいため、参考値。

⑤その他の有給の休暇制度

回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために、「その他の有給の休暇制度」をどのような手助・介護を行うために利用したかをみると、「正規労働者」では、「その他」が34.6%で最も割合が高く、次いで「通院（通所）の送迎や外出の手助」が22.0%となっている。「離職者」では、「排せつの介助」が29.6%で最も割合が高く、次いで「定期的な見守り、声かけ」が26.6%となっている。

図表 185 制度の利用方法⑤その他の有給の休暇制度：複数回答（Q35_5）



※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

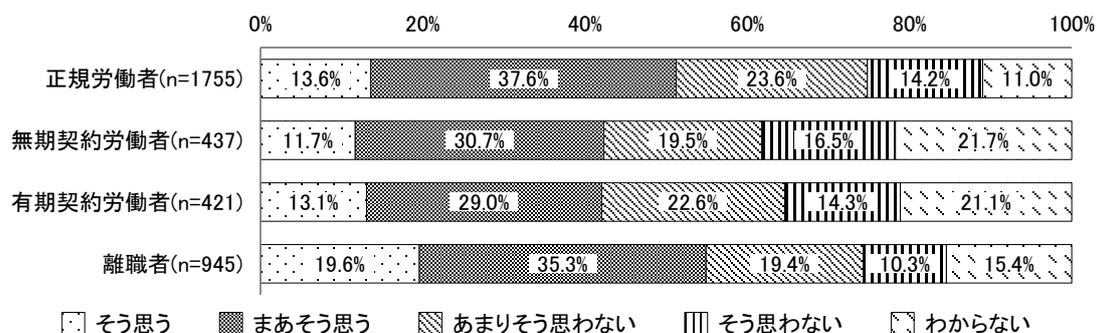
(11) 介護休暇制度の時間単位取得

①取得しやすくなったか

介護休業制度が令和3年1月から時間単位でも取得できるようになったことにより、以前と比較して取得しやすくなったと思うかをみると、「正規労働者」では、「まあそう思う」が37.6%で最も割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が23.6%となっている。「無期契約労働者」では、「まあそう思う」が30.7%で最も割合が高く、次いで「わからない」が21.7%となっている。「有期契約労働者」では、「まあそう思う」が29.0%で最も割合が高く、次いで「あまりそう思わない」が22.6%となっている。「離職者」では、「まあそう思う」が35.3%で最も割合が高く、次いで「そう思う」が19.6%となっている。

正規労働者について、仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別にみると、変更しやすいと思っている方が、「そう思う」「まあそう思う」と回答した割合が高くなっている。

図表 186 時間単位取得となり介護休暇制度は取得しやすくなったか:単数回答 (Q36)



図表 187 【正規労働者】仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別
時間単位取得となり介護休暇制度は取得しやすくなったか:単数回答 (Q36)

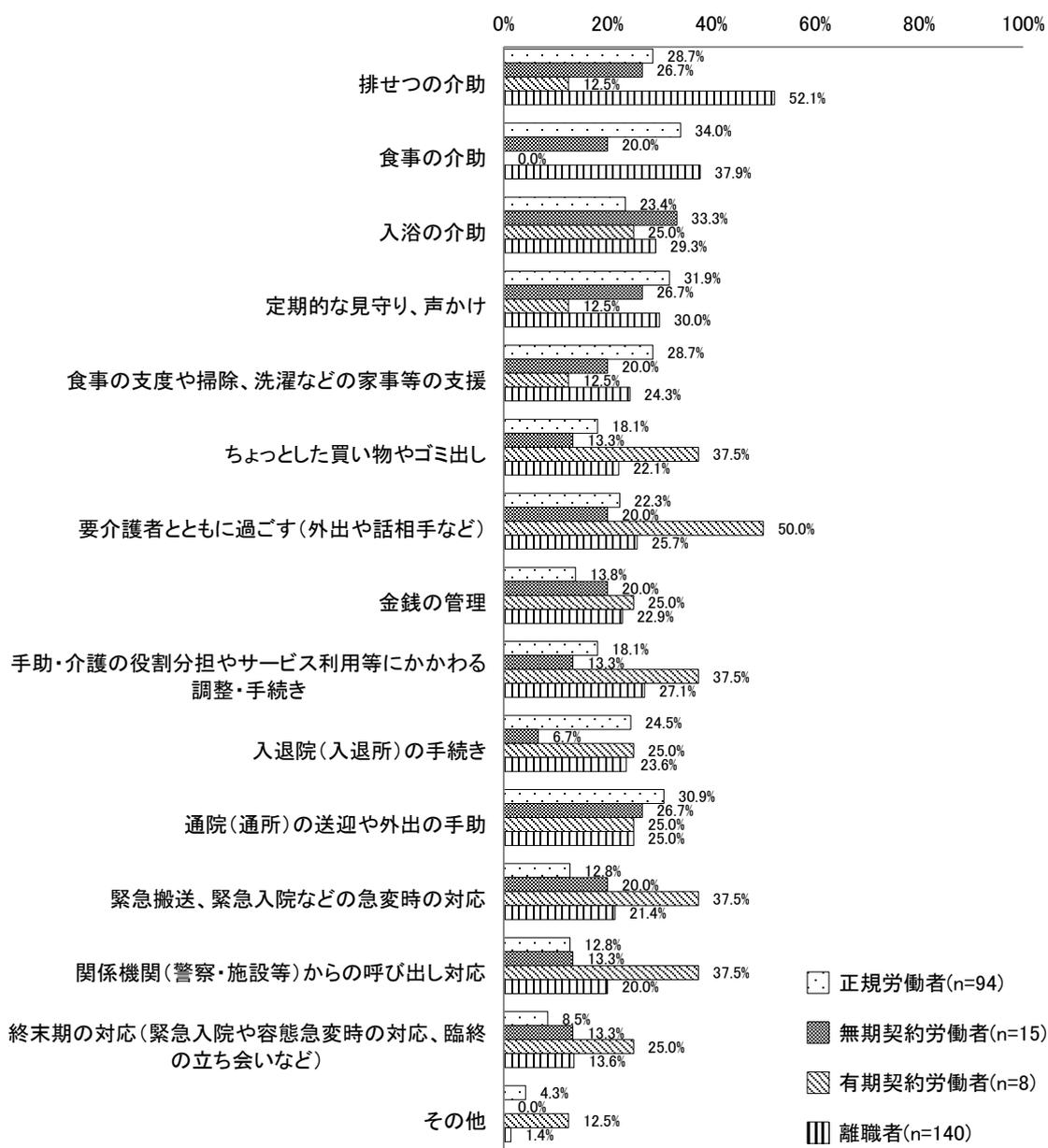
		合計	Q36. 時間単位取得となり介護休暇制度は取得しやすくなったか。				
			そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
全体		1755	239	660	414	249	193
		100.0	13.6	37.6	23.6	14.2	11.0
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う+まあそう思う	811	170	415	146	31	49
		100.0	21.0	51.2	18.0	3.8	6.0
	あまりそう思わない+そう思わない	848	65	229	255	213	86
	100.0	7.7	27.0	30.1	25.1	10.1	
	わからない	96	4	16	13	5	58
	100.0	4.2	16.7	13.5	5.2	60.4	

②どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得したか

介護休暇制度を時間単位で取得したことがある人について、どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得したかをみると、「正規労働者」では、「食事の介助」が34.0%で最も割合が高く、次いで「定期的な見守り、声かけ」が31.9%となっている。「離職者」では、「排せつの介助」が52.1%で最も割合が高く、次いで「食事の介助」が37.9%となっている。

離職者の正規労働者について、離職時の就業形態別にみると、「排せつの介助」が58.7%で最も割合が高くなっている。

図表 188 どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得したか：複数回答（Q37）



※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

図表 189 【離職者】離職時の就業形態別

どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得したか:複数回答 (Q37)

	Q37. どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得したか								
	合計	排せつの 介助	食事の介 助	入浴の介 助	定期的な 見守り、 声かけ	食事の支 度や掃 除、洗濯 などの家 事等の支 援	ちょっと した買い 物やゴミ 出し	要介護者 とともに 過ごす (外出や 話相手な ど)	金銭の管 理
全体	140 100.0	73 52.1	53 37.9	41 29.3	42 30.0	34 24.3	31 22.1	36 25.7	32 22.9
正規労働者	109 100.0	64 58.7	43 39.4	33 30.3	30 27.5	25 22.9	22 20.2	26 23.9	24 22.0
無期契約労働者	21 100.0	5 23.8	7 33.3	4 19.0	6 28.6	5 23.8	4 19.0	6 28.6	4 19.0
有期契約労働者	10 100.0	4 40.0	3 30.0	4 40.0	6 60.0	4 40.0	5 50.0	4 40.0	4 40.0

	Q37. どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得したか							
	合計	手助・介 護の役割 分担やサ ービス利 用等にか かわる調 整・手続 き	入退院 (入退 所)の手 続き	通院(通 所)の送 迎や外出 の手助	緊急搬 送、緊急 入院など の急変時 の対応	関係機関 (警察・ 施設等) からの呼 び出し対 応	終末期の 対応(緊 急入院や 容態急変 時の対 応、臨終 の立ち会 いなど)	その他
全体	140 100.0	38 27.1	33 23.6	35 25.0	30 21.4	28 20.0	19 13.6	2 1.4
正規労働者	109 100.0	27 24.8	19 17.4	27 24.8	21 19.3	20 18.3	15 13.8	1 0.9
無期契約労働者	21 100.0	7 33.3	9 42.9	4 19.0	3 14.3	3 14.3	0 0.0	0 0.0
有期契約労働者	10 100.0	4 40.0	5 50.0	4 40.0	6 60.0	5 50.0	4 40.0	1 10.0

※無期契約労働者、有期契約労働者はn数が小さいため、参考値。

(12) 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由

①利用しない（しなかった）理由（すべて）

介護休業制度を利用しない（しなかった）人について、その理由をみると、「正規労働者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が43.2%で最も割合が高く、次いで「代替職員がいない」が30.6%となっている。「無期契約労働者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が44.6%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休業制度を知らない」が39.6%となっている。「有期契約労働者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が37.4%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休業制度を知らない」が34.6%となっている。「離職者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が57.6%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休業制度を知らない」が32.4%となっている。

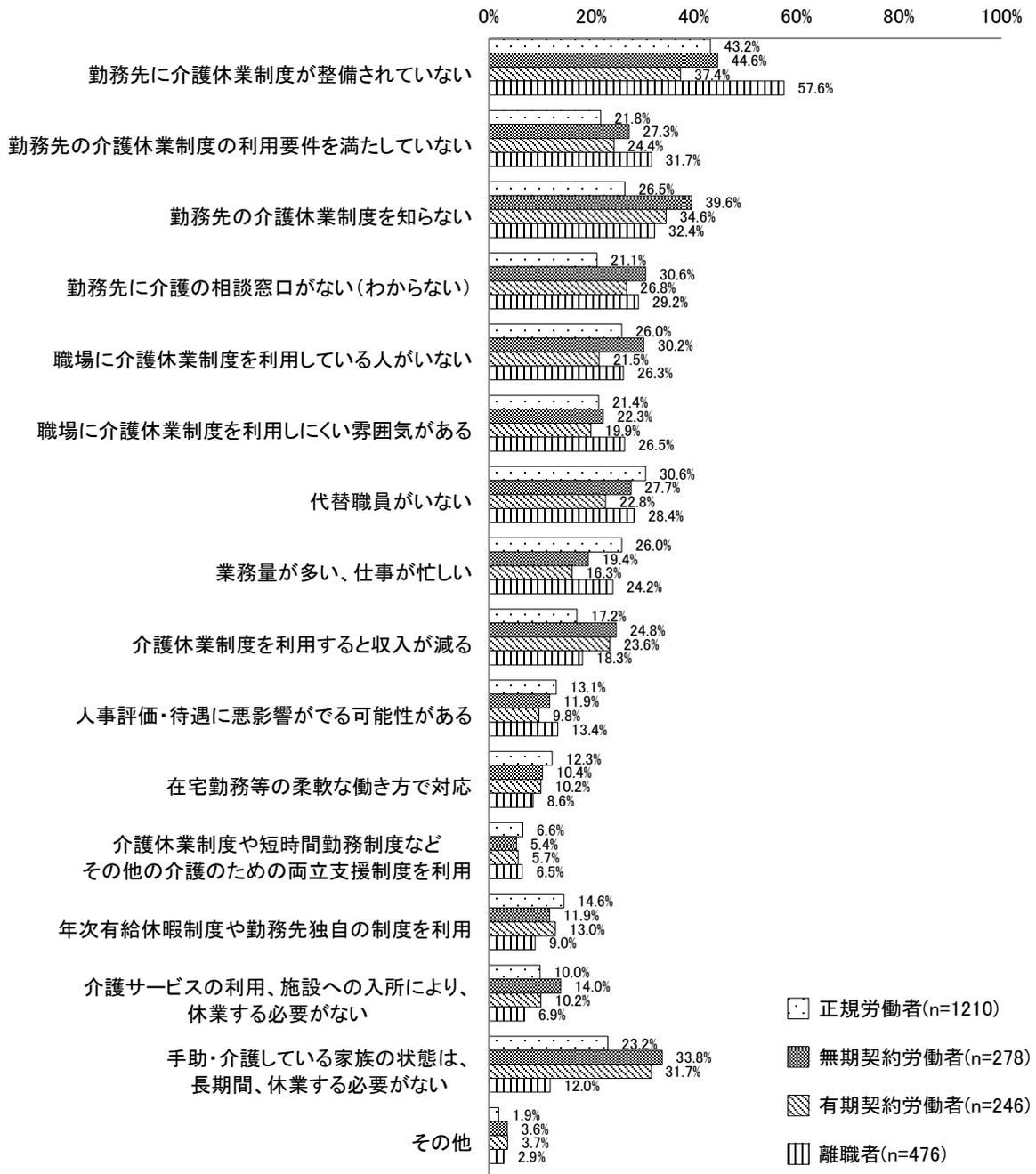
離職者について、離職時の就業形態別にみると、全体と比較して、「無期契約労働者」は「勤務先に介護休業制度が整備されていない」「代替職員がいない」の割合が高くなっている。

正規労働者について、週労働時間別にみると、労働時間が長くなるほど、「業務量が多い、仕事が忙しい」の割合が高くなる傾向にある。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、相談できる雰囲気がある職場にあると思わないと回答した方が、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」「勤務先の介護休業制度を知らない」「勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）」「職場に介護休業制度を利用している人がいない」「職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある」「代替職員がいない」「業務量が多い、仕事が忙しい」の割合が高くなっている。

正規労働者について、仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別にみると、そう思わないと回答した方が、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」「職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある」「代替職員がいない」「業務量が多い、仕事が忙しい」の割合が高くなっている。

図表 190 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：複数回答（Q38_1）



図表 191 【離職者】離職時の就業形態別

介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：複数回答（Q38_1）

	合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
		勤務先に介護休業制度が整備されていない	勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休業制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休業制度を利用している人がいない	職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体	476 100.0	274 57.6	151 31.7	154 32.4	139 29.2	125 26.3	126 26.5	135 28.4	115 24.2
正規労働者	275 100.0	166 60.4	86 31.3	81 29.5	65 23.6	56 20.4	61 22.2	61 22.2	55 20.0
無期契約労働者	121 100.0	70 57.9	41 33.9	45 37.2	43 35.5	44 36.4	44 36.4	50 41.3	39 32.2
有期契約労働者	80 100.0	38 47.5	24 30.0	28 35.0	31 38.8	25 31.3	21 26.3	24 30.0	21 26.3

	合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
		介護休業制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない	その他
全体	476 100.0	87 18.3	64 13.4	41 8.6	31 6.5	43 9.0	33 6.9	57 12.0	14 2.9
正規労働者	275 100.0	38 13.8	34 12.4	26 9.5	15 5.5	23 8.4	18 6.5	34 12.4	5 1.8
無期契約労働者	121 100.0	29 24.0	18 14.9	9 7.4	9 7.4	9 7.4	8 6.6	12 9.9	4 3.3
有期契約労働者	80 100.0	20 25.0	12 15.0	6 7.5	7 8.8	11 13.8	7 8.8	11 13.8	5 6.3

図表 192 【正規労働者】週労働時間別

介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：複数回答（Q38_1）

	合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
		勤務先に介護休業制度が整備されていない	勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休業制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休業制度を利用している人がいない	職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体	1210 100.0	523 43.2	264 21.8	321 26.5	255 21.1	314 26.0	259 21.4	370 30.6	314 26.0
週 30 時間未満	93 100.0	37 39.8	25 26.9	22 23.7	17 18.3	16 17.2	17 18.3	23 24.7	16 17.2
週 30～40 時間未満	324 100.0	147 45.4	73 22.5	86 26.5	75 23.1	81 25.0	58 17.9	104 32.1	64 19.8
週 40～50 時間未満	589 100.0	244 41.4	114 19.4	163 27.7	120 20.4	158 26.8	133 22.6	173 29.4	157 26.7
週 50～60 時間未満	116 100.0	56 48.3	33 28.4	32 27.6	28 24.1	37 31.9	32 27.6	43 37.1	46 39.7
週 60 時間以上	80 100.0	39 48.8	19 23.8	17 21.3	14 17.5	22 27.5	19 23.8	27 33.8	31 38.8

	合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
		介護休業制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方に対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない	その他
全体	1210 100.0	208 17.2	159 13.1	149 12.3	80 6.6	177 14.6	121 10.0	281 23.2	23 1.9
週 30 時間未満	93 100.0	14 15.1	8 8.6	14 15.1	5 5.4	13 14.0	14 15.1	23 24.7	2 2.2
週 30～40 時間未満	324 100.0	59 18.2	39 12.0	37 11.4	21 6.5	43 13.3	31 9.6	81 25.0	3 0.9
週 40～50 時間未満	589 100.0	97 16.5	77 13.1	74 12.6	39 6.6	92 15.6	56 9.5	139 23.6	12 2.0
週 50～60 時間未満	116 100.0	26 22.4	24 20.7	17 14.7	8 6.9	20 17.2	8 6.9	17 14.7	3 2.6
週 60 時間以上	80 100.0	12 15.0	11 13.8	7 8.8	7 8.8	9 11.3	10 12.5	15 18.8	2 2.5

図表 193 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別
介護休業制度を利用しない（しなかった）理由:複数回答（Q38_1）

		合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
			勤務先に介護休業制度が整備されていない	勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休業制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休業制度を利用している人がいない	職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体		1210 100.0	523 43.2	264 21.8	321 26.5	255 21.1	314 26.0	259 21.4	370 30.6	314 26.0
Q29. 介護について職場の相談しやすさ	そう思う+まあそう思う	617 100.0	229 37.1	128 20.7	132 21.4	91 14.7	125 20.3	79 12.8	159 25.8	122 19.8
	あまりそう思わない+そう思わない	559 100.0	287 51.3	129 23.1	182 32.6	158 28.3	187 33.5	176 31.5	203 36.3	183 32.7
	わからない	34 100.0	7 20.6	7 20.6	7 20.6	6 17.6	2 5.9	4 11.8	8 23.5	9 26.5

		合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
			介護休業制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない	その他
全体		1210 100.0	208 17.2	159 13.1	149 12.3	80 6.6	177 14.6	121 10.0	281 23.2	23 1.9
Q29. 介護について職場の相談しやすさ	そう思う+まあそう思う	617 100.0	85 13.8	55 8.9	88 14.3	45 7.3	98 15.9	64 10.4	169 27.4	10 1.6
	あまりそう思わない+そう思わない	559 100.0	119 21.3	100 17.9	55 9.8	34 6.1	73 13.1	53 9.5	100 17.9	8 1.4
	わからない	34 100.0	4 11.8	4 11.8	6 17.6	1 2.9	6 17.6	4 11.8	12 35.3	5 14.7

図表 194 【正規労働者】仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別
介護休業制度を利用しない（しなかった）理由:複数回答（Q38_1）

		合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
			整勤務先 に介護休業 制度が ない	い勤務先 の介護休業 制度を 満たして いない	知勤務先 の介護休業 制度を 知らない	が勤務先 に介護の 相談窓口 （わから ない）	用職場 に介護休 業制度を 利用して いない	用職場 に介護休 業制度を 利用して いない	代替職員 がいない	業務量 が多い、 仕事が 忙しい
全体		1210 100.0	523 43.2	264 21.8	321 26.5	255 21.1	314 26.0	259 21.4	370 30.6	314 26.0
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う+まあそう思う	568 100.0	200 35.2	113 19.9	119 21.0	83 14.6	107 18.8	64 11.3	126 22.2	96 16.9
	あまりそう思わない+そう思わない	606 100.0	318 52.5	148 24.4	198 32.7	169 27.9	205 33.8	191 31.5	240 39.6	213 35.1
	わからない	36 100.0	5 13.9	3 8.3	4 11.1	3 8.3	2 5.6	4 11.1	4 11.1	5 13.9

		合計	Q38_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由							
			収入が 減る	介護休業 制度を利用 すると	人事評価 ・待遇に 悪影響が ある	在宅勤務 等の柔軟 な働き方 で対応	介護休業 制度や短 時間勤務 の両立支 援制度を 利用	年次有給 休暇制度 や勤務先 独自の制 度を利用	が介護サ ービスの 利用、施 設へ必要 な	態は、長 期間、休 業する必 要な
全体		1210 100.0	208 17.2	159 13.1	149 12.3	80 6.6	177 14.6	121 10.0	281 23.2	23 1.9
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う+まあそう思う	568 100.0	71 12.5	44 7.7	88 15.5	44 7.7	105 18.5	65 11.4	156 27.5	14 2.5
	あまりそう思わない+そう思わない	606 100.0	136 22.4	114 18.8	56 9.2	36 5.9	69 11.4	53 8.7	110 18.2	7 1.2
	わからない	36 100.0	1 2.8	1 2.8	5 13.9	0 0.0	3 8.3	3 8.3	15 41.7	2 5.6

②利用しない（しなかった）理由（最も大きな理由）

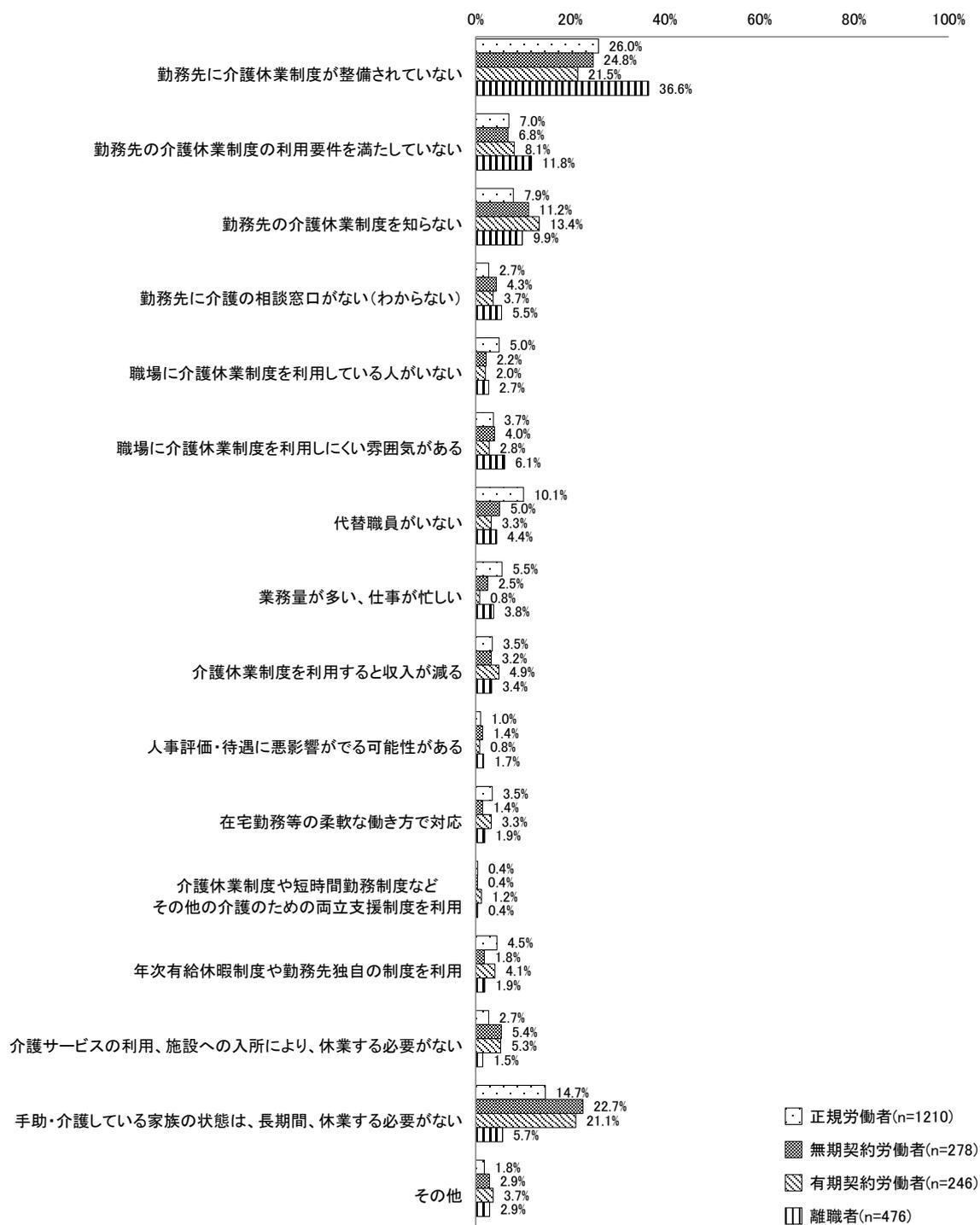
介護休業制度を利用しない（しなかった）最も大きな理由をみると、「正規労働者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が26.0%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない」が14.7%となっている。「無期契約労働者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が24.8%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない」が22.7%となっている。「有期契約労働者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が21.5%で最も割合が高く、次いで「手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない」が21.1%となっている。「離職者」では、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」が36.6%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない」が11.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、他と比較して、正規労働者は、「勤務先に介護休業制度が整備されていない」の割合が高くなっている。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、そう思わないと回答した方が、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」「勤務先の介護休暇制度を知らない」「勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）」「職場に介護休暇制度を利用している人がいない」「職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある」の割合が高くなっている。

正規労働者について、仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別にみると、そう思わないと回答した方が、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」「勤務先の介護休暇制度を知らない」「勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）」「職場に介護休暇制度を利用している人がいない」「職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある」「代替職員がいない」「業務量が多い、仕事が忙しい」の割合が高くなっている。

図表 195 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由：単数回答（Q38_2）



図表 196 【離職者】離職時の就業形態別

介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由：単数回答（Q38_2）

	合計	Q38_2. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由							
		勤務先に介護休業制度が整備されていない	勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休業制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休業制度を利用している人がいない	職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体	476 100.0	174 36.6	56 11.8	47 9.9	26 5.5	13 2.7	29 6.1	21 4.4	18 3.8
正規労働者	275 100.0	113 41.1	39 14.2	24 8.7	14 5.1	8 2.9	13 4.7	8 2.9	10 3.6
無期契約労働者	121 100.0	37 30.6	10 8.3	15 12.4	8 6.6	4 3.3	9 7.4	7 5.8	5 4.1
有期契約労働者	80 100.0	24 30.0	7 8.8	8 10.0	4 5.0	1 1.3	7 8.8	6 7.5	3 3.8

	合計	Q38_2. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由							
		介護休業制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	手助・介護している家族の状態は、長期間、休業する必要がない	その他
全体	476 100.0	16 3.4	8 1.7	9 1.9	2 0.4	9 1.9	7 1.5	27 5.7	14 2.9
正規労働者	275 100.0	6 2.2	4 1.5	7 2.5	1 0.4	4 1.5	3 1.1	16 5.8	5 1.8
無期契約労働者	121 100.0	8 6.6	0 0.0	2 1.7	1 0.8	1 0.8	2 1.7	8 6.6	4 3.3
有期契約労働者	80 100.0	2 2.5	4 5.0	0 0.0	0 0.0	4 5.0	2 2.5	3 3.8	5 6.3

図表 197 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別

介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由：単数回答（Q38_2）

		合計	Q39_1. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由							
			勤務先に介護休業制度が整備されていない	勤務先の介護休暇制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休暇制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休暇制度を利用していない人がいない	職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体		988 100.0	378 38.3	169 17.1	232 23.5	175 17.7	198 20.0	189 19.1	259 26.2	216 21.9
Q29. 介護について職場の相談しやすさ	そう思う+まあそう思う	505 100.0	170 33.7	84 16.6	90 17.8	64 12.7	76 15.0	57 11.3	116 23.0	83 16.4
	あまりそう思わない+そう思わない	451 100.0	204 45.2	81 18.0	136 30.2	109 24.2	121 26.8	132 29.3	139 30.8	126 27.9
	わからない	32 100.0	4 12.5	4 12.5	6 18.8	2 6.3	1 3.1	0 0.0	4 12.5	7 21.9

		合計	Q39_1. 介護休業制度を利用しない（しなかった）理由						その他
			介護休業制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	
全体		988 100.0	136 13.8	103 10.4	125 12.7	57 5.8	134 13.6	174 17.6	19 1.9
Q29. 介護について職場の相談しやすさ	そう思う+まあそう思う	505 100.0	56 11.1	34 6.7	86 17.0	32 6.3	79 15.6	102 20.2	10 2.0
	あまりそう思わない+そう思わない	451 100.0	78 17.3	69 15.3	37 8.2	25 5.5	51 11.3	66 14.6	5 1.1
	わからない	32 100.0	2 6.3	0 0.0	2 6.3	0 0.0	4 12.5	6 18.8	4 12.5

図表 198 【正規労働者】仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別
介護休業制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由：単数回答（Q38_2）

		合計	Q39_1. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由							
			勤務先に介護休業制度が整備されていない	勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休業制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休業制度を利用している人がいない	職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体		988 100.0	378 38.3	169 17.1	232 23.5	175 17.7	198 20.0	189 19.1	259 26.2	216 21.9
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う+まあそう思う	462 100.0	147 31.8	76 16.5	78 16.9	55 11.9	57 12.3	44 9.5	87 18.8	64 13.9
	あまりそう思わない+そう思わない	498 100.0	228 45.8	92 18.5	149 29.9	119 23.9	140 28.1	144 28.9	169 33.9	147 29.5
	わからない	28 100.0	3 10.7	1 3.6	5 17.9	1 3.6	1 3.6	1 3.6	3 10.7	5 17.9

		合計	Q39_1. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由						
			介護休業制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	他の介護のための両立支援制度を利用	介護休業制度や短時間勤務制度などその利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない
全体		988 100.0	136 13.8	103 10.4	125 12.7	57 5.8	134 13.6	174 17.6	19 1.9
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う+まあそう思う	462 100.0	47 10.2	28 6.1	84 18.2	31 6.7	80 17.3	105 22.7	11 2.4
	あまりそう思わない+そう思わない	498 100.0	88 17.7	74 14.9	38 7.6	26 5.2	52 10.4	61 12.2	5 1.0
	わからない	28 100.0	1 3.6	1 3.6	3 10.7	0 0.0	2 7.1	8 28.6	3 10.7

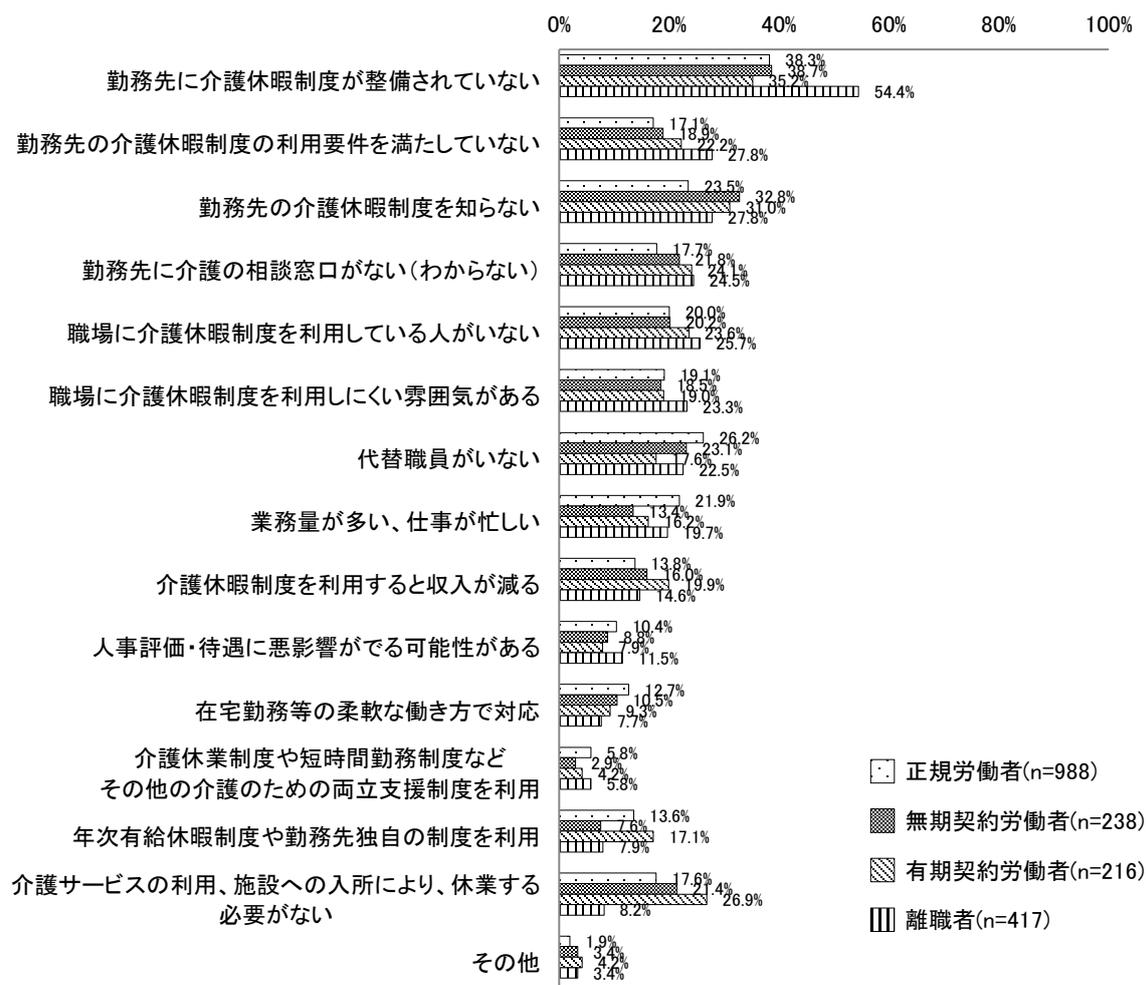
(13) 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由

①利用しない（しなかった）理由（すべて）

介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由をみると、「正規労働者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が38.3%で最も割合が高く、次いで「代替職員がいない」が26.2%となっている。「無期契約労働者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が38.7%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休暇制度を知らない」が32.8%となっている。「有期契約労働者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が35.2%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休暇制度を知らない」が31.0%となっている。「離職者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が54.4%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休暇制度の利用要件を満たしていない」「勤務先の介護休暇制度を知らない」が27.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、全体と比較して「無期契約労働者」は、「勤務先の介護休暇制度を知らない」「勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）」「職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある」「代替職員がいない」の割合が高くなっている。

図表 199 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由：複数回答（Q39_1）



図表 200 【離職者】離職時の就業形態別

介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由:複数回答（Q39_1）

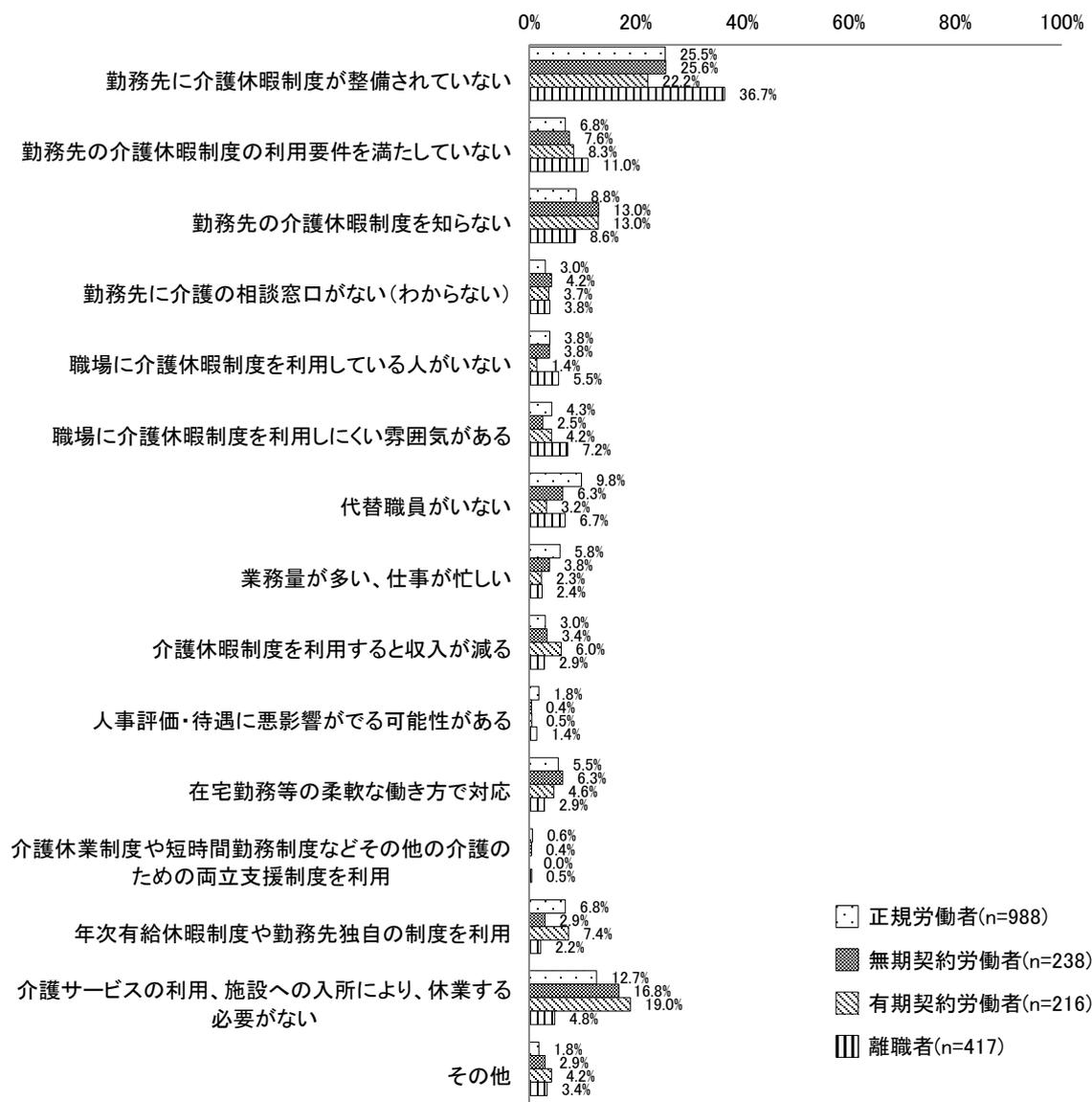
	合計	Q39_1. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由							
		勤務先に介護休暇制度が整備されていない	勤務先の介護休暇制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休暇制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休暇制度を利用している人がいない	職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体	417 100.0	227 54.4	116 27.8	116 27.8	102 24.5	107 25.7	97 23.3	94 22.5	82 19.7
正規労働者	254 100.0	148 58.3	70 27.6	62 24.4	47 18.5	58 22.8	54 21.3	45 17.7	45 17.7
無期契約労働者	99 100.0	55 55.6	29 29.3	36 36.4	35 35.4	33 33.3	32 32.3	32 32.3	25 25.3
有期契約労働者	64 100.0	24 37.5	17 26.6	18 28.1	20 31.3	16 25.0	11 17.2	17 26.6	12 18.8

	合計	Q39_1. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由							
		介護休暇制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	その他	不明
全体	417 100.0	61 14.6	48 11.5	32 7.7	24 5.8	33 7.9	34 8.2	14 3.4	0 0.0
正規労働者	254 100.0	31 12.2	29 11.4	19 7.5	15 5.9	23 9.1	21 8.3	7 2.8	0 0.0
無期契約労働者	99 100.0	18 18.2	13 13.1	10 10.1	6 6.1	4 4.0	7 7.1	2 2.0	0 0.0
有期契約労働者	64 100.0	12 18.8	6 9.4	3 4.7	3 4.7	6 9.4	6 9.4	5 7.8	0 0.0

②利用しない（しなかった）理由（最も大きな理由）

介護休暇制度を利用しない（しなかった）最も大きな理由をみると、「正規労働者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が25.5%で最も割合が高く、次いで「介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない」が12.7%となっている。「無期契約労働者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が25.6%で最も割合が高く、次いで「介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない」が16.8%となっている。「有期契約労働者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が22.2%で最も割合が高く、次いで「介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない」が19.0%となっている。「離職者」では、「勤務先に介護休暇制度が整備されていない」が36.7%で最も割合が高く、次いで「勤務先の介護休暇制度の利用要件を満たしていない」が11.0%となっている。

図表 201 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由：単数回答（Q39_2）



図表 202 【離職者】離職時の就業形態別

介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由：単数回答（Q39_2）

	合計	Q39_2. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由							
		勤務先に介護休暇制度が整備されていない	勤務先の介護休暇制度の利用要件を満たしていない	勤務先の介護休暇制度を知らない	勤務先に介護の相談窓口がない（わからない）	職場に介護休暇制度を利用している人がいない	職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある	代替職員がいない	業務量が多い、仕事が忙しい
全体	417 100.0	153 36.7	46 11.0	36 8.6	16 3.8	23 5.5	30 7.2	28 6.7	10 2.4
正規労働者	254 100.0	106 41.7	26 10.2	19 7.5	8 3.1	16 6.3	18 7.1	11 4.3	5 2.0
無期契約労働者	99 100.0	35 35.4	9 9.1	10 10.1	4 4.0	3 3.0	10 10.1	11 11.1	3 3.0
有期契約労働者	64 100.0	12 18.8	11 17.2	7 10.9	4 6.3	4 6.3	2 3.1	6 9.4	2 3.1

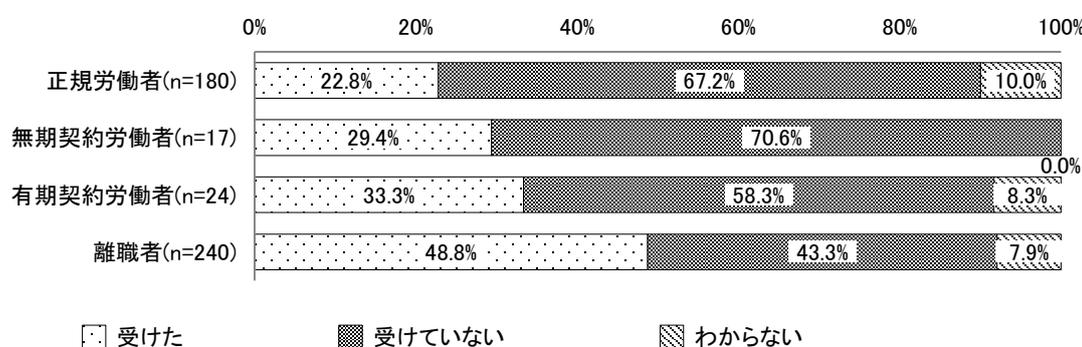
	合計	Q39_2. 介護休暇制度を利用しない（しなかった）理由：最も大きな理由							
		介護休暇制度を利用すると収入が減る	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	在宅勤務等の柔軟な働き方に対応	介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	その他	不明
全体	417 100.0	12 2.9	6 1.4	12 2.9	2 0.5	9 2.2	20 4.8	14 3.4	0 0.0
正規労働者	254 100.0	6 2.4	5 2.0	7 2.8	1 0.4	5 2.0	14 5.5	7 2.8	0 0.0
無期契約労働者	99 100.0	4 4.0	0 0.0	5 5.1	0 0.0	0 0.0	3 3.0	2 2.0	0 0.0
有期契約労働者	64 100.0	2 3.1	1 1.6	0 0.0	1 1.6	4 6.3	3 4.7	5 7.8	0 0.0

(14) 介護休業制度を取得し復職した後、不利益取り扱い（ハラスメントを含む。）を受けた経験

介護休業制度を取得した人について、介護休業制度を取得し復職した後、嫌がらせや、介護・退職勧奨・契約更新されないなどの不利益な取り扱い（ハラスメントを含む。）を受けたかをみると、「受けた」と回答した割合は、「正規労働者」では 22.8%、「離職者」では 48.8%となっている。

離職者について、離職時の就業形態別にみると、正規労働者で「受けた」と回答した割合が 53.6%となっている。

図表 203 介護休業制度を取得し復職した後、不利益取り扱い（ハラスメントを含む。）を受けた経験：単数回答（Q40）



※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

図表 204 【離職者】離職時の就業形態別

介護休業制度を取得し復職した後、不利益取り扱い（ハラスメントを含む。）を受けた経験：単数回答（Q40）

	合計	Q40. 介護休業制度を取得し復職した後、不利益取り扱いを受けた経験		
		受けた	受けていない	わからない
全体	240 100.0	117 48.8	104 43.3	19 7.9
正規労働者	194 100.0	104 53.6	75 38.7	15 7.7
無期契約労働者	26 100.0	7 26.9	17 65.4	2 7.7
有期契約労働者	20 100.0	6 30.0	12 60.0	2 10.0

※無期契約労働者、有期契約労働者は n 数が小さいため、参考値。

6. 職場での仕事と介護の両立の状況等

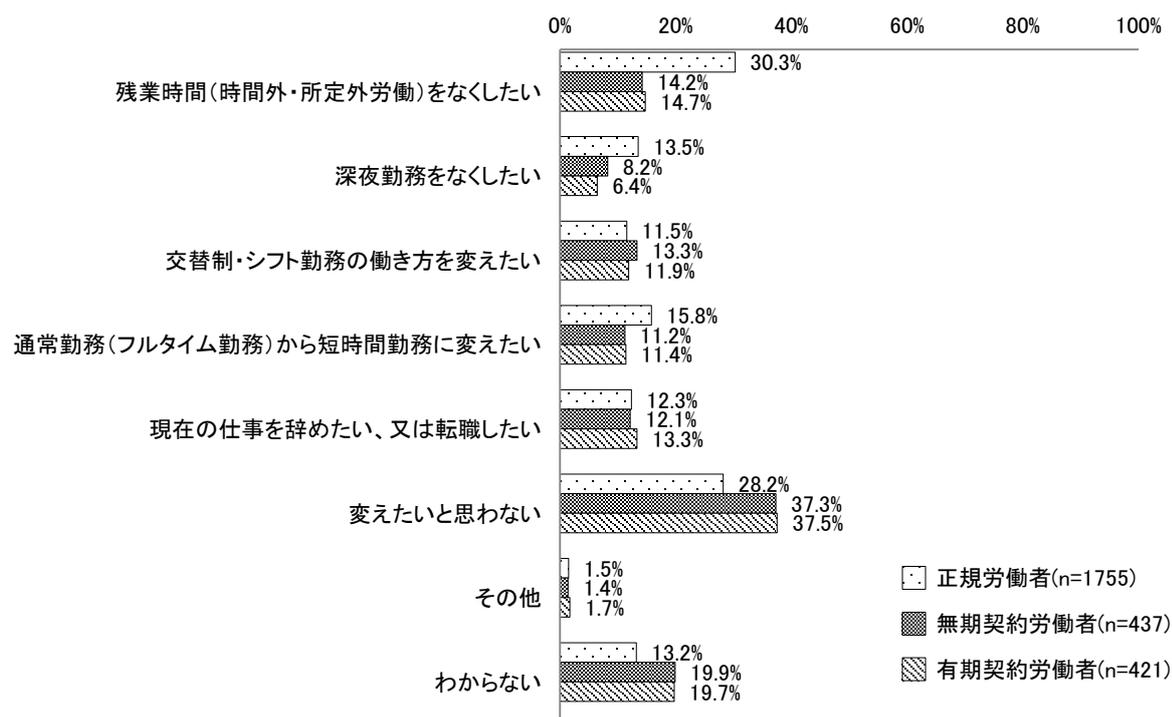
※「6. 職場での仕事と介護の両立の状況等」は、「正規労働者」「有期契約労働者」「無期契約労働者」を対象とした設問。

(1) 仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか

仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいかをみると、「正規労働者」では、「残業時間（時間外・所定外労働）をなくしたい」が30.3%で最も割合が高く、次いで「変えたいと思わない」が28.2%となっている。「無期契約労働者」では、「変えたいと思わない」が37.3%で最も割合が高く、次いで「わからない」が19.9%となっている。「有期契約労働者」では、「変えたいと思わない」が37.5%で最も割合が高く、次いで「わからない」が19.7%となっている。

正規労働者について、週労働時間別にみると、労働時間が長くなるほど、「残業時間（時間外・所定外労働）をなくしたい」の割合が高くなる傾向にある。

図表 205 仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか：複数回答 (Q41)



図表 206 【正規労働者】週労働時間別

仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか:複数回答 (Q41)

	合計	Q41. 仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか							
		残業時間 (時間外・所定外労働) をなくしたい	深夜勤務をなくしたい	交替制・シフト勤務の働き方を変えたい	通常勤務 (フルタイム勤務) から短時間勤務に変えたい	現在の仕事を辞めたい、又は転職したい	変えたいと思わない	その他	わからない
全体	1755 100.0	531 30.3	237 13.5	202 11.5	277 15.8	216 12.3	495 28.2	26 1.5	231 13.2
週 30 時間未満	167 100.0	46 27.5	35 21.0	29 17.4	24 14.4	22 13.2	41 24.6	0 0.0	18 10.8
週 30～40 時間未満	458 100.0	125 27.3	62 13.5	50 10.9	83 18.1	54 11.8	122 26.6	8 1.7	59 12.9
週 40～50 時間未満	809 100.0	236 29.2	93 11.5	76 9.4	122 15.1	92 11.4	257 31.8	15 1.9	104 12.9
週 50～60 時間未満	179 100.0	72 40.2	25 14.0	31 17.3	27 15.1	28 15.6	44 24.6	3 1.7	26 14.5
週 60 時間以上	117 100.0	49 41.9	21 17.9	15 12.8	21 17.9	19 16.2	27 23.1	0 0.0	9 7.7

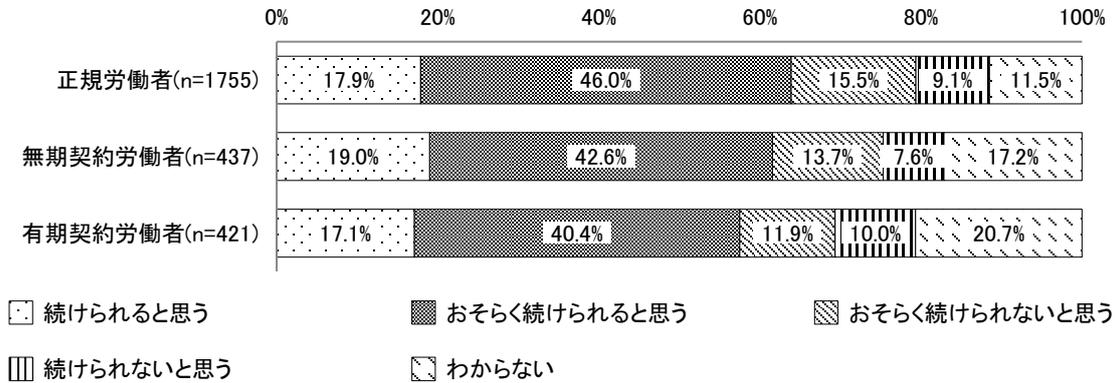
(2) 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うかについてみると、「正規労働者」では、「おそらく続けられると思う」が 46.0%で最も割合が高く、次いで「続けられると思う」が 17.9%となっている。「無期契約労働者」では、「おそらく続けられると思う」が 42.6%で最も割合が高く、次いで「続けられると思う」が 19.0%となっている。「有期契約労働者」では、「おそらく続けられると思う」が 40.4%で最も割合が高く、次いで「わからない」が 20.7%となっている。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、相談しやすいと思うと回答した方が続けられると思うと回答した割合が高くなっている。

正規労働者について、仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別にみると、そう思うと回答した方が、続けられると思うと回答した割合が高くなっている。

図表 207 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか
:単数回答 (Q42)



図表 208 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別
現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか
:単数回答 (Q42)

		合計	Q42. 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか				
			続けられると思う	おそらく続けられると思う	おそらく続けられないと思う	続けられないと思う	わからない
全体		1755 100.0	314 17.9	807 46.0	272 15.5	160 9.1	202 11.5
Q29. 介護について 職場の相談しやすさ	そう思う+まあそう思う	875 100.0	218 24.9	478 54.6	99 11.3	32 3.7	48 5.5
	あまりそう思わない+そう思わない	785 100.0	81 10.3	308 39.2	166 21.1	119 15.2	111 14.1
	わからない	95 100.0	15 15.8	21 22.1	7 7.4	9 9.5	43 45.3

図表 209 【正規労働者】仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ別
現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか
:単数回答 (Q42)

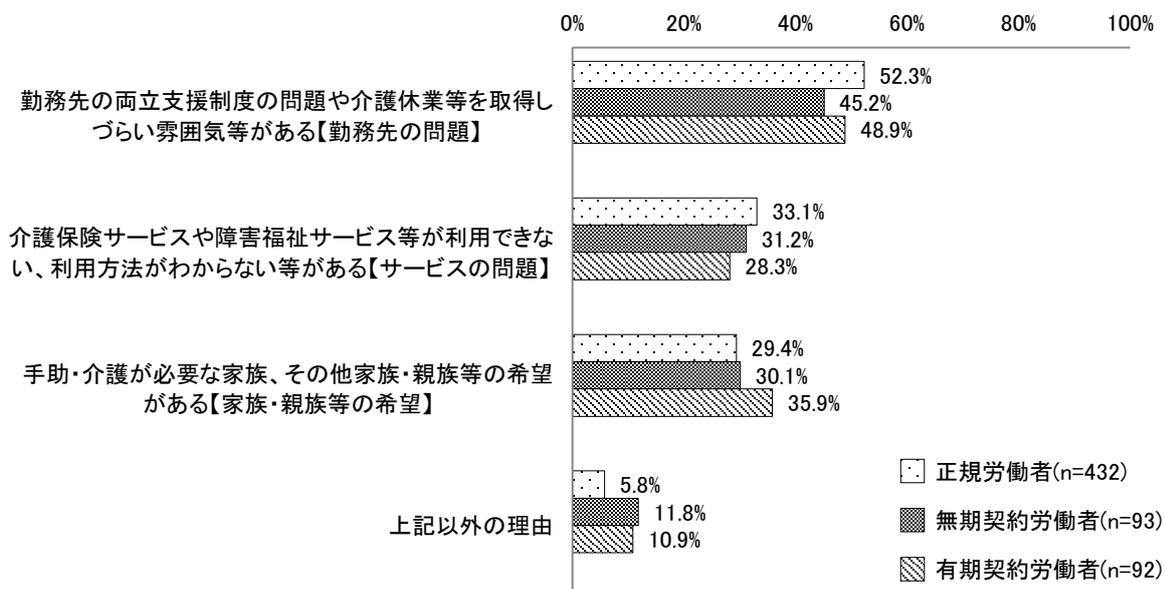
		合計	Q42. 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができると思うか				
			続けられると思う	おそらく続けられると思う	おそらく続けられないと思う	続けられないと思う	わからない
全体		1755 100.0	314 17.9	807 46.0	272 15.5	160 9.1	202 11.5
Q30. 仕事と介護を両立できる働き方への変更しやすさ	そう思う+まあそう思う	811 100.0	226 27.9	452 55.7	71 8.8	24 3.0	38 4.7
	あまりそう思わない+そう思わない	848 100.0	77 9.1	329 38.8	196 23.1	130 15.3	116 13.7
	わからない	96 100.0	11 11.5	26 27.1	5 5.2	6 6.3	48 50.0

(3) 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思うと回答した人について、その理由をみると、「正規労働者」では、「勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等がある【勤務先の問題】」が52.3%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスや障害福祉サービス等が利用できない、利用方法がわからない等がある【サービスの問題】」が33.1%となっている。「無期契約労働者」では、「勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等がある【勤務先の問題】」が45.2%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスや障害福祉サービス等が利用できない、利用方法がわからない等がある【サービスの問題】」が31.2%となっている。「有期契約労働者」では、「勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等がある【勤務先の問題】」が48.9%で最も割合が高く、次いで「手助・介護が必要な家族、その他家族・親族等の希望がある【家族・親族等の希望】」が35.9%となっている。

正規労働者について、介護についての職場の相談しやすさ別にみると、そう思わないと回答した人は、そう思うと回答した人と比較して、「勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等がある【勤務先の問題】」の割合が高くなっている。

図表 210 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由
:複数回答 (Q43)



図表 211 【正規労働者】介護についての職場の相談しやすさ別
現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由

:複数回答 (Q43)

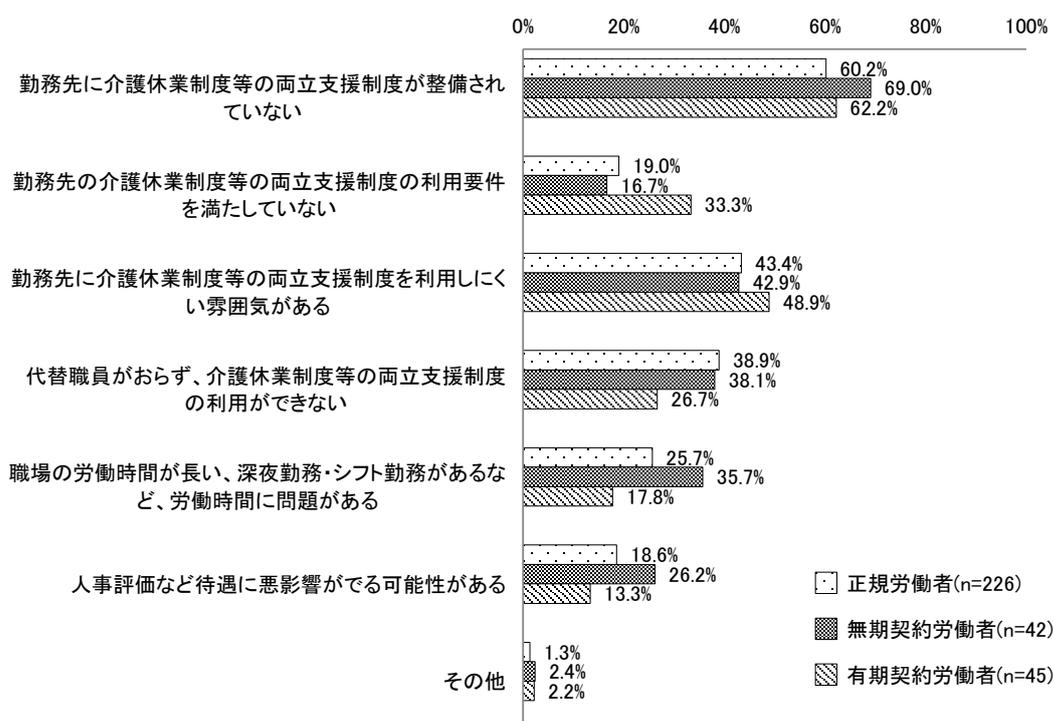
		合計	Q43. 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由			
			勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取 得しづらい雰囲気等がある【勤 務先の問題】	介護保険サービ スや障害福祉サ ービス等が利用 できない、利用 方法がわからな い等がある【サ ービスの問題】	手助・介護が必 要な家族、その 他家族・親族等 の希望がある 【家族・親族等 の希望】	上記以外の理由
全体		432 100.0	226 52.3	143 33.1	127 29.4	25 5.8
Q29. 介護 について 職場の相 談しやす さ	そう思う+まあそ う思う	131 100.0	51 38.9	47 35.9	37 28.2	15 11.5
	あまりそう思わな い+そう思わない	285 100.0	171 60.0	93 32.6	80 28.1	9 3.2
	わからない	16 100.0	4 25.0	3 18.8	10 62.5	1 6.3

(4) 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な理由

①勤務先の問題

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由として「勤務先の問題」を選択した人について、その具体的な理由をみると、「正規労働者」では、「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度が整備されていない」が60.2%で最も割合が高く、次いで「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気がある」が43.4%となっている。「無期契約労働者」では、「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度が整備されていない」が69.0%で最も割合が高く、次いで「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気がある」が42.9%となっている。「有期契約労働者」では、「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度が整備されていない」が62.2%で最も割合が高く、次いで「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気がある」が48.9%となっている。

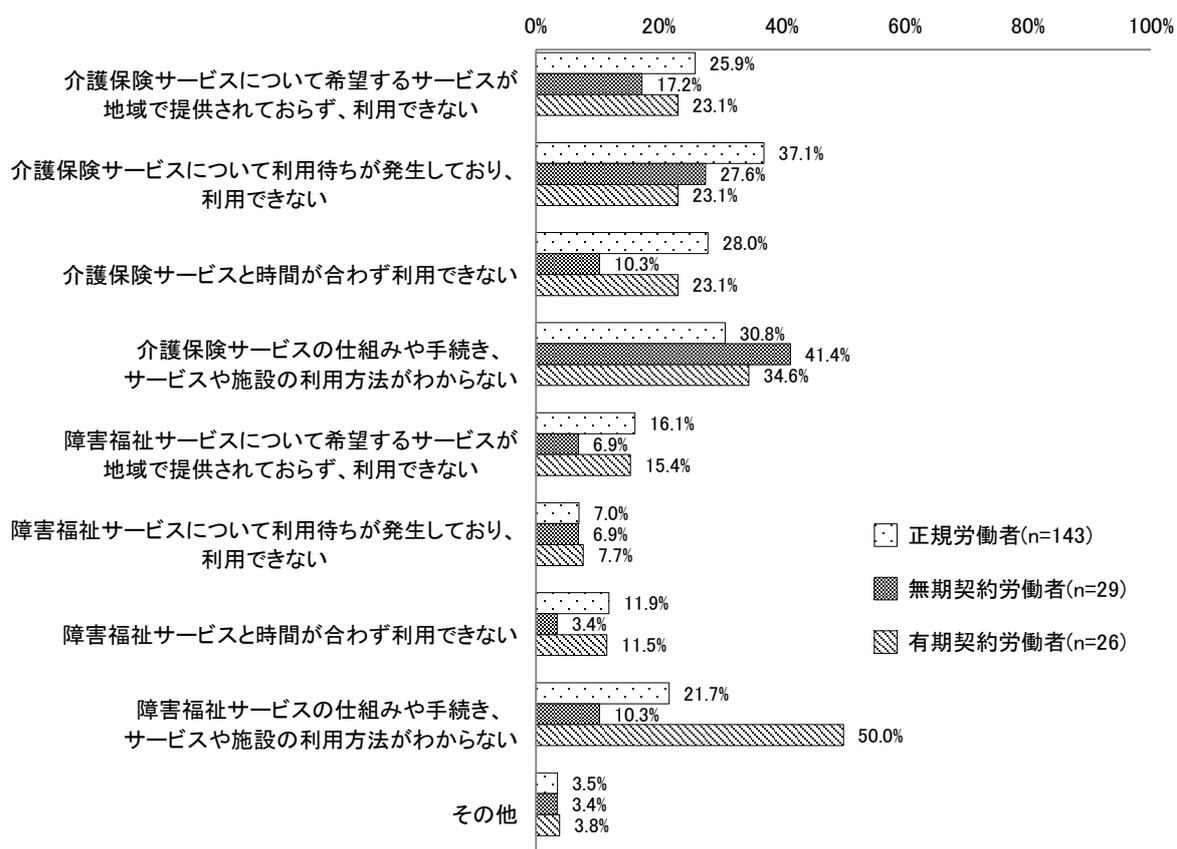
図表 212 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な理由
(勤務先の問題) : 複数回答 (Q44)



②サービスの問題

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う理由として「サービスの問題」を選択した人について、その具体的な理由をみると、「正規労働者」では、「介護保険サービスについて利用待ちが発生しており、利用できない」が37.1%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからない」が30.8%となっている。「無期契約労働者」では、「介護保険サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからない」が41.4%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスについて利用待ちが発生しており、利用できない」が27.6%となっている。「有期契約労働者」では、「障害福祉サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからない」が50.0%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからない」が34.6%となっている。

図表 213 現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な理由（サービスの問題）：複数回答（Q45）

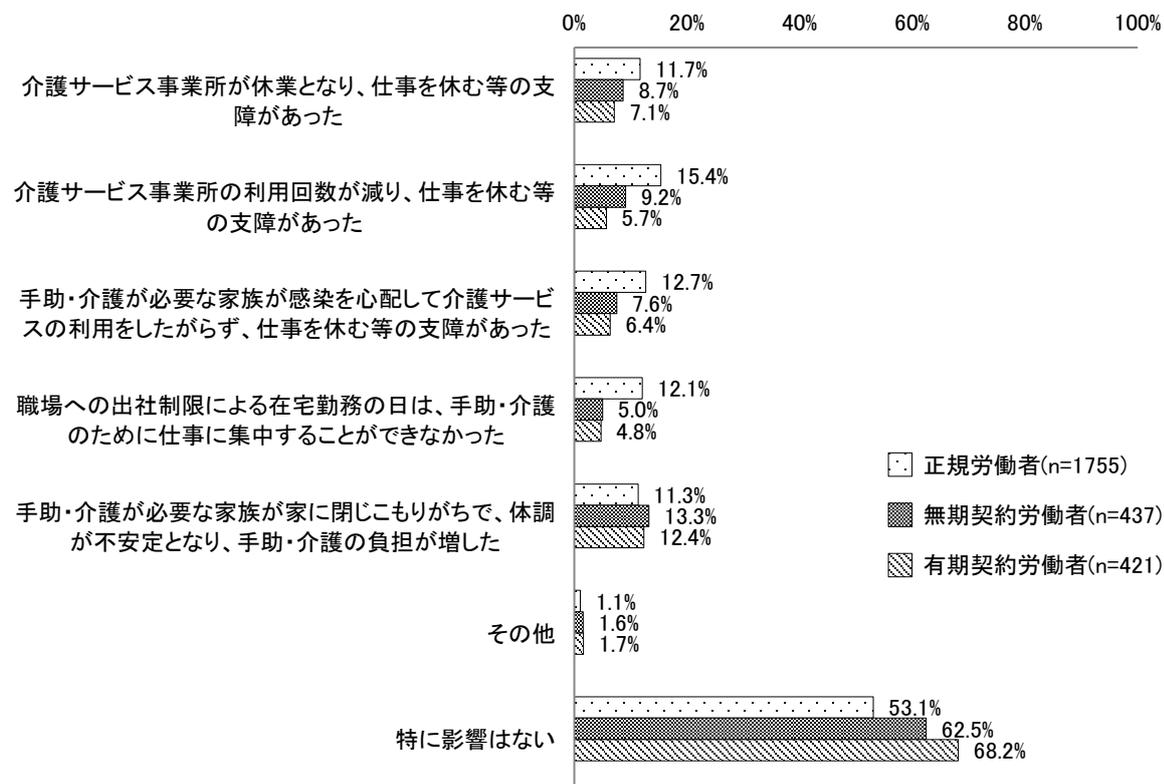


※無期契約労働者、有期契約労働者はn数が小さいため、参考値。

(5) 新型コロナウイルスの感染拡大による仕事と介護の両立への影響

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事と介護の両立にどのような影響があったかをみると、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」とも「特に影響はない」の割合が高く、それぞれ、53.1%、62.5%、68.2%となっている。

図表 214 新型コロナウイルスの感染拡大による仕事と介護の両立への影響:複数回答 (Q46)



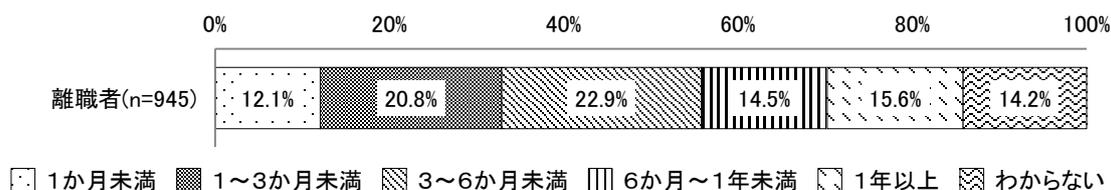
7. 介護離職・再就職の状況

※「7. 介護離職・再就職の状況」は、「離職者」を対象とした設問。

(1) 「手助・介護」を始めてから、「手助・介護」のために仕事を辞めた時までの期間

「手助・介護」を始めてから、「手助・介護」のために仕事を辞めた時までの期間をみると、「3～6か月未満」が22.9%で最も割合が高く、次いで「1～3か月未満」が20.8%となっている。

図表 215 「手助・介護」を始めてから、「手助・介護」のために仕事を辞めた時までの期間
:単数回答 (Q47)

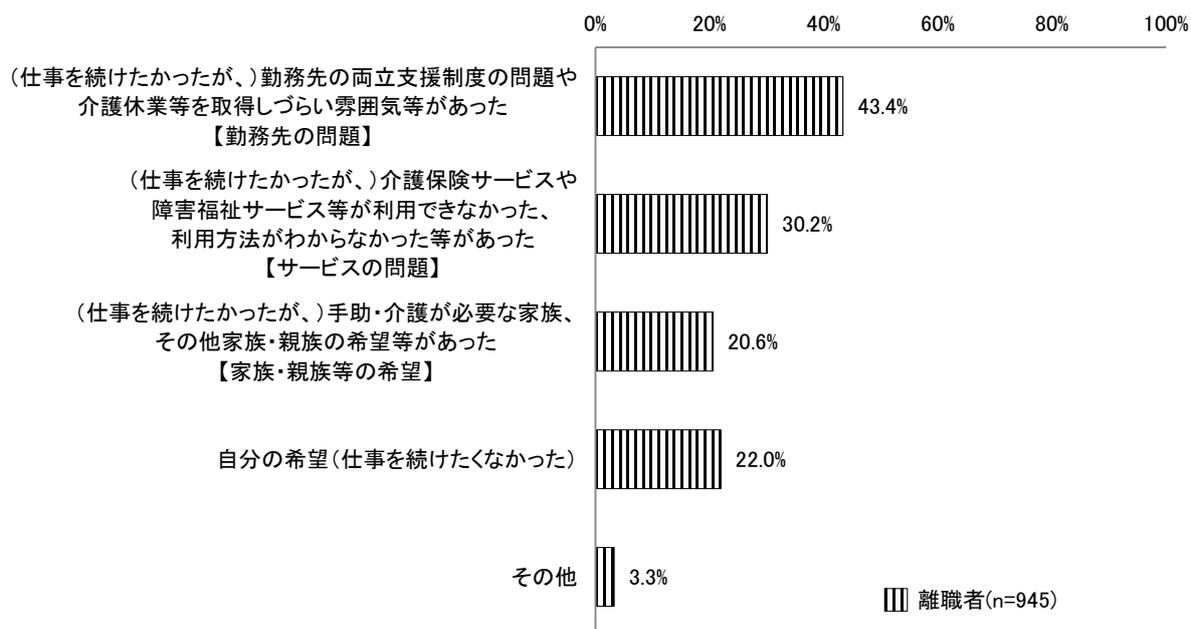


(2) 「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由

「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由をみると、「(仕事を続けたかったが、)勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等があった【勤務先の問題】」が43.4%で最も割合が高く、次いで「(仕事を続けたかったが、)介護保険サービスや障害福祉サービス等が利用できなかった、利用方法がわからなかった等があった【サービスの問題】」が30.2%となっている。

離職時の就業形態別にみると、他と比較して、「正規労働者」は「勤務先の問題」の割合が高くなっている。

図表 216 「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由:複数回答 (Q48)



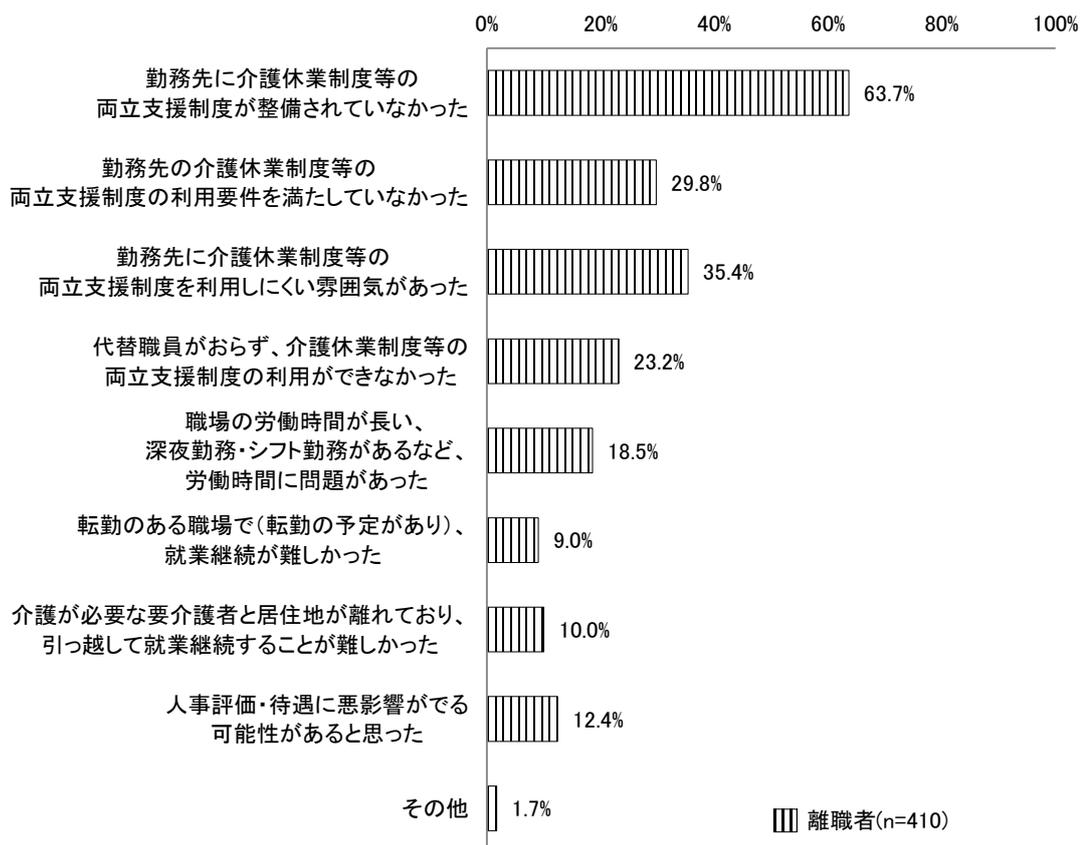
図表 217 離職時の就業形態別 「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由:複数回答 (Q48)

	合計	Q48. 「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由				
		（仕事を続けたかったが、）勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得失づらい雰囲気等があった【勤務先の問題】	（仕事を続けたかったが、）介護保険サービスや障害福祉サービス等が利用できなかった、利用方法がわからなかった等があった【サービスの問題】	（仕事を続けたかったが、）手助・介護が必要な家族、その他家族・親族の希望等があった【家族・親族等の希望】	自分の希望（仕事を続けたくなかった）	その他
全体	945 100.0	410 43.4	285 30.2	195 20.6	208 22.0	31 3.3
正規労働者	596 100.0	291 48.8	211 35.4	104 17.4	105 17.6	10 1.7
無期契約労働者	205 100.0	72 35.1	49 23.9	50 24.4	59 28.8	7 3.4
有期契約労働者	144 100.0	47 32.6	25 17.4	41 28.5	44 30.6	14 9.7

(3) 仕事を辞める理由となった勤務先の問題

「手助・介護」のために仕事を辞めた理由として「勤務先の問題」を選択した人についてその理由をみると、「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度が整備されていなかった」が63.7%で最も割合が高く、次いで「勤務先に介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気があった」が35.4%となっている。

図表 218 仕事を辞める理由となった勤務先の問題：複数回答（Q49）



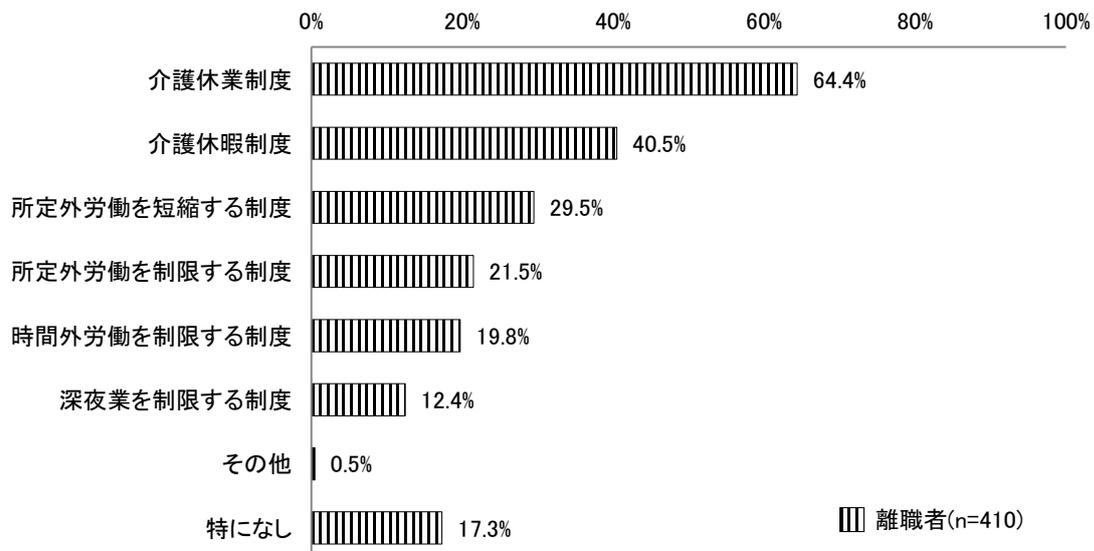
図表 219 離職時の就業形態別 仕事を辞める理由となった勤務先の問題:複数回答 (Q49)

	合計	Q49. 仕事を辞める理由となった勤務先の問題								
		た支援制度が整備されていなかった	い支援制度の利用要件を満たさなかった	が支援制度を利用しにくい雰囲気があった	な等々の両立支援制度の利用ができなかった	代替職員がおらず、介護休業制度等の両立支援制度の利用ができなかった	職務・シフト勤務があるなど、労働時間に問題があった	転勤のある職場で(転勤の予定があり)、就業継続が難しかった	介護が必要な要介護者と居住地が離れており、引越して就業継続することが難しかった	人事評価・待遇に悪影響がでる可能性があると思った
全体	410 100.0	261 63.7	122 29.8	145 35.4	95 23.2	76 18.5	37 9.0	41 10.0	51 12.4	7 1.7
正規労働者	291 100.0	190 65.3	88 30.2	101 34.7	57 19.6	49 16.8	31 10.7	30 10.3	31 10.7	0 0.0
無期契約労働者	72 100.0	43 59.7	23 31.9	26 36.1	23 31.9	14 19.4	2 2.8	5 6.9	8 11.1	3 4.2
有期契約労働者	47 100.0	28 59.6	11 23.4	18 38.3	15 31.9	13 27.7	4 8.5	6 12.8	12 25.5	4 8.5

(4) 仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか

仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったかをみると、「介護休業制度」が64.4%で最も割合が高く、次いで「介護休暇制度」が40.5%となっている。

図表 220 ①仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか :複数回答 (Q50_1)



図表 221 離職時の就業形態別

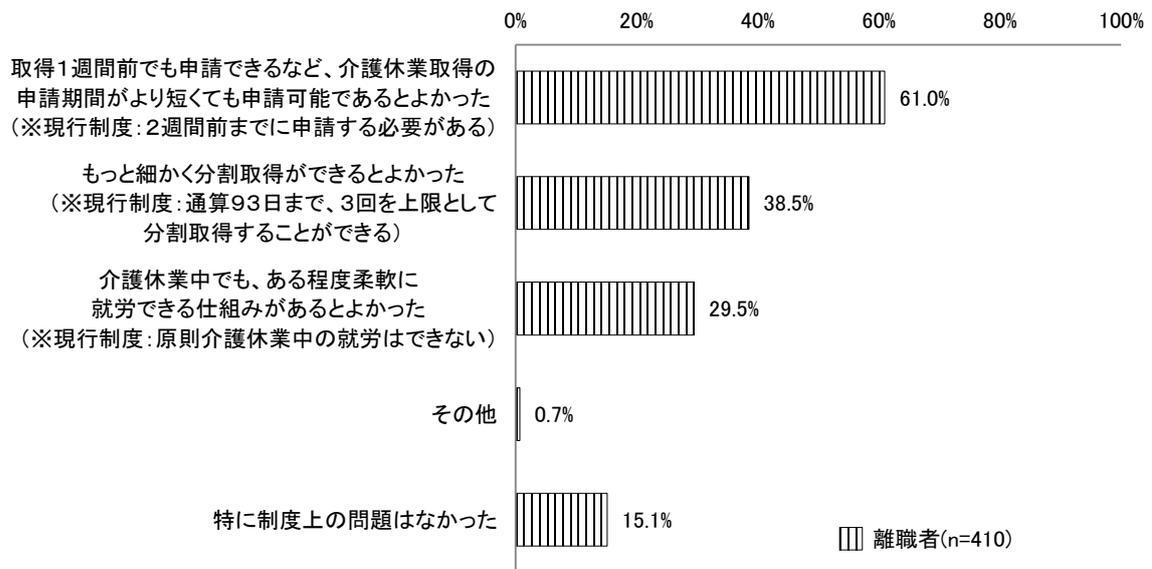
①仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか

	合計	Q50_1. ①仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか							
		介護休業制度	介護休暇制度	所定外労働を短縮する制度	所定外労働を制限する制度	時間外労働を制限する制度	深夜業を制限する制度	その他	特になし
全体	410 100.0	264 64.4	166 40.5	121 29.5	88 21.5	81 19.8	51 12.4	2 0.5	71 17.3
正規労働者	291 100.0	188 64.6	120 41.2	88 30.2	61 21.0	58 19.9	32 11.0	0 0.0	45 15.5
無期契約労働者	72 100.0	46 63.9	32 44.4	21 29.2	19 26.4	13 18.1	10 13.9	0 0.0	14 19.4
有期契約労働者	47 100.0	30 63.8	14 29.8	12 25.5	8 17.0	10 21.3	9 19.1	2 4.3	12 25.5

(5) 介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思うか

介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思うかをみると、「取得1週間前でも申請できるなど、介護休業取得の申請期間がより短くても申請可能であるとよかった」が61.0%で最も割合が高く、次いで「もっと細かく分割取得ができるとよかった」が38.5%となっている。

図表 222 ②介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思うか:複数回答 (Q50_2)



図表 223 離職時の就業形態別

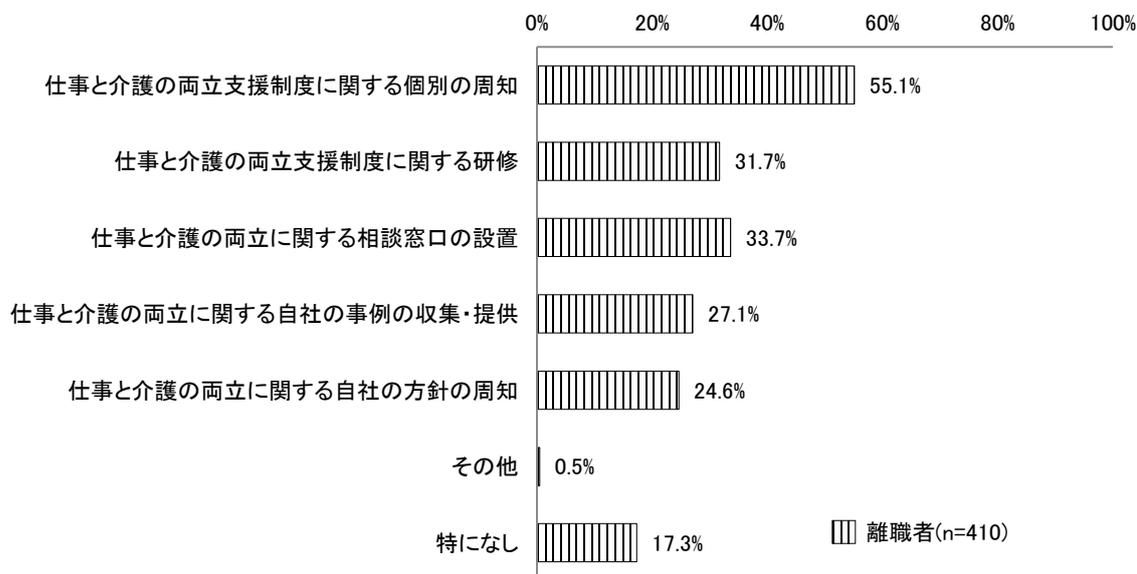
②介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思うか:複数回答 (Q50_2)

	合計	Q50_2. ②介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思うか				
		取得1週間前でも申請できるなど、介護休業取得の申請期間がより短くても申請可能であるとよかった	もっと細かく分割取得ができるとよかった	介護休業中でも、ある程度柔軟に就労できる仕組みがあるとよかった	その他	特に制度上の問題はなかった
全体	410 100.0	250 61.0	158 38.5	121 29.5	3 0.7	62 15.1
正規労働者	291 100.0	178 61.2	120 41.2	78 26.8	0 0.0	43 14.8
無期契約労働者	72 100.0	45 62.5	25 34.7	25 34.7	1 1.4	8 11.1
有期契約労働者	47 100.0	27 57.4	13 27.7	18 38.3	2 4.3	11 23.4

(6) どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思うか

どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思うかをみると、「仕事と介護の両立支援制度に関する個別の周知」が55.1%で最も割合が高く、次いで「仕事と介護の両立に関する相談窓口の設置」が33.7%となっている。

図表 224 ③どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思うか:複数回答 (Q50_3)



図表 225 離職時の就業形態別

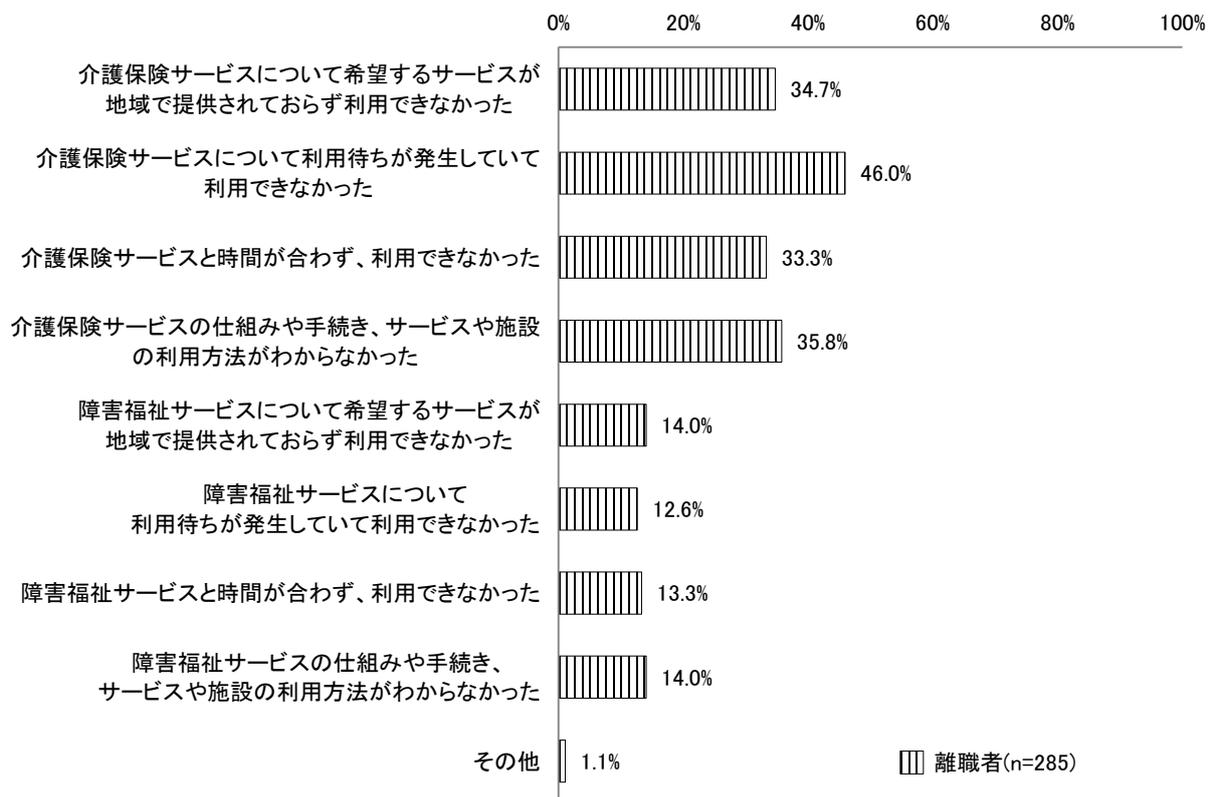
③どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思うか:複数回答 (Q50_3)

	合計	Q50_3. ③どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思うか						
		仕事と介護の両立支援制度に関する個別の周知	仕事と介護の両立支援制度に関する研修	仕事と介護の両立に関する相談窓口の設置	仕事と介護の両立に関する自社の事例の収集・提供	仕事と介護の両立に関する自社の方針の周知	その他	特になし
全体	410 100.0	226 55.1	130 31.7	138 33.7	111 27.1	101 24.6	2 0.5	71 17.3
正規労働者	291 100.0	154 52.9	100 34.4	94 32.3	77 26.5	68 23.4	0 0.0	50 17.2
無期契約労働者	72 100.0	43 59.7	17 23.6	27 37.5	19 26.4	13 18.1	0 0.0	12 16.7
有期契約労働者	47 100.0	29 61.7	13 27.7	17 36.2	15 31.9	20 42.6	2 4.3	9 19.1

(7) 仕事を辞める理由となったサービスの問題

「手助・介護」のために仕事を辞めた理由として「サービスの問題」を選択した人についてその理由をみると、「介護保険サービスについて利用待ちが発生していて利用できなかった」が46.0%で最も割合が高く、次いで「介護保険サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからなかった」が35.8%となっている。

図表 226 仕事を辞める理由となったサービスの問題:複数回答 (Q51)

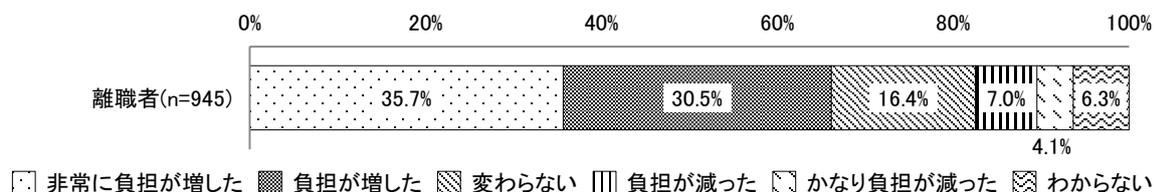


(8) 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化

①精神面

「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる「精神面」の変化をみると、「非常に負担が増した」が35.7%、「負担が増した」が30.5%となっている。

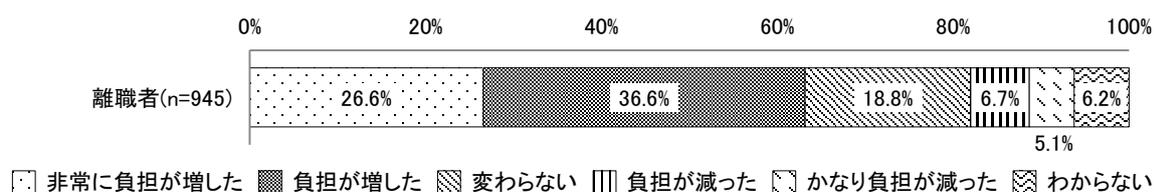
図表 227 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：①精神面：単数回答（Q52_1）



②肉体面

「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる「肉体面」の変化をみると、「非常に負担が増した」が26.6%、「負担が増した」が36.6%となっている。

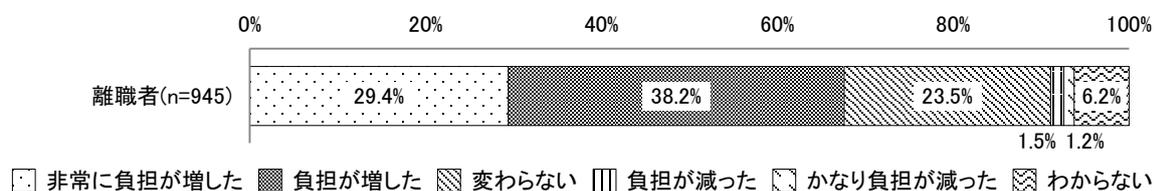
図表 228 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：②肉体面：単数回答（Q52_2）



③経済面

「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる「経済面」の変化をみると、「非常に負担が増した」が29.4%、「負担が増した」が38.2%となっている。

図表 229 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面：単数回答（Q52_3）



(9) 「手助・介護」を機に仕事を辞めた後の平均的な1日の過ごし方

「手助・介護」を機に仕事を辞めた後の平均的な1日の過ごし方について、それぞれの時間の平均値をみると、平日では、「①手助・介護に要した時間」が4.0時間、「②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間」が1.1時間、「③休息时间・あなた自身の時間」が3.4時間、「④睡眠時間」が5.7時間となっている。

休日では、「①手助・介護に要した時間」が4.3時間、「②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間」が1.1時間、「③休息时间・あなた自身の時間」が3.8時間、「④睡眠時間」が5.8時間となっている。

図表 230 「手助・介護」を機に仕事を辞めた後の平均的な1日の過ごし方 (Q53)

【平日】

	件数	平均 (時間)	最大値 (時間)	最小値 (時間)	中央値 (時間)
①手助・介護に要した時間	916	4.0	24.0	0.0	3.0
②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間	916	1.1	9.0	0.0	1.0
③休息时间・あなた自身の時間	916	3.4	22.0	0.0	2.0
④睡眠時間	916	5.7	24.0	0.0	6.0

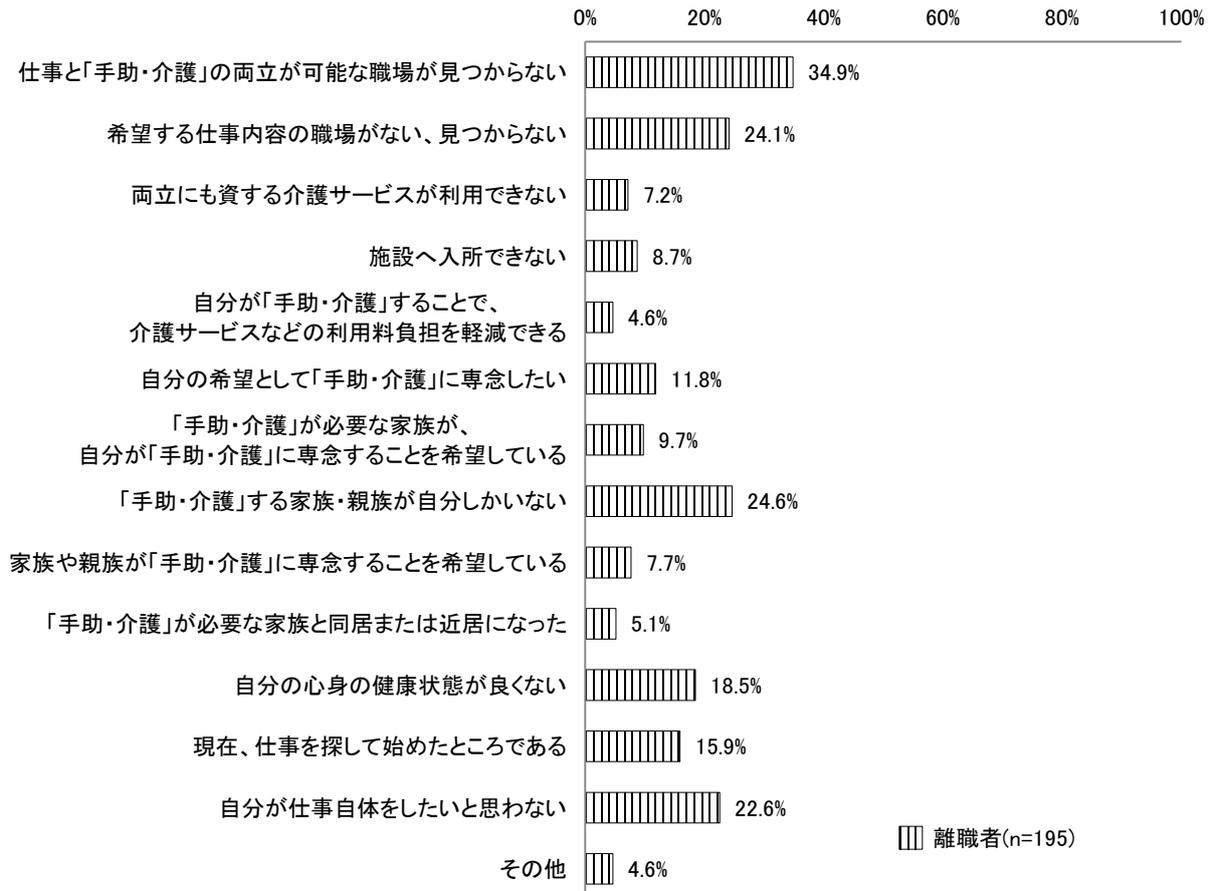
【休日】

	件数	平均	最大値	最小値	中央値
①手助・介護に要した時間	916	4.3	24.0	0.0	3.0
②手助・介護が必要な者がいるところへの移動時間	916	1.1	20.0	0.0	1.0
③休息时间・あなた自身の時間	916	3.8	18.0	0.0	3.0
④睡眠時間	916	5.8	24.0	0.0	6.0

(10) 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、現在まで、再就職していない理由

現在無業の人について、回答者が最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために仕事を辞めてから、現在まで、再就職していない理由をみると、「仕事と「手助・介護」の両立が可能な職場が見つからない」が34.9%で最も割合が高く、次いで「「手助・介護」する家族・親族が自分しかいない」が24.6%となっている。

図表 231 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、現在まで、再就職していない理由
:複数回答 (Q54)

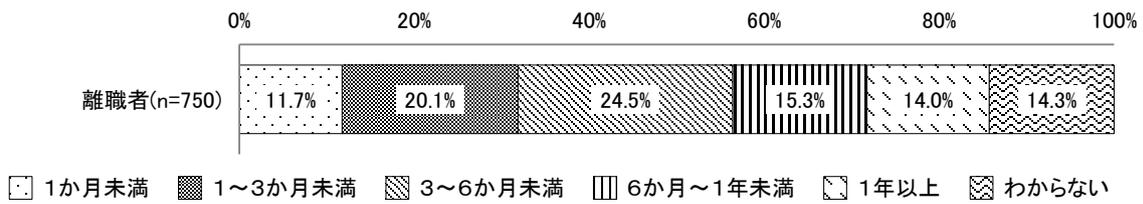


(11) 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間

「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間をみると、「3～6か月未満」が24.5%で最も割合が高く、次いで「1～3か月未満」が20.1%となっている。

現在の就業形態別に6か月未満に再就職した割合をみると、「正社員」は62.3%、「無期契約労働者」は53.7%、「有期契約労働者」は37.2%となっており、「正社員」の方が離職期間が短くなっている。

図表 232 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間:単数回答 (Q55)



図表 233 現在の就業形態別

「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間:単数回答

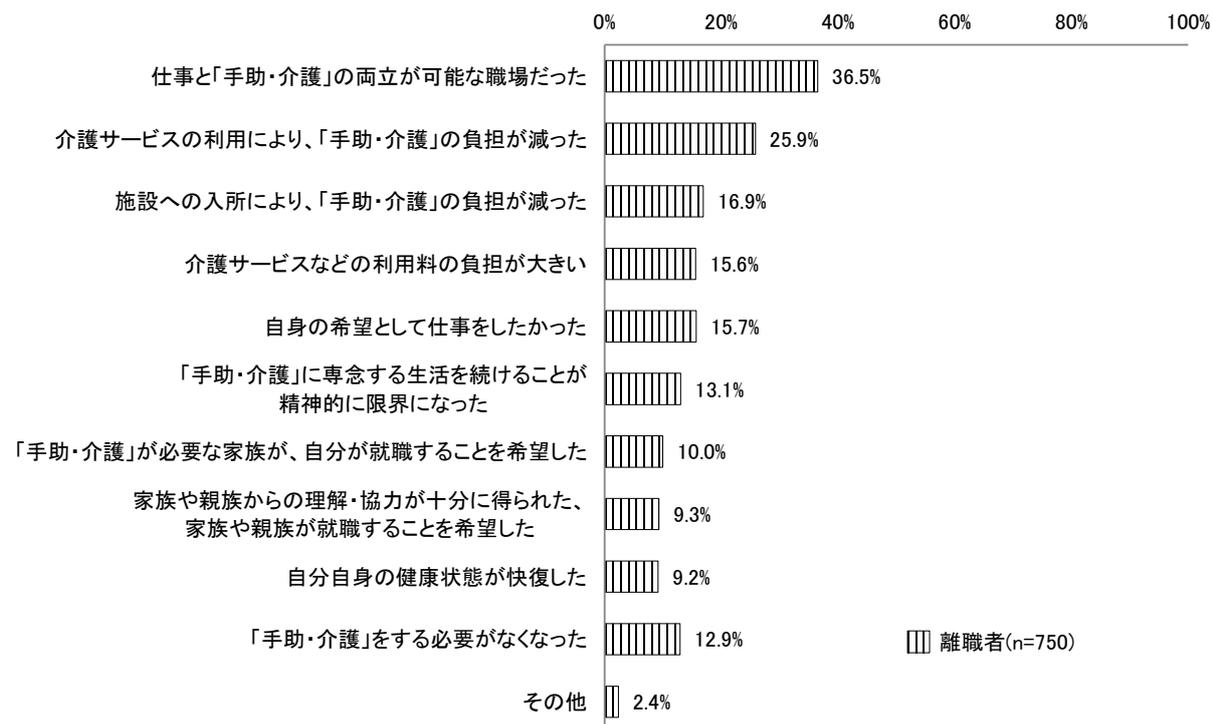
	合計	Q55. 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間					
		1か月未満	1～3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1年以上	わからない
全体	750	88	151	184	115	105	107
	100.0	11.7	20.1	24.5	15.3	14.0	14.3
SQ5. 離職者： 現在の就業形態	正社員	477	61	111	125	75	55
		100.0	12.8	23.3	26.2	15.7	11.5
	無期契約労働者	147	17	29	33	27	18
	100.0	11.6	19.7	22.4	18.4	12.2	
	有期契約労働者	126	10	11	26	13	34
	100.0	7.9	8.7	20.6	10.3	25.4	27.0

(12) 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由

現在、働いている人について、「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由をみると、「仕事と「手助・介護」の両立が可能な職場だった」が36.5%で最も割合が高く、次いで「介護サービスの利用により、「手助・介護」の負担が減った」が25.9%となっている。

再就職した時までの期間別にみると、期間が短いほど、「仕事と「手助・介護」の両立が可能な職場だった」の割合が高い傾向にある。

図表 234 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由：複数回答（Q56）



図表 235 再就職した時までの期間別

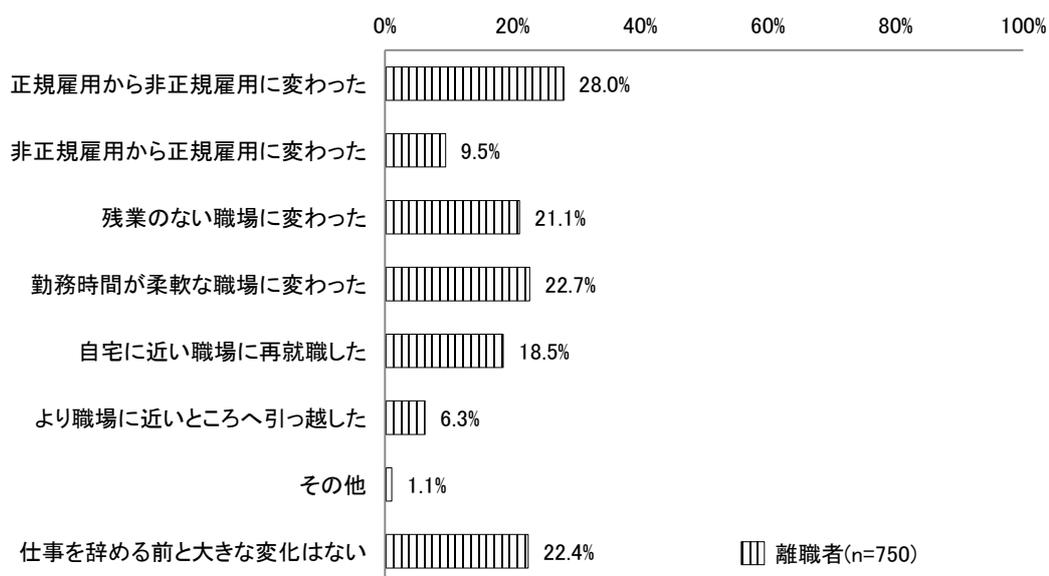
「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由：複数回答（Q56）

	合計	Q56. 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由											
		仕事と「手助・介護」の両立が可能な職場だった	介護サービスの利用により、「手助・介護」の負担が減った	施設への入所により、「手助・介護」の負担が減った	介護サービスなどの利用料の負担が大きかった	自身の希望として仕事をしなかった	「手助・介護」に専念する生活を続けることが精神的に限界になった	「手助・介護」が必要な家族が、自分が就職することを希望した	家族や親族からの理解・協力が十分に得られなかった、家族や親族が就職することを希望した	自分自身の健康状態が快復した	「手助・介護」をする必要がなくなった	その他	
全体	750 100.0	274 36.5	194 25.9	127 16.9	117 15.6	118 15.7	98 13.1	75 10.0	70 9.3	69 9.2	97 12.9	18 2.4	
Q55. 「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間	1か月未満	88 100.0	49 55.7	17 19.3	3 3.4	10 11.4	14 15.9	6 6.8	6 6.8	4 4.5	6 6.8	10 11.4	2 2.3
	1～3か月未満	151 100.0	53 35.1	62 41.1	33 21.9	26 17.2	18 11.9	15 9.9	15 9.9	17 11.3	9 6.0	6 4.0	2 1.3
	3～6か月未満	184 100.0	66 35.9	53 28.8	47 25.5	31 16.8	34 18.5	33 17.9	23 12.5	20 10.9	14 7.6	7 3.8	4 2.2
	6か月～1年未満	115 100.0	43 37.4	39 33.9	26 22.6	27 23.5	29 25.2	20 17.4	13 11.3	13 11.3	11 9.6	17 14.8	3 2.6
	1年以上	105 100.0	34 32.4	17 16.2	17 16.2	13 12.4	20 19.0	20 19.0	14 13.3	14 13.3	17 16.2	18 17.1	5 4.8
	わからない	107 100.0	29 27.1	6 5.6	1 0.9	10 9.3	3 2.8	4 3.7	4 3.7	2 1.9	12 11.2	39 36.4	2 1.9

(13) 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際の働き方等の変化

現在、働いている人について、「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際の働き方等の変化をみると、「正規雇用から非正規雇用が変わった」が 28.0%で最も割合が高く、次いで「勤務時間が柔軟な職場が変わった」が 22.7%となっている。

図表 236 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際の働き方等の変化：複数回答 (Q57)



図表 237 現在の就業形態別

「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際の働き方等の変化：複数回答

	合計	Q57. 「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際の働き方等の変化								
		雇用 正規 雇用 から 非 正規	雇用 非 正規 雇用 から 正 規	残 業 の な い 職 場 に 変 わ っ た	勤 務 時 間 が 柔 軟 な 職 場 に 変 わ っ た	就 職 し た 自 宅 に 近 い 職 場 に 再	ろ へ 引 っ 越 し た よ り 職 場 に 近 い と こ	そ の 他	仕 事 を 辞 め る 前 と 大 き な 変 化 は な い	
全体	750 100.0	210 28.0	71 9.5	158 21.1	170 22.7	139 18.5	47 6.3	8 1.1	168 22.4	
SQ5. 離職者： 現在の 就業形 態	正社員	477 100.0	119 24.9	58 12.2	116 24.3	105 22.0	78 16.4	35 7.3	1 0.2	107 22.4
	無期契約労働者	147 100.0	49 33.3	12 8.2	26 17.7	41 27.9	36 24.5	6 4.1	3 2.0	19 12.9
	有期契約労働者	126 100.0	42 33.3	1 0.8	16 12.7	24 19.0	25 19.8	6 4.8	4 3.2	42 33.3

8. 仕事と介護の両立のために臨む制度、現状の問題点

※「8. 仕事と介護の両立のために臨む制度、現状の問題点」は、「正規労働者」「無期契約労働者」「有期契約労働者」「離職者」を対象とした設問。

(1)「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援

①介護と仕事の両立支援制度に関すること

「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援より、「①介護と仕事の両立支援制度に関すること」について自由に記入してもらった内容をみると、「柔軟な働き方」「職場の理解」「職場の人員体制、代替職員」「相談支援」「制度の周知」「手続きの簡素化」「経済面の支援」に関する記述がみられた。

図表 238 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援

: ①介護と仕事の両立支援制度に関すること:自由記入 (Q58①)

■柔軟な働き方

- ・会社が必要に応じて柔軟に対応できる支援
- ・柔軟な働き方
- ・リモートワークの充実
- ・在宅ワークが増えてほしい、柔軟な働き方ができるようになってほしい
- ・企業の業務の効率化

■職場の理解

- ・柔軟な働き方、それを認める社会の雰囲気
- ・勤務先の介護の理解
- ・休みやすい雰囲気、人間関係
- ・介護休業しやすい職場環境づくりの行政支援
- ・会社の育児への理解ほど介護に対して理解が進んでいない。
- ・雇用主・同僚の理解を深めるための指導・研修など

■職場の人員体制、代替職員

- ・仕事を代わりに担う人員配置不足の解消
- ・職場のサポート環境の充実
- ・シフトの急な変更に対応してもらえること
- ・会社を休むと迷惑がかかるので、人件費がかかっても人手を増やして欲しい
- ・仕事のフォロー体制、チームで仕事する体制を構築（一個人だけの成果としない）

■相談支援

- ・相談できる場や人
- ・安心して仕事と介護を両立できるように受けられる制度について説明してくれる人
- ・気軽に相談できて、親身になってくれる場所
- ・会社に専門の相談窓口の設置義務があること
- ・相談する場所の周知が必要

■制度の周知

- ・会社からの積極的な制度の説明
- ・支援制度がまだ多くの人に知られていないと思うので周知徹底が必要
- ・サポートの具体的案内
- ・要介護認定の時に制度があると教えてほしい
- ・自治体・事業者への制度の文書による説明責任
- ・定期的に自治体からの案内があること
- ・支援制度を詳しく教えてくれる機関やセミナー

■手続きの簡素化

- ・介護休暇の手続きを簡略化すること

- ・手続きの簡素化

■経済面の支援

- ・休業中の収入の保証
- ・有給休暇以外の休みの賃金補助
- ・急に休んだ時の金銭面の支援

②介護サービス、障害福祉サービスに関すること

「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援より、「②介護サービス、障害福祉サービスに関すること」について自由に記入してもらった内容を見ると、「相談支援の充実」「手続きの簡素化」「柔軟なサービス提供」「介護者の負担軽減」「日常生活の支援」「精神面のケア」「経済面の支援」「介護従事者の処遇改善等」に関する記述がみられた。

図表 239 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援

: ②介護サービス、障害福祉サービスに関すること:自由記入 (Q58②)

■相談支援の充実

- ・すぐに相談、利用できる環境が整備されること
- ・気軽な相談窓口
- ・パソコンなどで相談できる窓口
- ・相談しやすい、窓口がここにありますという周知
- ・ケアマネジャーからの分かりやすい説明
- ・地域包括センターが不便なところにあり、ターミナル駅など働きながら行きやすい場所にも作ってほしい
- ・話しやすい雰囲気
- ・ケアマネジャーが相談しやすい人であること
- ・どのようなサービスが受けられるのかわからないため、受けられるサービスの一覧表を簡単に取得できること。
- ・24時間対応相談センター

■手続きの簡素化

- ・役所へ出向く手続きがWEBや郵送で対応できるようになること
- ・サービスを受けるための手続きがわかりやすく簡略化される
- ・手続き等の簡略化、シンプルな制度
- ・手書きでの手続きを減らしてほしいこと

■柔軟なサービス提供

- ・働き方に合わせた柔軟な利用
- ・契約以外で急にサービスが必要になった時の柔軟な対応
- ・急な場合に応じてもらえるような仕組み
- ・単発でサービスを利用できること
- ・様々な生活リズムに対応してくれる
- ・希望時間にサービスを受けられない
- ・サービス時間帯が自分の仕事時間よりも短い
- ・夜間・休日の対応
- ・夜間の見守り
- ・訪問以外にも電話などでの対応や安否確認など
- ・障害の診断がついていない、いわゆるグレーゾーンの子どもへの支援やサービスなどがあれば良い
- ・必要なタイミングで施設に入所できること
- ・住居近くの施設が利用できること

■介護者の負担軽減

- ・家族の介護負担を軽減できるサービスが欲しい

- ・介護者の負担の軽減
- ・夜間の排せつ介助など、介護する人の睡眠時間を確保するサービス
- ・介護をする人が体調不良などのときにその時だけ誰かに代わってもらおう
- ・レスパイトに資するサービス

■日常生活の支援

- ・住む場所が離れているため、身の回りの世話等
- ・日常生活の補助
- ・毎日の食事とゴミ出し

■精神面のケア

- ・介護をしている人への心のケア
- ・介護者の精神的ケアの支援
- ・常に自治体の相談などにアクセスしやすい環境と、介護者被介護者の心のケア
- ・介護する側が気軽に相談できる窓口(カウンセリング)

■経済面の支援

- ・利用料の補助
- ・介護にかかる費用の援助
- ・リハビリパンツ等の物的支援、または補助金
- ・遠距離介護の交通費・宿泊費負担

■介護従事者の処遇改善等

- ・従事者の方々の待遇改善、従事者の方々の精神的なケア
- ・介護関連従事者の給与水準を上げる
- ・介護、福祉関係の職員の育成、確保
- ・介護士の待遇改善

③その他

「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援より、「③その他」について自由に記入してもらった内容をみると、「相談し合える場」「家族介護者の実態の周知」「地域の理解」「緩やかな支援」「未就学の子どもの介護等」に関する記述がみられた。

図表 240 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える社会的支援
: ③その他:自由記入 (Q58③)

■相談し合える場

- ・同じような立場の人達と相談や話をし合える場。

■家族介護者の実態の周知

- ・帰宅後の介護や就寝時間中でも、対応しなければならない家族の介護の実態をもっと世間に知ってもらいたい

■地域の理解

- ・地域の認知症に対する理解が必要

■緩やかな支援

- ・小規模で緩やかな受け入れ対応先

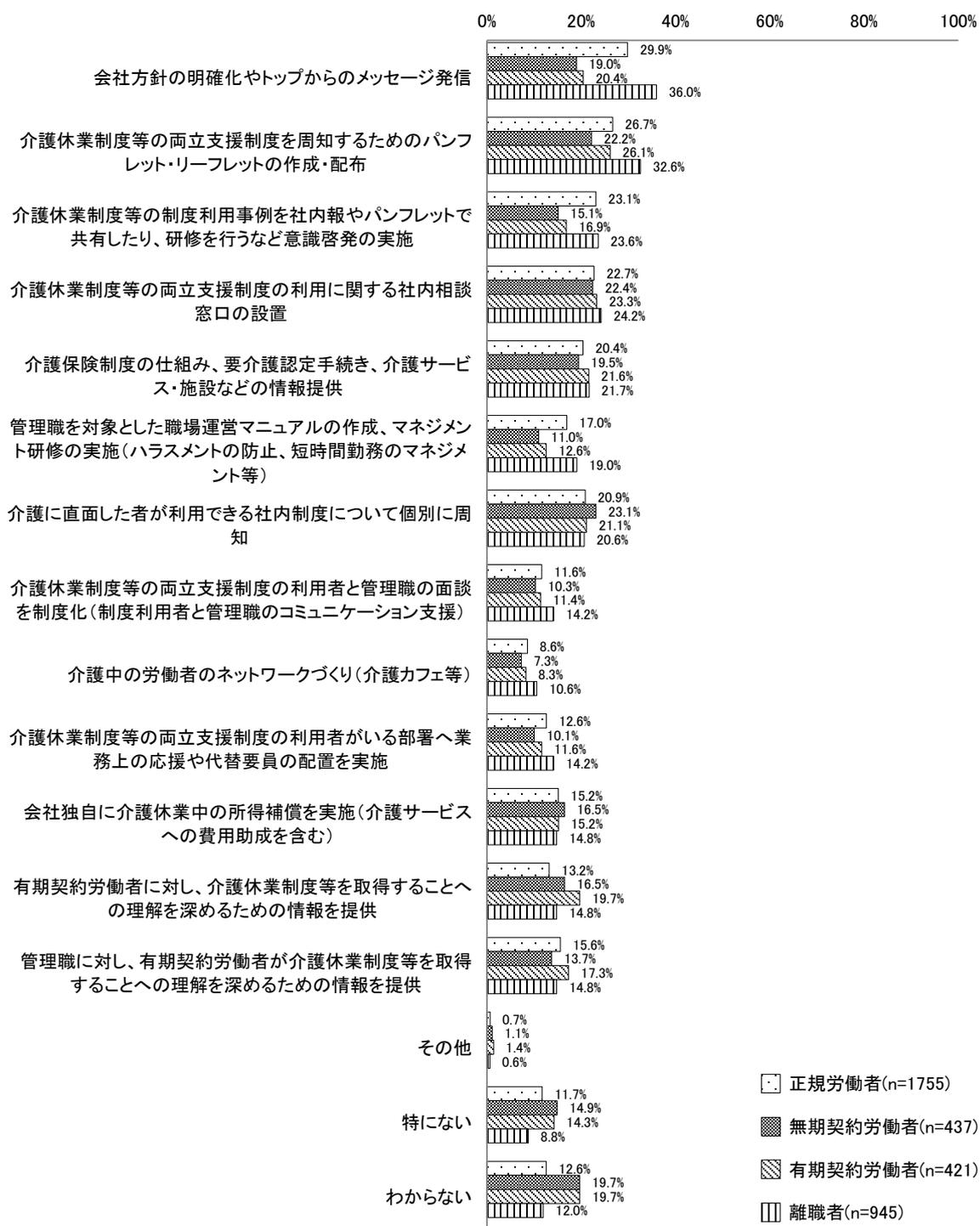
■未就学の子どもの介護等

- ・病児保育の充実
- ・最近は介護と育児のダブル介護も増えておりそこにも目を向けて欲しいと思う。

(2) 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える職場の取組

「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える職場の取組をみると、「正規労働者」では、「会社方針の明確化やトップからのメッセージ発信」が29.9%で最も割合が高く、次いで「介護休業制度等の両立支援制度を周知するためのパンフレット・リーフレットの作成・配布」が26.7%となっている。「無期契約労働者」では、「介護に直面した者が利用できる社内制度について個別に周知」が23.1%で最も割合が高く、次いで「介護休業制度等の両立支援制度の利用に関する社内相談窓口の設置」が22.4%となっている。「有期契約労働者」では、「介護休業制度等の両立支援制度を周知するためのパンフレット・リーフレットの作成・配布」が26.1%で最も割合が高く、次いで「介護休業制度等の両立支援制度の利用に関する社内相談窓口の設置」が23.3%となっている。「離職者」では、「会社方針の明確化やトップからのメッセージ発信」が36.0%で最も割合が高く、次いで「介護休業制度等の両立支援制度を周知するためのパンフレット・リーフレットの作成・配布」が32.6%となっている。

図表 241 「手助・介護」をする必要が生じた際に必要と考える職場の取組：複数回答（Q59）



9. テーマ別

(1) 認知症の家族の介護

①最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所

正規労働者について、最も時間をかけて手助・介護している家族の認知症の症状別に、その家族の生活場所をみると、「たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる」「徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる」で「あなたの自宅」の割合は、それぞれ41.3%、35.5%であり、3～4割が中重度の認知症の家族と同居している。

図表 242 【正規労働者】認知症の状況別

最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所:単数回答 (Q10)

	合計	Q10.最も時間をかけて手助・介護している家族の生活場所								
		あなたの自宅	本人の手助・介護している家族の自宅	親族の自宅	病院	高齢者施設	障がい児・者施設・グループホーム	高齢者住宅(サービス付き高齢者向け住宅等)	その他	
全体	1755 100.0	845 48.1	534 30.4	155 8.8	40 2.3	115 6.6	30 1.7	31 1.8	5 0.3	
Q17. 認知症の状況	認知症ではない、認知症の症状は無い	717 100.0	378 52.7	236 32.9	57 7.9	10 1.4	21 2.9	4 0.6	9 1.3	2 0.3
	何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している	556 100.0	266 47.8	179 32.2	56 10.1	10 1.8	33 5.9	5 0.9	6 1.1	1 0.2
	たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる	271 100.0	112 41.3	78 28.8	30 11.1	10 3.7	26 9.6	6 2.2	9 3.3	0 0.0
	徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる	141 100.0	50 35.5	31 22.0	5 3.5	6 4.3	33 23.4	13 9.2	3 2.1	0 0.0
	わからない	70 100.0	39 55.7	10 14.3	7 10.0	4 5.7	2 2.9	2 2.9	4 5.7	2 2.9

②回答者の手助・介護の頻度：①手助・介護全体

正規労働者について、最も時間をかけて手助・介護している家族の認知症の症状別に、回答者の手助・介護の頻度：①手助・介護全体をみると、認知症の症状が重くなるほど、「ほぼ毎日」の割合が高くなる傾向にある。

図表 243 【正規労働者】認知症の状況

回答者の手助・介護の頻度：①手助・介護全体：単数回答（Q22_1）

		合計	Q22_1. あなたの手助・介護の頻度：①手助・介護全体				
			ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他
全体		1428 100.0	576 40.3	351 24.6	215 15.1	177 12.4	109 7.6
Q17. 認知症の状況	認知症ではない、認知症の症状は無い	597 100.0	235 39.4	145 24.3	85 14.2	81 13.6	51 8.5
	何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	471 100.0	178 37.8	128 27.2	76 16.1	59 12.5	30 6.4
	たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる	222 100.0	98 44.1	50 22.5	36 16.2	21 9.5	17 7.7
	徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる	105 100.0	53 50.5	18 17.1	12 11.4	15 14.3	7 6.7
	わからない	33 100.0	12 36.4	10 30.3	6 18.2	1 3.0	4 12.1

(2) ダブルケア

①仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか

正規労働者について、同居している子どもの年齢（ダブルケア）別に、仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいかをみると、「6歳以下の子どもと同居」している人は、全体と比較して、「残業時間（時間外・所定外労働）をなくしたい」「深夜勤務をなくしたい」の割合が高くなっている。

図表 244 【正規労働者】同居している子どもの年齢（ダブルケア）別

仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか：複数回答（Q41）

		合計	Q41. 仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか							
			残業時間（時間外・所定外労働）をなくしたい	深夜勤務をなくしたい	交替制・シフト勤務の働き方を変えたい	通常勤務（フルタイム勤務）から短時間勤務に変えたい	現在の仕事を辞めたい、又は転職したい	変えたいと思わない	その他	わからない
全体		1755 100.0	531 30.3	237 13.5	202 11.5	277 15.8	216 12.3	495 28.2	26 1.5	231 13.2
Q8. 同居している子どもの年齢（ダブルケア）	6歳以下の子どもと同居	152 100.0	70 46.1	38 25.0	27 17.8	30 19.7	23 15.1	26 17.1	2 1.3	12 7.9
	7～12歳の子どもと同居	128 100.0	51 39.8	25 19.5	14 10.9	27 21.1	19 14.8	29 22.7	0 0.0	14 10.9
	13～18歳の子どもと同居	161 100.0	57 35.4	26 16.1	16 9.9	21 13.0	19 11.8	46 28.6	2 1.2	13 8.1
	18歳以上の子どもと同居	243 100.0	51 21.0	17 7.0	22 9.1	35 14.4	22 9.1	104 42.8	3 1.2	30 12.3

②仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいか

離職者について、同居している子どもの年齢（ダブルケア）別に、仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったかをみると、「6歳以下の子どもと同居」している人は、全体と比較して、「所定外労働を短縮する制度」の割合が高くなっている。

図表 245 【離職者】同居している子どもの年齢（ダブルケア）別

①仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか

:複数回答（Q50_1）

		合計	Q50_1. ①仕事を辞める前、どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったか							
			介護休業制度	介護休暇制度	所定外労働を短縮する制度	所定外労働を制限する制度	時間外労働を制限する制度	深夜業を制限する制度	その他	特になし
全体		410 100.0	264 64.4	166 40.5	121 29.5	88 21.5	81 19.8	51 12.4	2 0.5	71 17.3
Q8. 同居している子どもの年齢（ダブルケア）	6歳以下の子どもと同居	68 100.0	47 69.1	28 41.2	27 39.7	19 27.9	15 22.1	9 13.2	0 0.0	5 7.4
	7～12歳の子どもと同居	39 100.0	24 61.5	18 46.2	12 30.8	8 20.5	7 17.9	2 5.1	0 0.0	6 15.4
	13～18歳の子どもと同居	10 100.0	7 70.0	5 50.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	18歳以上の子どもと同居	41 100.0	27 65.9	21 51.2	11 26.8	13 31.7	11 26.8	8 19.5	1 2.4	5 12.2

※「13～18歳の子どもと同居」はn数が小さいため、参考値。

③「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化

離職者について、同居している子どもの年齢（ダブルケア）別に、「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化をみると、「6歳以下の子どもと同居」している人は、全体と比較して、「精神面」「肉体系」「経済面」とも「非常に負担が増した」の割合が高くなっている。

図表 246 【離職者】同居している子どもの年齢（ダブルケア）別
「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：単数回答（Q52）

<精神面>

		合計	Q52_1. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：①精神面					
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない
全体		945 100.0	337 35.7	288 30.5	155 16.4	66 7.0	39 4.1	60 6.3
Q8. 同居している子どもの年齢（ダブルケア）	6歳以下の子どもと同居	117 100.0	62 53.0	32 27.4	13 11.1	6 5.1	2 1.7	2 1.7
	7～12歳の子どもと同居	79 100.0	29 36.7	31 39.2	9 11.4	5 6.3	3 3.8	2 2.5
	13～18歳の子どもと同居	27 100.0	7 25.9	13 48.1	4 14.8	2 7.4	0 0.0	1 3.7
	18歳以上の子どもと同居	111 100.0	37 33.3	42 37.8	11 9.9	9 8.1	11 9.9	1 0.9

<肉体系>

		合計	Q52_2. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：②肉体系					
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない
全体		945 100.0	251 26.6	346 36.6	178 18.8	63 6.7	48 5.1	59 6.2
Q8. 同居している子どもの年齢（ダブルケア）	6歳以下の子どもと同居	117 100.0	47 40.2	44 37.6	15 12.8	4 3.4	4 3.4	3 2.6
	7～12歳の子どもと同居	79 100.0	22 27.8	33 41.8	12 15.2	7 8.9	3 3.8	2 2.5
	13～18歳の子どもと同居	27 100.0	7 25.9	12 44.4	6 22.2	1 3.7	0 0.0	1 3.7
	18歳以上の子どもと同居	111 100.0	24 21.6	47 42.3	18 16.2	13 11.7	8 7.2	1 0.9

<経済面>

		合計	Q52_3. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面					
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない
全体		945 100.0	278 29.4	361 38.2	222 23.5	14 1.5	11 1.2	59 6.2
Q8. 同居している子どもの年齢（ダブルケア）	6歳以下の子どもと同居	117 100.0	49 41.9	44 37.6	19 16.2	1 0.9	1 0.9	3 2.6
	7～12歳の子どもと同居	79 100.0	23 29.1	34 43.0	18 22.8	1 1.3	1 1.3	2 2.5
	13～18歳の子どもと同居	27 100.0	6 22.2	14 51.9	5 18.5	1 3.7	0 0.0	1 3.7
	18歳以上の子どもと同居	111 100.0	22 19.8	53 47.7	32 28.8	3 2.7	1 0.9	0 0.0

※「13～18歳の子どもと同居」はn数が小さいため、参考値。

(3) 複数人の介護

①制度の利用方法①介護休業制度

正規労働者について、複数人の介護の有無別に介護休業制度の利用方法をみると、複数人を介護している方が、「排せつの介助」「食事の介助」「入浴の介助」「定期的な見守り、声かけ」「食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援」「ちょっとした買い物やゴミ出し」「要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）」「金銭の管理」「手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き」「終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）」の割合が高くなっている。

図表 247 【正規労働者】複数人の介護の有無別
制度の利用方法①介護休業制度：複数回答（Q35）

		合計	Q35_1. 制度の利用方法①介護休業制度							
			排せつの介助	食事の介助	入浴の介助	定期的な見守り、声かけ	食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援	ちょっとした買い物やゴミ出し	要介護者とともに過ごす（外出や旅行、話相手など）	金銭の管理
全体		180 100.0	67 37.2	63 35.0	53 29.4	60 33.3	51 28.3	52 28.9	53 29.4	33 18.3
複数人の介護の状況	複数人を介護している	40 100.0	19 47.5	18 45.0	17 42.5	19 47.5	14 35.0	15 37.5	15 37.5	10 25.0
	1人を介護している	140 100.0	48 34.3	45 32.1	36 25.7	41 29.3	37 26.4	37 26.4	38 27.1	23 16.4

		合計	Q35_1. 制度の利用方法①介護休業制度							
			手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き	入退院（入退所）の手続き	通院（通所）の送迎や外出の手助	緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応	関係機関（警察・施設等）からの呼び出し対応	終末期の対応（緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど）	その他	無回答
全体		180 100.0	41 22.8	39 21.7	50 27.8	24 13.3	26 14.4	19 10.6	29 16.1	0 0.0
複数人の介護の状況	複数人を介護している	40 100.0	14 35.0	10 25.0	10 25.0	7 17.5	8 20.0	8 20.0	4 10.0	0 0.0
	1人を介護している	140 100.0	27 19.3	29 20.7	40 28.6	17 12.1	18 12.9	11 7.9	25 17.9	0 0.0

②「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化

離職者について、複数人の介護の有無別に、「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化をみると、複数人を介護している人の方が、「精神面」「肉体面」「経済面」とも「非常に負担が増した」の割合が高くなっている。

図表 248 【離職者】複数人の介護の有無別
「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：単数回答（Q52）

〈精神面〉

		合計	Q52_1. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：①精神面						
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない	無回答
全体		945 100.0	337 35.7	288 30.5	155 16.4	66 7.0	39 4.1	60 6.3	0 0.0
複数人の介護の状況	複数人を介護している	224 100.0	103 46.0	65 29.0	24 10.7	12 5.4	9 4.0	11 4.9	0 0.0
	1人を介護している	721 100.0	234 32.5	223 30.9	131 18.2	54 7.5	30 4.2	49 6.8	0 0.0

〈肉体面〉

		合計	Q52_2. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：②肉体面						
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない	無回答
全体		945 100.0	251 26.6	346 36.6	178 18.8	63 6.7	48 5.1	59 6.2	0 0.0
複数人の介護の状況	複数人を介護している	224 100.0	72 32.1	94 42.0	28 12.5	7 3.1	12 5.4	11 4.9	0 0.0
	1人を介護している	721 100.0	179 24.8	252 35.0	150 20.8	56 7.8	36 5.0	48 6.7	0 0.0

〈経済面〉

		合計	Q52_3. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面						
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない	無回答
全体		945 100.0	278 29.4	361 38.2	222 23.5	14 1.5	11 1.2	59 6.2	0 0.0
複数人の介護の状況	複数人を介護している	224 100.0	84 37.5	79 35.3	46 20.5	1 0.4	4 1.8	10 4.5	0 0.0
	1人を介護している	721 100.0	194 26.9	282 39.1	176 24.4	13 1.8	7 1.0	49 6.8	0 0.0

(4) 要介護の自分の親と回答者の二人暮らし

①年齢

要介護の自分の親と回答者二人暮らしかどうか別に回答者の年齢をみると、正規労働者では、「50代」が46.2%、「40代」が26.5%、「60代」が19.7%となっている。離職者では、「50代」が45.7%、「40代」が28.3%、「60代」が21.7%となっている。

図表 249 要介護の親と回答者二人暮らしかどうか別 回答者の年齢：単数回答 (SQ7)

【正規労働者】

		合計	SQ7_1 年齢				
			20代	30代	40代	50代	60代
全体		1755 100.0	147 8.4	310 17.7	419 23.9	596 34.0	283 16.1
要介護の親 と回答者の 二人暮らし	要介護の自分の親 と二人暮らし	132 100.0	4 3.0	6 4.5	35 26.5	61 46.2	26 19.7
	上記以外	1623 100.0	143 8.8	304 18.7	384 23.7	535 33.0	257 15.8

【離職者】

		合計	SQ7_1 年齢				
			20代	30代	40代	50代	60代
全体		945 100.0	137 14.5	235 24.9	231 24.4	218 23.1	124 13.1
要介護の自 分の親と二 人暮らし	要介護の自分の親 と二人暮らし	46 100.0	1 2.2	1 2.2	13 28.3	21 45.7	10 21.7
	上記以外	899 100.0	136 15.1	234 26.0	218 24.2	197 21.9	114 12.7

②次に手助・介護をしている家族

正規労働者について、要介護の自分の親と回答者二人暮らしかどうか別に、回答者が最も時間をかけて手助・介護をしている家族に対し、次に手助・介護をしている家族をみると、「要介護の自分の親と二人暮らし」は「担当している人はいない」が80.3%となっており、回答者一人で介護している場合の多いことがうかがえる。

図表 250 【正規労働者】要介護の親と回答者二人暮らしかどうか別
回答者の年齢：単数回答（Q12）

		合計	Q12_2. 最も時間をかけて手助・介護をしている家族:②次に担当している人								
			あなた	配偶者	子ども	孫	あなたの父	あなたの母	父母 あなたの祖	じ・おば あなたのお	弟・姉妹 あなたの兄
全体		1755 100.0	589 33.6	300 17.1	38 2.2	3 0.2	86 4.9	112 6.4	4 0.2	31 1.8	191 10.9
要介護の親 と回答者の 二人暮らし	要介護の自分の 親と二人暮らし	132 100.0	2 1.5	0 0.0	1 0.8	0 0.0	1 0.8	2 1.5	0 0.0	0 0.0	19 14.4
	上記以外	1623 100.0	587 36.2	300 18.5	37 2.3	3 0.2	85 5.2	110 6.8	4 0.2	31 1.9	172 10.6

		合計	Q12_2. 最も時間をかけて手助・介護をしている家族:②次に担当している人								
			の親族 その他あなた	配偶者の父	配偶者の母	母 配偶者の祖父	じ・おば 配偶者のお	弟・姉妹 配偶者の兄	の親族 その他配偶者	人はいない 担当している	
全体		1755 100.0	11 0.6	2 0.1	7 0.4	1 0.1	1 0.1	8 0.5	0 0.0	371 21.1	
要介護の親 と回答者の 二人暮らし	要介護の自分の 親と二人暮らし	132 100.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	106 80.3	
	上記以外	1623 100.0	10 0.6	2 0.1	7 0.4	1 0.1	1 0.1	8 0.5	0 0.0	265 16.3	

③利用しているサービス

正規労働者について、要介護の自分の親と回答者二人暮らしかどうか別に、利用しているサービスを見ると、「要介護の自分の親と二人暮らし」は「サービスを利用していない」が34.8%となっている。

図表 251 【正規労働者】要介護の親と回答者二人暮らしかどうか別 利用しているサービス
：複数回答（Q19）

		合計	Q19. 利用しているサービス									
			訪問系サービス（訪問介護、訪問看護等）	通所系サービス（通所介護）	短期入所系サービス（短期入所等）	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護	施設系サービス（特養・老健施設等）	その他の介護保険サービス	訪問系サービス（居宅介護、重度訪問介護等）	日中活動系サービス（短期入所、療養介護、生活介護、放課後等デイサービス）	施設系サービス（障害者入所施設、グループホーム等）	訓練系・就労系サービス（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等）
全体		1755 100.0	536 30.5	526 30.0	154 8.8	55 3.1	125 7.1	9 0.5	82 4.7	106 6.0	49 2.8	35 2.0
要介護の親と回答者の二人暮らし	要介護の自分の親と二人暮らし	132 100.0	35 26.5	51 38.6	12 9.1	6 4.5	0 0.0	1 0.8	1 0.8	2 1.5	0 0.0	0 0.0
	上記以外	1623 100.0	501 30.9	475 29.3	142 8.7	49 3.0	125 7.7	8 0.5	81 5.0	104 6.4	49 3.0	35 2.2

		合計	Q19. 利用しているサービス									
			その他の障害福祉サービス	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等の介護保険外の住宅サービス	配食サービス、宅配弁当	家事づくり、買い物、掃除等の家事支援サービス（介護保険サービス、障害福祉サービスを除く）	緊急通報サービス	サロンやカフェ	その他のサービス	サービスを利用していない	わからない	
全体		1755 100.0	4 0.2	51 2.9	117 6.7	55 3.1	42 2.4	18 1.0	13 0.7	421 24.0	65 3.7	
要介護の親と回答者の二人暮らし	要介護の自分の親と二人暮らし	132 100.0	1 0.8	0 0.0	7 5.3	2 1.5	2 1.5	0 0.0	0 0.0	46 34.8	3 2.3	
	上記以外	1623 100.0	3 0.2	51 3.1	110 6.8	53 3.3	40 2.5	18 1.1	13 0.8	375 23.1	62 3.8	

④手助・介護に関わる費用で負担しているもの

正規労働者について、要介護の自分の親と回答者二人暮らしかどうか別に、手助・介護に関わる費用で負担しているものをみると、「要介護の自分の親と二人暮らし」は「生活費」が56.8%となっている。

図表 252 【正規労働者】要介護の親と回答者二人暮らしかどうか別
手助・介護に関わる費用で負担しているもの：複数回答（Q23）

		合計	Q23. 手助・介護に関わる費用で負担しているもの						負担していない（被介護者本人などが負担している）
			施設・病院の利用料	介護サービス、障害福祉サービスの利用料（介護保険外サービスを含む）	介護用品の購入費	生活費	手助・介護のための交通費	その他	
全体		1755 100.0	493 28.1	374 21.3	440 25.1	619 35.3	423 24.1	11 0.6	673 38.3
要介護の親と回答者の二人暮らし	要介護の自分の親と二人暮らし	132 100.0	42 31.8	35 26.5	42 31.8	75 56.8	39 29.5	2 1.5	40 30.3
	上記以外	1623 100.0	451 27.8	339 20.9	398 24.5	544 33.5	384 23.7	9 0.6	633 39.0

⑤「手助・介護」に関する相談の状況：①相談した人・機関

正規労働者について、要介護の自分の親と回答者二人暮らしかどうか別に、「手助・介護」に関する相談の状況：①相談した人・機関」をみると、「地域包括支援センター」「ケアマネジャー」の割合が高く、それぞれ43.5%、52.2%となっている。

図表 253 【正規労働者】要介護の親と回答者二人暮らしかどうか別
「手助・介護」に関する相談の状況：①相談した人・機関：複数回答（Q26）

		合計	Q26_1. 「手助・介護」に関する相談の状況：①相談した人・機関							
			要 な 本 人 「手 助 ・ 介 護」 が 必 ず	家 族 ・ 親 族	友 人 ・ 知 人	勤 務 先	自 治 体	W ヤ ル ワ ー カ ー （ M S ） や 看 護 師	病 院 の 医 療 ソ ー シ ヤ ル ワ ー カ ー （ M S ）	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー
全体		945 100.0	317 33.5	420 44.4	220 23.3	175 18.5	153 16.2	208 22.0	199 21.1	279 29.5
要介護の 親と回答 者の二人 暮らし	要介護の自分の 親と二人暮らし	46 100.0	14 30.4	11 23.9	9 19.6	10 21.7	9 19.6	11 23.9	20 43.5	24 52.2
	上記以外	899 100.0	303 33.7	409 45.5	211 23.5	165 18.4	144 16.0	197 21.9	179 19.9	255 28.4

		合計	Q26_1. 「手助・介護」に関する相談の状況：①相談した人・機関						
			相 談 支 援 専 門 員	介 護 サ ー ビ ス 事 業 者 、 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 者	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	ボ ラ ン テ ィ ア	そ の 他 の 窓 口	い 誰 に も 相 談 し て い な い	い あ て は ま る も の は な い
全体		945 100.0	87 9.2	136 14.4	39 4.1	30 3.2	6 0.6	44 4.7	204 21.6
要介護の 親と回答 者の二人 暮らし	要介護の自分の 親と二人暮らし	46 100.0	4 8.7	8 17.4	3 6.5	0 0.0	0 0.0	5 10.9	8 17.4
	上記以外	899 100.0	83 9.2	128 14.2	36 4.0	30 3.3	6 0.7	39 4.3	196 21.8

⑥「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面

離職者について、要介護の自分の親と回答者二人暮らしかどうか別に、「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面」をみると、「非常に負担が増した」が37.0%となっている。

図表 254 【離職者】要介護の親と回答者二人暮らしかどうか別
「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面：単数回答（Q52）

		合計	Q52_3. 「手助・介護」を機に仕事を辞めたことによる変化：③経済面					わからない
			非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	
全体		945 100.0	278 29.4	361 38.2	222 23.5	14 1.5	11 1.2	59 6.2
要介護の親 と回答者の 二人暮らし	要介護の自分の親 と二人暮らし	46 100.0	17 37.0	18 39.1	10 21.7	0 0.0	0 0.0	1 2.2
	上記以外	899 100.0	261 29.0	343 38.2	212 23.6	14 1.6	11 1.2	58 6.5

資料編

労働者アンケート票

SQ1

2018年4月以降(約3年以内)に、家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことはありますか。

- ※ 主な離職理由の一つが「手助・介護」であれば、「辞めたことがある」を選択してください。
- ※ 複数回仕事を辞めたことがある場合は直近についてお答えください。
- ※ 家族の「手助・介護」以外で仕事を辞めたことがある場合、「家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことはない」を選択してください。
- ※ 「家族」について:
 - ・高齢者介護に限らず、障がいをお持ちのお子さんの「手助・介護」なども含みます。
 - ・おじ・おばなどの親族の「手助・介護」も含みます。

- 1 2018年4月以降(約3年以内)に、家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことがある
- 2 2018年3月以前(約3年以上前)に、家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことがある
- 3 家族の「手助・介護」のために仕事を辞めたことはない

次へ

SQ2

現在、家族の「手助・介護」を行っていますか。

※ 家族:高齢者介護に限らず、障がいをお持ちのお子さんの「手助・介護」なども含みます。

- 1 行っている
- 2 行っていない

次へ

SQ3

あなたは公務員(★)ですか。

★:国や地方自治体に勤務する人(国家公務員、地方公務員)

- 1 公務員である
- 2 公務員ではない

次へ

SQ4

あなたの就業形態についてうかがいます。

※ 複数の仕事をしている場合は、収入の最も多いものをお答えください。

※ 派遣労働者の場合は、派遣元企業との雇用関係で「正社員」「非正社員」のうちあてはまるものをお答えください。

- 1 正社員
- 2 非正社員(無期契約:フルタイム)
- 3 非正社員(無期契約:パート)
- 4 非正社員(有期契約:フルタイム)
- 5 非正社員(有期契約:パート)
- 6 自営業、フリーランス、日々雇われている人
- 7 その他

次へ

SQ5

あなたの現在の就業形態についてうかがいます。

※ 複数の仕事をしている場合は、収入の最も多いものをお答えください。

※ 派遣労働者の場合は、派遣元企業との雇用関係で「正社員」「非正社員」のうちあてはまるものをお答えください。

<就業している>

- 1 正社員
- 2 非正社員(無期契約フルタイム)
- 3 非正社員(無期契約パート)
- 4 非正社員(有期契約フルタイム)
- 5 非正社員(有期契約パート)
- 6 自営業、フリーランス、日々雇われている人
- 7 その他

<就業していない>

- 8 就業していない

次へ

Q7

あなたの未婚の状況についてうかがいます。

※ 事実婚を含みます。

- 1 未婚
- 2 既婚(配偶者あり)
- 3 既婚(配偶者と離別)
- 4 既婚(配偶者と死別)

次へ

SQ6

あなたが、手助・介護をしている家族の続柄についてうかがいます。

あなたが手助・介護している家族について、いくつでも選択してください。(いくつでも)

そのうち、あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族について1つ選択してください。(ひとつだけ)

※ 配偶者は事実婚を含みます。

	1	2
	あなたが手助・介護している家族	そのうち、あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族
 回答方向		
配偶者	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="radio"/>
子ども	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="radio"/>
孫	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="radio"/>
あなたの父	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="radio"/>
あなたの母	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="radio"/>
あなたの祖父母	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="radio"/>
あなたのおじ・おば	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="radio"/>
あなたの兄弟・姉妹	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="radio"/>
その他あなたの親族 <input type="text"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="radio"/>
配偶者の父	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="radio"/>

配偶者の母	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="radio"/>
配偶者の祖父母	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="radio"/>
配偶者のおじ・おば	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="radio"/>
配偶者の兄弟・姉妹	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="radio"/>
その他配偶者の親族 <input type="text"/>	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="radio"/>
	あなたが手助・介護している家族	そのうち、あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族
	1	2

次へ

SQ7

あなたと、あなたが最も時間をかけて「手助・介護」を行っている家族(〇〇〇(SQ6_2回答テキスト再掲))の年齢についてうかがいます。
※数字は半角で入力してください。

①あなた: 歳
②手助・介護が必要な家族: 歳

次へ

SQ8

あなたの現在の年齢についてうかがいます。
※数字は半角で入力してください。

歳

次へ

SQ9

あなたがお住まいの地域についてうかがいます。

--- ▼

次へ

SQ10

あなたの性別についてうかがいます。

- 1 男性
- 2 女性

次へ

Q1

あなたの会社の従業員数についてうかがいます。

※現在お勤めの方は現在の会社ではなく、離職当時の会社についてお答えください。

Q1

あなたの会社の従業員数についてうかがいます。

- 1 50人以下
- 2 51～100人
- 3 101～300人
- 4 301～1,000人
- 5 1,001人以上

次へ

Q2

正社員の方について、あなたの会社での役職(出向中は出向先の役職)についてうかがいます。

- 1 一般社員(役職無し)
- 2 主任・係長・課長補佐クラス
- 3 課長クラス
- 4 部長クラス
- 5 役員クラス
- 6 その他

次へ

Q3

あなたの勤務形態についてうかがいます。(いくつでも)

- 1 フルタイムの通常勤務
- 2 短時間勤務(短時間正社員を含む)
- 3 フレックスタイム勤務
- 4 裁量労働制
- 5 高度プロフェッショナル制度
- 6 在宅勤務(新型コロナウイルス感染拡大前より)
- 7 在宅勤務(新型コロナウイルス感染拡大後より)
- 8 その他

次へ

Q4

あなたの仕事内容についてうかがいます。

- 1 医療、保健、福祉(保育・介護等)の専門職・技術職
- 2 教育分野の専門職・技術職
- 3 上記以外の専門職・技術職
- 4 事務職(一般事務、企画、広報、経理など)
- 5 営業・販売職(店員、不動産販売、保険外交、外勤など)
- 6 サービス職(理・美容師、料理人、ホールスタッフ、清掃など)
- 7 生産現場職(製品製造・組立、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産加工など)
- 8 運輸・保安職(トラック運転手、船員、郵便等配達、通信士、警備員など)
- 9 その他

次へ

Q5

あなたの週当たりの平均労働時間についてうかがいます。

残業時間も含まれます。

※ 残業時間には、休日出勤日も含まれます。

- 1 週20時間未満
- 2 週20～30時間未満
- 3 週30～40時間未満
- 4 週40～50時間未満
- 5 週50～60時間未満
- 6 週60時間以上
- 7 わからない

次へ

Q6

あなたの直近1年間の年次有給休暇の取得日数についてうかがいます。

- 1 5日以下
- 2 6～10日以下
- 3 11～15日以下
- 4 16日以上

次へ

Q8

あなたと一緒に住んでいる方についてうかがいます。(いくつでも)

※ いわゆる二世帯住宅、同じ敷地内で別の棟に住んでいる場合を含みます。

※ 数字は半角で入力してください。

- 1 ひとり暮らし
- 2 配偶者
- 3 子ども → 末子年齢 歳
- 4 孫 → 一番下の孫の年齢 歳
- 5 あなたの父
- 6 あなたの母
- 7 あなたの祖父
- 8 あなたの祖母
- 9 あなたのおじ・おば
- 10 あなたの兄弟・姉妹
- 11 その他あなたの親族
- 12 配偶者の父
- 13 配偶者の母
- 14 配偶者の祖父
- 15 配偶者の祖母
- 16 配偶者のおじ・おば
- 17 配偶者の兄弟・姉妹
- 18 その他配偶者の親族
- 19 その他

次へ

Q9

世帯年収とあなたの年収(税込み)についてうかがいます。(それぞれひとつずつ)

 回答方向	1	2
	世帯年収	あなたの年収
240万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
240～360万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
360～480万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
480～600万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
600～840万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
840～1,080万円未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1,080万円以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
わからない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

Q10

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族は、主にどこで生活していますか。

- 1 あなたの自宅
- 2 手助・介護している家族本人の自宅
- 3 親族の自宅
- 4 病院
- 5 高齢者施設
- 6 障がい児・者施設・グループホーム
- 7 高齢者住宅(サービス付き高齢者向け住宅等)
- 8 その他

次へ

Q11

あなたの自宅から、あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族のところへ、日常的な手段(電車、自動車、飛行機など)で移動するとした場合、どの程度の時間がかかりますか。

- 1 片道30分未満
- 2 片道30分～1時間未満
- 3 片道1時間～2時間未満
- 4 片道2時間以上

次へ

Q12

あなたが最も時間をかけて手助・介護をしている家族について、手助・介護を主に担当、次に担当している家族の続柄についてうかがいます。(それぞれひとつずつ)

※数字は半角で入力してください。

 回答方向	1	2
	主に担当している人	次に担当している人
あなた	1 <input type="radio"/>	1 <input type="radio"/>
配偶者	2 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
子ども	3 <input type="radio"/> (年齢 <input type="text"/> 歳)	3 <input type="radio"/> (年齢 <input type="text"/> 歳)
孫	4 <input type="radio"/> (年齢 <input type="text"/> 歳)	4 <input type="radio"/> (年齢 <input type="text"/> 歳)
あなたの父	5 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>
あなたの母	6 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>
あなたの祖父母	7 <input type="radio"/>	7 <input type="radio"/>
あなたのおじ・おば	8 <input type="radio"/>	8 <input type="radio"/>
あなたの兄弟・姉妹	9 <input type="radio"/>	9 <input type="radio"/>
その他あなたの親族	10 <input type="radio"/> <input type="text"/>	10 <input type="radio"/> <input type="text"/>
配偶者の父	11 <input type="radio"/>	11 <input type="radio"/>
配偶者の母	12 <input type="radio"/>	12 <input type="radio"/>
配偶者の祖父母	13 <input type="radio"/>	13 <input type="radio"/>
配偶者のおじ・おば	14 <input type="radio"/>	14 <input type="radio"/>
配偶者の兄弟・姉妹	15 <input type="radio"/>	15 <input type="radio"/>
その他配偶者の親族	16 <input type="radio"/> <input type="text"/>	16 <input type="radio"/> <input type="text"/>

担当している人はいない	17 <input type="radio"/>	17 <input type="radio"/>
	主に担当している人	次に担当している人
	1	2

次へ

Q13

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族は、あなたにとって、これまでで何人目の手助・介護となりますか。

- 1 1人目
- 2 2人目
- 3 3人目以上

次へ

Q14

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族の、要介護度、障害支援区分、障害者手帳の状況についてうかがいます。

※該当しない区分については、「申請していない」または「障害者手帳は所持していない」を選択してください。

Q14_1

①要介護認定

- 1 要支援1・申請済
- 2 要支援2・申請済
- 3 要介護1・申請済
- 4 要介護2・申請済
- 5 要介護3・申請済
- 6 要介護4・申請済
- 7 要介護5・申請済
- 8 申請中
- 9 非該当
- 10 申請していない
- 11 わからない

Q14_2

②障害支援区分

- 1 区分1
- 2 区分2
- 3 区分3
- 4 区分4
- 5 区分5
- 6 区分6
- 7 非該当
- 8 申請していない
- 9 わからない

Q14.3

③ 障害者手帳

- 1 身体障害者手帳:1級
- 2 身体障害者手帳:2級
- 3 身体障害者手帳:3級
- 4 身体障害者手帳:4級
- 5 身体障害者手帳:5級
- 6 身体障害者手帳:6級
- 7 療育手帳:A
- 8 療育手帳:B
- 9 精神障害者保健福祉手帳:1級
- 10 精神障害者保健福祉手帳:2級
- 11 精神障害者保健福祉手帳:3級
- 12 障害者手帳は所持していない
- 13 わからない

次へ

Q15

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族について、あなたが通算で介護している期間についてうかがいます。

※ 介護休業等の取得の有無にかかわらず、手助・介護をしている期間についてお答えください。

- 1 1か月未満
- 2 1か月～3か月未満
- 3 3か月～6か月未満
- 4 6か月～1年未満
- 5 1年～3年未満
- 6 3年～5年未満
- 7 5年～10年未満
- 8 10年以上

次へ

Q16

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族の見守りの必要性についてうかがいます。

- 1 特に見守りは必要ない
- 2 1日に1回程度は見守りが必要
- 3 1日に数回、見守りが必要
- 4 1時間に1回程度は見守りが必要
- 5 常時、見守りが必要
- 6 わからない

次へ

Q17

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族の認知症の状況についてうかがいます。

- 1 認知症ではない、認知症の症状は無い
- 2 何らかの認知症の症状はあるが、日常生活は家庭内及び社会的にまぼ自立している
- 3 たびたび道に迷ったり、買い物や事務、金銭管理など、それまでできたことにミスが目立ってきたが、誰かが注意していれば自立できる
- 4 徘徊や失禁、大声をあげるなど、日常生活に支障をきたす症状・行動や意思疎通の困難さがみられる
- 5 わからない

次へ

Q18

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族について、手助・介護が必要となった主な原因についてうかがいます。(いくつでも)

- 1 認知症
- 2 高血圧
- 3 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 4 心臓病
- 5 糖尿病
- 6 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎)
- 7 筋骨格の病気(関節症、骨粗しょう症等)
- 8 転倒、骨折等の外傷
- 9 がん(新生物)
- 10 うつ病、精神疾患
- 11 パーキンソン病
- 12 難病
- 13 高齢による衰弱
- 14 脊髄損傷
- 15 視覚・聴覚障害
- 16 その他
- 17 わからない
- 18 特に疾患は無い

次へ

Q19

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族が利用しているサービスについてうかがいます。(いくつでも)

- 1 訪問系サービス(訪問介護、訪問看護等)
- 2 通所系サービス(通所介護)
- 3 短期入所系サービス(短期入所等)
- 4 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
- 5 施設系サービス(特養・老健施設等)
- 6 その他の介護保険サービス

- 7 訪問系サービス(居宅介護、重度訪問介護等)
- 8 日中活動系サービス(短期入所、療養介護、生活介護、放課後等デイサービス)
- 9 施設系サービス(障害者入所施設、グループホーム等)
- 10 訓練系・就労系サービス(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等)
- 11 その他の障害福祉サービス

- 12 サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等の介護保険外の住宅サービス
- 13 配食サービス、宅配弁当
- 14 食事づくり、買い物、掃除等の家事支援サービス
(介護保険サービス、障害福祉サービスを除く)
- 15 緊急通報サービス
- 16 サロンやカフェ
- 17 その他のサービス

- 18 サービスを利用していない
- 19 わからない

Q20

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族が、介護保険の施設系サービスやサービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等の介護保険外の住宅サービスを利用している場合、入所を申し込んでから入所できるまで、どのくらいの期間がかかりましたか。

- 1 3か月以内
- 2 3か月超～6か月以内
- 3 6か月超～1年以内
- 4 1年超～1年6か月以内
- 5 1年6か月超～2年以内
- 6 2年超
- 7 わからない

Q21
 あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族について、どなたが、それぞれの手助・介護を担っていますか。
 複数の方で行っている場合は、主に担っている方を1つ選択してください。
 (それぞれひとつずつ)
 ※「排せつや入浴等の身体介護」は必要としていない場合や、「ちょっとした買い物やゴミ出し」などは本人が行っている場合は、「この手助・介護は行っていない」を選択してください。

		あなたご自身	その他の家族、親族	介護サービス事業者・施設	地域ボランティア、民生委員・児童委員など	その他	わからない	この手助・介護は行っていない
 回答方向								
1	排せつの介助	<input type="radio"/>						
2	食事の介助	<input type="radio"/>						
3	入浴の介助	<input type="radio"/>						
4	定期的な見守り、声かけ	<input type="radio"/>						
5	食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援	<input type="radio"/>						
6	ちょっとした買い物やゴミ出し	<input type="radio"/>						
7	要介護者とともに過ごす(外出や旅行、話相手など)	<input type="radio"/>						
8	金銭の管理	<input type="radio"/>						

		あなたご自身	その他の家族、親族	介護サービス事業者・施設	地域ボランティア、民生委員・児童委員など	その他	わからない	この手助・介護は行っていない
 回答方向								
9	手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き	<input type="radio"/>						
10	入退院(入退所)の手続き	<input type="radio"/>						
11	通院(通所)の送迎や外出の手助	<input type="radio"/>						
12	緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応	<input type="radio"/>						
13	関係機関(警察・施設等)からの呼び出し対応	<input type="radio"/>						
14	終末期の対応(緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど)	<input type="radio"/>						
15	その他 <input type="text"/>	<input type="radio"/>						

		あなたご自身	その他の家族、親族	介護サービス事業者・施設	地域ボランティア、民生委員・児童委員など	その他	わからない	この手助・介護は行っていない
 回答方向								

Q22

あなたは、どの程度の頻度で、手助・介護を行っていますか。
 「手助・介護」全体の頻度と、「手助・介護」のそれぞれの項目の頻度について、それぞれ1つずつ選択してください。(それぞれひとつずつ)
 ※「その他」はQ21の「その他」でご記入いただいた項目の頻度(その他の事項として複数ご記入いただいた場合は、そのすべての合計の頻度)についてお答えください。

		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他
 回答方向						
1	手助・介護全体	1○	2○	3○	4○	5○
＜詳細について＞						
2	排せつの介助	1○	2○	3○	4○	5○
3	食事の介助	1○	2○	3○	4○	5○
4	入浴の介助	1○	2○	3○	4○	5○
5	定期的な見守り、声かけ	1○	2○	3○	4○	5○
6	食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援	1○	2○	3○	4○	5○
7	ちょっとした買い物やゴミ出し	1○	2○	3○	4○	5○
8	要介護者とともに過ごす(外出や旅行、話相手など)	1○	2○	3○	4○	5○

		ほぼ毎日	週に2～4日	週に1日	月に1～3日	その他
 回答方向						
9	金銭の管理	1○	2○	3○	4○	5○
10	手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き	1○	2○	3○	4○	5○
11	入退院(入退所)の手続き	1○	2○	3○	4○	5○
12	通院(通所)の送迎や外出の手助	1○	2○	3○	4○	5○
13	緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応	1○	2○	3○	4○	5○
14	関係機関(警察・施設等)からの呼び出し対応	1○	2○	3○	4○	5○
15	終末期の対応(緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど)	1○	2○	3○	4○	5○
16	その他(OO(Q21_15_SNT_1回答再掲))	1○	2○	3○	4○	5○

次へ

Q23

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族について、手助・介護に関わる費用で、あなたが負担しているものはありますか。(いくつでも)

- 1 施設・病院の利用料
- 2 介護サービス、障害福祉サービスの利用料(介護保険外サービスを含む)
- 3 介護用品の購入費
- 4 生活費
- 5 手助・介護のための交通費
- 6 その他
- 7 負担していない(被介護者本人などが負担している)

次へ

Q24

あなたは1日のうち、手助・介護や休息時間、就労時間等に、どの程度の時間をかけていますか。平均的な1日の時間数についてうかがいます。

※複数人を手助・介護している場合は、全て含めた時間でお答えください。

※30分単位で、1時間半であれば、1.5時間とご記入ください。

※時間がかかっていない場合は、「0」とご記入ください。

※数字は半角で入力してください。

<平日>

手助・介護に要した時間: 時間

手助・介護が必要な者のいるところへの移動時間: 時間

休息時間・あなた自身の時間: 時間

就労時間: 時間

睡眠時間: 時間

<休日>

手助・介護に要した時間: 時間

手助・介護が必要な者のいるところへの移動時間: 時間

休息時間・あなた自身の時間: 時間

睡眠時間: 時間

次へ

Q25

あなたは、介護についてどのようなことをご存知ですか。

また、あなたが知っているもののうち、介護に直面する前に知っておいた方が良かったことはありませんか。(それぞれいくつでも)

※1:介護休業制度

対象家族1人につき、通算93日まで、3回を上限として分割して休業できる制度。

※2:介護休暇制度

対象家族が1人の場合は年5日まで、2人以上の場合は年10日まで、1日単位、半日単位及び時間単位で取得できる休暇制度。

※3:介護休業給付金

介護休業が無給の場合に雇用保険から支給される給付金。

	1	2
 回答方向	知っていること	介護に直面する前に良かったこと
介護休業制度(※1)の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護休暇制度(※2)の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護休業給付金(※3)の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護保険制度、障害福祉サービスの仕組み、利用方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護保険サービス、障害福祉サービスの種類や内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

介護保険料や介護サービス、障害福祉サービスを利用するための費用	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>
地域のサロン等の活動内容、利用方法	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>
地域の相談窓口	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
勤務先での相談先	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>
どれも知らない/特になし	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>
	知っていること	介護に直面する前に知っておいた方が良かったこと
	1	2

次へ

Q26
あなたの「手助・介護」に関する相談の状況についてうかがいます。(それぞれいくつでも)

↓ 回答方向	1	2	3	4	5	6
	相談した人・機関	相談した中で最も助けられた人・機関	あなた自身の悩み等を相談した人・機関	知っているが、相談したことがない人・機関	知らない人・機関	介護に直面する前に知っておいた方がよいと思う人・機関
「手助・介護」が必要な本人	1 <input type="checkbox"/>					
家族・親族	2 <input type="checkbox"/>					
友人・知人	3 <input type="checkbox"/>					
勤務先	4 <input type="checkbox"/>					
自治体	5 <input type="checkbox"/>					

病院の医療ソーシャルワーカー (MSW)や看護師	6	<input type="checkbox"/>								
地域包括支援センター	7	<input type="checkbox"/>								
ケアマネジャー	8	<input type="checkbox"/>								
相談支援専門員	9	<input type="checkbox"/>								
介護サービス事業者 障害福祉サービス事業者	10	<input type="checkbox"/>								
民生委員・児童委員	11	<input type="checkbox"/>								
ボランティア	12	<input type="checkbox"/>								
その他の窓口	13	<input type="checkbox"/>								
誰にも相談していない	14	<input type="checkbox"/>								
あてはまるものはない	15	<input type="checkbox"/>								

	相談した人・機関	相談した中で最も助けられた人・機関	あなた自身の悩み等を相談した人・機関	知っているが、相談したことがない人・機関	知らない人・機関	介護に直面する前に知っておいた方がよいと思う人・機関
	1	2	3	4	5	6

Q27

あなたは、ケアマネジャーにあなたご自身の仕事と介護の両立について相談しましたか。また、相談した際、ケアマネジャーから仕事と介護の両立について配慮やアドバイスはありましたか。

※例あなたの仕事の状況を踏まえたケアプランを立ててくれた、適切な相談先を紹介してくれた等

- 1 相談し、ケアマネジャーに仕事と介護の両立について配慮やアドバイスをしてもらった(※)
- 2 相談したが、ケアマネジャーからは特に仕事と介護の両立について配慮やアドバイスはなかった
- 3 仕事と介護の両立について相談できると思っていなかったため、相談しなかった
- 4 仕事と介護の両立について相談できると知っていたが相談しなかった、または知っていたとしても相談しなかった
- 5 その他

次へ

次へ

Q28

あなたは、勤務先で、仕事と介護の両立について利用できる支援制度について何らかの説明を受けたことはありますか。(それぞれひとつずつ)
 ※介護休業が無給の場合に雇用保険から支給される給付金。

		あ る	な い
1	介護休業等の両立支援制度の内容や申出方法	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
2	介護休業等の両立支援制度の利用方法 (例:介護休業は、介護サービスや施設入所の手続きなどにも使用できるという説明を受けたなど)	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
3	介護休業給付金(※)の内容	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
4	介護保険制度の仕組み、認定手続き・利用方法	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
5	障害福祉サービスの仕組み、手続き・利用方法	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>
6	介護が必要となった場合に相談すべき地域の相談窓口 (地域包括支援センター、相談支援事業者など)	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>

次へ

Q29

介護のことについて、上司や同僚に話したり、相談したりすることができる雰囲気が職場にあると思いますか。

- 1 そう思う
- 2 まあそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

次へ

Q30

あなたの職場は、仕事と介護を両立できる働き方に変更しやすい環境にあると思いますか。
 (例:休暇を取得する、残業を行わない、勤務時間の調整を行う等)

- 1 そう思う
- 2 まあそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

次へ

Q31

介護休業に関するあなたの考え方についてうかがいます。
 あなたの考えに最も近いものをお選びください。(それぞれひとつずつ)

A	A	ど ち ら か と い う と A	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い う と B	B	わ か ら な い	B	
1	介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をするための体制を構築する期間である	1 <input type="radio"/>	2 <input type="radio"/>	3 <input type="radio"/>	4 <input type="radio"/>	5 <input type="radio"/>	6 <input type="radio"/>	介護休業期間は介護に専念するための期間である

次へ

Q32

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために、勤務先の両立支援制度を利用しましたか。(それぞれひとつずつ)
 ※通常の勤務において、フレックスタイム制度や裁量労働制等が導入されている場合は、「手助・介護」のために利用した場合のみ、お選びください。
 ※利用したことがない制度について、勤務先に制度がない場合も利用意向をお答えください。

		利用していることがある	利用しただけではないが、今後利用したい	利用したことはないが、必要を感じていない	利用したことはなく、必要を感じていない	わからない
						
1	介護休業制度	1○	2○	3○	4○	
＜介護休暇制度＞						
2	1日単位での利用	1○	2○	3○	4○	
3	半日単位での利用	1○	2○	3○	4○	
4	時間単位での利用	1○	2○	3○	4○	
＜年次有給休暇制度＞						
5	1日単位での利用	1○	2○	3○	4○	
6	半日単位での利用	1○	2○	3○	4○	
7	時間単位での利用	1○	2○	3○	4○	

＜その他の休暇制度(勤務先独自の休暇制度など)＞						
8	無給の制度	1○	2○	3○	4○	
9	有給の制度(失効年次有給休暇の積立制度等)	1○	2○	3○	4○	
＜短時間勤務制度＞						
10	1日の所定労働時間を短縮する制度	1○	2○	3○	4○	
11	週または月の所定労働日数を短縮する制度	1○	2○	3○	4○	
		利用していることがある	利用しただけではないが、今後利用したい	利用したことはないが、必要を感じていない	利用したことはなく、必要を感じていない	わからない
＜その他の勤務制度＞						
12	始業・就業時間の繰り上げ・繰り下げできる制度(時差出勤制度)	1○	2○	3○	4○	
13	時間外労働(残業・休日勤務)を免除する制度	1○	2○	3○	4○	
14	時間外労働(残業・休日勤務)を制限する制度(1か月24時間、1年150時間を超えないなど、制限をする制度)	1○	2○	3○	4○	
15	深夜業を免除する制度	1○	2○	3○	4○	
16	フレックスタイム制度	1○	2○	3○	4○	
17	裁量労働制度	1○	2○	3○	4○	
18	在宅勤務制度	1○	2○	3○	4○	
19	テレワーク、サテライトオフィスなど、在宅以外で勤務できる制度	1○	2○	3○	4○	

20	遅刻、早退又は中抜けなどの柔軟な対応	1	2	3	4
＜介護サービスを利用する場合、労働者が負担する費用を助成する制度＞					
21	勤務先が、費用を助成する制度	1	2	3	4
22	共済互助会や労働組合など勤務先以外が、費用を助成する制度	1	2	3	4
 回答方向		利用している、	利用し今後利用したいが、	利用し今後利用する必要性を	わからない

次へ

Q33

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族について、介護を始めてから介護休業制度をおおよそどのくらい利用していますか。
 ※数字は半角で入力してください。

利用した回数: 回
 利用した延べ日数: 日
 連続して利用した最長日数(1日の場合は1日と記載): 日

次へ

Q34

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族の手助・介護のために、あなたは、直近1年間で、各制度について、おおよその程度利用しましたか。
 ※時間単位で取得した場合、時間単位で利用した日を1日とカウントしてください。
 ※正確な回数・日数がわからない場合はある程度でかまいませんのでお答えください。
 ※数字は半角で入力してください。

	利用した回数	利用した延べ日数	連続して利用した最長日数
1 ①介護休暇制度	<input type="text"/> 回	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
2 ②年次有給休暇制度	<input type="text"/> 回	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
3 ③その他の無給の休暇制度(勤務先独自の休暇制度など)	<input type="text"/> 回	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日
4 ④その他の有給の休暇制度(勤務先独自の休暇制度など)	<input type="text"/> 回	<input type="text"/> 日	<input type="text"/> 日

次へ

Q35

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族に対して、あなたは、各制度をどのような手助・介護を行うために利用しましたか。(それぞれいくつでも)



回答方向

	1	2	3	4	5
	介護休業制度	介護休暇制度	年次有給休暇制度	その他の無給の休暇制度など (勤務先独自の休暇制度など)	その他の有給の休暇制度など (勤務先独自の休暇制度など)
排せつの介助	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>
食事の介助	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>
入浴の介助	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>
定期的な見守り、声かけ	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
ちょっとした買い物やゴミ出し	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="checkbox"/>
要介護者とともに過ごす(外出や旅行、話相手など)	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>	7 <input type="checkbox"/>
金銭の管理	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>	8 <input type="checkbox"/>
手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="checkbox"/>
入退院(入退所)の手続き	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="checkbox"/>

通院(通所)の送迎や外出の手助	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>
緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="checkbox"/>
関係機関(警察・施設等)からの呼び出し対応	18 <input type="checkbox"/>	18 <input type="checkbox"/>	18 <input type="checkbox"/>	18 <input type="checkbox"/>	18 <input type="checkbox"/>
終末期の対応(緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど)	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="checkbox"/>
その他	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="checkbox"/>
	介護休業制度	介護休暇制度	年次有給休暇制度	その他の無給の休暇制度など (勤務先独自の休暇制度など)	その他の有給の休暇制度など (勤務先独自の休暇制度など)
	1	2	3	4	5

次へ

Q36

介護休暇制度は、令和3年1月から時間単位でも取得できるようになりました。以前と比較して取得しやすくなったと思いますか。利用の有無や利用希望に関わらずお答えください。

- 1 そう思う
- 2 まあそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

次へ

Q37

どのような時に、介護休暇制度を時間単位で取得しましたか。(いくつでも)

- 1 排せつの介助
- 2 食事の介助
- 3 入浴の介助
- 4 定期的な見守り、声かけ
- 5 食事の支度や掃除、洗濯などの家事等の支援
- 6 ちょっとした買い物やゴミ出し
- 7 要介護者とともに過ごす(外出や話相手など)
- 8 金銭の管理
- 9 手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き
- 10 入退院(入退所)の手続き
- 11 通院(通所)の送迎や外出の手助
- 12 緊急搬送、緊急入院などの急変時の対応
- 13 関係機関(警察・施設等)からの呼び出し対応
- 14 終末期の対応(緊急入院や容態急変時の対応、臨終の立ち会いなど)
- 15 その他

次へ

Q38

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族に対して、あなたが「介護休業制度」を利用していない(しなかった)理由についてうかがいます。(いくつでも)
また、利用していない(しなかった)最も大きな理由について、該当するもの1つを選択してください。(ひとつだけ)

↓ 回答方向	1	2
	該当するもの	最も大きな理由
<職場の制度整備の状況>		
勤務先に介護休業制度が整備されていない	1 <input type="checkbox"/>	1 <input type="radio"/>
勤務先の介護休業制度の利用要件を満たしていない	2 <input type="checkbox"/>	2 <input type="radio"/>
<制度の認知状況、周知状況>		
勤務先の介護休業制度を知らない	3 <input type="checkbox"/>	3 <input type="radio"/>
勤務先に介護の相談窓口がない(わからない)	4 <input type="checkbox"/>	4 <input type="radio"/>
<職場環境>		
職場に介護休業制度を利用している人がいない	5 <input type="checkbox"/>	5 <input type="radio"/>
職場に介護休業制度を利用しにくい雰囲気がある	6 <input type="checkbox"/>	6 <input type="radio"/>
<働き方の状況>		

代替職員がいない	7□	7○
業務量が多い、仕事が忙しい	8□	8○
<あなた自身の生活やキャリアへの影響>		
介護休業制度を利用すると収入が減る	9□	9○
人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	10□	10○
<必要性がない>		
在宅勤務等の柔軟な働き方に対応	11□	11○
介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	12□	12○
年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	13□	13○
介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	14□	14○
手助・介護している家族の状況は、長期間、休業する必要がない	15□	15○
その他	16□	16○
<input type="text"/>		
	該当するもの	最も大きな理由
	1	2

次へ

Q39

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族に対して、あなたが、「介護休暇制度」を利用していない(しなかった)理由についてうかがいます。(いくつでも)
また、利用していない(しなかった)最も大きな理由について、該当するもの1つを選択してください。(ひとつだけ)

 回答方向	1	2
	該当するもの	最も大きな理由
<職場の制度整備の状況>		
勤務先に介護休暇制度が整備されていない	1□	1○
勤務先の介護休暇制度の利用要件を満たしていない	2□	2○
<制度の認知状況、周知状況>		
勤務先の介護休暇制度を知らない	3□	3○
勤務先に介護の相談窓口がない(わからない)	4□	4○
<職場環境>		
職場に介護休暇制度を利用している人がいない	5□	5○
職場に介護休暇制度を利用しにくい雰囲気がある	6□	6○
<働き方の状況>		
代替職員がいない	7□	7○
業務量が多い、仕事が忙しい	8□	8○

＜あなた自身の生活やキャリアへの影響＞		
介護休暇制度を利用すると収入が減る	9 <input type="checkbox"/>	9 <input type="radio"/>
人事評価・待遇に悪影響がでる可能性がある	10 <input type="checkbox"/>	10 <input type="radio"/>
＜必要性がない＞		
在宅勤務等の柔軟な働き方で対応	11 <input type="checkbox"/>	11 <input type="radio"/>
介護休業制度や短時間勤務制度などその他の介護のための両立支援制度を利用	12 <input type="checkbox"/>	12 <input type="radio"/>
年次有給休暇制度や勤務先独自の制度を利用	13 <input type="checkbox"/>	13 <input type="radio"/>
介護サービスの利用、施設への入所により、休業する必要がない	14 <input type="checkbox"/>	14 <input type="radio"/>
その他 <input type="text"/>	15 <input type="checkbox"/>	15 <input type="radio"/>
	該当するもの	最も大きな理由
	1	2

次へ

Q40

あなたは、介護休業制度を取得し復職した後、嫌がらせや、解雇・退職勧奨・契約更新されないなどの不利益な取扱いを受けましたか。

- 1 受けた
- 2 受けていない
- 3 わからない

次へ

Q41

あなたは、勤務先で、仕事と「手助・介護」を両立するために、どのように働き方を変えたいと思いますか。(いくつでも)

- 1 残業時間・時間外・所定外労働をなくしたい
- 2 深夜勤務をなくしたい
- 3 交替制・シフト勤務の働き方を変えたい
- 4 通常勤務(フルタイム勤務)から短時間勤務に変えたい
- 5 現在の仕事を辞めたい、又は転職したい
- 6 変えたいと思わない
- 7 その他
- 8 わからない

次へ

Q42

あなたは、現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けることができますか。

- 1 続けられると思う
- 2 おそらく続けられると思う
- 3 おそらく続けられないと思う
- 4 続けられないと思う
- 5 わからない

次へ

Q43

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な理由についてうかがいます。(いくつでも)

- 1 勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等がある【勤務先の問題】
- 2 介護保険サービスや障害福祉サービス等が利用できない、利用方法がわからない等がある【サービスの問題】
- 3 手助・介護が必要な家族、その他家族・親族等の希望がある【家族・親族等の希望】
- 4 上記以外の理由

次へ

Q44

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な理由(勤務先の問題)についてうかがいます。(いくつでも)

- 1 勤務先に介護休業制度等の両立支援制度が整備されていない
- 2 勤務先の介護休業制度等の両立支援制度の利用要件を満たしていない
- 3 勤務先に介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気がある
- 4 代替職員がならず、介護休業制度等の両立支援制度の利用ができない
- 5 職場の労働時間が長い、深夜勤務・シフト勤務があるなど、労働時間に問題がある
- 6 人事評価など待遇に悪影響がでる可能性がある
- 7 その他

次へ

Q45

現在の勤務先で「手助・介護」をしながら、仕事を続けられないと思う具体的な理由(サービスの問題)についてうかがいます。(いくつでも)

- 1 介護保険サービスについて希望するサービスが地域で提供されておらず、利用できない
- 2 介護保険サービスについて利用待ちが発生しており、利用できない
- 3 介護保険サービスと時間が合わず利用できない
- 4 介護保険サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからない
- 5 障害福祉サービスについて希望するサービスが地域で提供されておらず、利用できない
- 6 障害福祉サービスについて利用待ちが発生しており、利用できない
- 7 障害福祉サービスと時間が合わず利用できない
- 8 障害福祉サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからない
- 9 その他

次へ

Q46

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事と介護の両立にどのような影響がありましたか。(いくつでも)

- 1 介護サービス事業所が休業となり、仕事を休む等の支障があった
- 2 介護サービス事業所の利用回数が減り、仕事を休む等の支障があった
- 3 手助・介護が必要な家族が感染を心配して介護サービスの利用をしなかったから、仕事を休む等の支障があった
- 4 職場への出勤制限による在宅勤務の日は、手助・介護のために仕事に集中することができなかった
- 5 手助・介護が必要な家族が家に閉じこもりがちで、体調が不安定となり、手助・介護の負担が増した
- 6 その他
- 7 特に影響はない

次へ

Q47

あなたが「手助・介護」を始めてから、「手助・介護」のために仕事を辞めた時までの期間は、おおよそどのくらいでしたか。

- 1 1か月未満
- 2 1～3か月未満
- 3 3～6か月未満
- 4 6か月～1年未満
- 5 1年以上
- 6 わからない

次へ

Q48

あなたが家族の「手助・介護」のために、仕事を辞めた理由についてうかがいます。
(いくつでも)

- 1 (仕事を続けなかったが、勤務先の両立支援制度の問題や介護休業等を取得しづらい雰囲気等があった【勤務先の問題】)
- 2 (仕事を続けなかったが、)介護保険サービスや障害福祉サービス等が利用できなかった、利用方法がわからなかった等があった【サービスの問題】)
- 3 (仕事を続けなかったが、)手助・介護が必要な家族、その他家族・親族の希望等があった【家族・親族等の希望】)
- 4 自分の希望(仕事を続けたくなかった)
- 5 その他

次へ

Q49

仕事を辞める理由となった勤務先の問題とは、具体的にどのような問題ですか。(いくつでも)

- 1 勤務先に介護休業制度等の両立支援制度が整備されていなかった
- 2 勤務先の介護休業制度等の両立支援制度の利用要件を満たしていなかった
- 3 勤務先に介護休業制度等の両立支援制度を利用しにくい雰囲気があった
- 4 代替職員がならず、介護休業制度等の両立支援制度の利用ができなかった
- 5 職場の労働時間が長い、深夜勤務・シフト勤務があるなど、労働時間に問題があった
- 6 転勤のある職場で(転勤の予定があり)、就業継続が難しくかった
- 7 介護が必要な要介護者と居住地が離れており、引っ越して就業継続することが難しくかった
- 8 人事評価・待遇に悪影響がでる可能性があると思った
- 9 その他

次へ

Q50

「手助・介護」のために仕事を辞める前の、あなたの職場において、
①どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったですか。
②介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思いますか。
③どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思いますか。

Q50_1

く①どのような仕事と介護の両立支援制度を利用したかったですか。
(いくつでも)

- 1 介護休業制度
(対象家族1人につき、通算して93日まで、3回を上限として分割して取得することができる制度)
- 2 介護休暇制度
(対象家族1人であれば年5日まで、2人以上であれば年10日まで、1日単位、半日単位及び時間単位で取得することができる制度)
- 3 所定外労働を短縮する制度
(要介護状態にある対象家族の介護を行う労働者で介護休業をしていないものについて、連続する3年間以上の期間で2回以上利用することができる制度)
- 4 所定外労働を制限する制度
(要介護状態にある対象家族の介護を行う労働者が請求した場合は、所定労働時間を超えて労働させてはならない制度)
- 5 時間外労働を制限する制度
(要介護状態にある対象家族の介護を行う労働者が請求した場合は、1か月24時間、1年1500時間を超えて時間外労働をさせてはならない制度)
- 6 深夜業を制限する制度
(要介護状態にある対象家族の介護を行う労働者が請求した場合は、深夜において労働させてはならない制度)
- 7 その他
- 8 特になし

Q50_2

＜◎介護休業制度がどのような制度であれば、制度を上手く活用して、仕事を続けることができたと思いますか＞(いくつでも)

- 1 取得1週間前でも申請できるなど、介護休業取得の申請期間がより短くても申請可能であるとよかった
(※現行制度2週間前までに申請する必要があります)
- 2 もっと細かく分割取得ができるとよかった
(※現行制度通算93日まで、3回を上限として分割取得することができます)
- 3 介護休業中でも、ある程度柔軟に就労できる仕組みがあるとよかった
(※現行制度原則介護休業中の就労はできません)
- 4 その他
- 5 特に制度上の問題はなかった

Q50_3

＜◎どのような職場の取組があれば、仕事を続けられたと思いますか＞(いくつでも)

- 1 仕事と介護の両立支援制度に関する個別の周知
- 2 仕事と介護の両立支援制度に関する研修
- 3 仕事と介護の両立に関する相談窓口の設置
- 4 仕事と介護の両立に関する自社の事例の収集・提供
- 5 仕事と介護の両立に関する自社の方針の周知
- 6 その他
- 7 特になし

次へ

Q51

仕事を辞める理由となったサービスの問題とは、具体的にどのような問題ですか。(いくつでも)

- 1 介護保険サービスについて希望するサービスが地域で提供されておらず利用できなかった
- 2 介護保険サービスについて利用待ちが発生していて利用できなかった
- 3 介護保険サービスと時間が合わず、利用できなかった
- 4 介護保険サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからなかった
- 5 障害福祉サービスについて希望するサービスが地域で提供されておらず利用できなかった
- 6 障害福祉サービスについて利用待ちが発生していて利用できなかった
- 7 障害福祉サービスと時間が合わず、利用できなかった
- 8 障害福祉サービスの仕組みや手続き、サービスや施設の利用方法がわからなかった
- 9 その他

次へ

Q52

家族の「手助・介護」を機に仕事を辞めて、あなた自身にどのような変化がありましたか。
(それぞれひとつずつ)

		回答方向					
		非常に負担が増した	負担が増した	変わらない	負担が減った	かなり負担が減った	わからない
1	精神面	1○	2○	3○	4○	5○	6○
2	肉体面	1○	2○	3○	4○	5○	6○
3	経済面	1○	2○	3○	4○	5○	6○

次へ

Q53

「手助・介護」を機に仕事を辞めた後の平均的な1日の過ごし方についてうかがいます。
 ※複数人を手助・介護していた場合は、全て含めた時間でお答えください。
 ※離職後、再就職された方は、再就職する前の無業期間の状況についてお答えください。
 無業期間がない場合は、無回答でかまいません。
 ※数字は半角で入力してください。
 ※30分単位で、1時間半であれば、1.5時間とご記入ください。
 ※時間がかかっていない場合は、「0」とご記入ください。

<平日>

手助・介護に要した時間: 時間

手助・介護が必要な者のいるところへの移動時間: 時間

休息时间・あなた自身の時間: 時間

睡眠時間: 時間

<休日>

手助・介護に要した時間: 時間

手助・介護が必要な者のいるところへの移動時間: 時間

休息时间・あなた自身の時間: 時間

睡眠時間: 時間

次へ

Q54

現在、無業の方にうかがいます。

あなたが最も時間をかけて手助・介護している家族の「手助・介護」のために仕事を辞めてから、現在まで、再就職していない理由についてうかがいます。(いくつでも)

- 1 仕事と「手助・介護」の両立が可能な職場が見つからない
- 2 希望する仕事内容の職場がない、見つからない
- 3 両立にも資する介護サービスが利用できない
- 4 施設へ入所できない
- 5 自分が「手助・介護」することで、介護サービスなどの利用料負担を軽減できる
- 6 自分の希望として「手助・介護」に専念したい
- 7 「手助・介護」が必要な家族が、自分が「手助・介護」に専念することを希望している
- 8 「手助・介護」する家族・親族が自分しかいない
- 9 家族や親族が「手助・介護」に専念することを希望している
- 10 「手助・介護」が必要な家族と同居または近居になった
- 11 自分の心身の健康状態が良くない
- 12 現在、仕事を探して始めたところである
- 13 自分が仕事自体をしたいと思わない
- 14 その他

次へ

Q55

現在、働いている方にうかがいます。

あなたが「手助・介護」のために仕事を辞めてから、再就職したときまでの期間はどのくらいですか。

※再就職した後、何度か転職をしている場合は、「手助・介護」を機に仕事を辞めた後、最初に再就職した時の期間でお答えください。

- 1 1か月未満
- 2 1～3か月未満
- 3 3～6か月未満
- 4 6か月～1年未満
- 5 1年以上
- 6 わからない

次へ

Q56

現在、働いている方にうかがいます。

あなたが、「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した理由についてうかがいます。
(いくつでも)

※ 再就職した後、何度か転職をしている場合は、「手助・介護」を機に仕事を辞めた後、最初に再就職した時の期間でお答えください。

- 1 仕事と「手助・介護」の両立が可能な職場だった
- 2 介護サービスの利用により、「手助・介護」の負担が減った
- 3 施設への入所により、「手助・介護」の負担が減った
- 4 介護サービスなどの利用料の負担が大きい
- 5 自身の希望として仕事をしなかった
- 6 「手助・介護」に専念する生活を続けることが精神的に限界になった
- 7 「手助・介護」が必要な家族が、自分が就職することを希望した
- 8 家族や親族からの理解・協力が十分に得られた、家族や親族が就職することを希望した
- 9 自分自身の健康状態が快復した
- 10 「手助・介護」をする必要がなくなった
- 11 その他

次へ

Q57

現在、働いている方にうかがいます。

あなたが、「手助・介護」を機に仕事を辞めてから、再就職した際に、働き方等に、どのような変化がありましたか。(いくつでも)

- 1 正規雇用から非正規雇用になった
- 2 非正規雇用から正規雇用になった
- 3 残業のない職場になった
- 4 勤務時間が柔軟な職場になった
- 5 自宅に近い職場に再就職した
- 6 より職場に近いところへ引っ越した
- 7 その他
- 8 仕事を辞める前と大きな変化はない

次へ

Q58

「手助・介護」をする必要が生じた際に、あなたが必要と考える社会的な支援は何ですか。

介護と仕事の両立支援制度に関すること

介護サービス、障害福祉サービスに関すること

その他

次へ

Q59

「手助・介護」をする必要が生じた際に、あなたが必要と考える職場の取組は何ですか。
(いくつでも)

- 1 会社方針の明確化やトップからのメッセージ発信
- 2 介護休業制度等の両立支援制度を周知するためのパンフレット・リーフレットの作成・配布
- 3 介護休業制度等の制度利用事例を社内報やパンフレットで共有したり、研修を行うなど意識啓発の実施
- 4 介護休業制度等の両立支援制度の利用に関する社内相談窓口の設置
- 5 介護保険制度の仕組み、要介護認定手続き、介護サービス・施設などの情報提供
- 6 管理職を対象とした職場運営マニュアルの作成、マネジメント研修の実施(ハラスメントの防止、短時間勤務のマネジメント等)
- 7 介護に直面した者が利用できる社内制度について個別に周知
- 8 介護休業制度等の両立支援制度の利用者と管理職の面談を制度化(制度利用者と管理職のコミュニケーション支援)
- 9 介護中の労働者のネットワークづくり(介護カフェ等)
- 10 介護休業制度等の両立支援制度の利用者がいる部署へ業務上の応援や代替要員の配置を実施
- 11 会社独自に介護休業中の所得補償を実施(介護サービスへの費用助成を含む)
- 12 有期契約労働者に対し、介護休業制度等を取得することへの理解を深めるための情報を提供
- 13 管理職に対し、有期契約労働者が介護休業制度等を取得することへの理解を深めるための情報を提供
- 14 その他
- 15 特にない
- 16 わからない

送信

厚生労働省委託調査

令和3年度 仕事と介護の両立等に関する
実態把握のための調査研究事業

労働者アンケート調査結果 報告書

令和4年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社